

平成 30 年度

市政世論調査概要

第 7 2 集

和歌山市

はじめに

今年是新天皇が即位され、平成から新たな時代への幕開けとなる年です。11月には「ねんりんピック紀の国わかやま2019」が開催され、これを契機に、高齢者の生きがいづくりや健康体操など、全員参加を目標とした健康長寿に取り組んでいきたいと考えています。

また、人口減少や経済の低成長時代に備えようということで、様々な法律ができ、和歌山市でも取組が本格的に動き出してきました。まちなか大学誘致の2校目となる和歌山信愛大学教育学部が開学し、南海和歌山市駅に新しい市民図書館がオープンします。肝心なのはそこで人が輝くことです。私は、市民一人ひとりが活躍し、輝くためには、世代間を超えて、様々な環境にある人々がつながり合える環境が重要だと考えています。今後、多様な主体がつながる場となるプラットフォームづくりを進めるとともに、様々な取組を持続可能なものとするため、人工知能やロボットなどの技術革新による新しい社会への対応の準備をしていきます。

そして、誰もが地域に誇りと愛着を持てるまちづくりを進め、活力と魅力あふれる都市「きらり輝く和歌山市」の実現に向けて前進して参ります。

この冊子は、アンケート調査で得られた貴重なご意見を市政に最大限活用し、今後の施策や計画に反映することを目的とした貴重な資料であります。

ここに、平成30年度市政世論調査概要（第72集）を取りまとめましたので、関係各位におかれましては、ご活用いただければ幸いと存じます。

終わりに、この調査を実施するにあたり、ご協力いただきました市民のみなさまに厚くお礼申し上げます。

平成31年3月

和歌山市長 尾花正啓



和歌山市き章（明治42年制定）

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地である。

その和歌山市の力強い発展をき章が表している。

すなわち、山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表す（三方の山を貫く市民の力）。

○ はワカ山のカ（カタカナ文字）を図案化したもの。

和 は和カヤマの和を表している。

和歌山市民憲章（昭和41年11月3日制定）

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- ① 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- ② 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- ③ きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- ④ 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- ⑤ 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

目次

I. 調査の概要	5
1. 調査の目的	5
2. 調査の内容	5
3. 調査の方法	5
4. 集計区分	6
5. 回答者の属性	7
6. 回答者の家族環境	11
II. 調査の結果	15
1. あなたの身の回りの状況やお考えについて	15
2. マイナンバーカードについて	17
3. 犯罪被害者等について	22
4. 在宅医療について	24
5. 自殺対策について	33
6. 消防団について	38
7. 災害対策について	49
8. 防犯対策について	86
9. 健康について	91
10. スポーツについて	111
11. スポーツ施設について	115
12. 市報わかやまについて	117
13. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について	124
14. 和歌山市の市政について（自由意見）	149
III. 調査票	153

※報告書利用にあたって

○図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

○複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えています。

○図中の「n」とは、質問別の該当対象者数を示し、比率は「n」を100%として表示しています。「n」が調査母数の場合は表示していません。今年度は「944」となっています。

○年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が和歌山市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。

調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

和歌山市では毎年「市政世論調査」を行い、市民の希望や意識について調査し、市政運営のための基礎資料として活用している。

2. 調査の内容

- あなたの身の回りの状況やお考えについて
- マイナンバーカードについて
- 犯罪被害者等について
- 在宅医療について
- 自殺対策について
- 消防団について
- 災害対策について
- 防犯対策について
- 健康について
- スポーツについて
- スポーツ施設について
- 市報わかやまについて
- 和歌山市の取組に対する満足度・重要度について
- 和歌山市の市政について（自由意見）

3. 調査の方法

- ◆ 調査区域 和歌山市全域
- ◆ 調査対象 和歌山市に居住する満 18 歳以上の男女を等間隔無作為抽出
- ◆ 調査方式 郵送による配布・回収
- ◆ 調査期間 平成 30 年 8 月 24 日（金）～同年 9 月 12 日（水）
- ◆ 回収率 発送数 2,000 人
有効回収数 944 人 （回収数 945 人）
有効回収率 47.2% （回収率 47.3%）
- ◆ 調査機関 和歌山市広報広聴課（対象者の抽出及びアンケートの策定）
株式会社ゼンリン 和歌山営業所（配布・回収・集計・取りまとめ）

4. 集計区分

居住区は全市内 42 地区で調査したが、下表のとおり 6 地域にとりまとめ集計した。

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

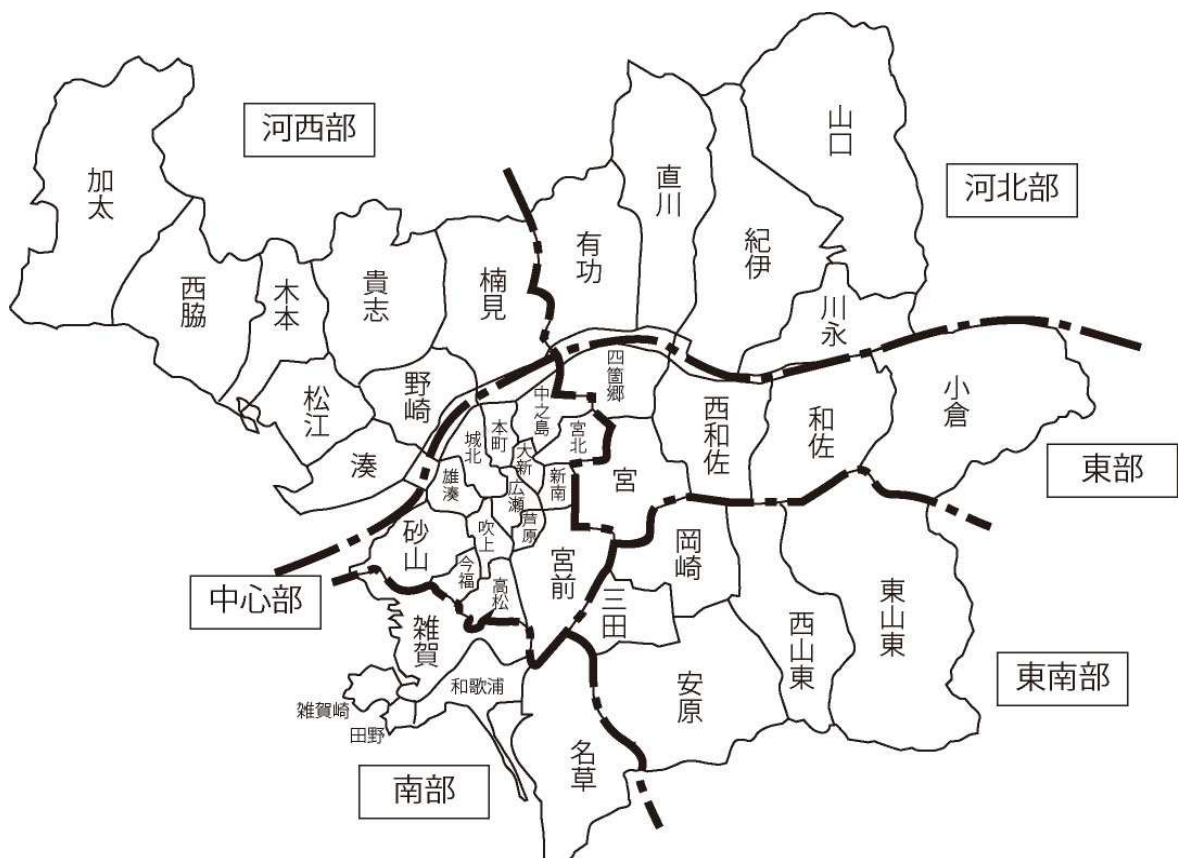
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



5. 回答者の属性

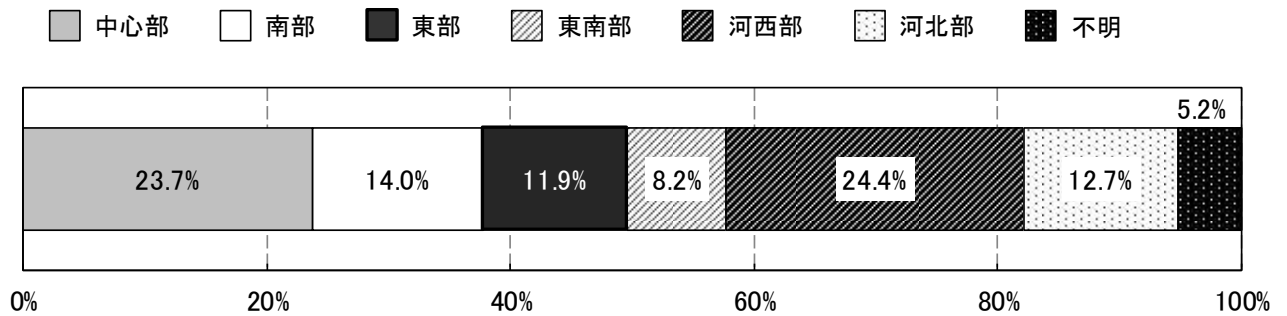
区分		総数	18 ～ 19歳	20 ～ 29歳	30 ～ 39歳	40 ～ 49歳	50 ～ 59歳	60 ～ 69歳	70 ～ 79歳	80歳 以上	不明
総数		944	11	57	110	155	155	207	182	63	4
地域別	中心部	224	1	15	24	35	42	52	39	15	1
	南部	132	3	9	14	18	17	36	27	8	0
	東部	112	3	9	11	18	15	21	21	13	1
	東南部	77	0	8	12	16	14	11	14	2	0
	河西部	230	2	10	26	40	42	52	42	16	0
	河北部	120	1	6	17	20	20	27	23	5	1
	不明	49	1	0	6	8	5	8	16	4	1
性別	男性	450	6	29	52	74	73	104	78	34	0
	女性	479	5	28	57	80	82	101	100	25	1
	不明	15	0	0	1	1	0	2	4	4	3
職業別	会社員	271	3	31	54	76	58	43	6	0	0
	自営業	62	0	1	3	9	20	20	7	2	0
	農林水産業	5	0	0	0	0	0	4	1	0	0
	公務員	39	0	3	13	10	9	4	0	0	0
	パート・アルバイト	133	0	5	20	40	32	26	10	0	0
	専業主婦	153	0	4	15	15	25	43	45	5	1
	学生	18	8	9	0	0	0	1	0	0	0
	無職	221	0	2	2	0	6	56	102	53	0
	その他	29	0	2	3	2	3	8	8	3	0
	不明	13	0	0	0	3	2	2	3	0	3
居住年数別	1年未満	14	2	2	4	4	1	0	1	0	0
	1～3年未満	10	0	5	3	1	1	0	0	0	0
	3～5年未満	17	0	3	6	3	0	3	2	0	0
	5～10年未満	30	0	3	12	9	1	2	2	0	1
	10～20年未満	69	9	9	10	22	9	4	6	0	0
	20～30年未満	86	0	34	11	14	16	10	1	0	0
	30年以上	714	0	1	64	101	127	188	170	63	0
	不明	4	0	0	0	1	0	0	0	0	3

問1 居住地区

問1 あなたの居住地区はどこですか？

- | | |
|--------|--------|
| 1. 中心部 | 4. 東南部 |
| 2. 南部 | 5. 河西部 |
| 3. 東部 | 6. 河北部 |

居住区構成は、「河西部」(24.4%)が最も多く、次いで「中心部」(23.7%)、「南部」(14.0%)の順となっている。

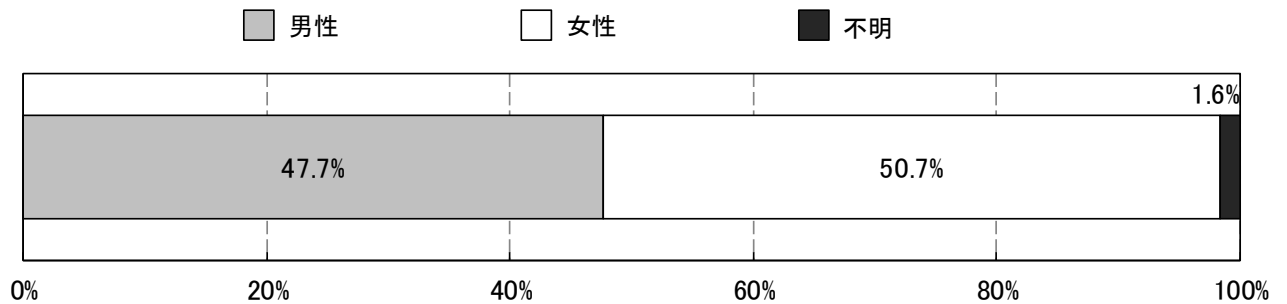


問2 男女別

問2 あなたの性別は？

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

男女別構成は「女性」(50.7%)、「男性」(47.7%)で、女性が男性を上回っている。

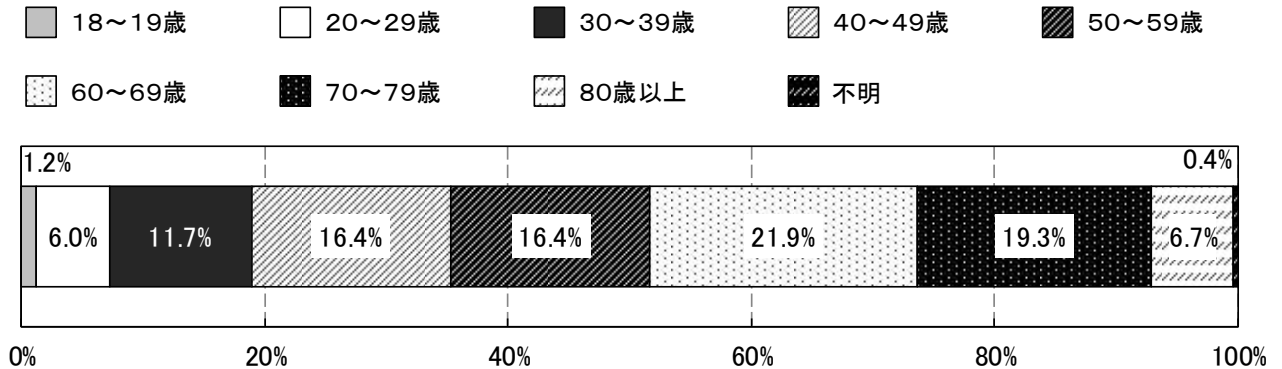


問3 年齢

問3 あなたの年齢は？

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 3. 30～39歳 | 5. 50～59歳 | 7. 70～79歳 |
| 2. 20～29歳 | 4. 40～49歳 | 6. 60～69歳 | 8. 80歳以上 |

年齢構成は「60～69歳」（21.9%）が最も多く、次いで「70～79歳」（19.3%）となっている。60歳以上の比率が47.9%を占める。

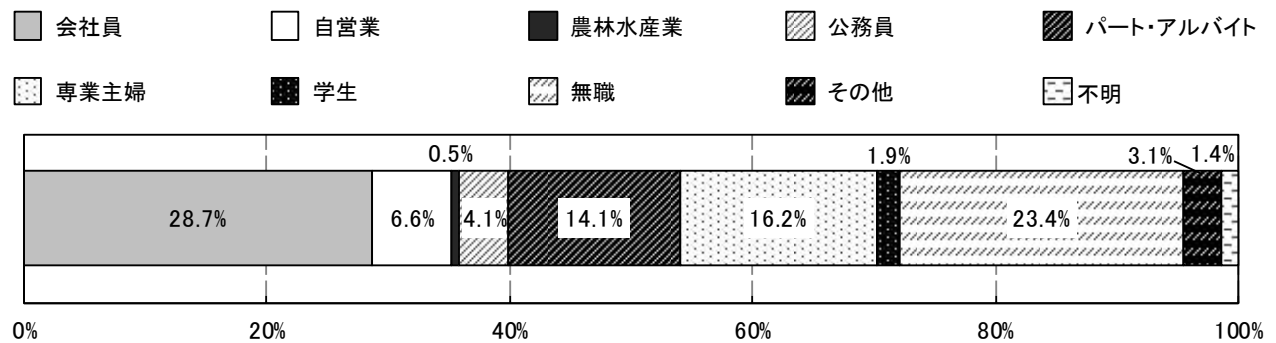


問4 職業

問4 あなたの職業は？

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 会社員 | 6. 専業主婦 |
| 2. 自営業 | 7. 学生 |
| 3. 農林水産業 | 8. 無職 |
| 4. 公務員 | 9. その他 |
| 5. パート・アルバイト | |

職業構成は「会社員」（28.7%）、「無職」（23.4%）、「専業主婦」（16.2%）の順となっている。



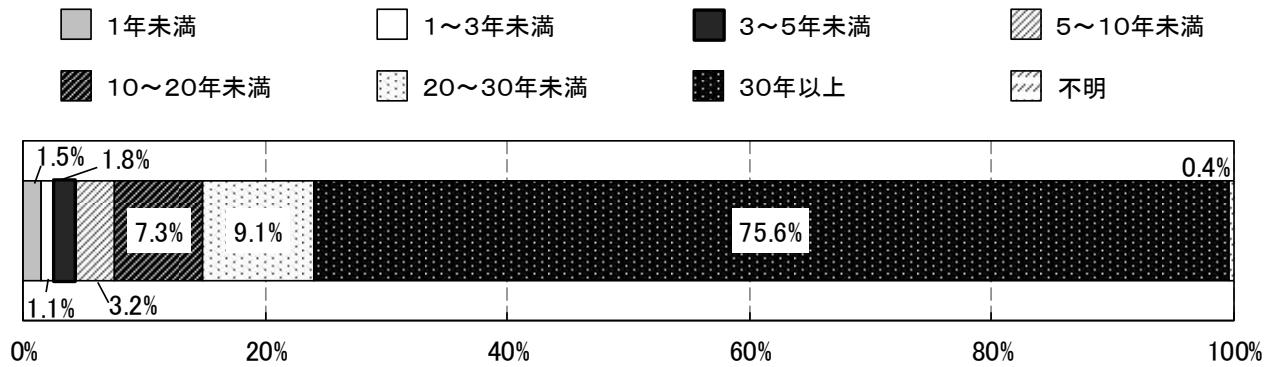
その他：「法人・団体職員」、「医療関係・看護師」など

問5 居住年数

問5 あなたが和歌山市に住んでいる年数は？

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 5. 10～20年未満 |
| 2. 1～3年未満 | 6. 20～30年未満 |
| 3. 3～5年未満 | 7. 30年以上 |
| 4. 5～10年未満 | |

和歌山市の居住年数構成は「30年以上」が75.6%で最も多く、次いで「20～30年未満」(9.1%)が続く。



6. 回答者の家族環境

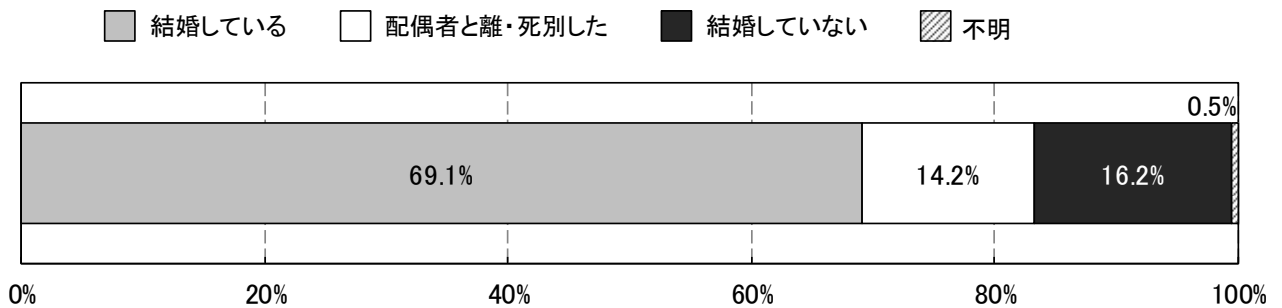
回答者の家族環境について、アンケートの問6～問7の結果を集計した。

問6 結婚

問6 あなたは現在、結婚をしていますか？

1. 結婚している
2. 配偶者と離・死別した
3. 結婚していない

未既婚の構成は、「結婚している」が69.1%、「結婚していない」が16.2%である。「配偶者と離・死別した」は14.2%となっている。



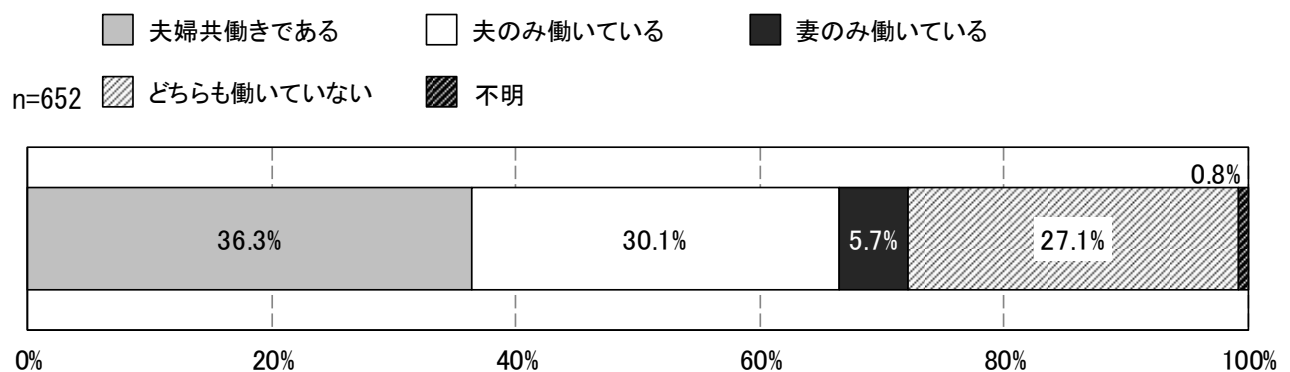
問6-1 共働き

問6-1 問6で「1. 結婚している」と回答された方のみお答えください。

夫婦ともに働いていますか？

1. 夫婦共働きである
2. 夫のみ働いている
3. 妻のみ働いている
4. どちらも働いていない

問6で「結婚している」と回答された652人について、「夫婦共働きである」が36.3%で最も多く、次いで「夫のみ働いている」(30.1%)、「どちらも働いていない」(27.1%)の順となっている。

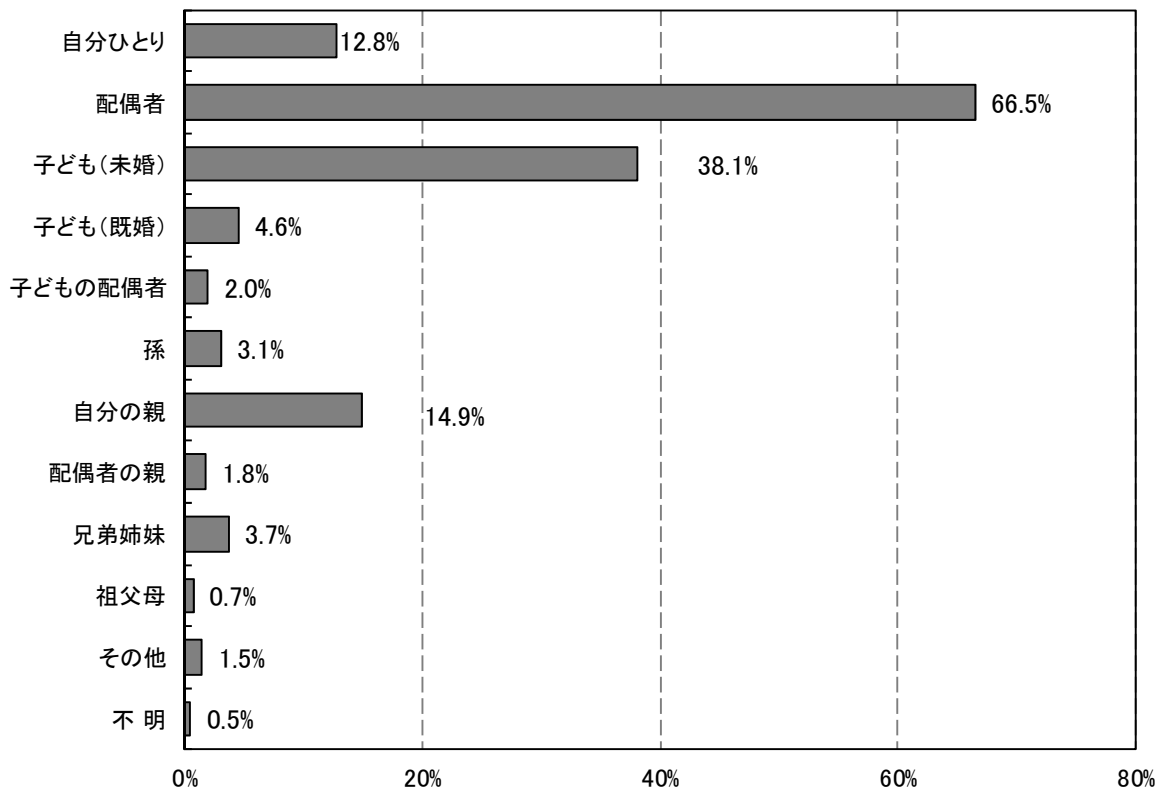


問7 家族構成

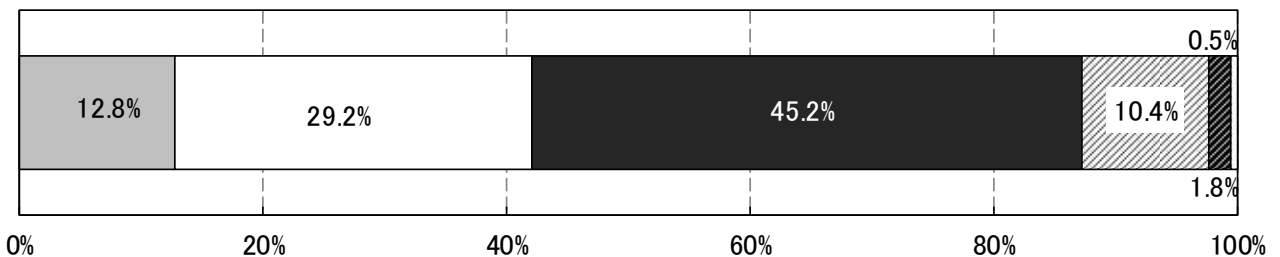
問7 あなたは現在、どなたと一緒に住まいますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|------------|----------|
| 1. 自分ひとり | 7. 自分の親 |
| 2. 配偶者 | 8. 配偶者の親 |
| 3. 子ども（未婚） | 9. 兄弟姉妹 |
| 4. 子ども（既婚） | 10. 祖父母 |
| 5. 子どもの配偶者 | 11. その他 |
| 6. 孫 | |

同居人は「配偶者」が66.5%と最も多く、次いで「子供（未婚）」（38.1%）、「自分の親」（14.9%）の順となっている。回答から家族構成を分類すると「2世代世帯」が45.2%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」（29.2%）、「単独世帯」（12.8%）「3、4世代世帯」（10.4%）の順となっている。



単独世帯
 夫婦のみ世帯
 2世代世帯
 3, 4世代世帯
 その他
 不明



調査の結果

Ⅱ. 調査の結果

1. あなたの身の回りの状況やお考えについて

問8 ご自身の状況や考え方について

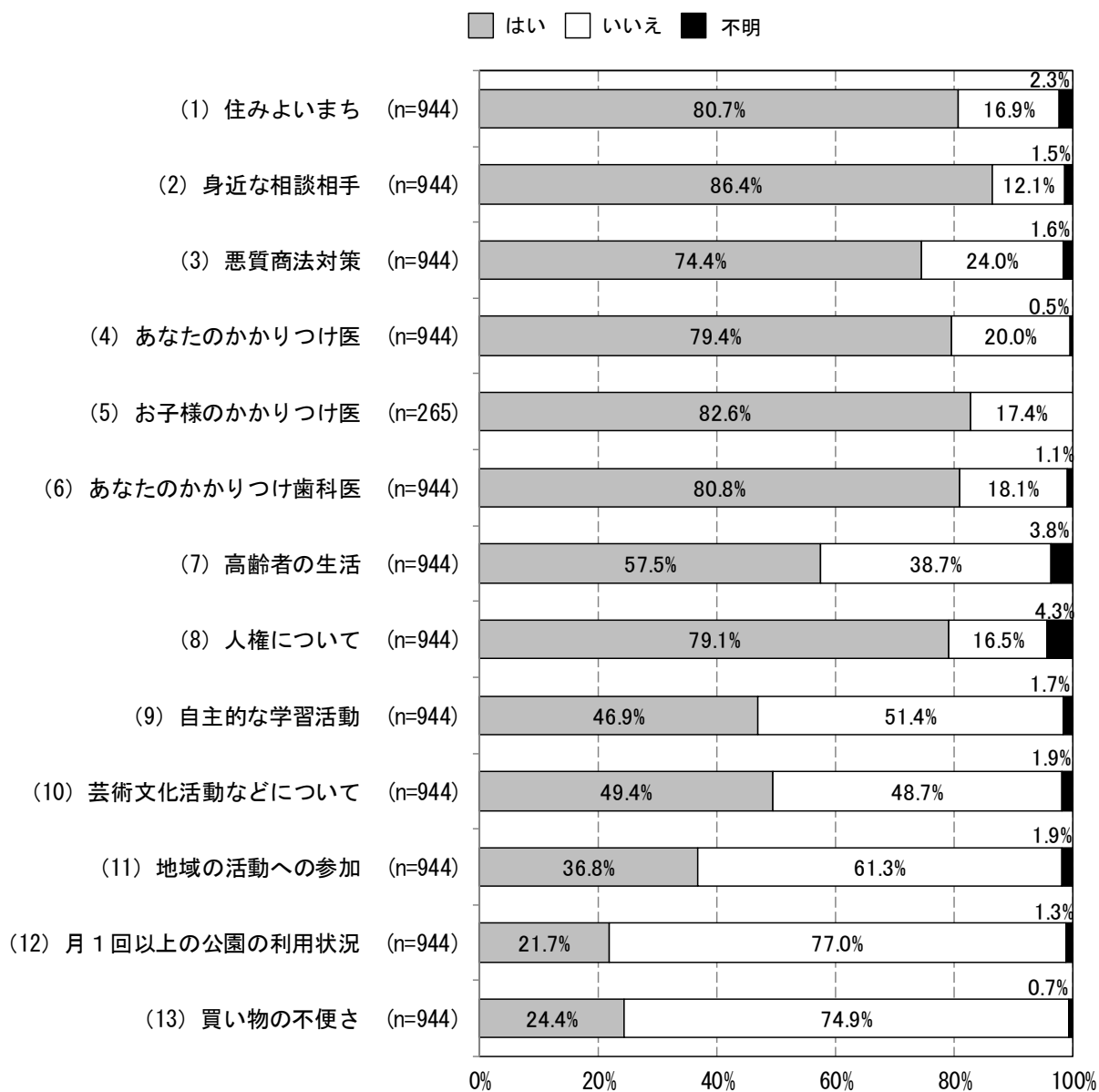
問8 あなたご自身の状況や考え方についてお答えください。

- (1) 和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？
- (2) 身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？
- (3) あなたは、悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか？
- (4) あなたの、かかりつけ医はありますか？
- (5) お子様の、かかりつけ医はありますか？ (0～14歳のお子様がいらっしゃる方のみ)
- (6) あなたの、かかりつけ歯科医はありますか？
- (7) 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？
- (8) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？
- (9) 日頃から趣味や関心のあるテーマについて、自主的に学習活動を行っていますか？
- (10) 日頃から芸術文化活動を行い、又は鑑賞する機会(映画・音楽・展覧会の鑑賞などを含む)をもっていますか？
- (11) 公園清掃や花壇づくりなど地域の活動への参加をしている、又は、したいと思いますか？
- (12) 公園を月1回以上利用されますか？
- (13) あなたは、日常の買い物に不便を感じていますか？

1. はい

2. いいえ

自身の状況や考え方について、「はい」の比率が最も高いのは「身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？」で86.4%となっている。他に「はい」が70%を超えるのは、「お子様の、かかりつけ医はありますか？」(82.6%)、「あなたの、かかりつけ歯科医はありますか？」(80.8%)、「和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？」(80.7%)、「あなたの、かかりつけ医はありますか？」(79.4%)、「あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？」(79.1%)、「あなたは、悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか？」(74.4%)、の計7項目である。



2. マイナンバーカードについて

問9 マイナンバーカードの所有状況

問9 あなたはマイナンバーカードを持っていますか？

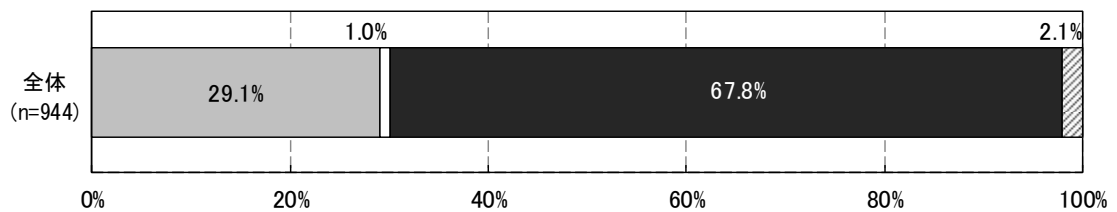
1. 持っている
2. 申請したが、受け取っていない
3. 申請していない

マイナンバーカードの所有状況について、最も多かった回答が「申請していない」でその割合は67.8%となった。次いで多かったのが「持っている」でその割合は29.1%であった。

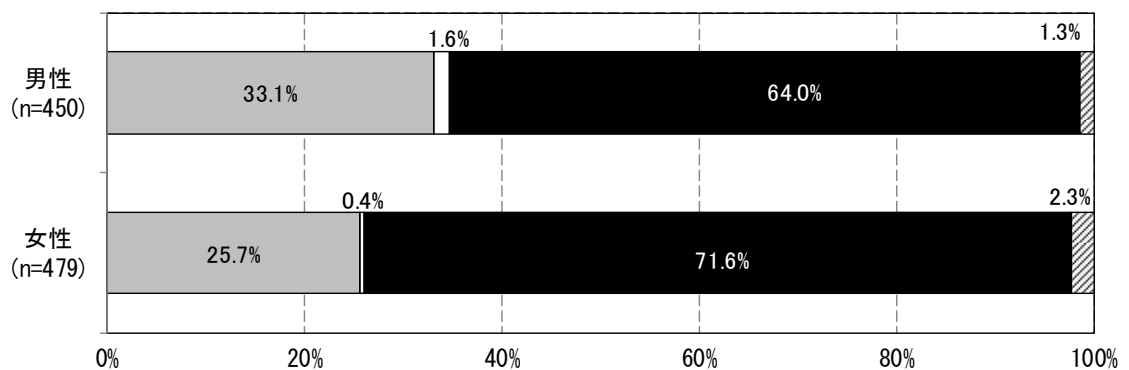
男女別では、「持っている」と回答された男性の割合は33.1%、女性は25.7%となり、男性のほうが持っている傾向が見られる。

年代別では「持っている」と回答された方が最も多い年代は「70～79歳」で割合は34.6%であった。また、「持っている」と回答された方が最も少ない年代は「50～59歳」で割合は21.9%であった。

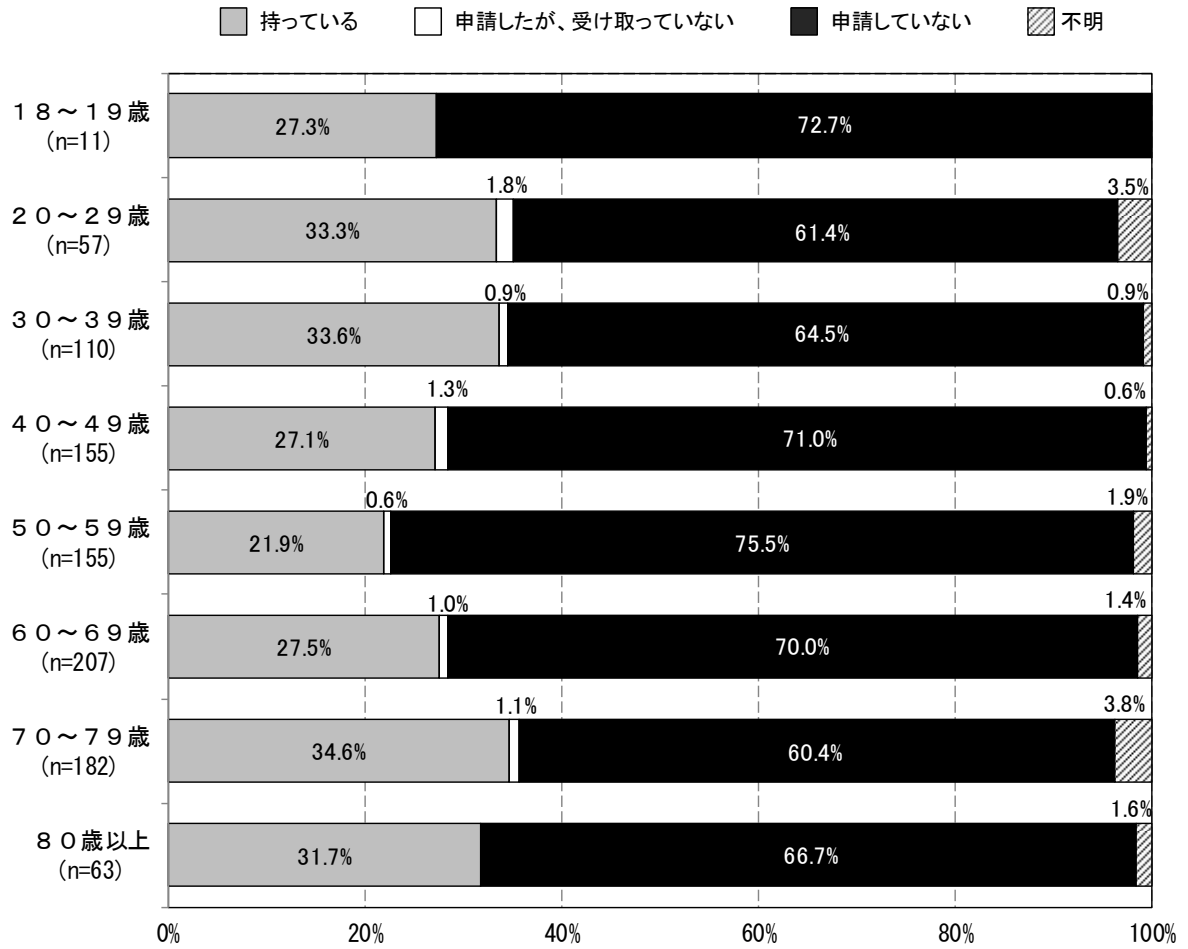
<全体> 持っている 申請したが、受け取っていない 申請していない 不明



<男女別>



<年代別>



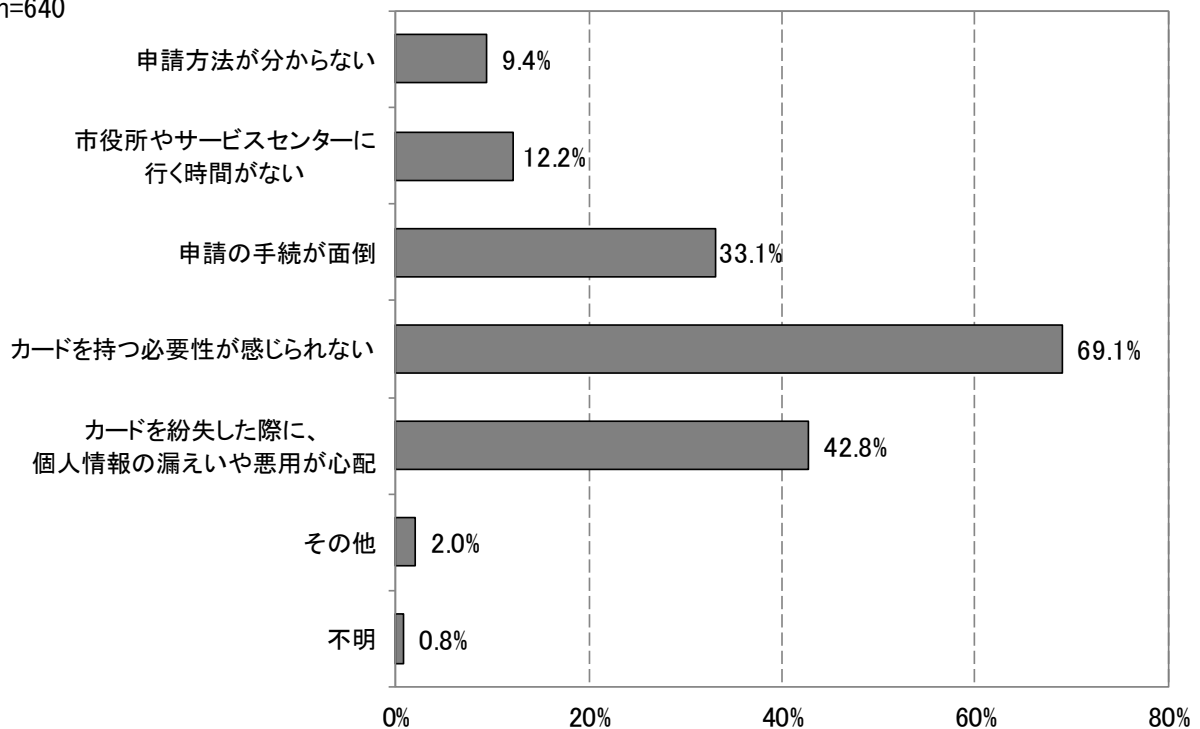
問9-1 マイナンバーカードの未申請の理由

問9-1 問9で「3. 申請していない」と回答された方のみお答えください。あなたが、マイナンバーカードを申請していない理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 申請方法が分からない
2. 市役所やサービスセンターに行く時間がない
3. 申請の手続が面倒
4. カードを持つ必要性が感じられない
5. カードを紛失した際に、個人情報の漏えいや悪用が心配
6. その他

マイナンバーカードを申請していない理由として、最も多かったのが「カードを持つ必要性が感じられない」でその割合は69.1%となった。次いで多かったのが、「カードを紛失した際に、個人情報の漏えいや悪用が心配」で42.8%、「申請の手続が面倒」で33.1%と続いた。

n=640



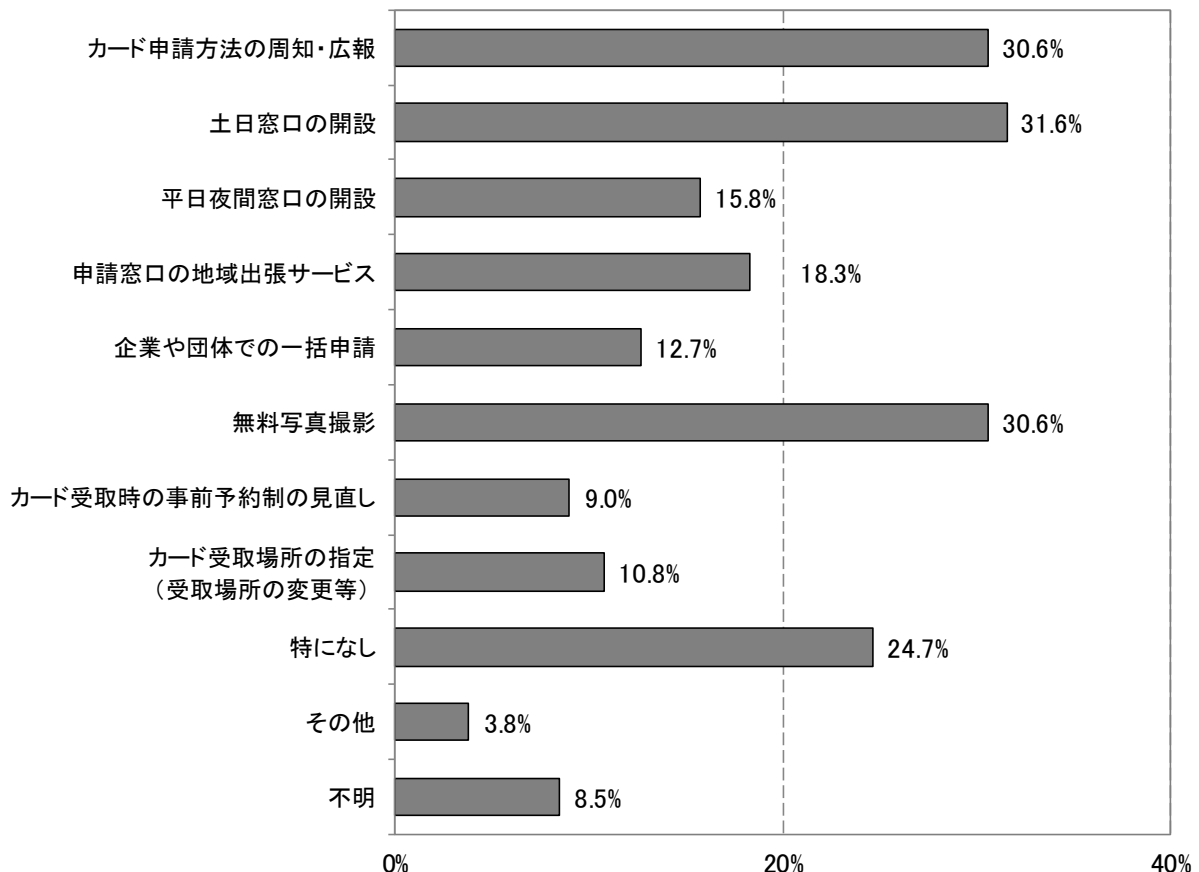
その他：「申請予定」など

問10 マイナンバーカードを申請または受け取りやすくするための取組

問10 マイナンバーカードを申請または受け取りやすくするためには、どのような取組が望ましいと思いますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. カード申請方法の周知・広報
2. 土日窓口の開設
3. 平日夜間窓口の開設
4. 申請窓口の地域出張サービス
5. 企業や団体での一括申請
6. 無料写真撮影
7. カード受取時の事前予約制の見直し
8. カード受取場所の指定（受取場所の変更等）
9. 特になし
10. その他

マイナンバーカードを申請または受け取りやすくするための方法として、最も多かった回答は「土日窓口の開設」でその割合は31.6%であった。次いで多かったのが、「カード申請方法の周知・広報」「無料写真撮影」で割合はともに30.6%であった。



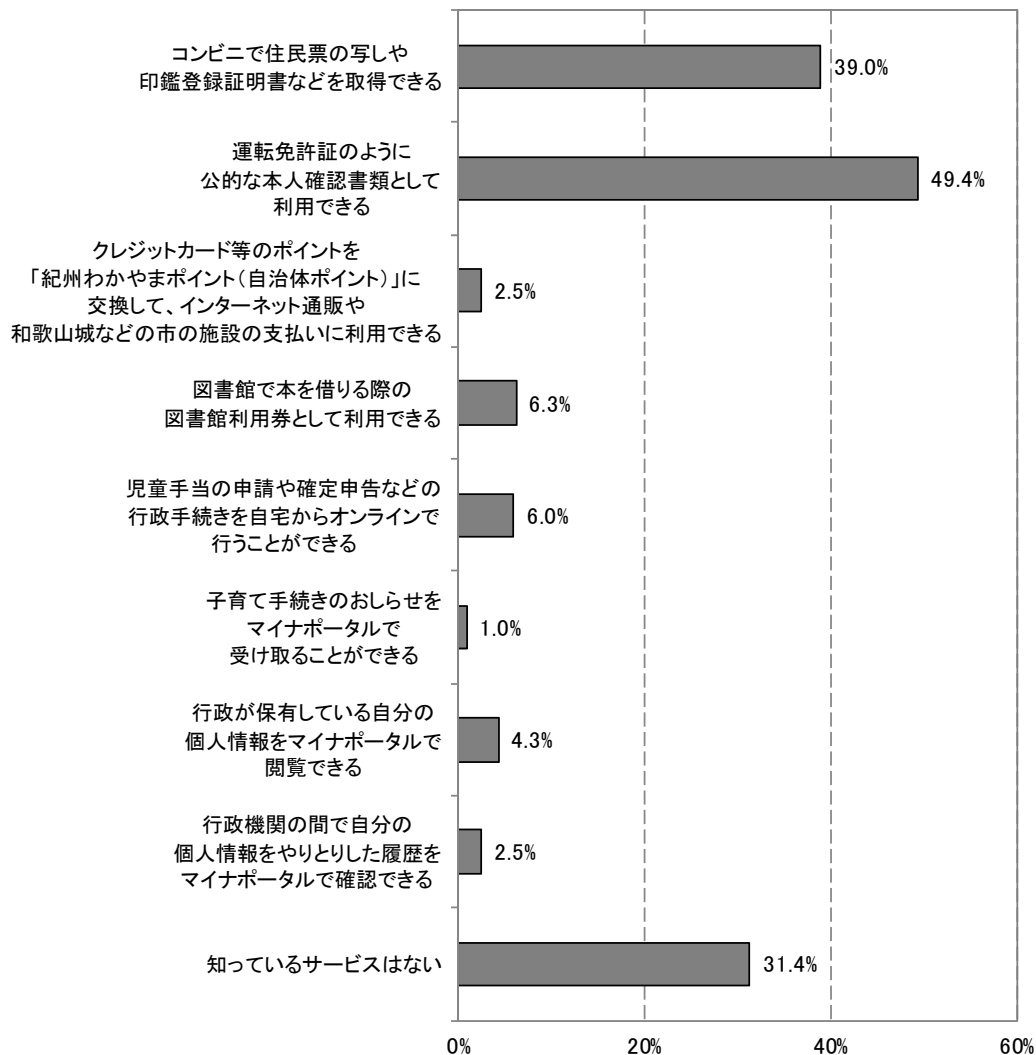
その他：「カードの必要性の周知」、「郵送による申請」、「ネットを使った申請」、「コンビニで受け取り可能にする」など

問 1 1 マイナンバーカードで利用できる和歌山市のサービスの認知度

問 1 1 マイナンバーカードで利用できる和歌山市のサービスについて、知っていることは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. コンビニで住民票の写しや印鑑登録証明書などを取得できる
2. 運転免許証のように公的な本人確認書類として利用できる
3. クレジットカード等のポイントを「紀州わかやまポイント(自治体ポイント)」に交換して、インターネット通販や和歌山城などの市の施設の支払いに利用できる
4. 図書館で本を借りる際の図書館利用券として利用できる
5. 児童手当の申請や確定申告などの行政手続きを自宅からオンラインで行うことができる
6. 子育て手続きのおしらせをマイナポータルで受け取ることができる
7. 行政が保有している自分の個人情報をマイナポータルで閲覧できる
8. 行政機関の間で自分の個人情報をやりとりした履歴をマイナポータルで確認できる
9. 知っているサービスはない

マイナンバーカードで利用できる和歌山市のサービスにおいて、最も知られていた内容は「運転免許証のように公的な本人確認書類として利用できる」でその割合は49.4%となった。次いで多かったのが「コンビニで住民票の写しや印鑑登録証明書などを取得できる」で39.0%となった。またその一方で「知っているサービスはない」と回答された方の割合は31.4%となった。



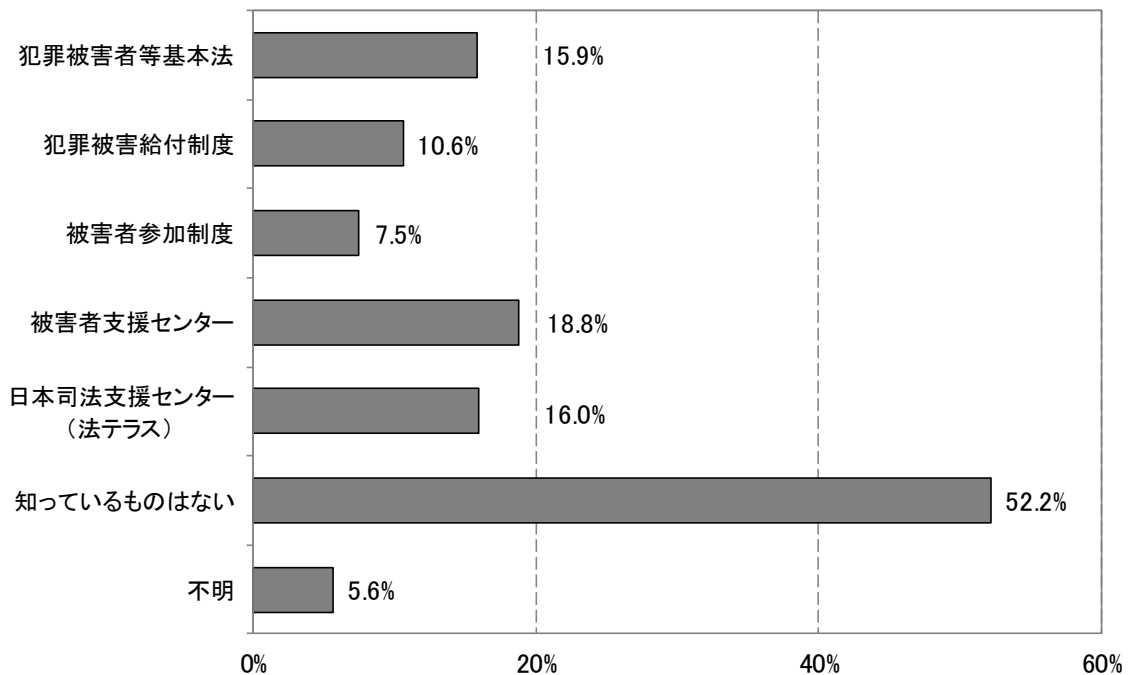
3. 犯罪被害者等について

問12 犯罪被害者等への支援

問12 現在行われている犯罪被害者等の支援に関するもので、知っているものはありますか？
あてはまるものを全てお選びください。

1. 犯罪被害者等基本法
2. 犯罪被害給付制度
3. 被害者参加制度
4. 被害者支援センター
5. 日本司法支援センター（法テラス）
6. 知っているものはない

犯罪被害者等への支援に関する質問で、最も多かった回答は「知っているものはない」でその割合は52.2%であった。次いで多かったのが「被害者支援センター」（18.8%）、「日本司法支援センター（法テラス）」（16.0%）という順となった。

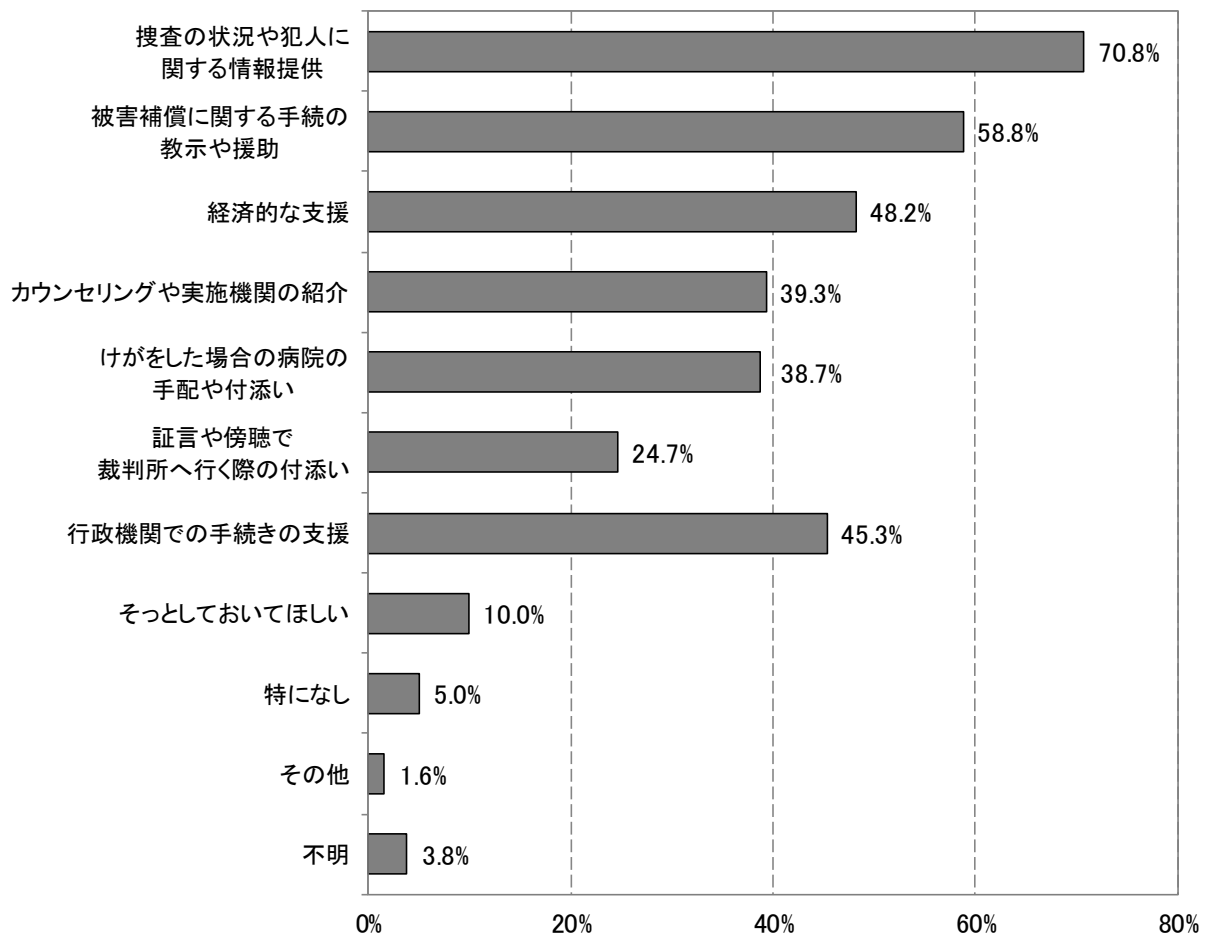


問 1 3 犯罪の被害に遭ったとき望むこと

問 1 3 あなたは、自身またはあなたのご家族が犯罪の被害に遭ったとしたら、どのようなことを望みますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 捜査の状況や犯人に関する情報提供
2. 被害補償に関する手続の教示や援助
3. 経済的な支援
4. カウンセリングや実施機関の紹介
5. けがをした場合の病院の手配や付添い
6. 証言や傍聴で裁判所へ行く際の付添い
7. 行政機関での手続きの支援
8. そっとしておいてほしい
9. 特になし
10. その他

犯罪の被害に遭ったときに望むこととして最も多かった回答は「捜査の状況や犯人に関する情報提供」で割合は70.8%となった。次いで多かった回答として「被害補償に関する手続の教示や援助」(58.8%)、「経済的な支援」(48.2%)と続いた。



その他：「加害者の逮捕・刑罰」、「マスコミからの保護」など

4. 在宅医療について

問14 在宅医療の関心度

問14 あなたは、在宅医療に関心がありますか？あてはまるものを1つお選びください。

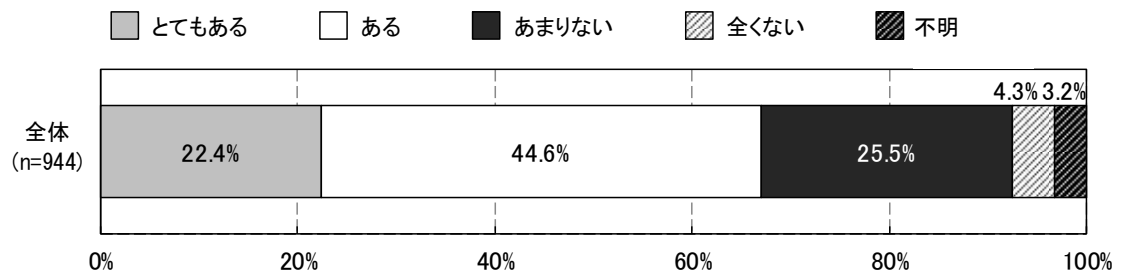
1. とてもある
2. ある
3. あまりない
4. 全くない

在宅医療への関心について、「とてもある」(22.4%)と「ある」(44.6%)をあわせた67.0%が関心を持っており、「あまりない」(25.5%)と「全くない」(4.3%)をあわせた29.8%が関心を持っていない結果となった。

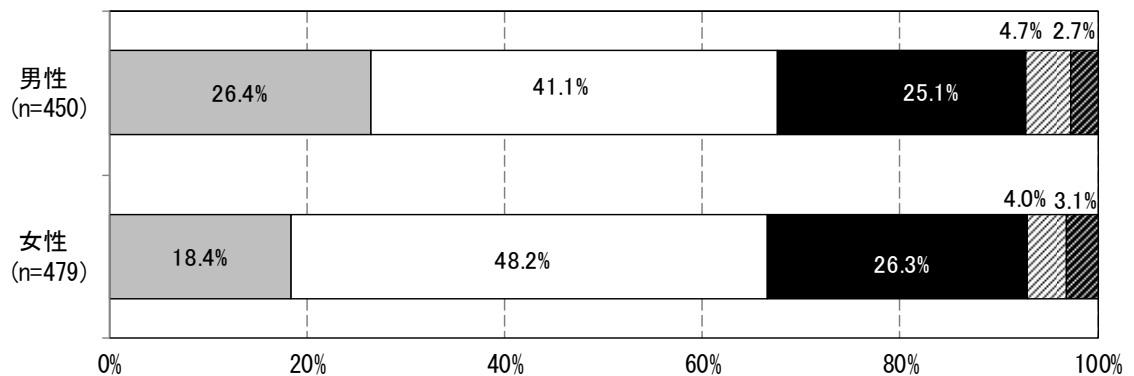
男女別にみると、関心を持っている割合は「男性」が67.5%、「女性」では66.6%となり、大きな違いはなかった。

年代別にみると、関心を持っている割合が最も高いのが「80歳以上」で74.6%となり、最も低い年代は「20～29歳」で42.1%となった。また、50歳以上では関心を持っている割合が70%を上回っている。

<全体>

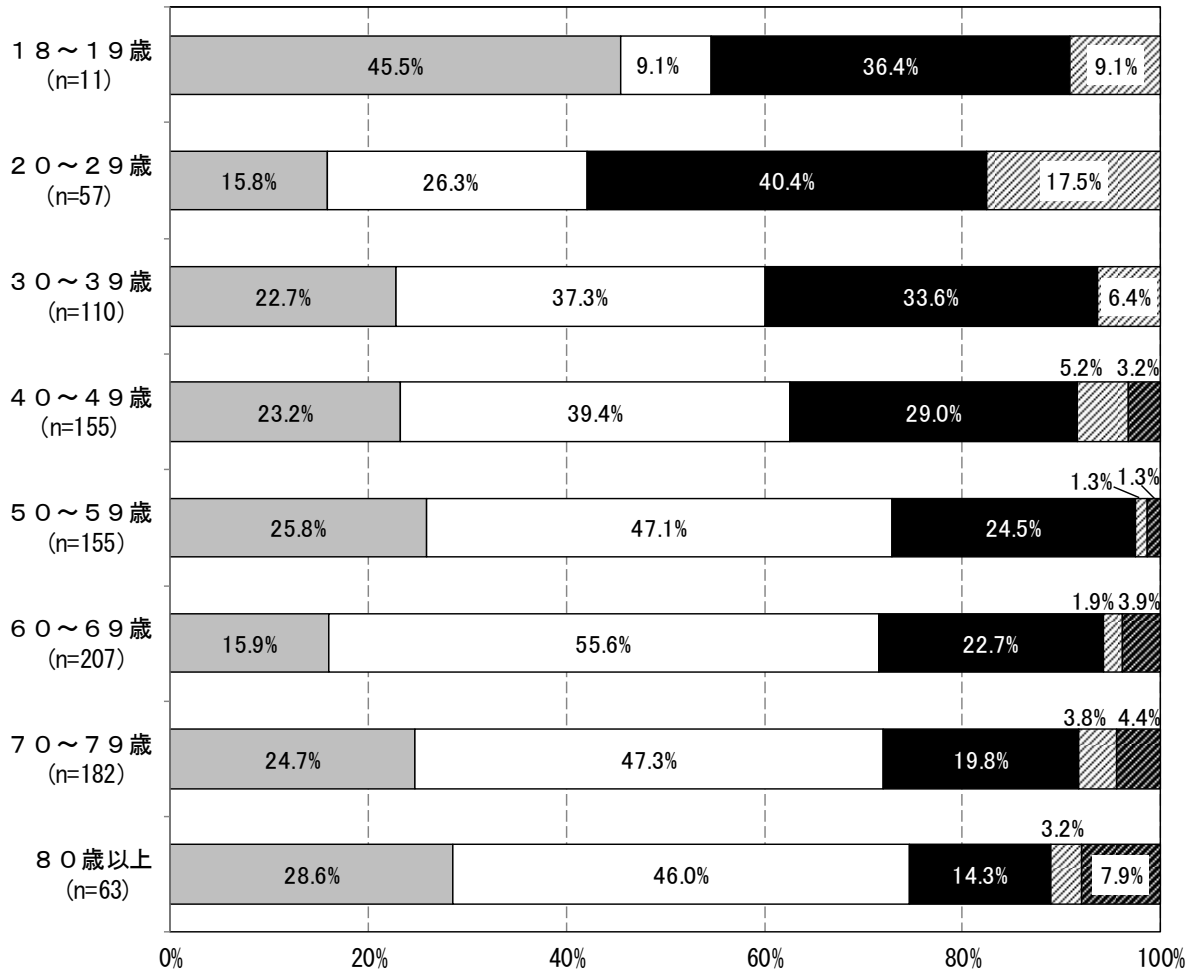


<男女別>



<年代別>

とてもある
 ある
 あまりない
 全くない
 不明



問15 医療や介護が将来必要になったときに主に過ごしたい場所

問15 あなたは、医療や介護が将来必要になったとき、主にどこで過ごしたいですか？あてはまるものを1つお選びください。

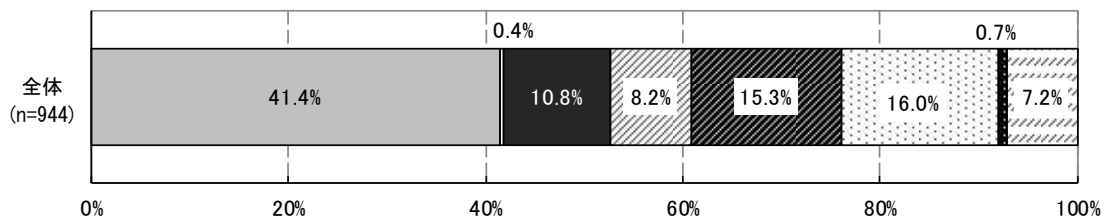
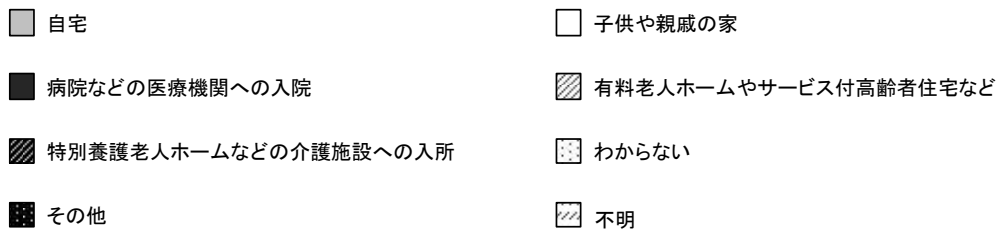
- 1. 自宅
- 2. 子供や親戚の家
- 3. 病院などの医療機関への入院
- 4. 有料老人ホームやサービス付高齢者住宅など
- 5. 特別養護老人ホームなどの介護施設への入所
- 6. わからない
- 7. その他

医療や介護が将来必要になったとき主に過ごしたい場所で最も多かったのが「自宅」でその割合は41.4%であった。次いで「わからない」が16.0%、「特別養護老人ホームなどの介護施設への入所」が15.3%と続いた。

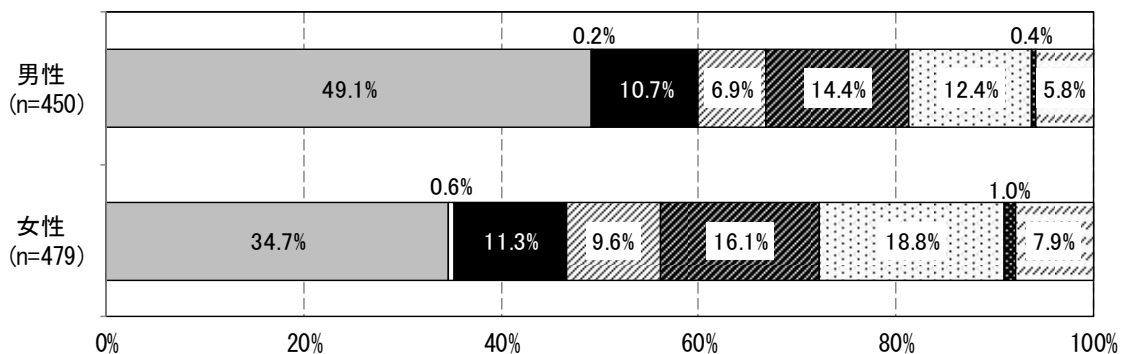
男女別で見ると、男性が「自宅」と回答された割合は49.1%であったが、女性は34.7%となった。また、「特別養護老人ホームなどの介護施設への入所」で過ごしたいと考える男性は14.4%であったが、女性は16.1%となった。

年代別では、「自宅」と回答された割合は、「30～39歳」から「70～79歳」まで減少する傾向が見られた一方、「病院などの医療機関への入院」を回答された割合は増加する傾向が見られた。

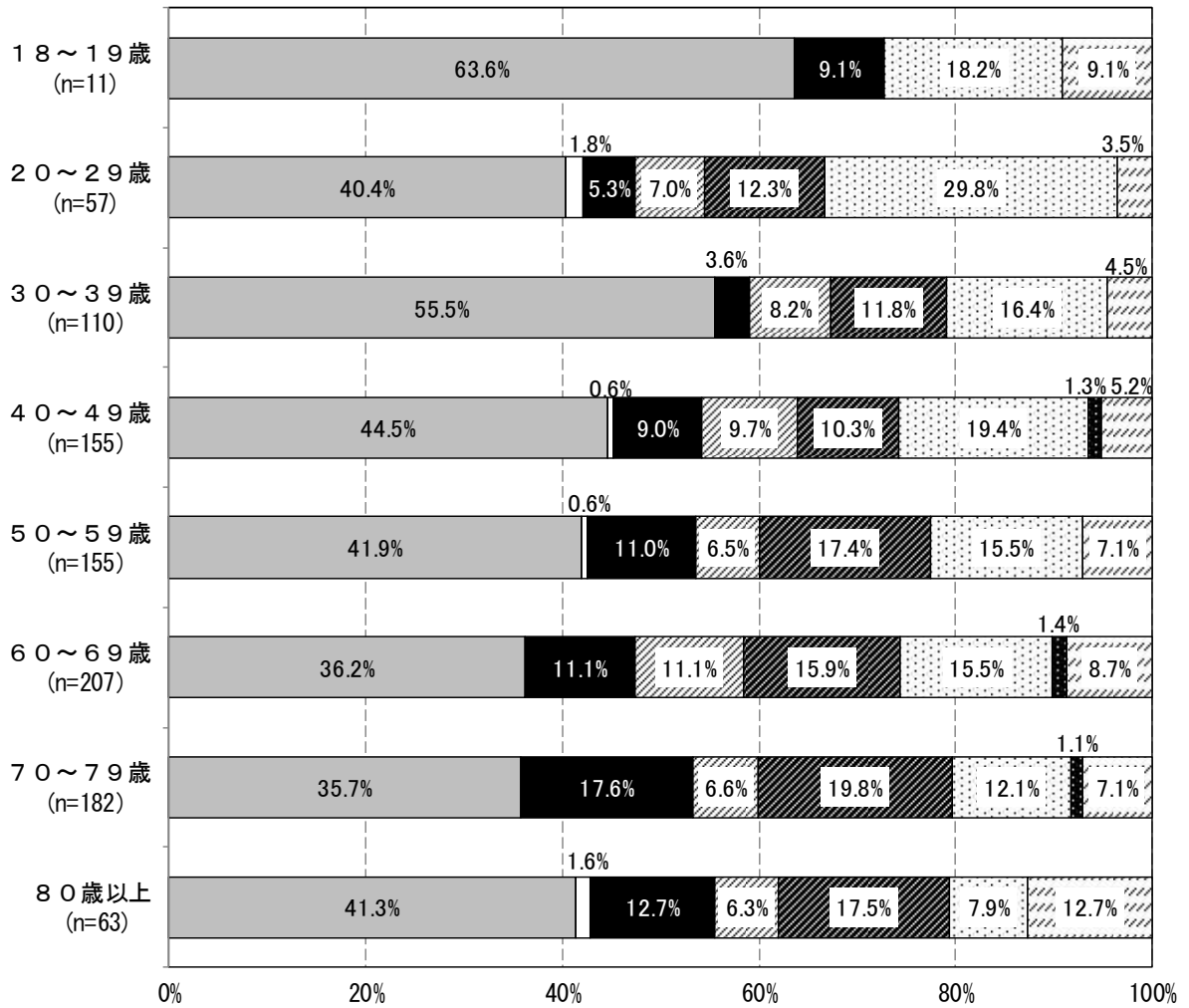
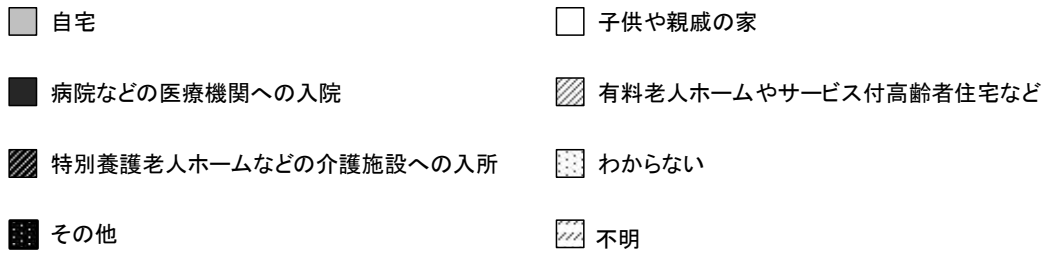
<全体>



<男女別>



<年代別>



その他：「状況による」、「家族に迷惑かけない施設」など

問 1 6 終末期における自宅療養について

問 1 6 あなたは、終末期において自宅で最期まで療養できると思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. できると思う
2. 困難である
3. わからない

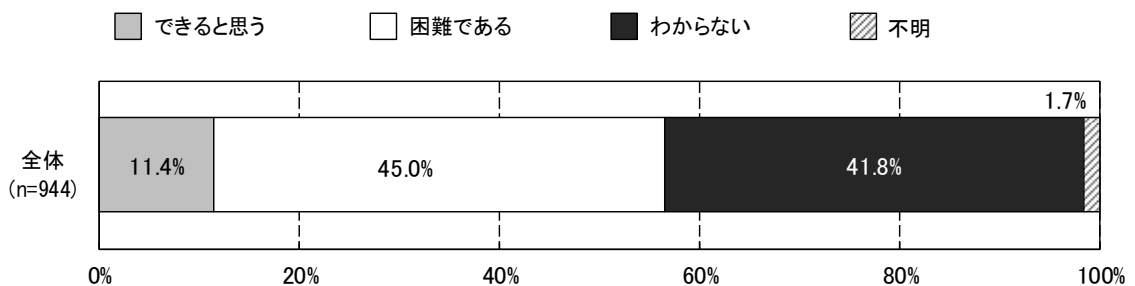
※終末期とは、老衰、病気等の進行により死に至ることを回避する方法がなく、予想される余命が3～6ヶ月以内のことをいいます。

終末期における自宅療養について、「困難である」と回答された方が最も多く、割合は45.0%であった。次いで「わからない」が41.8%、「できると思う」が11.4%と続いた。

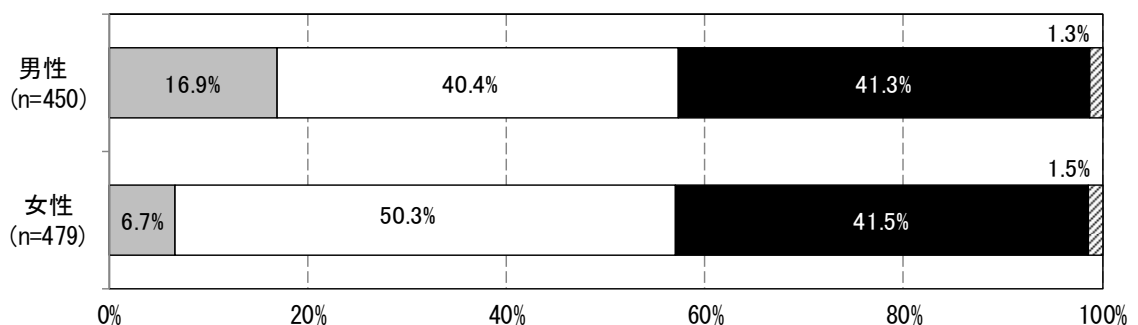
男女別で見ると、「できると思う」と回答された方は、男性では16.9%、女性では6.7%となった。

年代別で見ると、18～39歳の各年代にて「できると思う」と回答された方の割合は20%を超えたが、50～79歳の各年代では10%以下となった。「困難である」と回答された方の割合が最も高かった年代は「50～59歳」で54.2%、最も低かった年代は「20～29歳」で26.3%となった。

<全体>

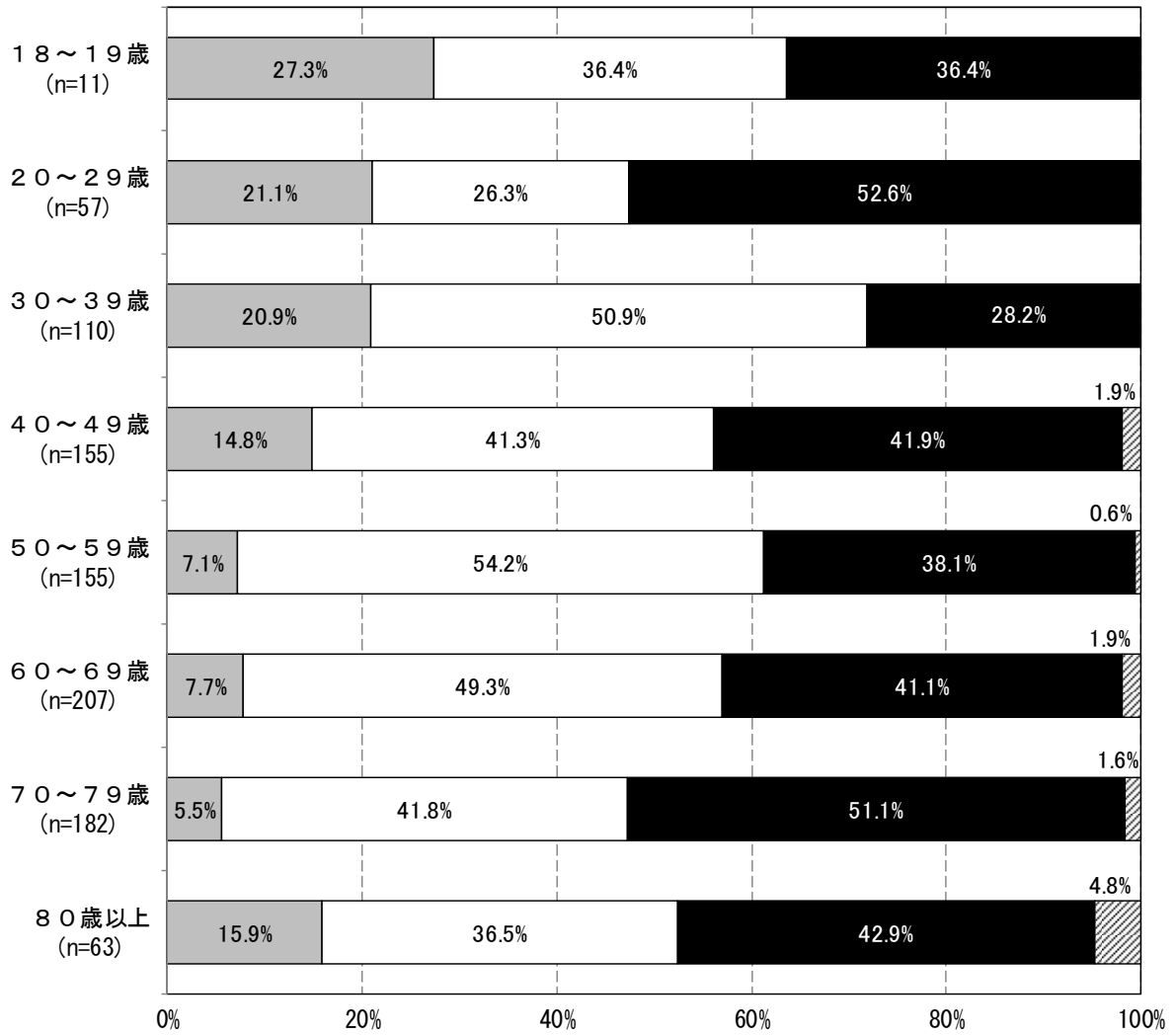


<男女別>



<年代別>

できると思う
 困難である
 わからない
 不明



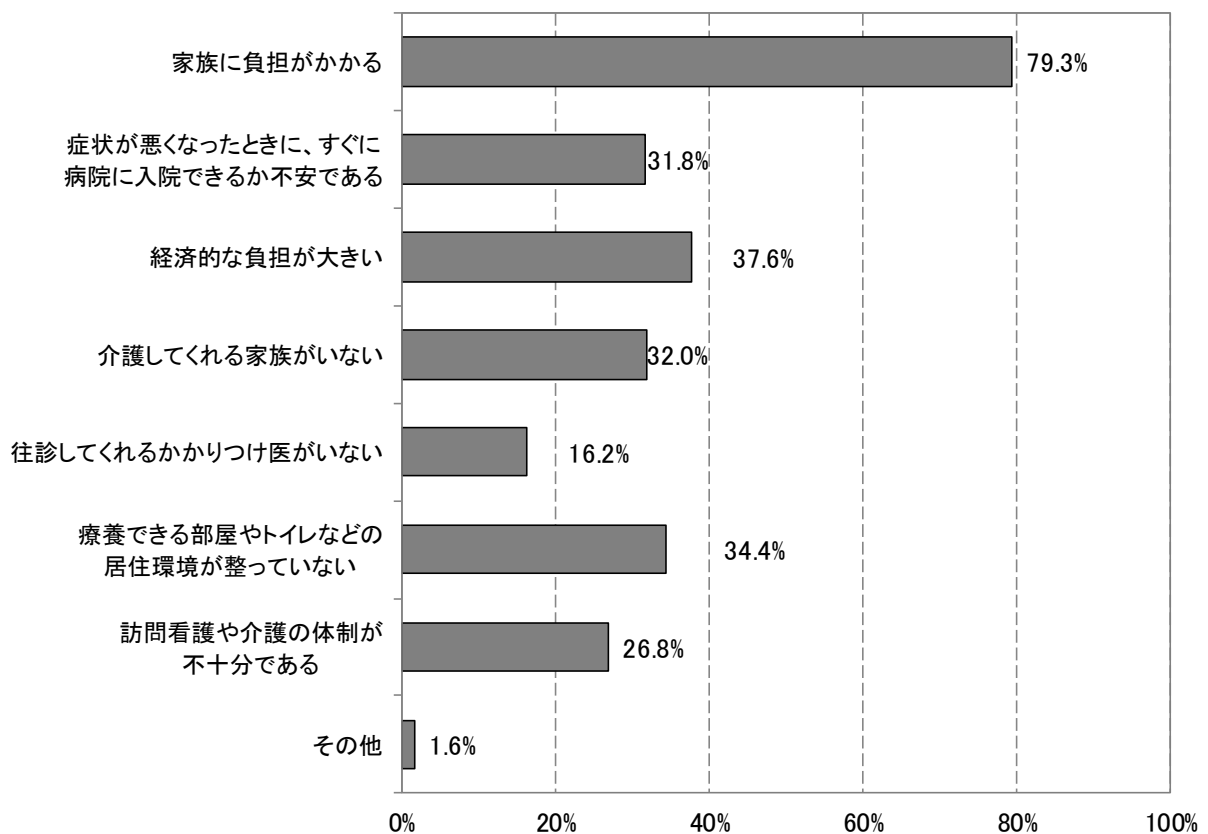
問16-1 終末期における自宅療養が困難な理由

問16-1 問16で「2. 困難である」と回答された方のみお答えください。困難である理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 家族に負担がかかる
2. 症状が悪くなったときに、すぐに病院に入院できるか不安である
3. 経済的な負担が大きい
4. 介護してくれる家族がいない
5. 往診してくれるかかりつけ医がいない
6. 療養できる部屋やトイレなどの居住環境が整っていない
7. 訪問看護や介護の体制が不十分である
8. その他

終末期における自宅療養が困難な理由について、最も多かったのが「家族に負担がかかる」で79.3%となった。次いで、「経済的な負担が大きい」が37.6%、「療養できる部屋やトイレなどの居住環境が整っていない」が34.4%と続いた。

n=425



その他：「災害に対する不安」、「公的援助が複雑で理解できない」など

問17 終末期の医療について家族との話し合いの状況について

問17 あなたは、ご自身やご家族が終末期の状況において、受たい医療や受たくない医療について、日頃からご家族と話し合っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

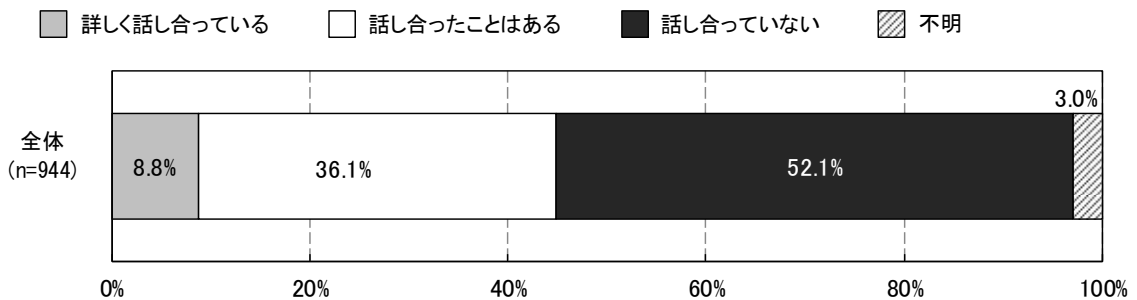
1. 詳しく話し合っている
2. 話し合ったことはある
3. 話し合っていない

全体では、「話し合っていない」と回答された方が最も多く、割合は52.1%だった。次いで、「話し合ったことはある」が36.1%、「詳しく話し合っている」が8.8%の順となった。

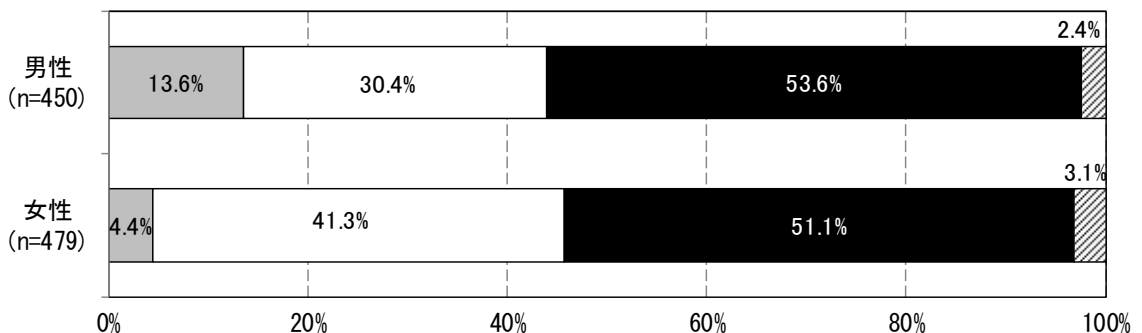
男女別では、男女ともに「話し合っていない」と回答された方が最も多く、「男性」は53.6%、「女性」は51.1%であった。

年代別では、「話し合っていない」と回答された方の割合が最も高かったのが「18～19歳」で72.7%、「80歳以上」は最も低く44.4%となり、60歳以上の割合が低めとなっている。

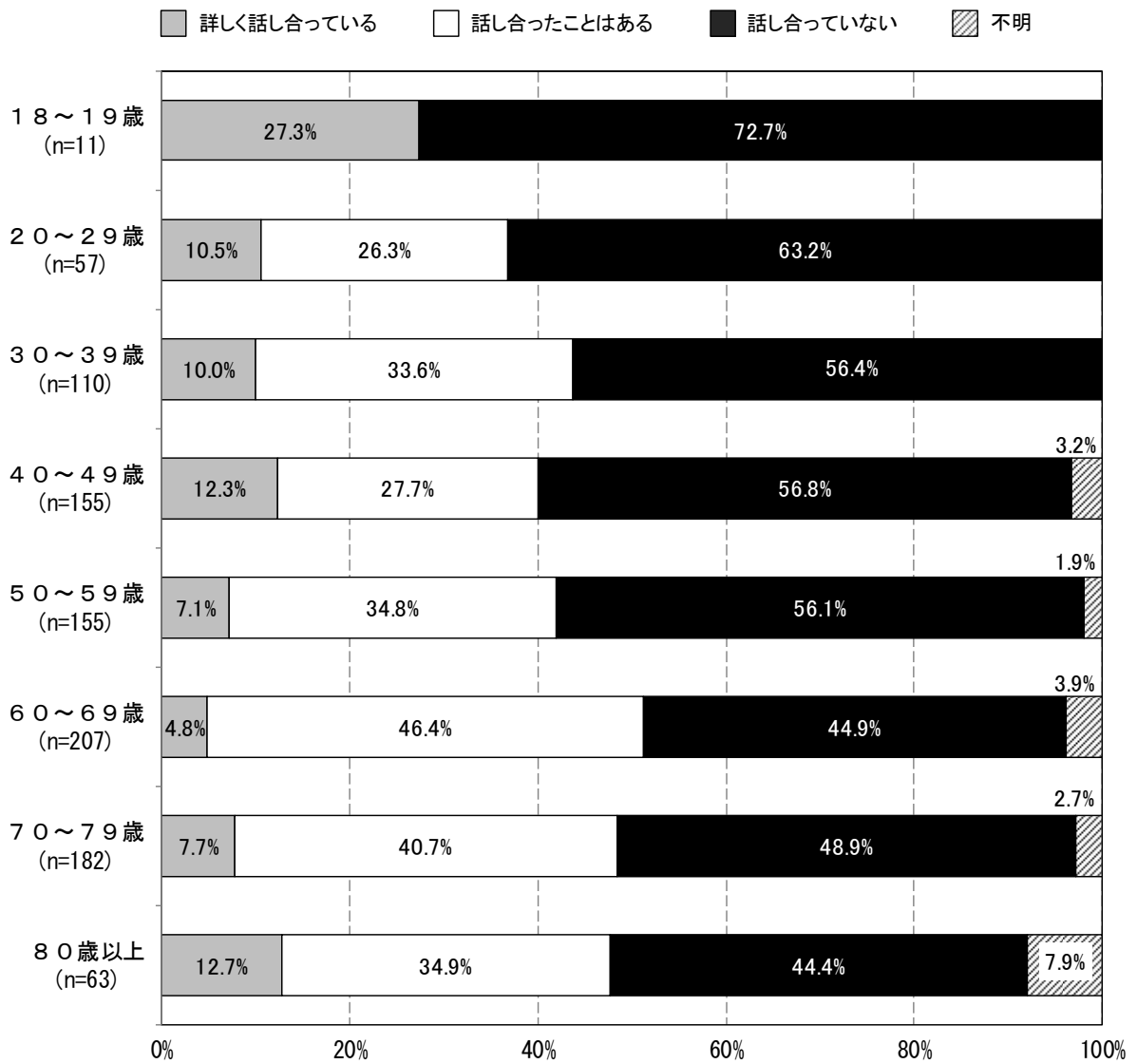
<全体>



<男女別>



<年代別>



5. 自殺対策について

問18 自殺を考えたことがあるかどうかについて

問18 あなたは、これまでの人生のなかで、自殺したい、またはそれに近いことを考えたことがありますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 考えたことがある

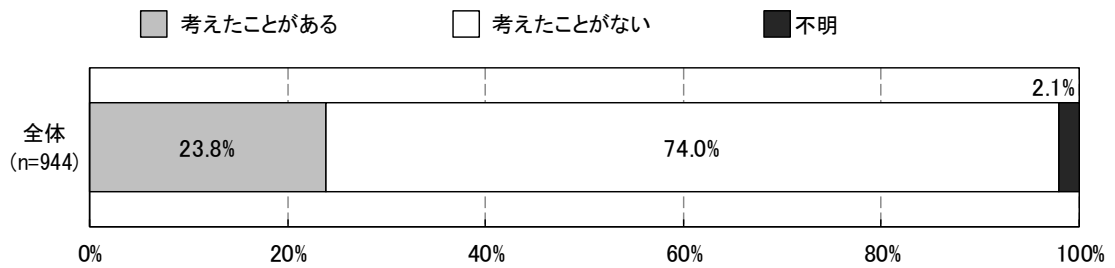
2. 考えたことがない

自殺を考えたことがあるかどうかについて、「考えたことがある」が23.8%となっており、「考えたことがない」の74.0%を下回っている。

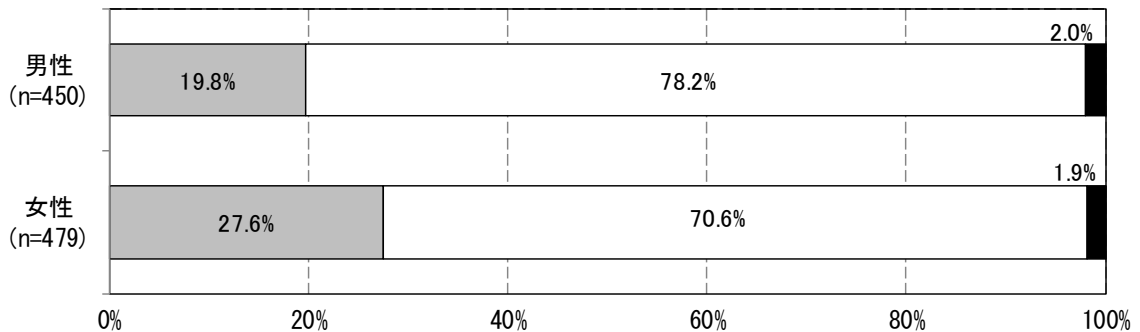
男女別では、「考えたことがある」と回答された方は、男性では19.8%、女性では27.6%と女性のほうが高い割合となった。

年代別では、「考えたことがある」と回答された方の割合が最も高かった年代は、「30～39歳」で33.6%となり、20～59歳の年代で高めの傾向、70歳以上の年代で低めの傾向が見られた。

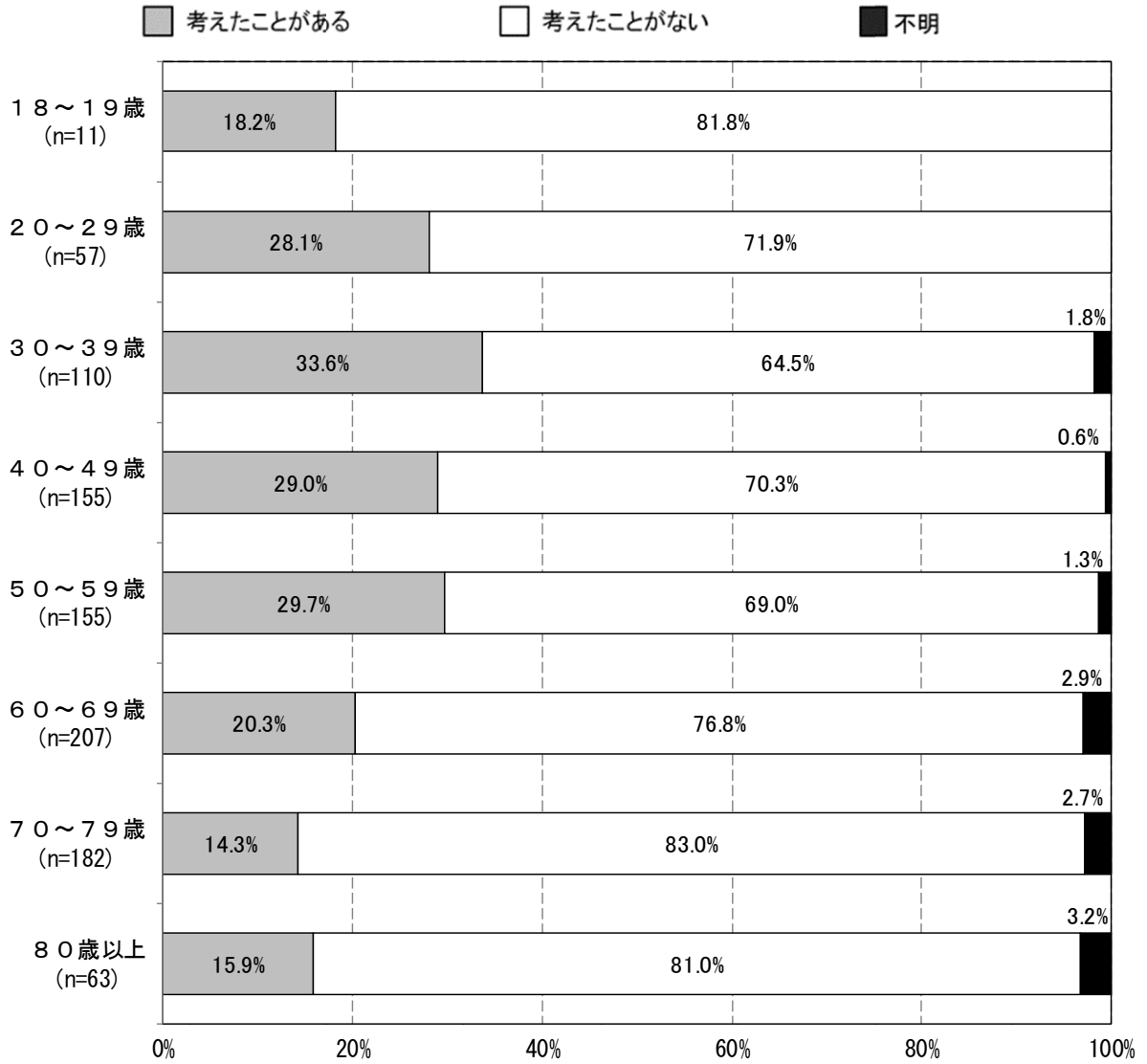
<全体>



<男女別>



<年代別>



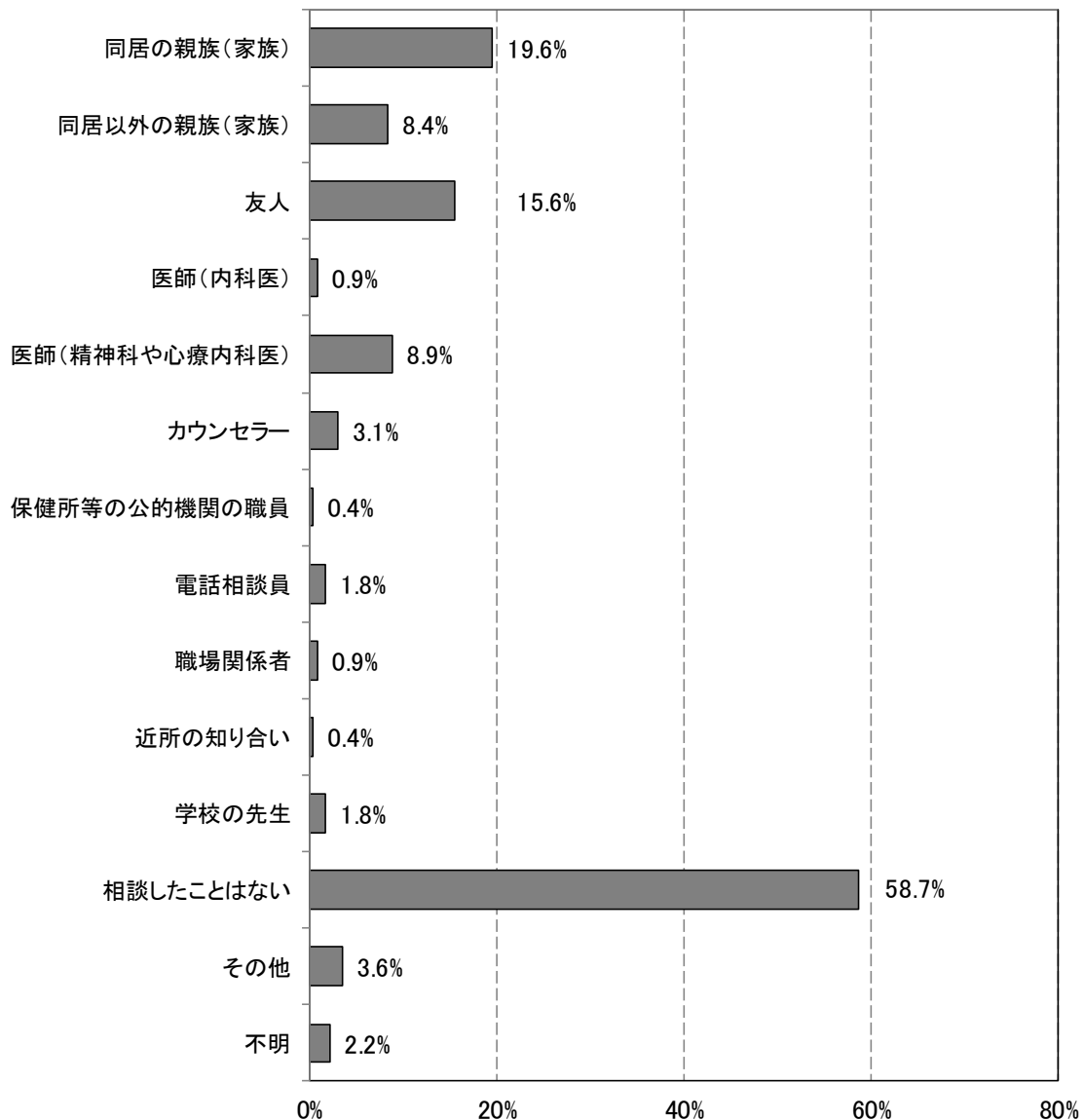
問18-1 自殺を考えたことがある方の相談相手について

問18-1 問18で「1. 考えたことがある」と回答された方のみお答えください。あなたは自殺、またはそれに近いことを考えたとき、誰かに相談しましたか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 同居の親族（家族） | 8. 電話相談員 |
| 2. 同居以外の親族（家族） | 9. 職場関係者 |
| 3. 友人 | 10. 近所の知り合い |
| 4. 医師（内科医） | 11. 学校の先生 |
| 5. 医師（精神科や心療内科医） | 12. 相談したことはない |
| 6. カウンセラー | 13. その他 |
| 7. 保健所等の公的機関の職員 | |

自殺を考えたことがある方の相談相手について、最も多かったのが「相談したことはない」で58.7%であった。次いで、「同居の親族（家族）」で19.6%、「友人」で15.6%と続いた。

n=225



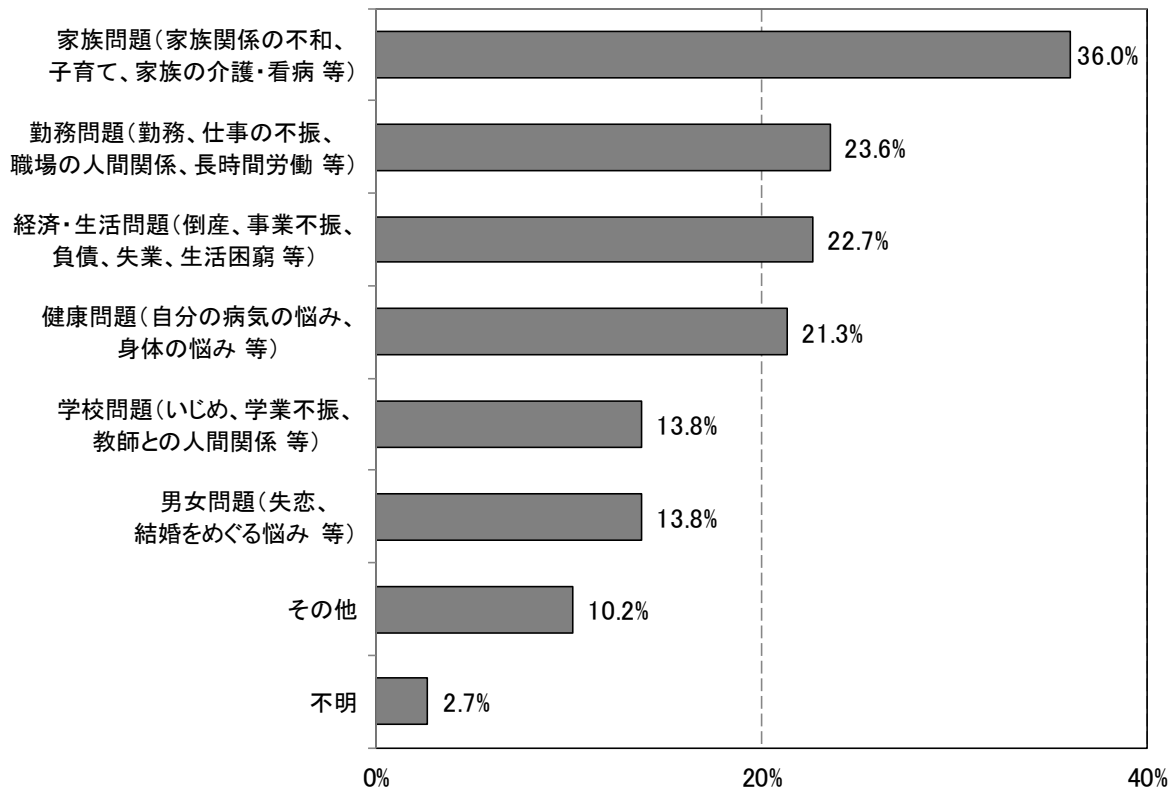
問18-2 自殺を考えた要因

問18-2 問18で「1. 考えたことがある」と回答された方のみお答えください。あなたが自殺、またはそれに近いことを考えた要因となったものは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 家族問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病 等）
2. 勤務問題（勤務、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働 等）
3. 経済・生活問題（倒産、事業不振、負債、失業、生活困窮 等）
4. 健康問題（自分の病気の悩み、身体の悩み 等）
5. 学校問題（いじめ、学業不振、教師との人間関係 等）
6. 男女問題（失恋、結婚をめぐる悩み 等）
7. その他

自殺を考える要因で最も多かったのが「家族問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病 等）」でその割合は36.0%となった。次いで、「勤務問題（勤務、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働 等）」が23.6%、「経済・生活問題（倒産、事業不振、負債、失業、生活困窮 等）」が22.7%と続いた。

n=225



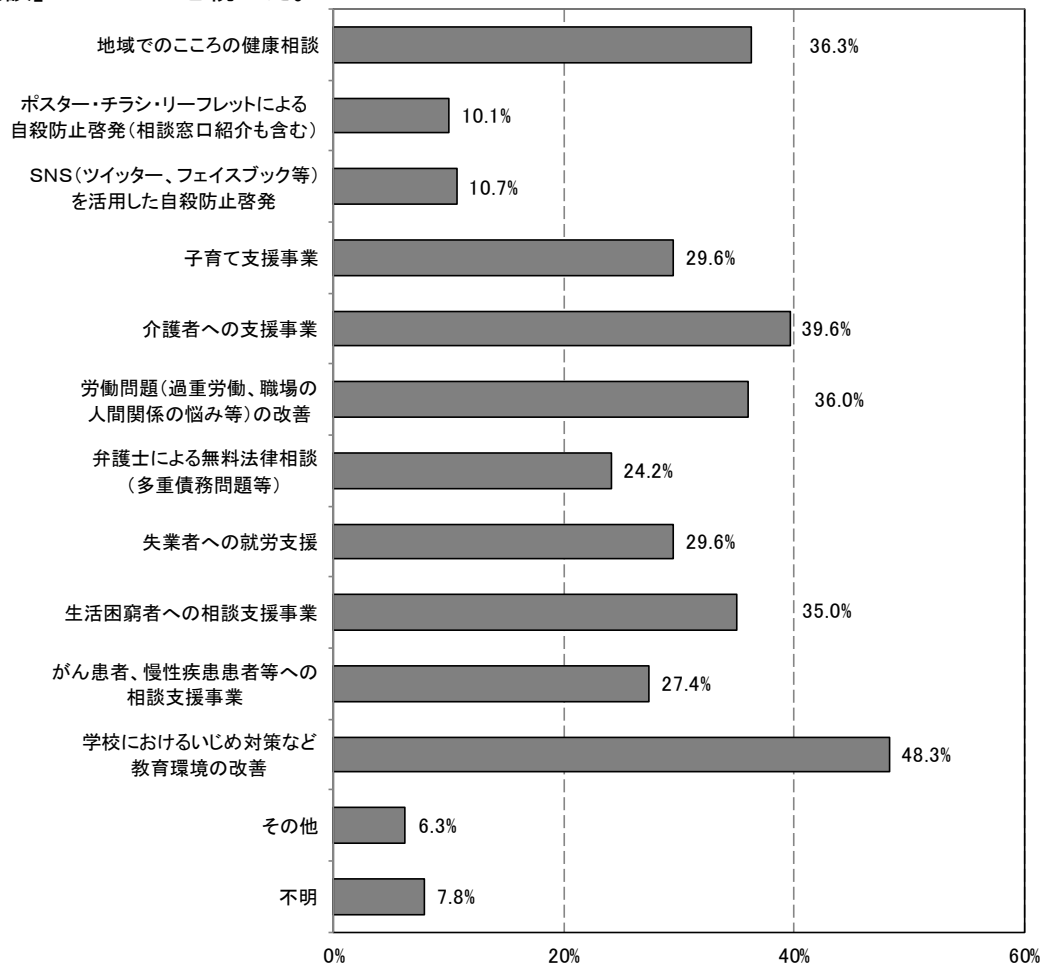
その他：「金銭問題、ギャンブル」、「近親者の死」など

問 19 自殺防止対策として効果的な方法

問 19 あなたは、自殺防止対策として効果的だと思うものは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 地域でのこころの健康相談
2. ポスター・チラシ・リーフレットによる自殺防止啓発（相談窓口紹介も含む）
3. SNS（ツイッター、フェイスブック等）を活用した自殺防止啓発
4. 子育て支援事業
5. 介護者への支援事業
6. 労働問題（過重労働、職場の人間関係の悩み等）の改善
7. 弁護士による無料法律相談（多重債務問題等）
8. 失業者への就労支援
9. 生活困窮者への相談支援事業
10. がん患者、慢性疾患患者等への相談支援事業
11. 学校におけるいじめ対策など教育環境の改善
12. その他

自殺防止対策として効果的な方法として最も回答が多かったのが「学校におけるいじめ対策など教育環境の改善」で割合は48.3%となった。次いで「介護者への支援事業」で39.6%、「地域でのこころの健康相談」で36.3%と続いた。



その他：「家族の支え」、「周りの人の支え」など

6. 消防団について

問20 消防団の認知度

問20 あなたは、消防団を知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 活動の内容を含めて知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
3. 全く知らない

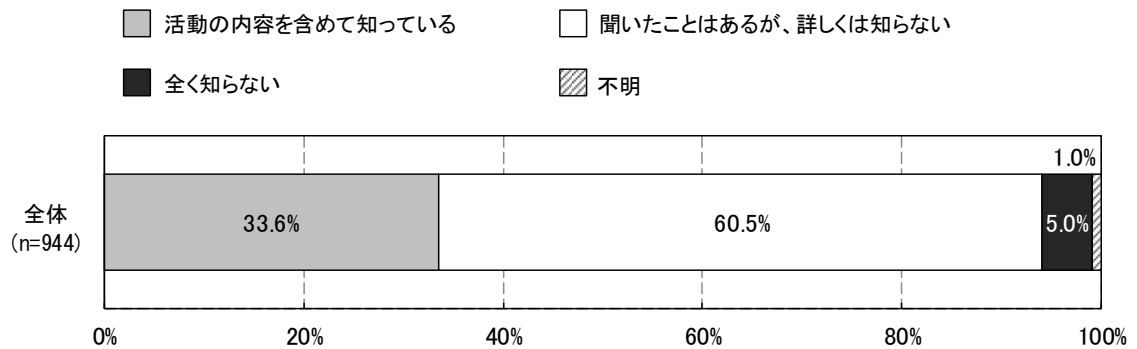
消防団の認知度について、最も多かった回答は「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」(60.5%)となった。次いで、「活動の内容を含めて知っている」(33.6%)「全く知らない」(5.0%)となった。

男女別では、「活動内容を含めて知っている」を回答された割合は男性 41.8%、女性 25.7%となり、男性の認知度が高くなっている。

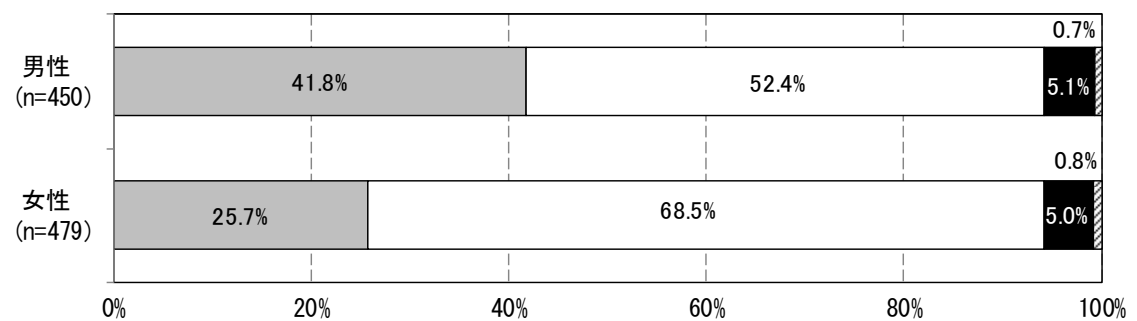
年代別では、「活動内容を含めて知っている」と回答された割合は40歳以上では30%を超えている。

地域別では、「活動内容を含めて知っている」と回答された割合は、「東南部」(42.9%)が最も高く、「河西部」(23.9%)が最も低い。

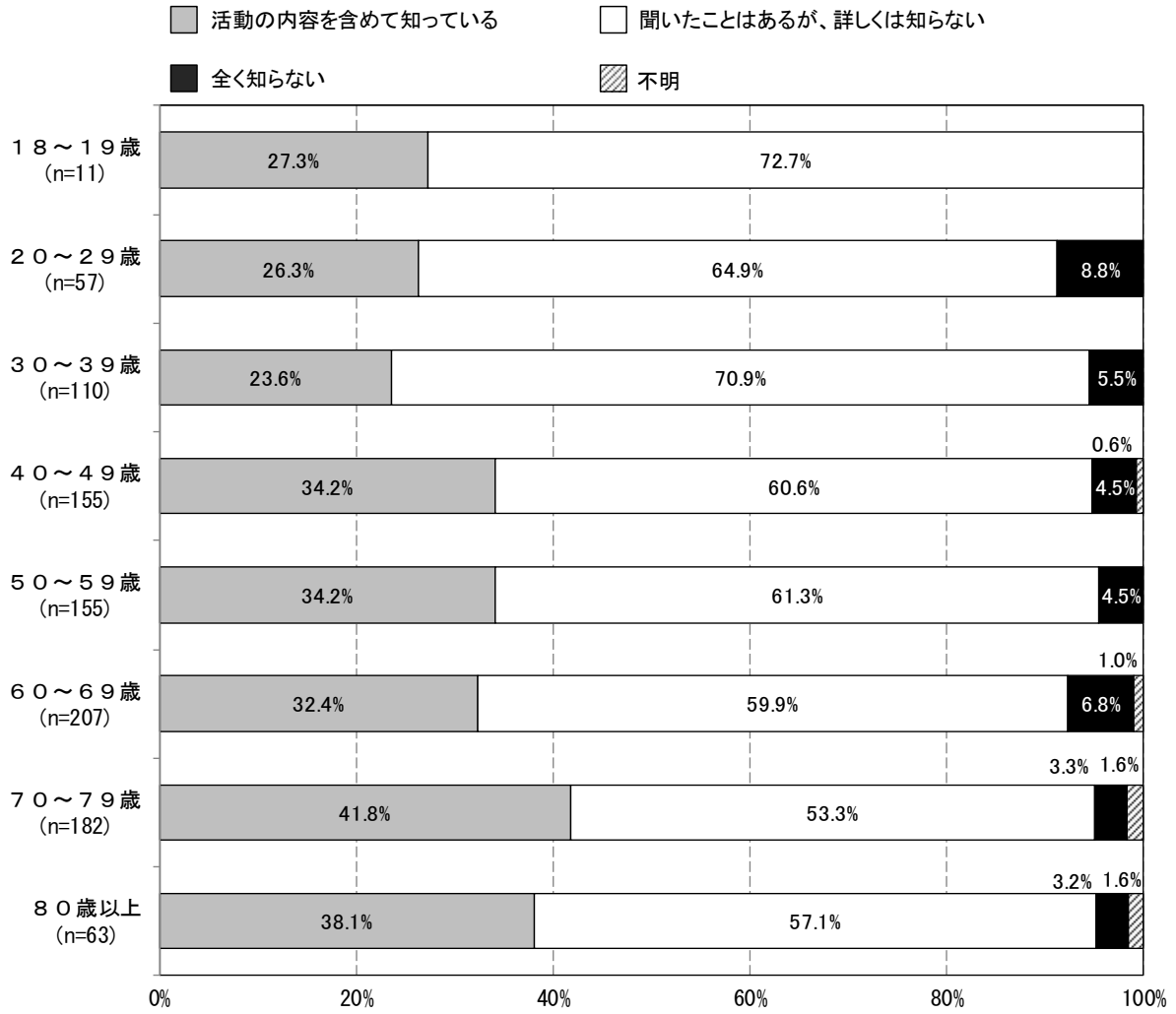
<全体>



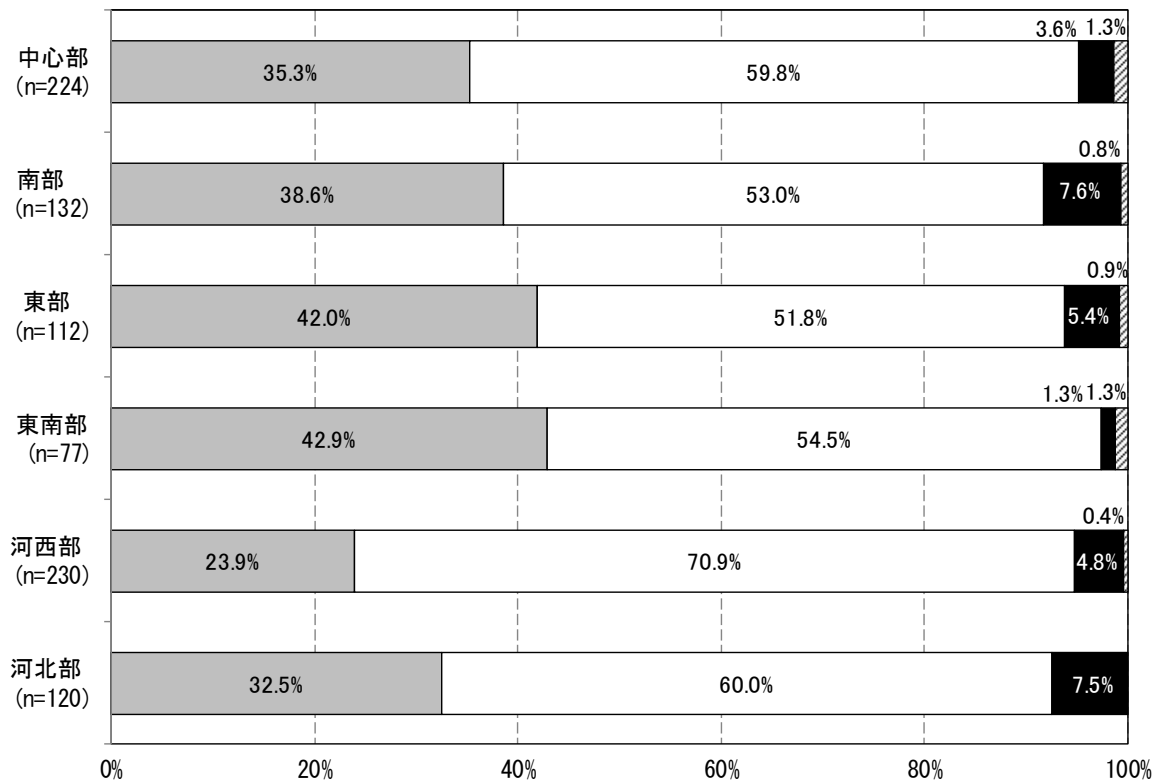
<男女別>



<年代別>



<地域別>



問 2 1 消防団の活動に対する評価

問 2 1 あなたは、消防団の活動をどのように評価されますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 大きく貢献しているため、必要不可欠である
2. あまり必要のない組織である
3. よく分からない

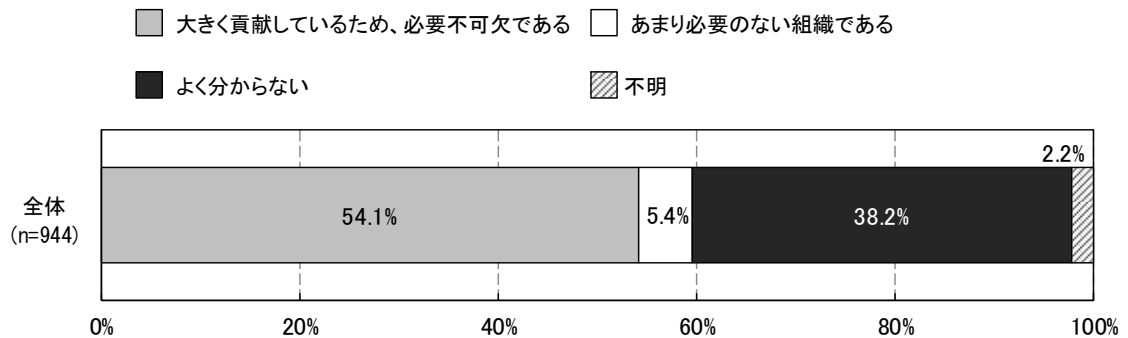
消防団の活動について、「大きく貢献しているため、必要不可欠である」と回答された方が最も多く、その割合は54.1%となった。

男女別では、男性で「大きく貢献しているため、必要不可欠である」と回答された方の割合は60.9%、女性では47.4%となり、男性のほうが高く評価している傾向が見られた。

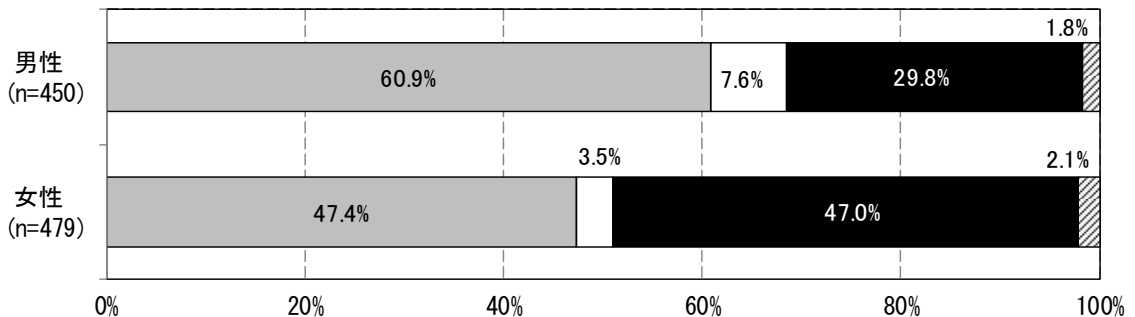
年代別では、「大きく貢献しているため、必要不可欠である」と回答された方の割合が最も低かった年代は「30～39歳」でその割合は40.0%であった。また、最も高かったのは「80歳以上」で71.4%となり、「30～39歳」から年代が上がるに従って、高く評価する割合が増える傾向が見られた。

地域別では、「大きく貢献しているため、必要不可欠である」と回答された方の割合が高かった地域は、「東南部」で63.6%、「東部」で60.7%であった。また、低かった地域は「河西部」で48.3%「河北部」で49.2%となった。

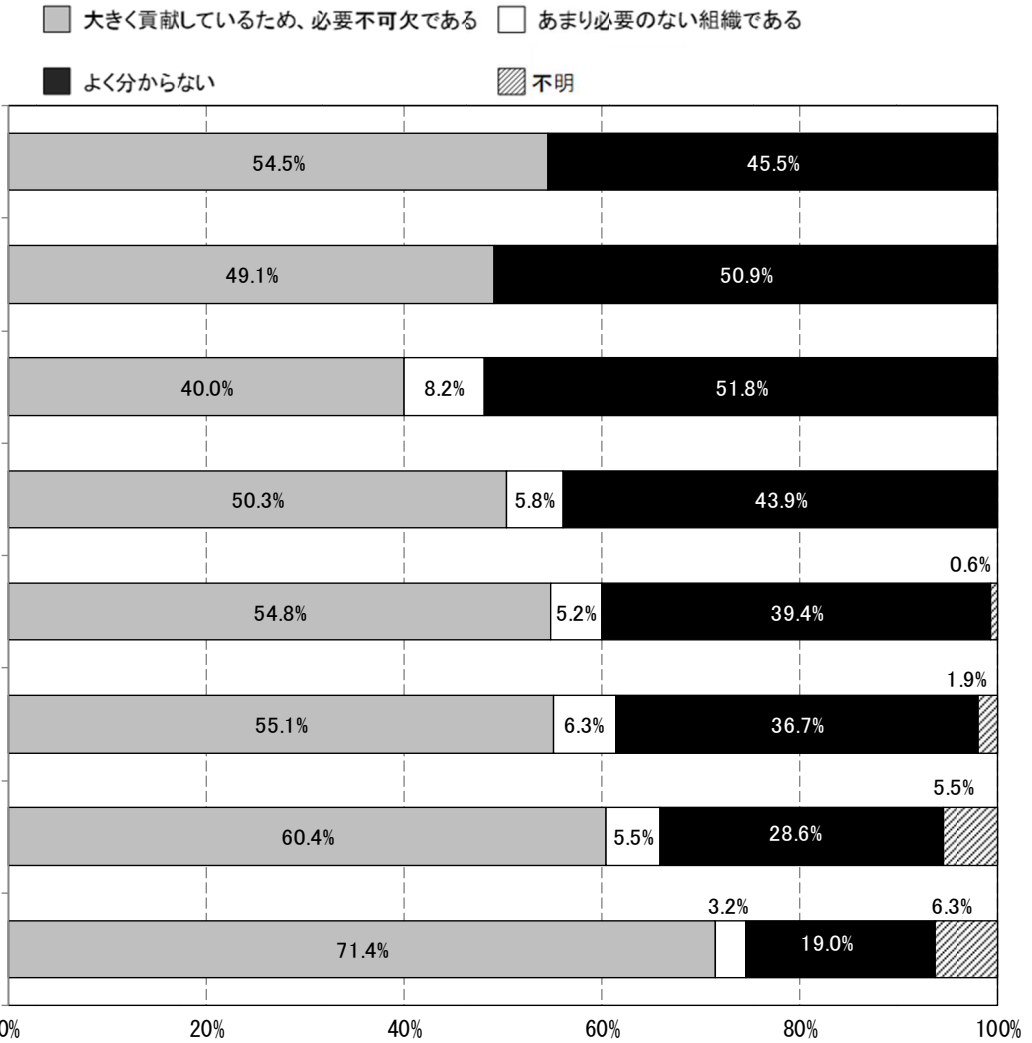
<全体>



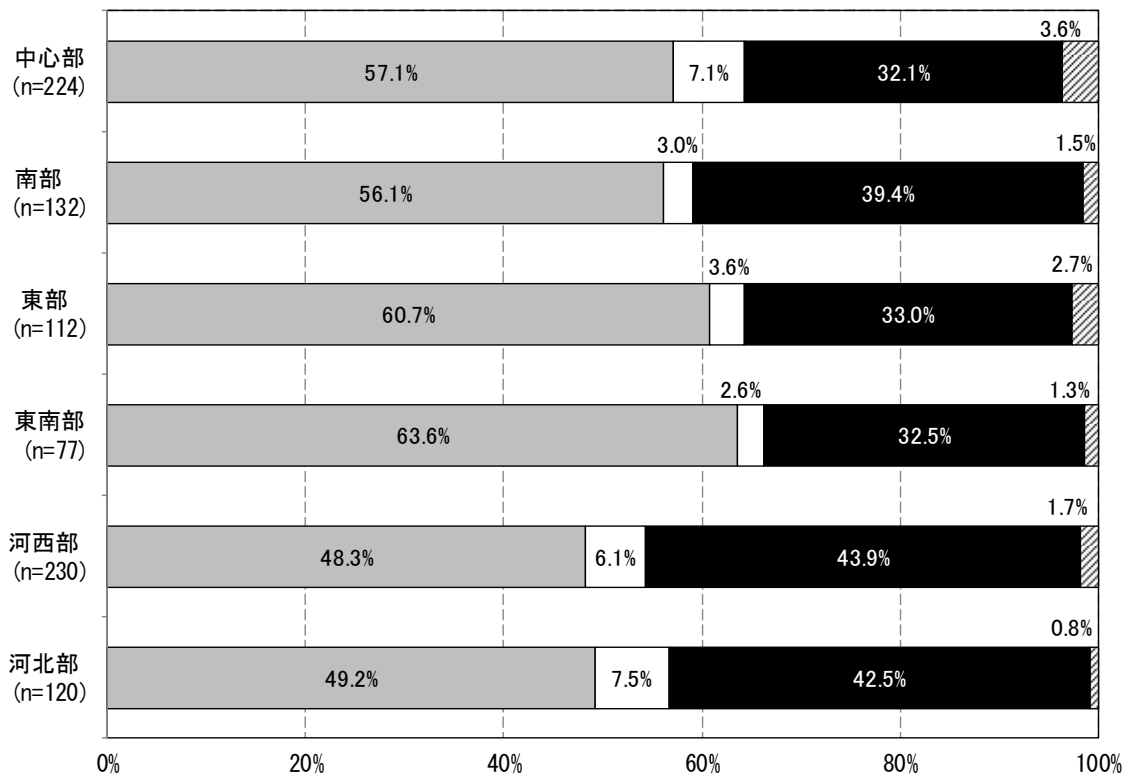
<男女別>



<年代別>



<地域別>

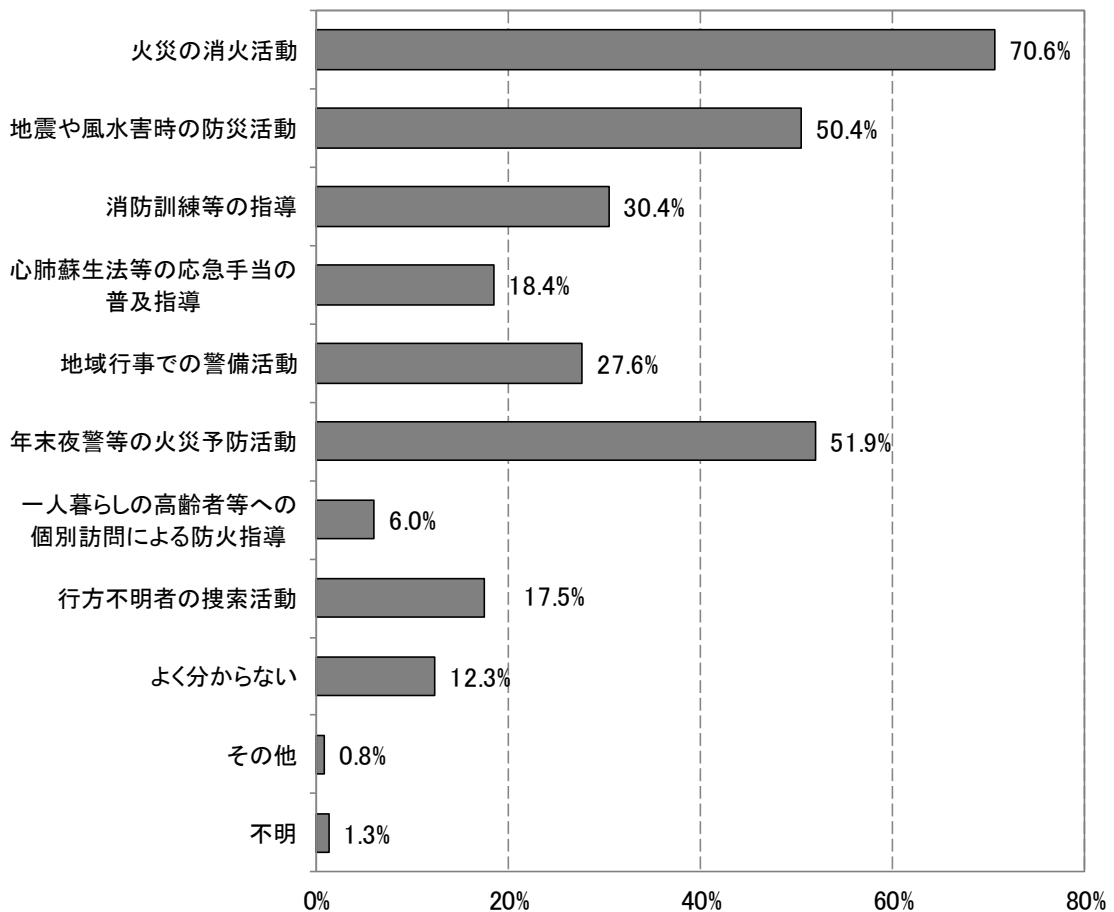


問 2 2 消防団の活動のイメージ

問 2 2 あなたは、消防団の活動でイメージが強いのはどの活動ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 火災の消火活動
2. 地震や風水害時の防災活動
3. 消防訓練等の指導
4. 心肺蘇生法等の応急手当の普及指導
5. 地域行事での警備活動
6. 年末夜警等の火災予防活動
7. 一人暮らしの高齢者等への個別訪問による防火指導
8. 行方不明者の搜索活動
9. よく分からない
10. その他

消防団の活動のイメージについて、最も多かった回答が「火災の消火活動」で 70.6%となった。次いで、「年末夜警等の火災予防活動」で 51.9%、「地震や風水害時の防災活動」で 50.4%と続いた。



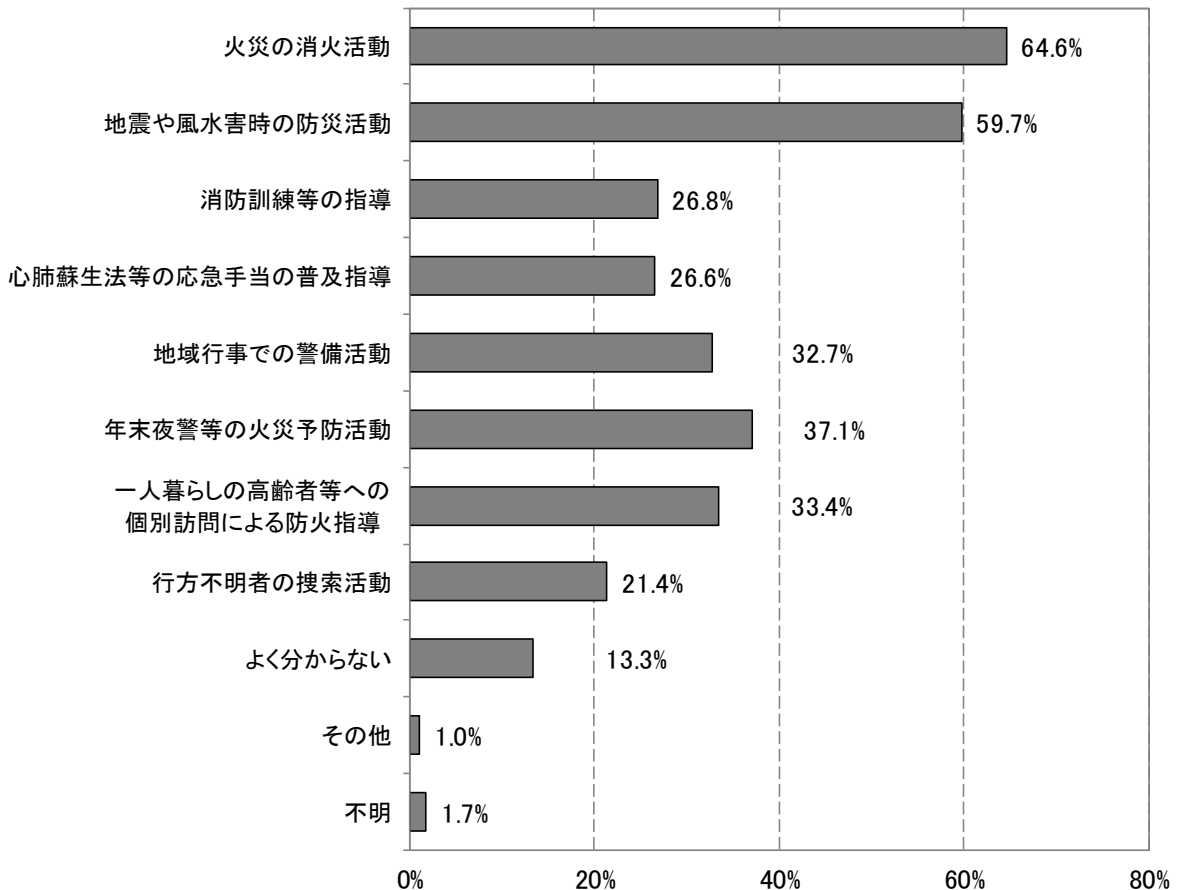
その他：「何もしていない」、「任務外のイベントがある」、「旅行等の打ち上げ」など

問 2 3 消防団に望む活動

問 2 3 あなたが、消防団に望む活動はなんですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 火災の消火活動
2. 地震や風水害時の防災活動
3. 消防訓練等の指導
4. 心肺蘇生法等の応急手当の普及指導
5. 地域行事での警備活動
6. 年末夜警等の火災予防活動
7. 一人暮らしの高齢者等への個別訪問による防火指導
8. 行方不明者の搜索活動
9. よく分からない
10. その他

消防団に望む活動として最も多かったのが、「火災の消火活動」で割合は 64.6%となった。次いで、「地震や風水害時の防災活動」で 59.7%、「年末夜警等の火災予防活動」で 37.1%となった。



その他：「定期的な火災予防等の啓発活動」、「特にない」など

問24 消防団への入団意思

問24 あなたは、消防団への勧誘があった場合、消防団に入りますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 入団したい
2. 話を聞いて検討したい
3. 入団したくない

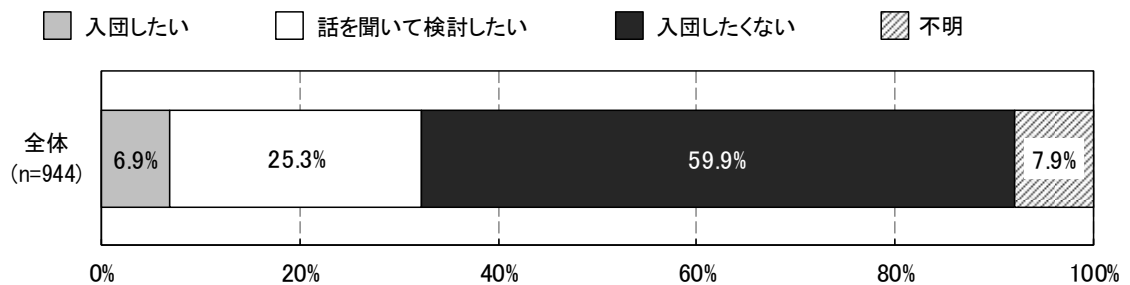
勧誘があった場合、消防団に入るかどうかについて、「入団したくない」が59.9%となっており、「入団したい」の6.9%を大きく上回っている。

男女別では「入団したい」と回答された男性の割合は13.1%、女性は1.3%と大きな差異が見られた。

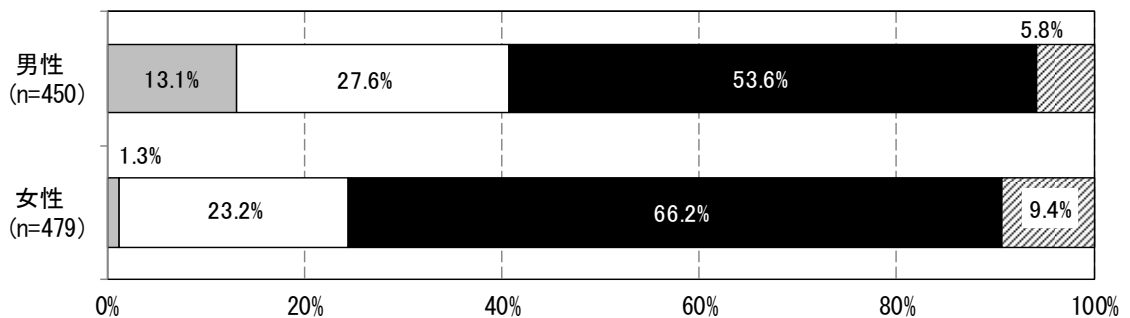
年代別では、「入団したい」と回答された割合が最も低いのが「70～79歳」で2.7%となり、49歳以下が10%以上と他の年代より高めとなっている。

地域別では、「入団したい」と回答された方の割合が高かった地域は「東部」で10.7%、「東南部」で10.4%となった。また、低かった地域は「河西部」で2.6%「河北部」で3.3%となった。

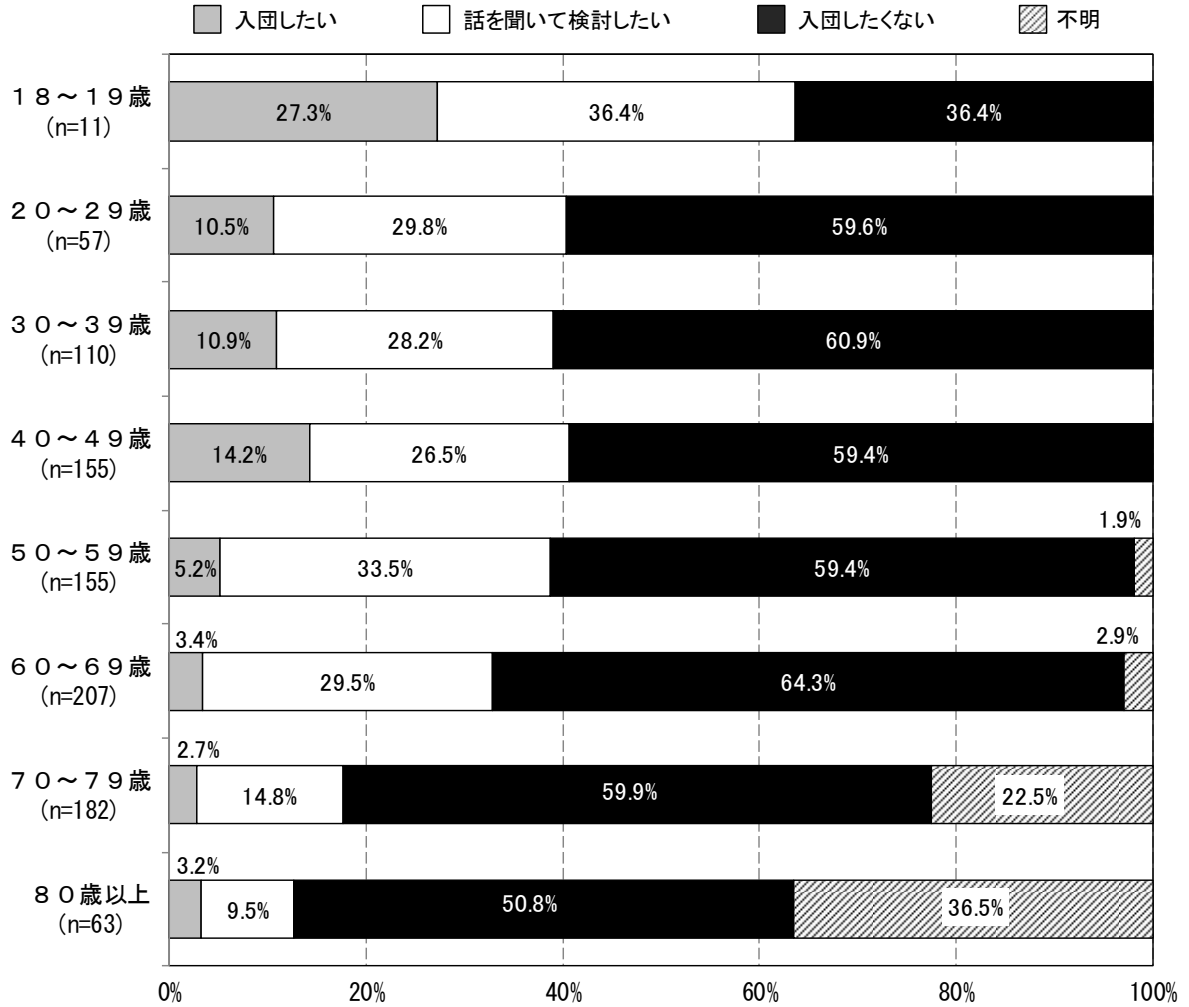
<全体>



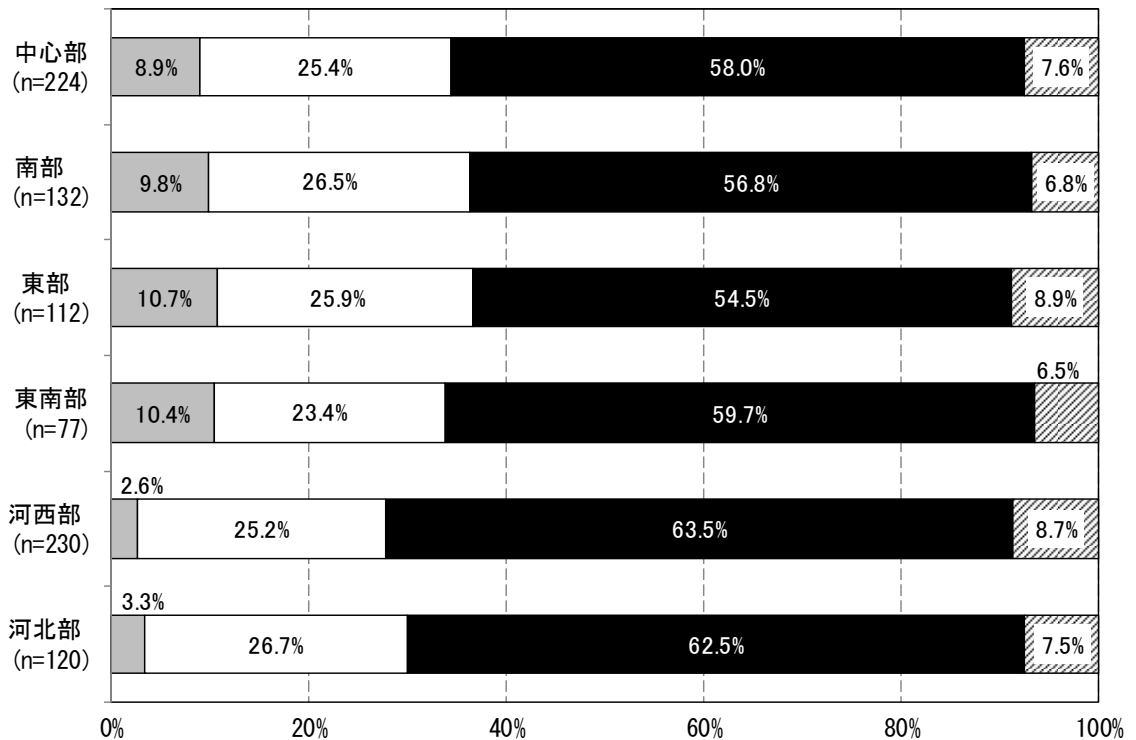
<男女別>



<年代別>



<地域別>



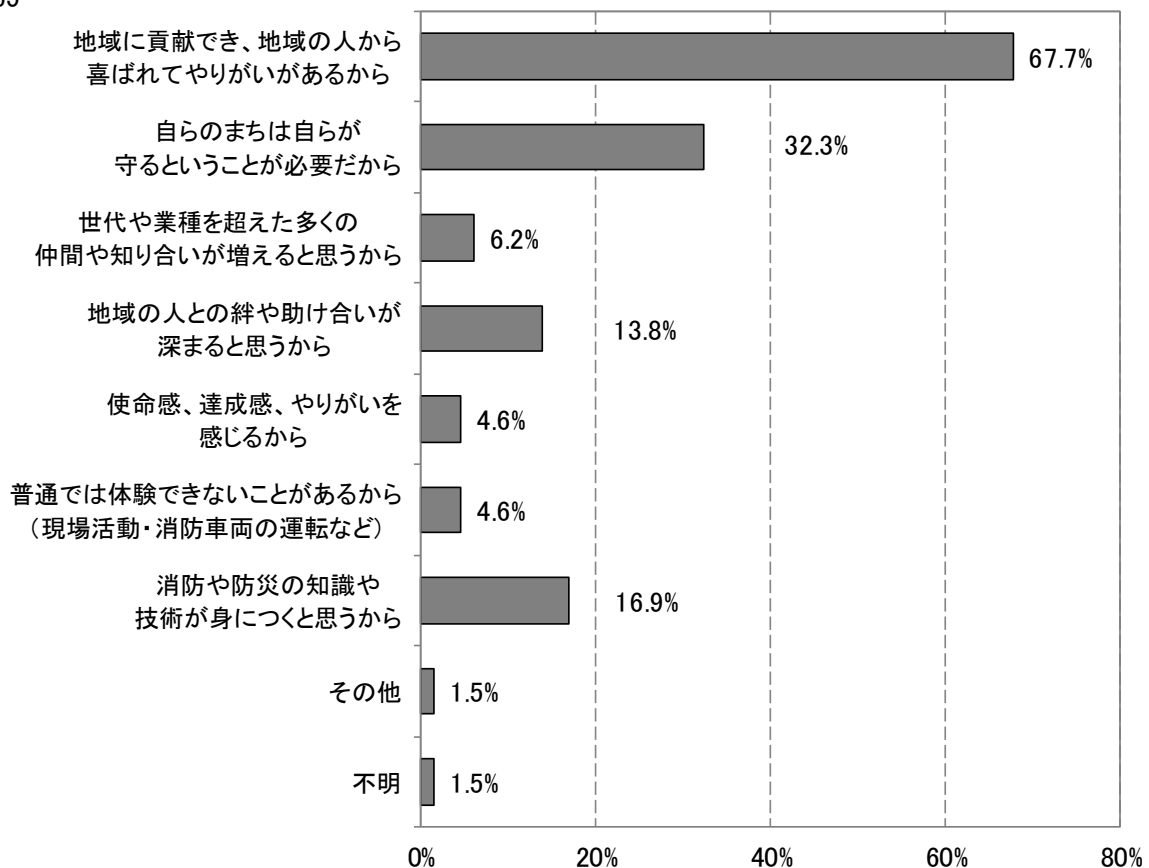
問24-1 消防団に入団したい理由

問24-1 問24で「1. 入団したい」と回答された方のみお答えください。入団したい理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 地域に貢献でき、地域の人から喜ばれてやりがいがあるから
2. 自らのまちは自らが守ることが必要だから
3. 世代や業種を超えた多くの仲間や知り合いが増えると思うから
4. 地域の人との絆や助け合いが深まると思うから
5. 使命感、達成感、やりがいを感じるから
6. 普通では体験できないことがあるから（現場活動・消防車両の運転など）
7. 消防や防災の知識や技術が身につくと思うから
8. その他

消防団に入団したい理由として最も多かったのが、「地域に貢献でき、地域の人から喜ばれてやりがいがあるから」でその割合は67.7%となった。次いで、「自らのまちは自らが守ることが必要だから」が32.3%、「消防や防災の知識や技術が身につくと思うから」が16.9%と続いた。

n=65



その他：「身内が団員だった」など

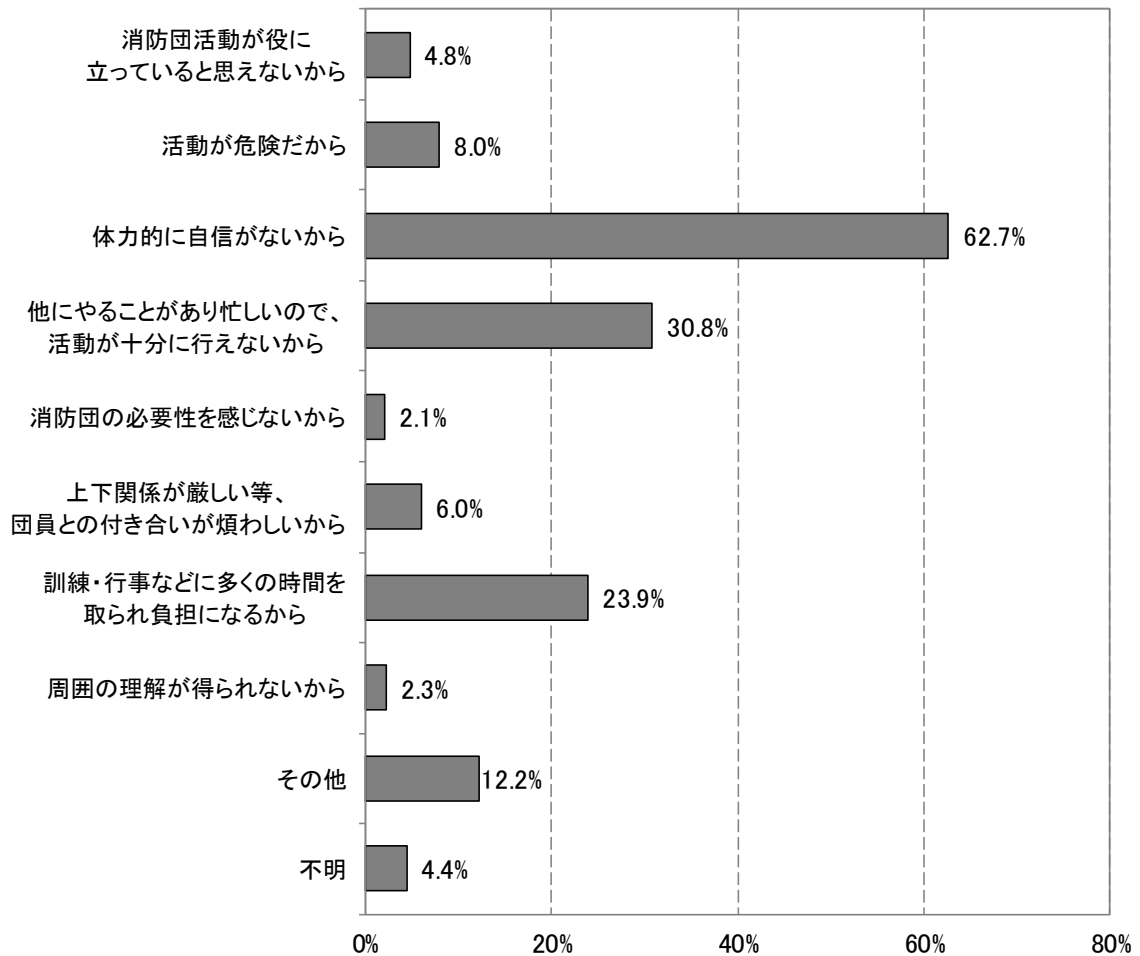
問24-2 消防団に入団したくない理由

問24-2 問24で「3. 入団したくない」と回答された方のみお答えください。入団したくない理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 消防団活動が役に立っていると思えないから
2. 活動が危険だから
3. 体力的に自信がないから
4. 他にやることがあり忙しいので、活動が十分に行えないから
5. 消防団の必要性を感じないから
6. 上下関係が厳しい等、団員との付き合いが煩わしいから
7. 訓練・行事などに多くの時間を取られ負担になるから
8. 周囲の理解が得られないから
9. その他

入団したくない理由として最も多かったのが、「体力的に自信がないから」でその割合は62.7%となった。次いで、「他にやることがあり忙しいので、活動が十分に行えないから」で30.8%、「訓練・行事などに多くの時間を取られ負担になるから」で23.9%と続いた。

n=565



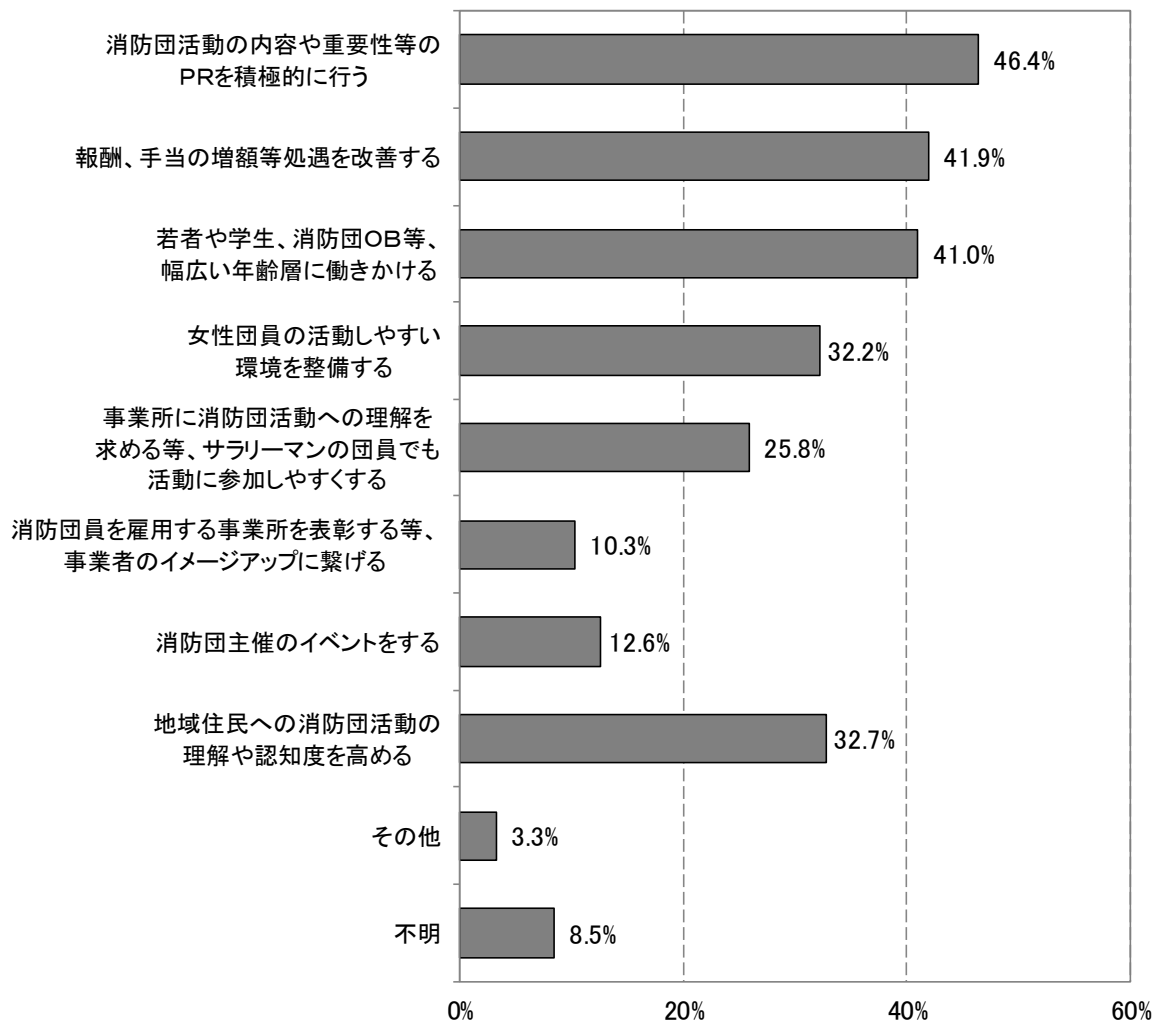
その他：「高齢のため」、「必要性を感じない」など

問25 消防団への入団者を増加させる方法

問25 現在、消防団員の減少傾向が続いています。あなたは、入団者が増加するような魅力ある消防団にするには、どのようにすれば良いと思いますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 消防団活動の内容や重要性等のPRを積極的に行う
2. 報酬、手当の増額等処遇を改善する
3. 若者や学生、消防団OB等、幅広い年齢層に働きかける
4. 女性団員の活動しやすい環境を整備する
5. 事業所に消防団活動への理解を求める等、サラリーマンの団員でも活動に参加しやすくする
6. 消防団員を雇用する事業所を表彰する等、事業者のイメージアップに繋げる
7. 消防団主催のイベントをする
8. 地域住民への消防団活動の理解や認知度を高める
9. その他

消防団への入団者を増加させるための方法として最も多かったのが、「消防団活動の内容や重要性等のPRを積極的に行う」でその割合は46.4%となった。次いで、「報酬、手当の増額等処遇を改善する」で41.9%、「若者や学生、消防団OB等、幅広い年齢層に働きかける」で41.0%と続いた。



その他：「義務化」、「関係のない行事をなくす」など

7. 災害対策について

問26 災害への備え

問26 あなたは現在、水や食料を買い置きしておく等、災害に対して何らかの備えを行っていますか？

1. はい

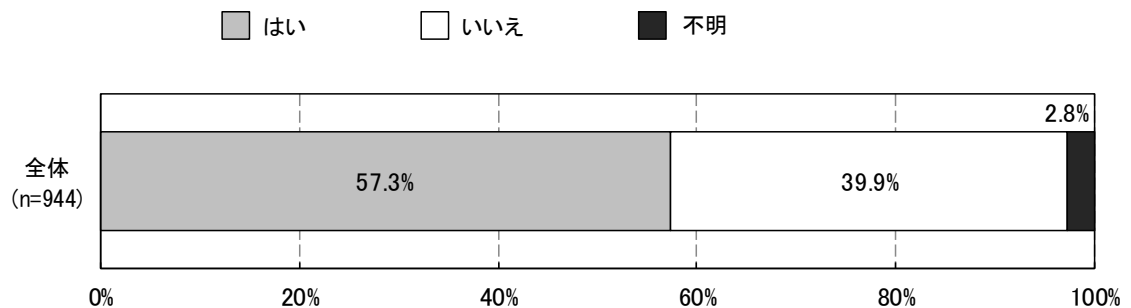
2. いいえ

災害に対して何らかの備えを行っているかに対して、「はい」と回答された方の割合は57.3%、「いいえ」と回答された方の割合は39.9%となった。

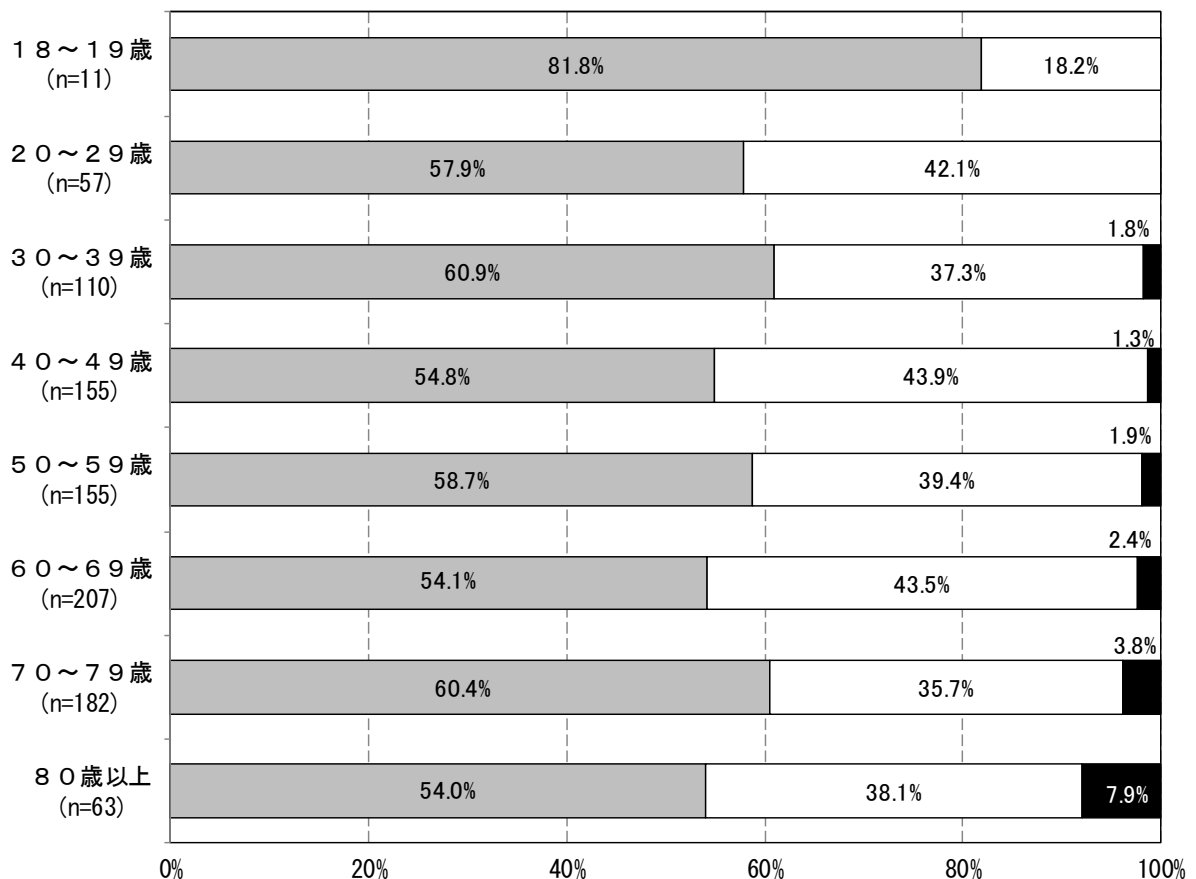
年代別にみると、いずれの年代も「はい」が半数を超えている。

地域別では、「はい」と回答された方の割合は「河西部」で49.1%、「河北部」で50.8%となったが、他の地域では60%を超える結果となった。

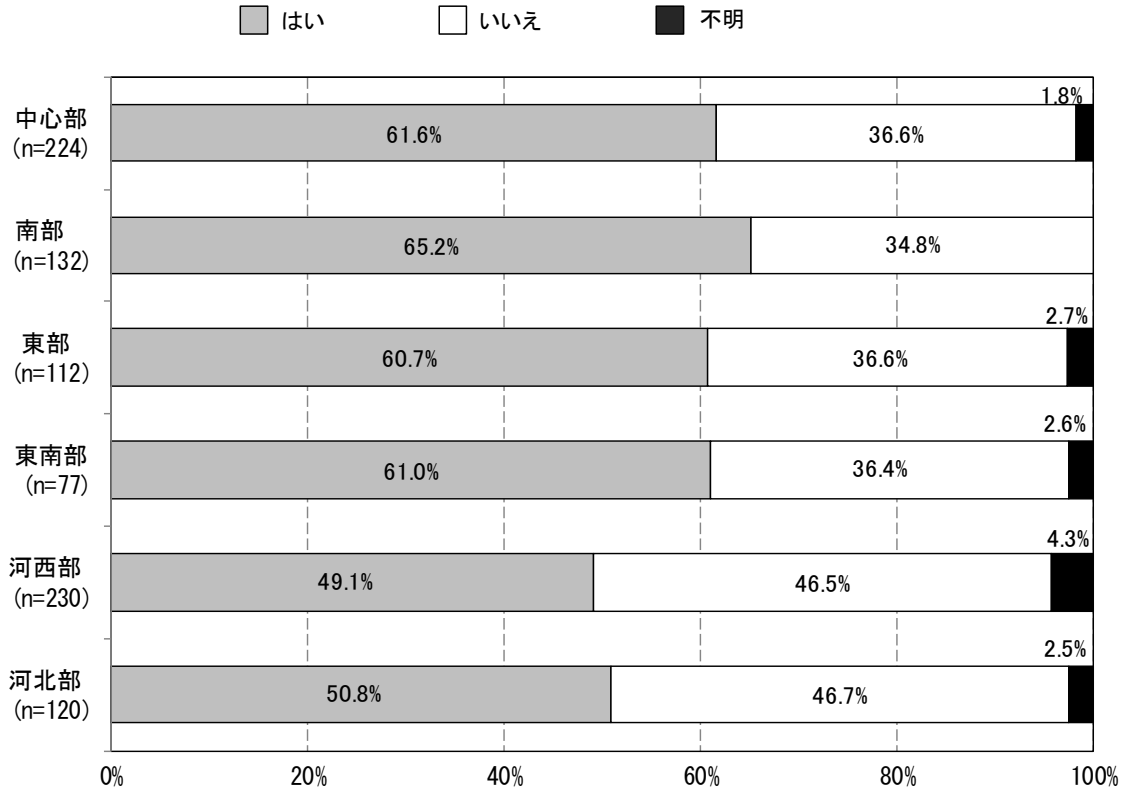
<全体>



<年代別>



<地域別>

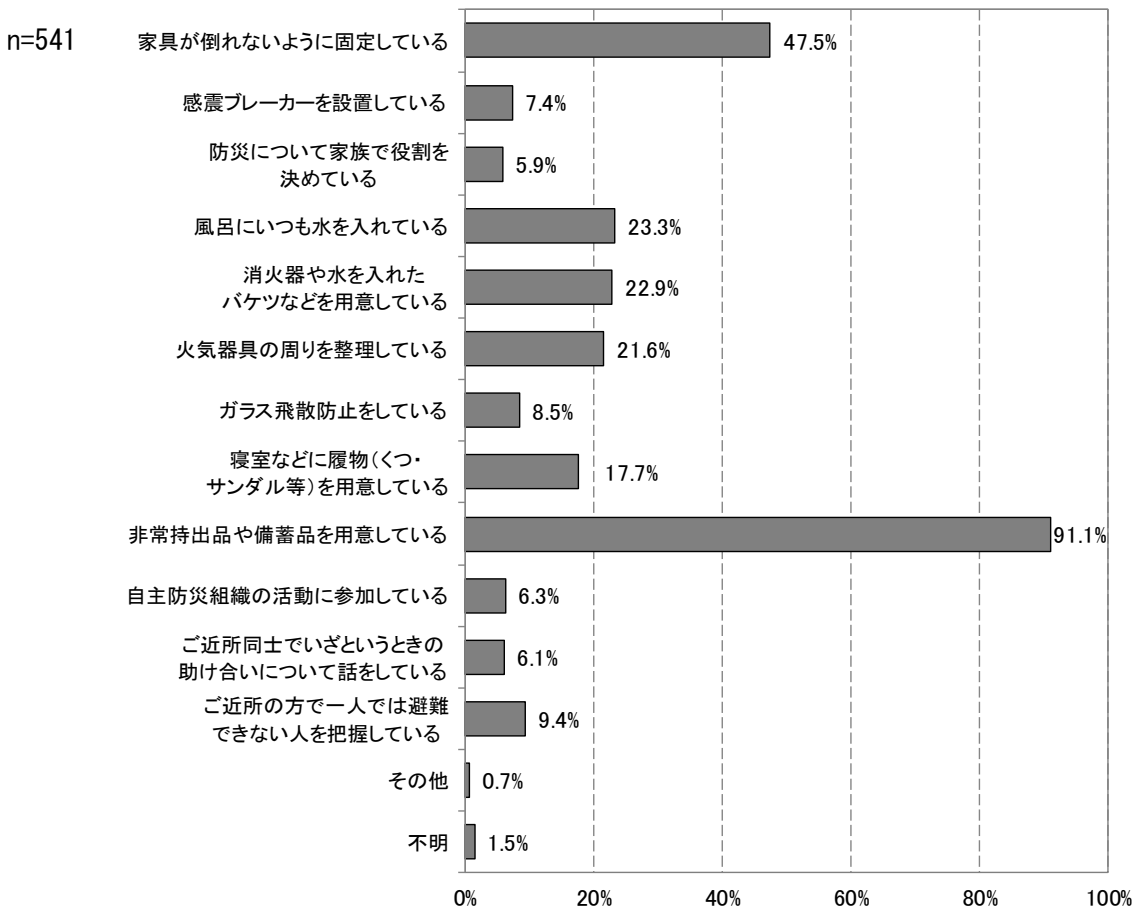


問26-1 災害に備えていること

問26-1 問26で「1. はい」と回答された方のみお答えください。災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 家具が倒れないように固定している
2. 感震ブレーカーを設置している
3. 防災について家族で役割を決めている
4. 風呂にいつも水を入れている
5. 消火器や水を入れたバケツなどを用意している
6. 火気器具の周りを整理している
7. ガラス飛散防止をしている
8. 寝室などに履物（くつ・サンダル等）を用意している
9. 非常持出品や備蓄品を用意している
10. 自主防災組織の活動に参加している
11. ご近所同士でいざというときの助け合いについて話をしている
12. ご近所の方で一人では避難できない人を把握している
13. その他

災害に備えていることで、最も多かったのが「非常持出品や備蓄品を用意している」でその割合は91.1%となった。次いで「家具が倒れないように固定している」で47.5%、「風呂にいつも水を入れている」で23.3%と続いた。



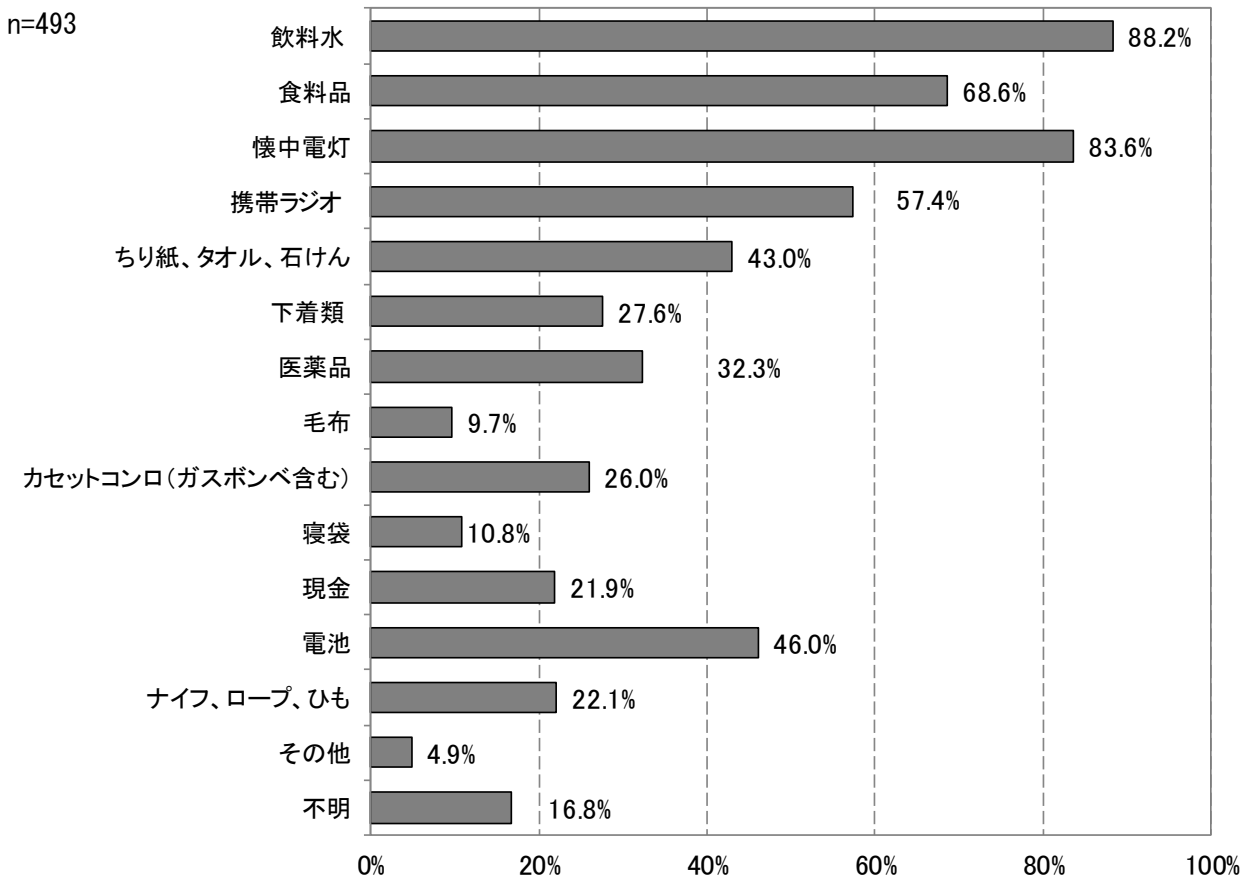
その他：「非常食、物資の準備」、「車にガソリンを頻繁にいれる」、「寝室に家具は置かない」など

問26-2 災害に備えているもの

問26-2 問26-1で「9. 非常持出品や備蓄品を用意している」と回答された方のみお答えください。非常持出品や備蓄品としてどのようなものを用意していますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 飲料水 | 8. 毛布 |
| 2. 食料品 | 9. カセットコンロ（ガスボンベ含む） |
| 3. 懐中電灯 | 10. 寝袋 |
| 4. 携帯ラジオ | 11. 現金 |
| 5. ちり紙、タオル、石けん | 12. 電池 |
| 6. 下着類 | 13. ナイフ、ロープ、ひも |
| 7. 医薬品 | 14. その他 |

非常持出品や備蓄品を用意している人の中で、最も多かったのが「飲料水」でその割合は88.2%となった。次いで、「懐中電灯」で83.6%、「食料品」で68.6%となった。



その他：「ラップ」、「ゴミ袋」、「防寒シート」、「トイレ」、「電源、充電機」など

問27 家具等の固定状況

問27 あなたは、家具等の固定をしていますか？

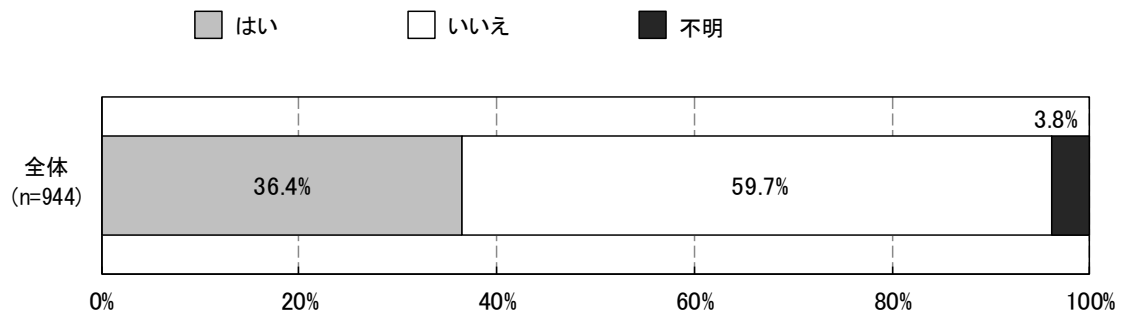
1. はい

2. いいえ

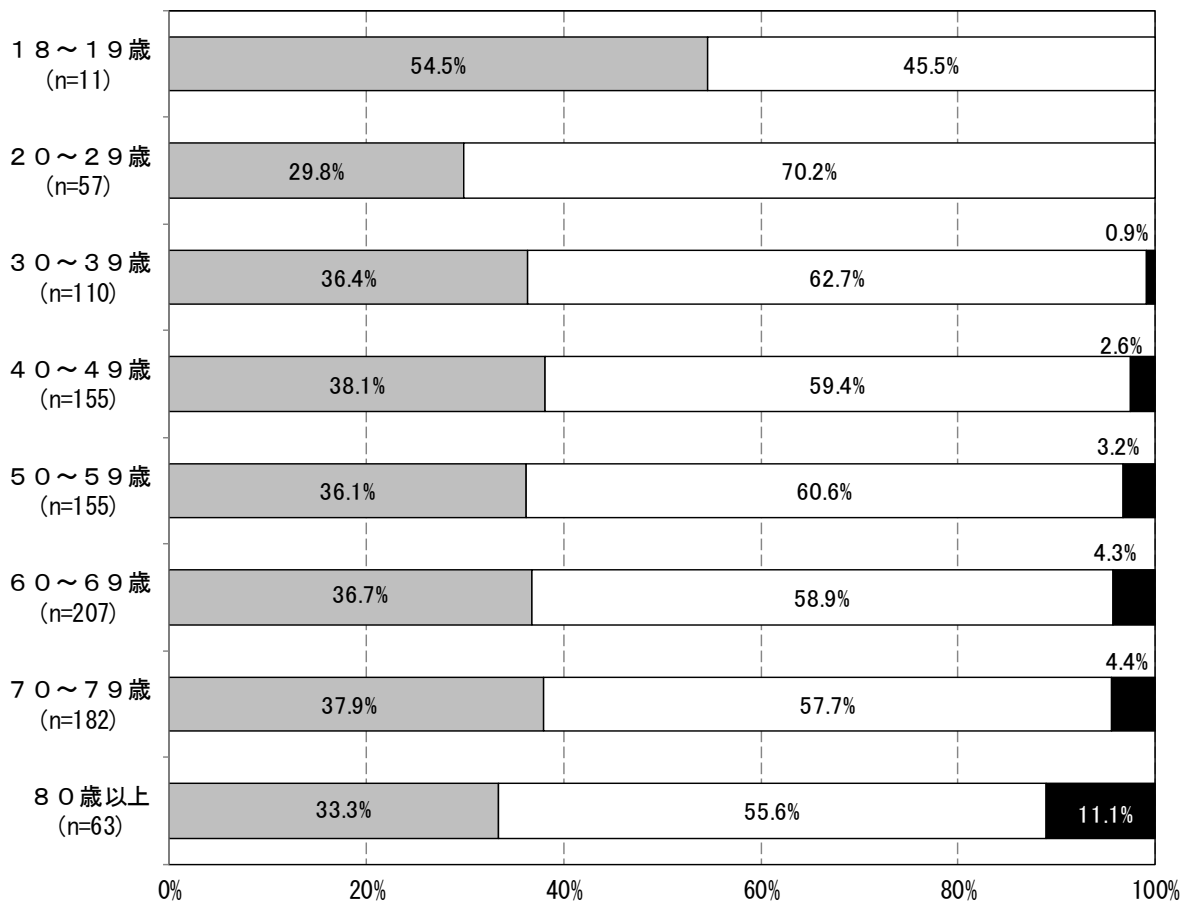
家具等を固定しているかどうかについて、「はい」と回答された方の割合は36.4%、「いいえ」と回答された方の割合は59.7%となった。

年代別では、「はい」と回答された割合が最も低かったのは「20～29歳」で29.8%、他の年代ではいずれも30%を超えている。

<全体>



<年代別>



問27-1 家具等を固定していない理由

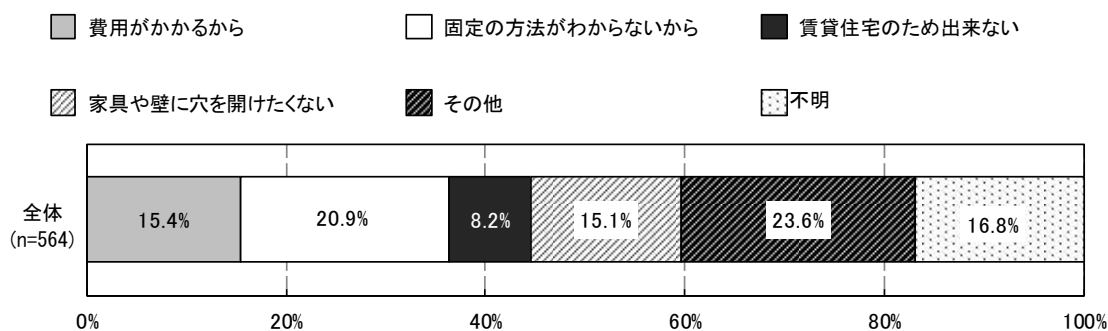
問27-1 問27で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。家具等の固定をしていない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 費用がかかるから
2. 固定の方法がわからないから
3. 賃貸住宅のため出来ない
4. 家具や壁に穴を開けたくない
5. その他

家具を固定していない理由として最も多かった回答が、「固定の方法がわからないから」でその割合は20.9%となった。次いで、「費用がかかるから」で15.4%、「家具や壁に穴を開けたくない」で15.1%と続いた。

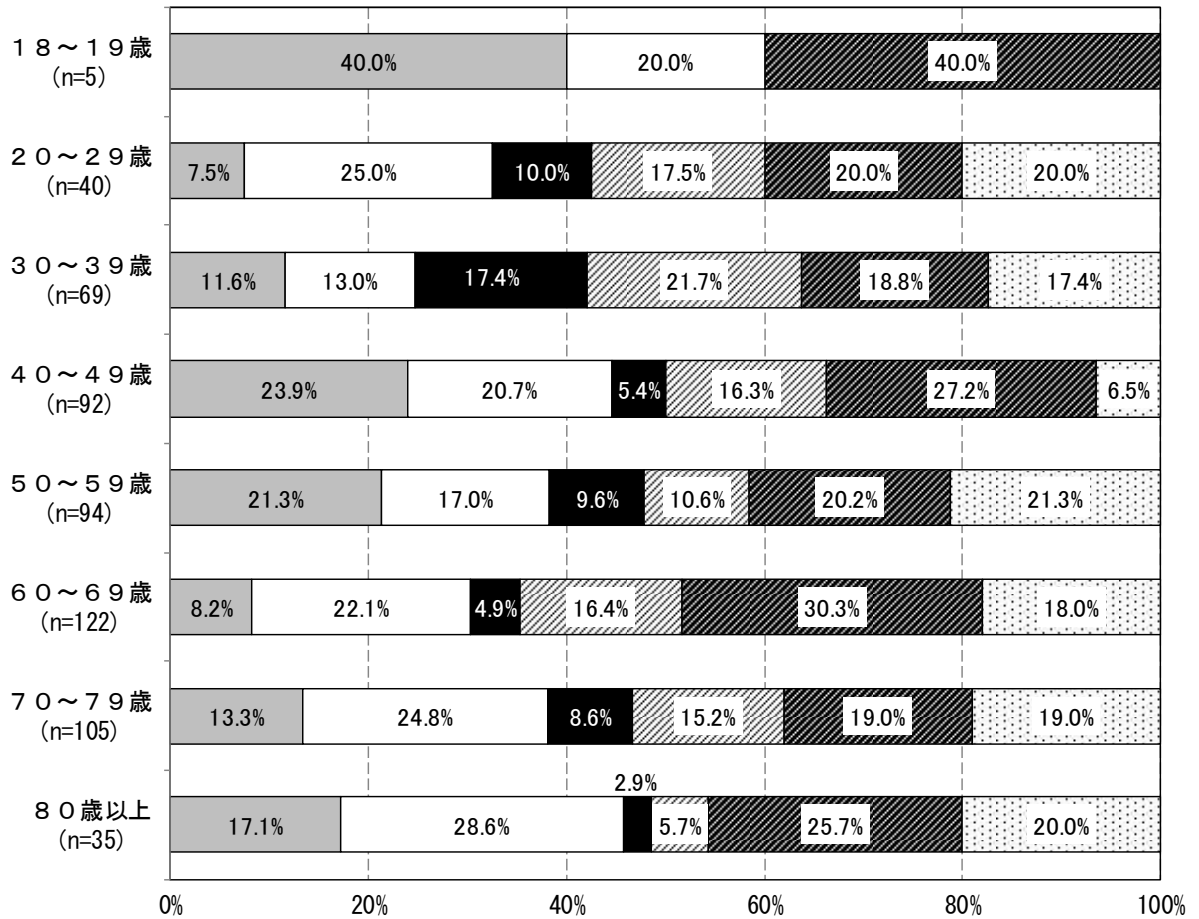
年代別では、「30～39歳」を除き、「固定の方法がわからないから」の割合が高くなっている。

<全体>



<年代別>

- 費用がかかるから
- 固定の方法がわからないから
- 賃貸住宅のため出来ない
- ▨ 家具や壁に穴を開けたくない
- ▩ その他
- 不明



その他：「大きい家具がない」、「固定したいがその気になれない」など

問 2 8 家具の転倒防止用固定金具取付事業の認知度

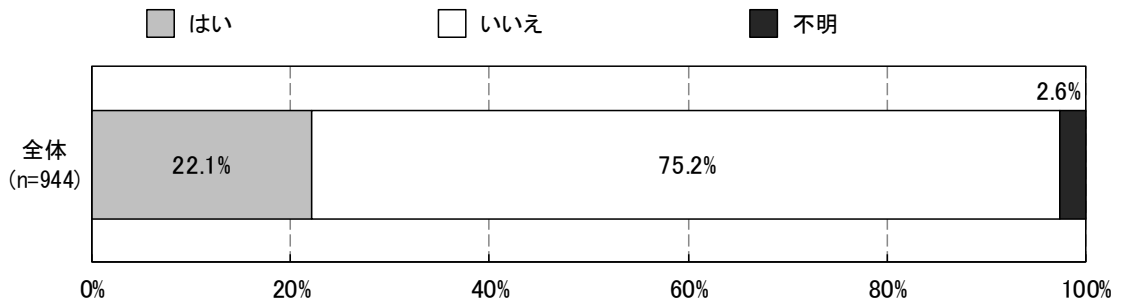
問 2 8 あなたは、和歌山市が65歳以上の方だけの世帯やいくつかの条件にあてはまる方を対象に家具の転倒防止用固定金具取付事業を行っていることを知っていますか？

1. はい 2. いいえ

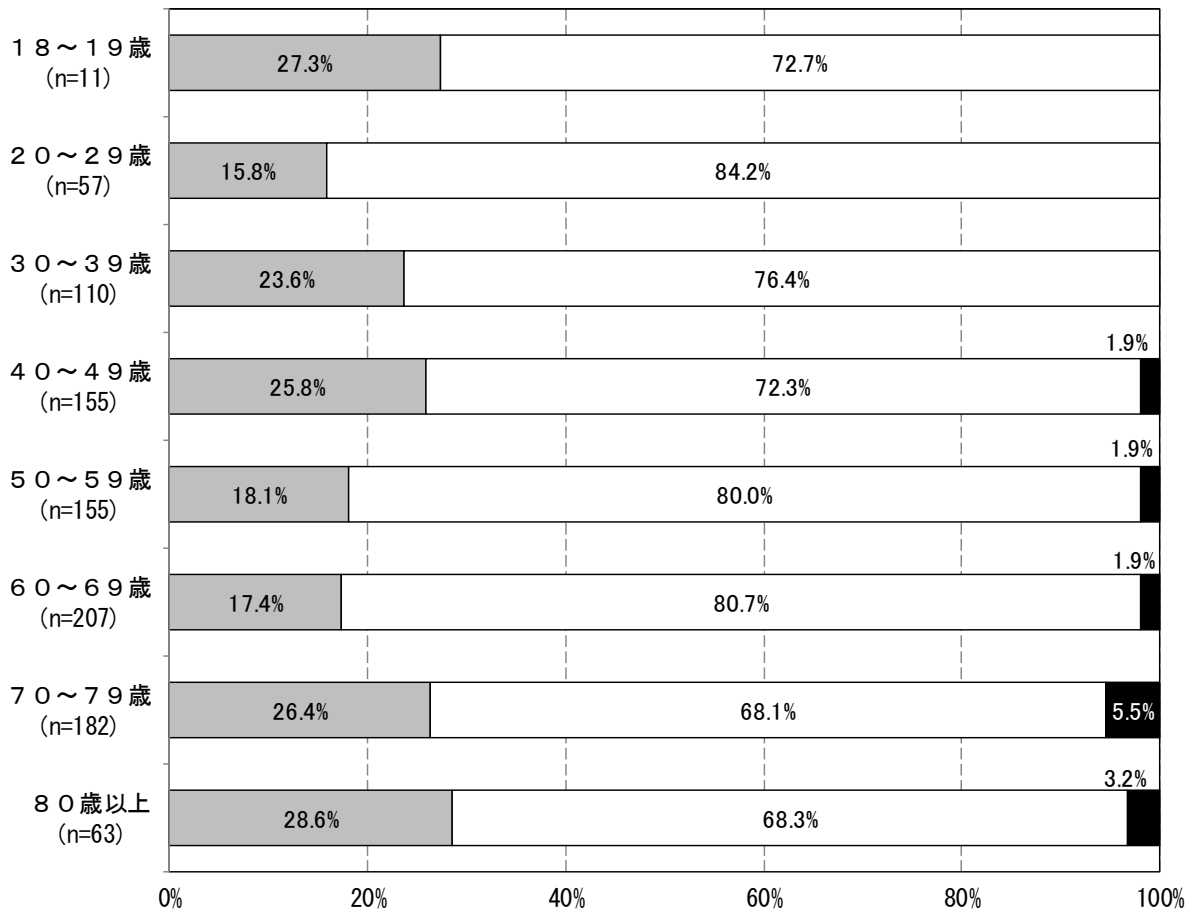
家具の転倒防止用固定金具取付事業を知っているかどうかについて、「はい」と回答された方の割合は22.1%、「いいえ」と回答された方の割合は75.2%となった。

年代別にみると、いずれの年代でも「いいえ」が60%を超えている。

<全体>



<年代別>



問28-1 家具の転倒防止用固定金具取付事業の利用について

問28-1 あなたは、問28の事業の対象であれば、利用したいと思いますか？

1. 思う

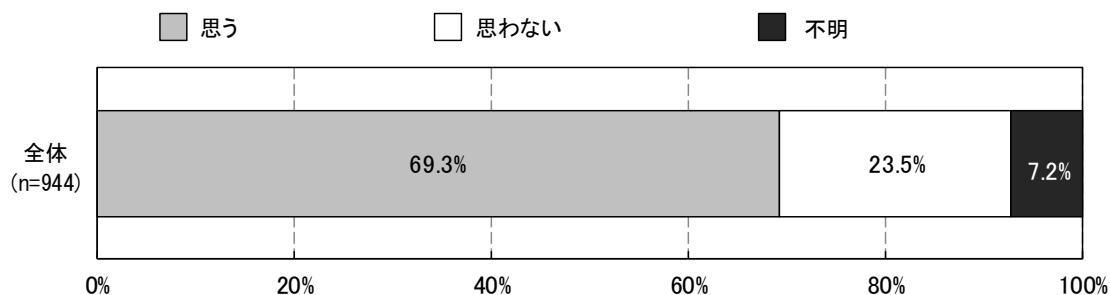
2. 思わない

家具の転倒防止用固定金具取付事業を利用したいかについて、「思う」と回答された方の割合は69.3%、「思わない」と回答された方の割合は23.5%となった。

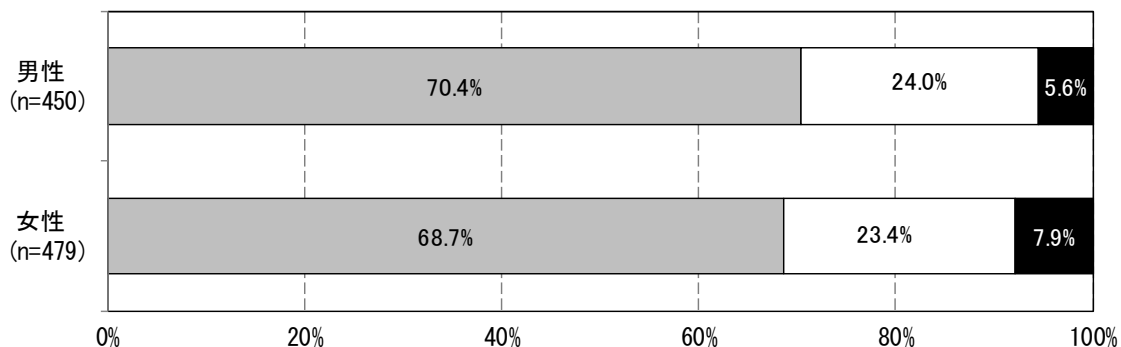
男女別では大きな差異は見られなかった。

年代別で見ると、18～59歳の年代で利用したいと「思う」と回答された方の割合は70%を超えたが、60歳以上の各年代では低めの傾向となった。

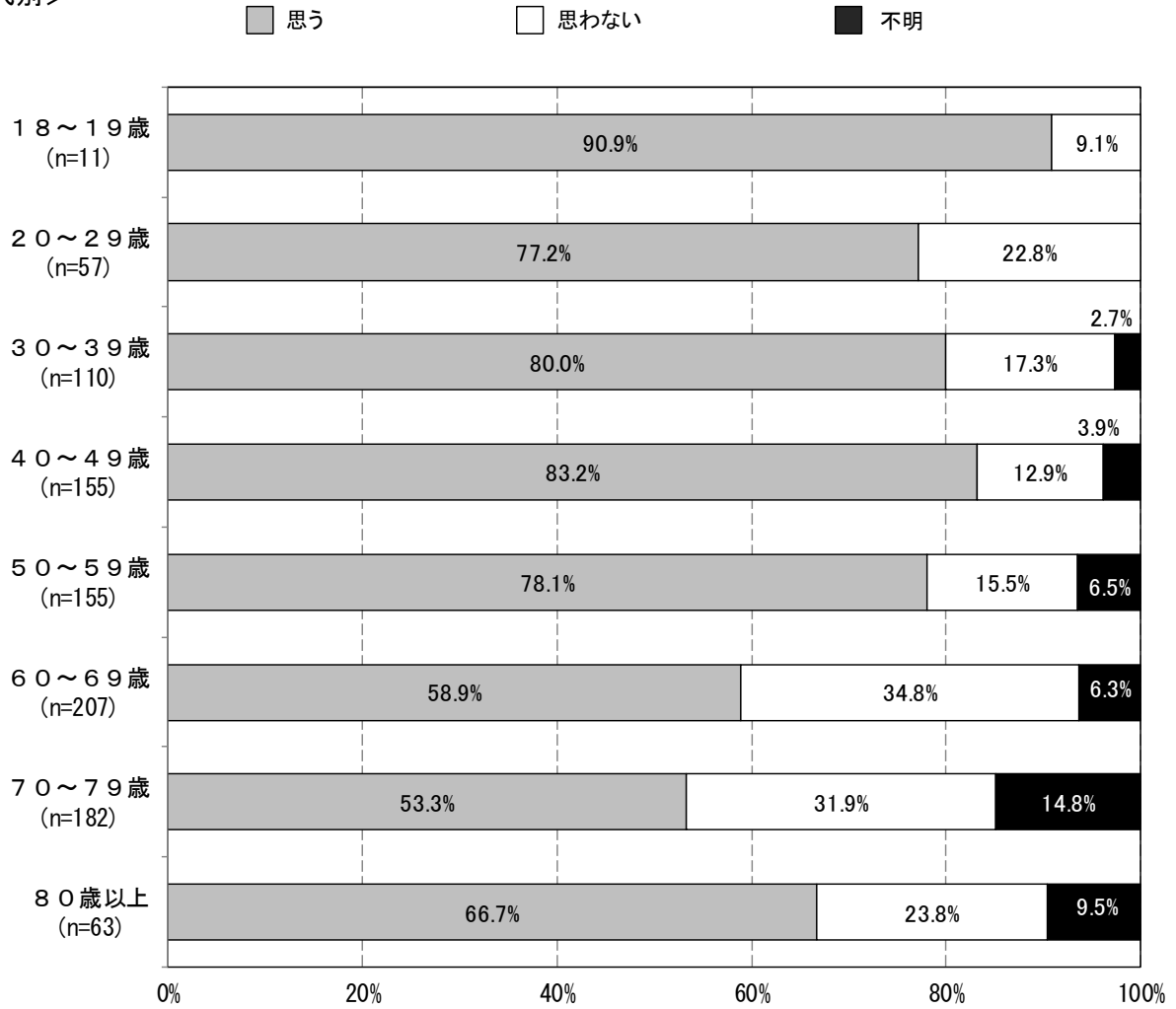
<全体>



<男女別>



<年代別>



問29 感震ブレーカーの認知度

問29 あなたは、地震が発生し揺れを感知した際に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動で止める「感震ブレーカー」を知っていますか？

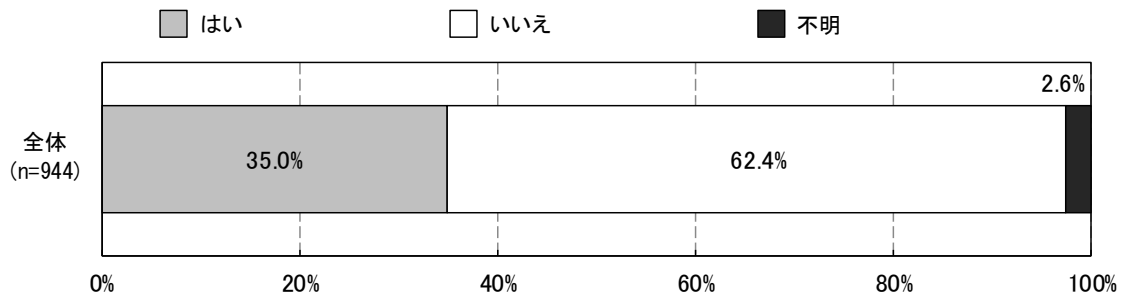
1. はい

2. いいえ

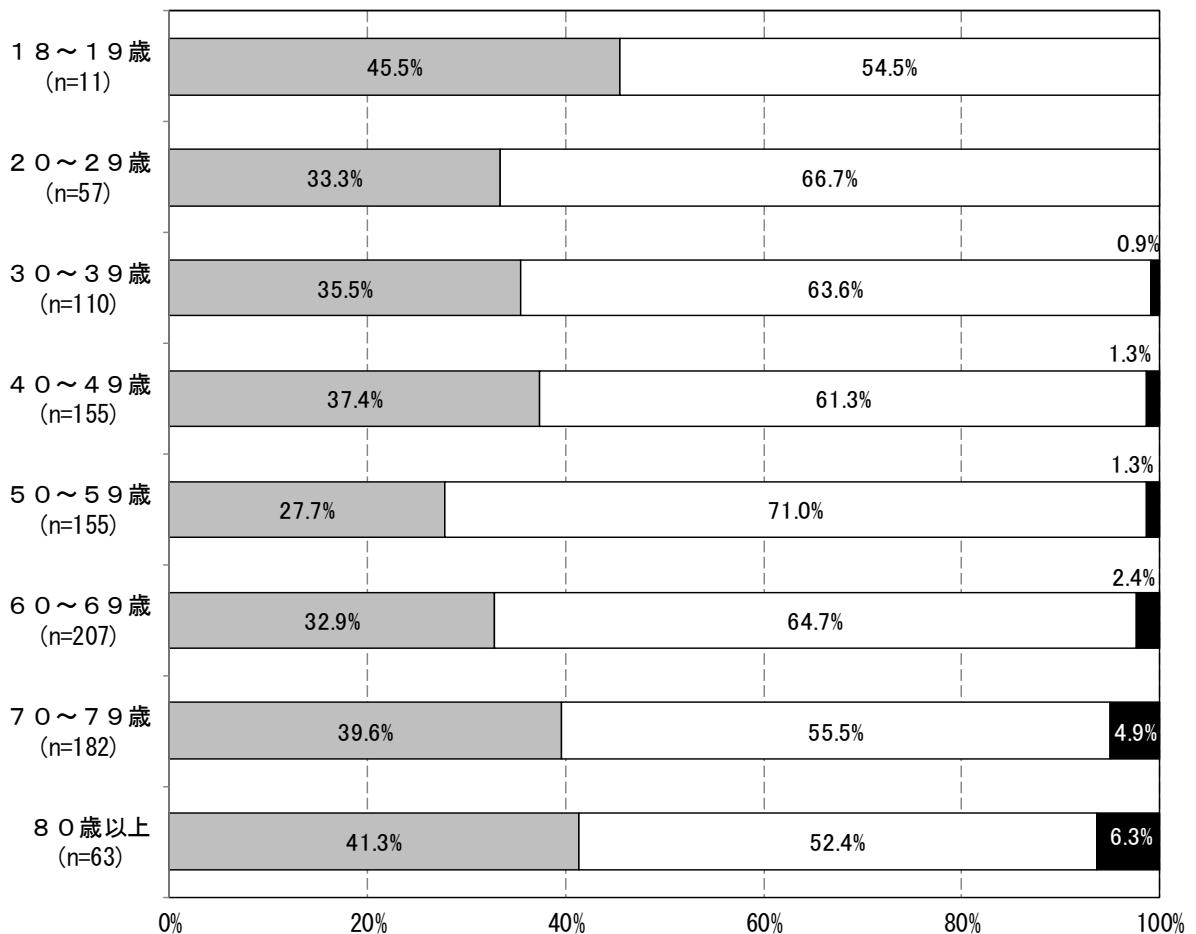
感震ブレーカーの認知度について、「はい」と回答された方の割合は35.0%、「いいえ」と回答された方の割合は62.4%となった。

年代別でみると、いずれの年代も「いいえ」が半数を超えている。

<全体>



<年代別>



問29-1 感震ブレーカーの設置状況

問29-1 問29で「1. はい」と回答された方のみお答えください。感震ブレーカーを設置していますか？

1. 設置している

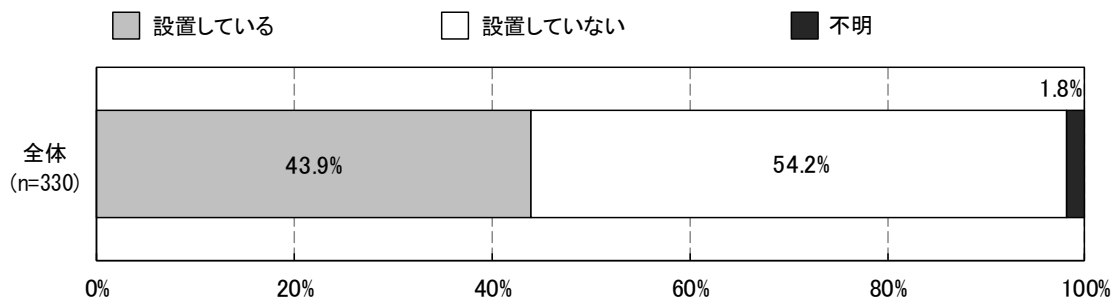
2. 設置していない

感震ブレーカーの設置状況について、「設置している」と回答された方の割合は43.9%、「設置していない」は54.2%となった。

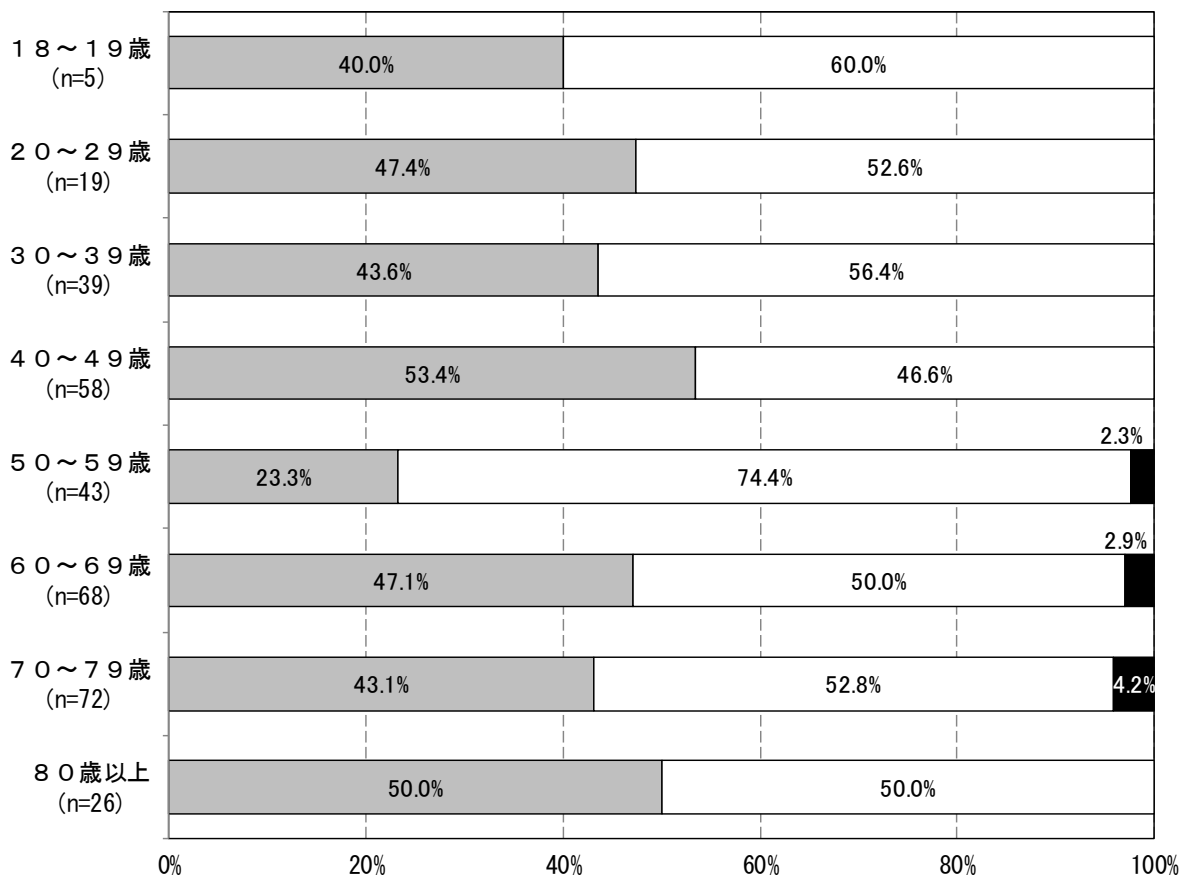
年代別では、「設置している」と回答された方の割合が最も高かったのは「40～49歳」でその割合は53.4%となった。また、最も低かった年代は「50～59歳」(23.3%)となり、年代により大きな差異が見られた。

地域別では、「設置している」と回答された方の割合が最も低かったのは、「河北部」(26.3%)であった。

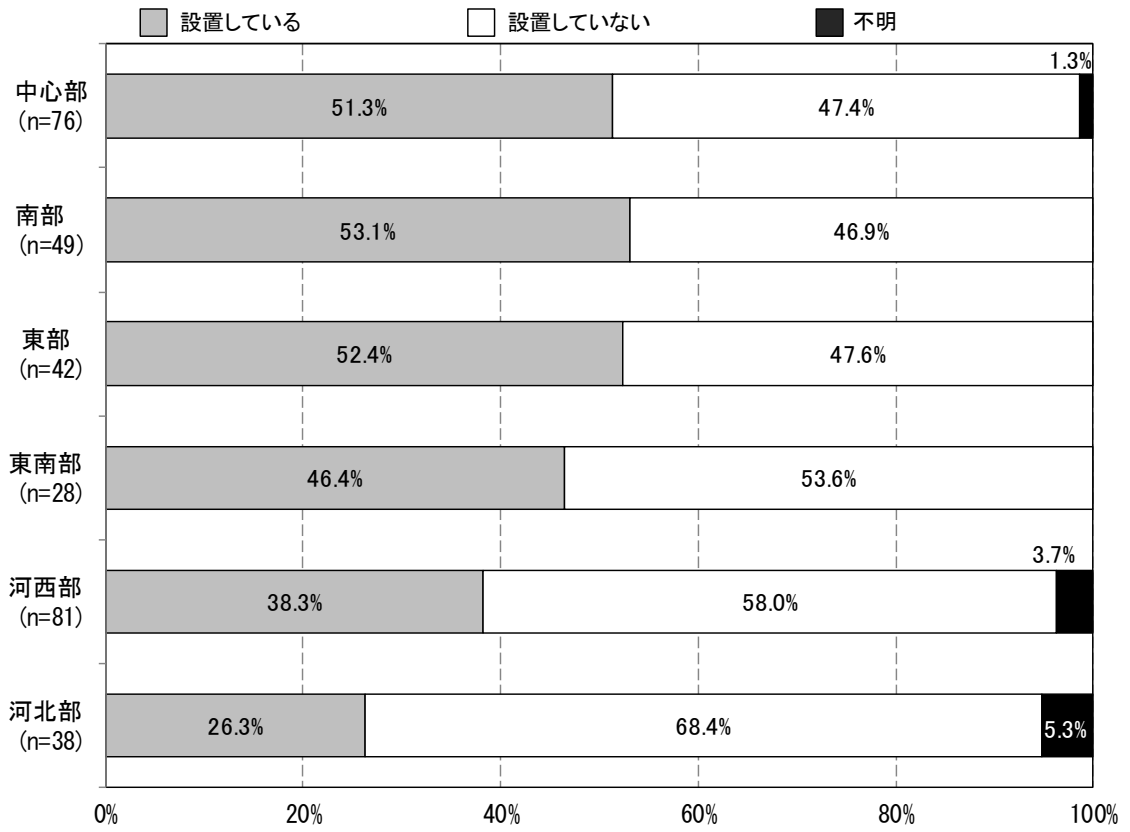
<全体>



<年代別>



<地域別>



問29-2 感震ブレイカー設置の希望状況

問29-2 問29で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。感震ブレイカーを設置してみたいと思いますか？

1. 設置したい

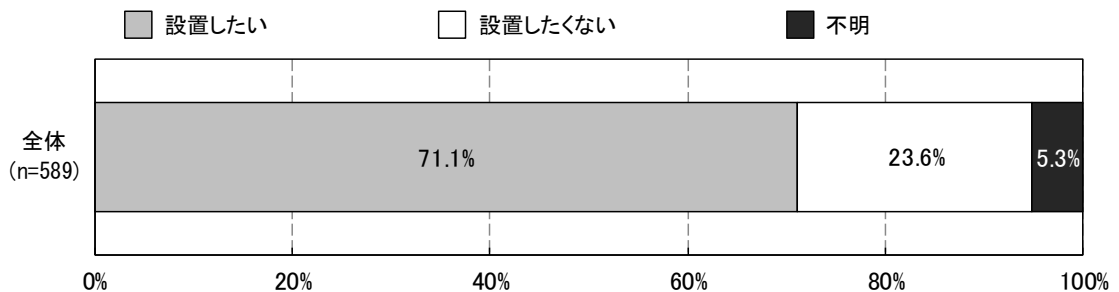
2. 設置したくない

感震ブレイカーを設置したいかどうかについて、全体では「設置したい」と回答された方の割合は71.1%、「設置したくない」と回答された方の割合は23.6%となった。

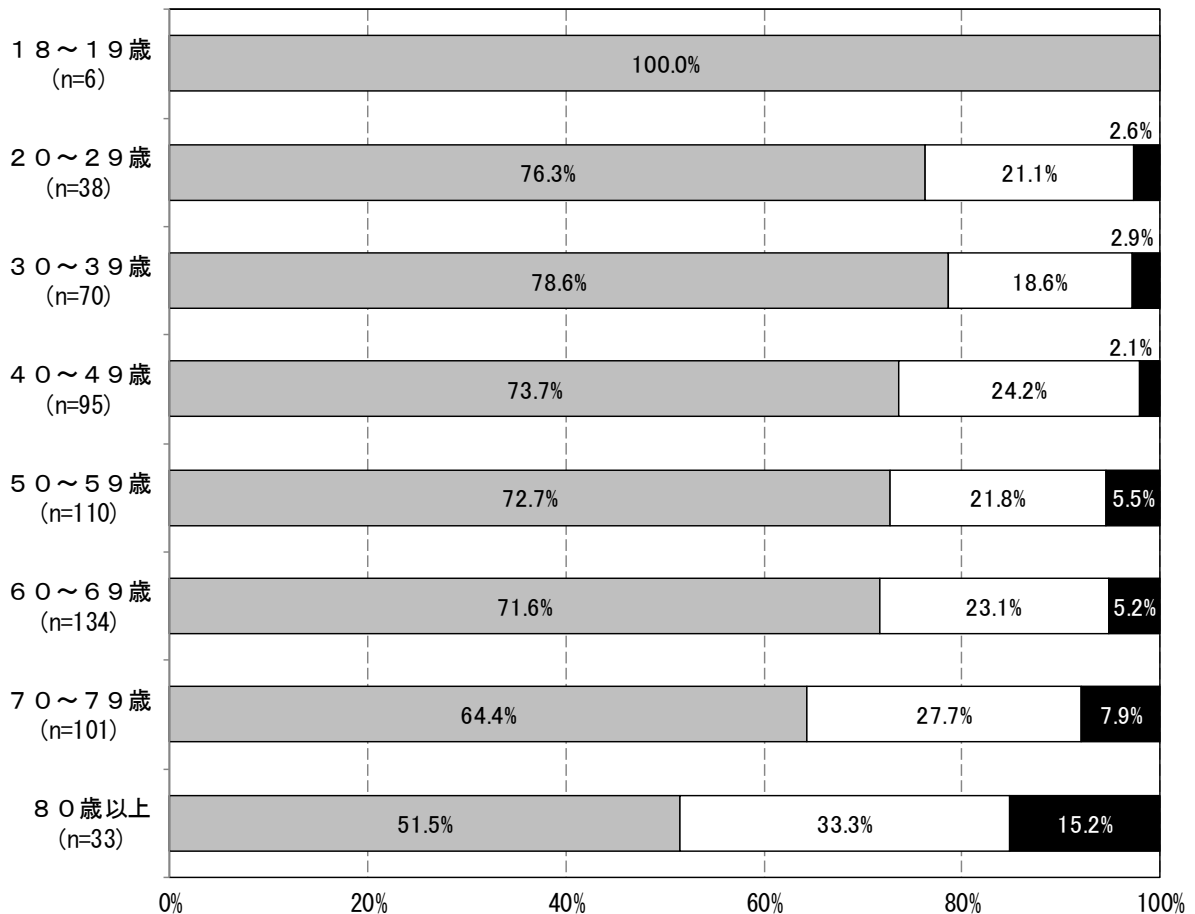
年代別では、18～69歳の各年代で「設置したい」と回答された方の割合は70%を超えたが、70歳以上の年代においては他の年代より低い傾向が見られた。

地域別では、「設置したい」と回答された方の割合が最も高かったのは「河北部」でその割合は83.5%となった。それ以外の地区では、65.2%～71.0%となった。「河北部」のみ「設置したい」と考える方の割合が高い結果となった。

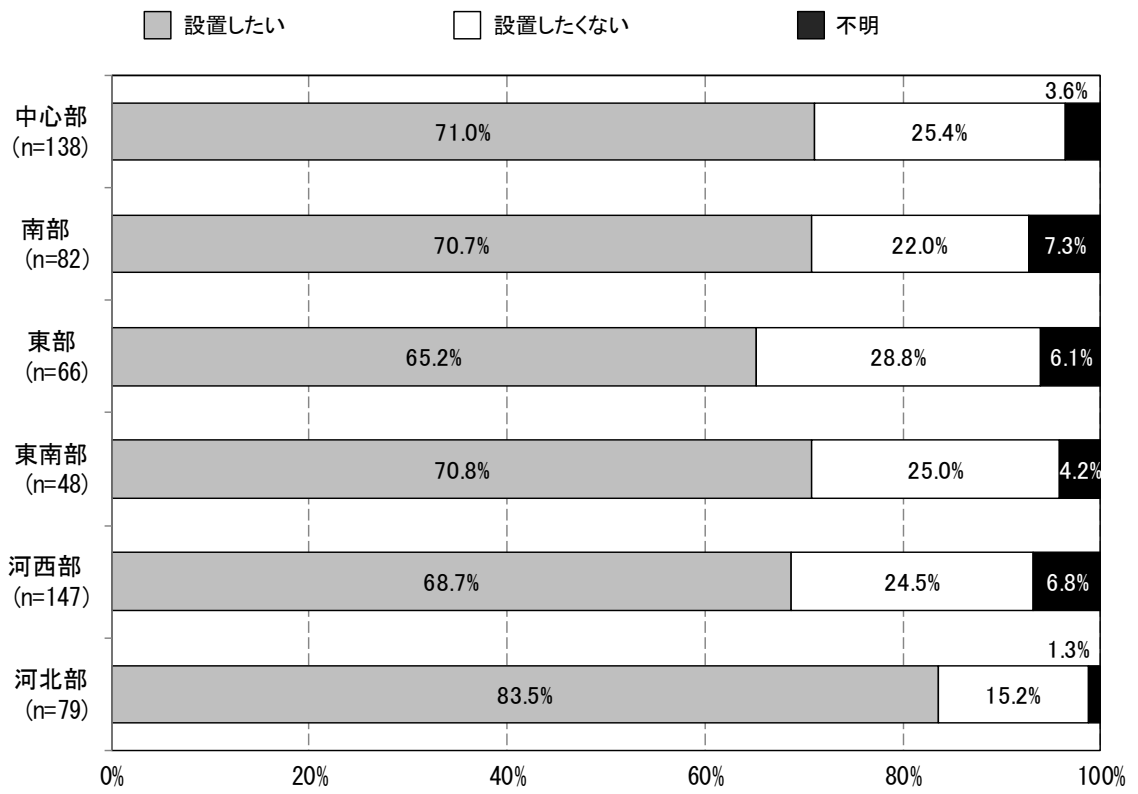
<全体>



<年代別>



<地域別>



問29-3 感震ブレイカー未設置または設置したくない理由

問29-3 問29-1で「2. 設置していない」または、問29-2で「2. 設置したくない」と回答された方のみお答えください。感震ブレイカーを設置していない又は設置したくない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

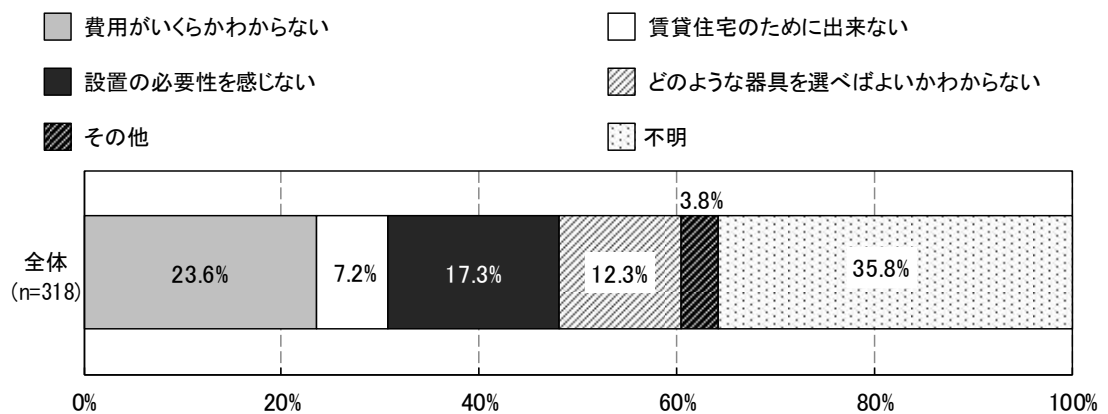
1. 費用がいくらかわからない
2. 賃貸住宅のために出来ない
3. 設置の必要性を感じない
4. どのような器具を選べばよいかわからない
5. その他

感震ブレイカー未設置または設置したくない理由について、全体で最も多かった回答が「費用がいくらかわからない」でその割合は23.6%となった。次いで、「設置の必要性を感じない」(17.3%)、「どのような器具を選べばよいかわからない」(12.3%)と続いた。

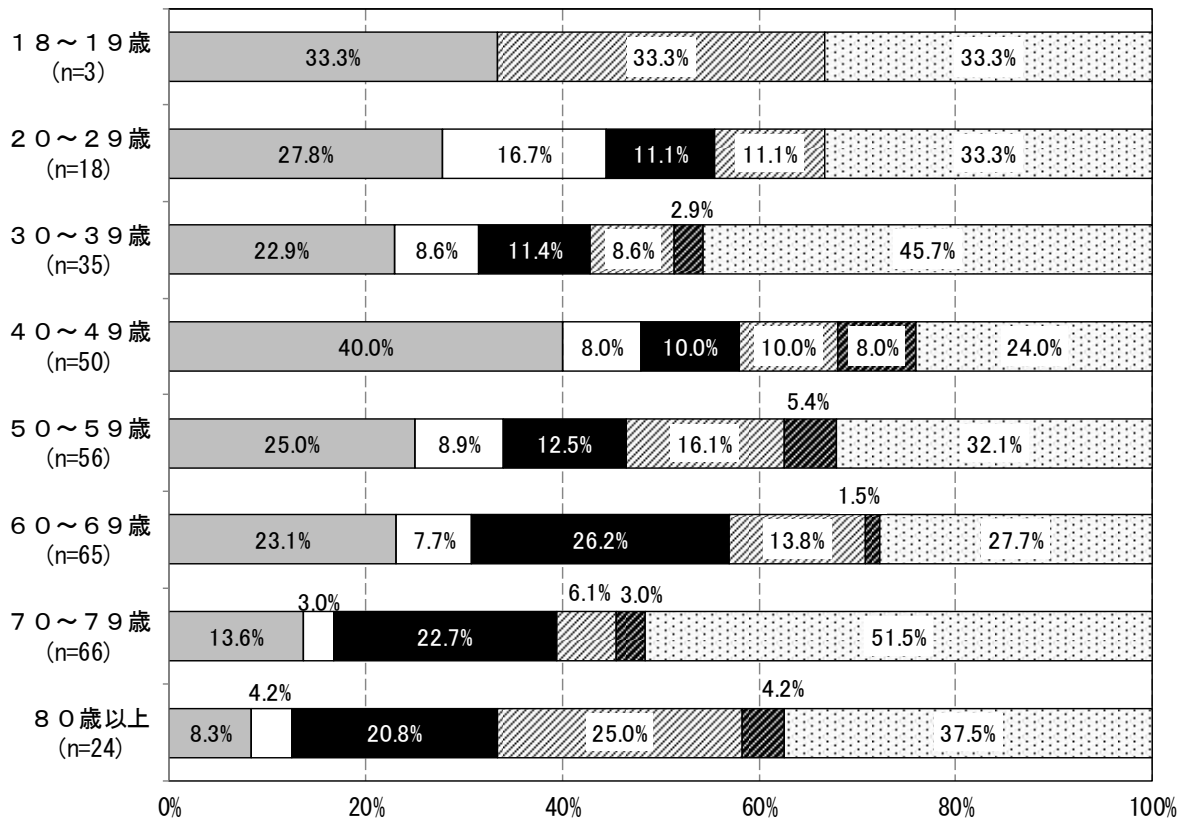
年代別では、「費用がいくらかわからない」と回答された方の割合が最も多かったのが「40～49歳」(40.0%)となった。また、「設置の必要性を感じない」と回答された方の割合が最も多かったのが「60～69歳」(26.2%)となった。

地域別では、「費用がいくらかわからない」と回答された方の割合が最も多かった地域は「東部」(33.3%)となった。また、「設置の必要性を感じない」と回答された方の割合が最も多かった地域が「南部」(29.3%)となった。

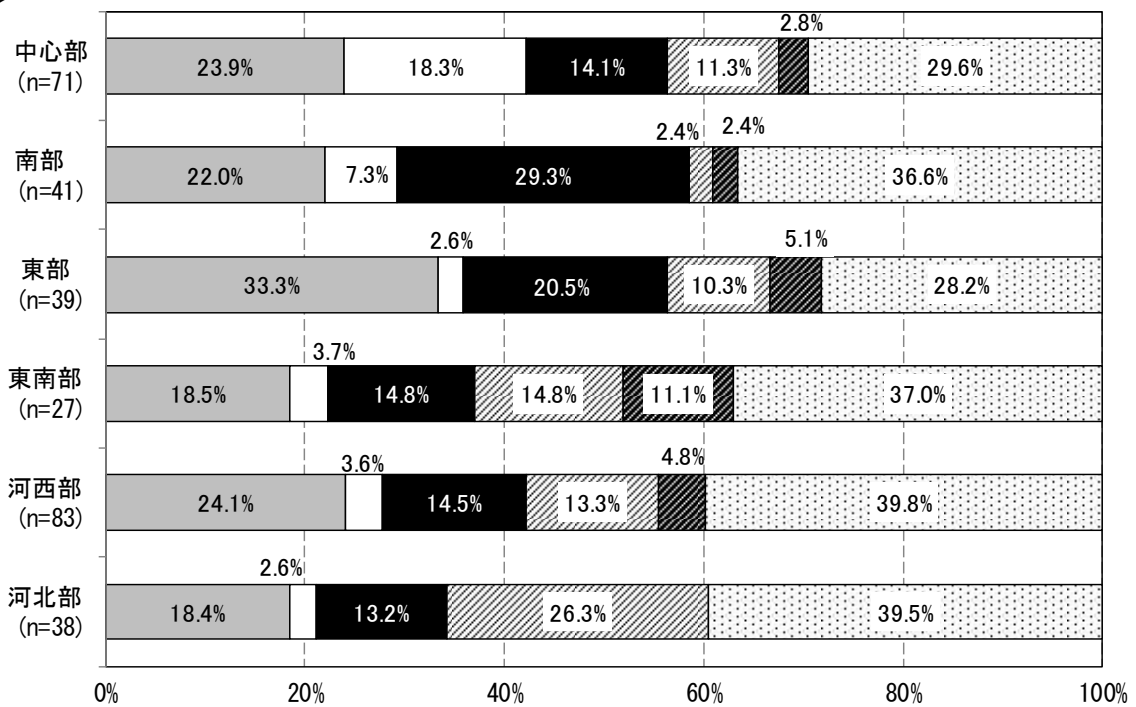
<全体>



<年代別>



<地域別>



その他：「感震ブレーカーの性能がわからない」、「電気が止まることによる機器への影響」など

問30 防災訓練の参加経験

問30 あなたは、市や地域が実施する防災訓練に参加したことがありますか？

1. はい

2. いいえ

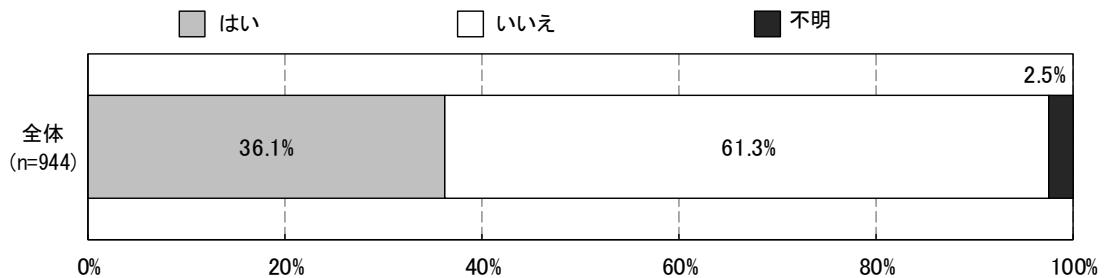
防災訓練の参加経験について、「はい」と回答された方の割合は36.1%、「いいえ」は61.3%となった。

男女別では、男性で「はい」と回答された方の割合は42.2%、女性は31.1%となり、男性のほうが防災訓練により参加している傾向が見られた。

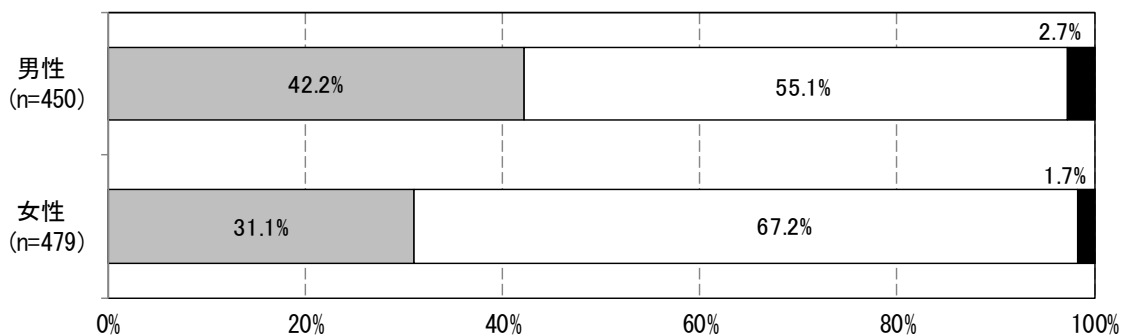
年代別では、「はい」と回答された方の割合が最も高い世代は「60～69歳」で割合は47.3%となった。また、割合が最も低い世代は「30～39歳」(20.9%)となった。

地域別では、「はい」と回答された方の割合が最も高い地域は「東部」の41.1%であった。また、最も低い地域は「河北部」の32.5%であった。

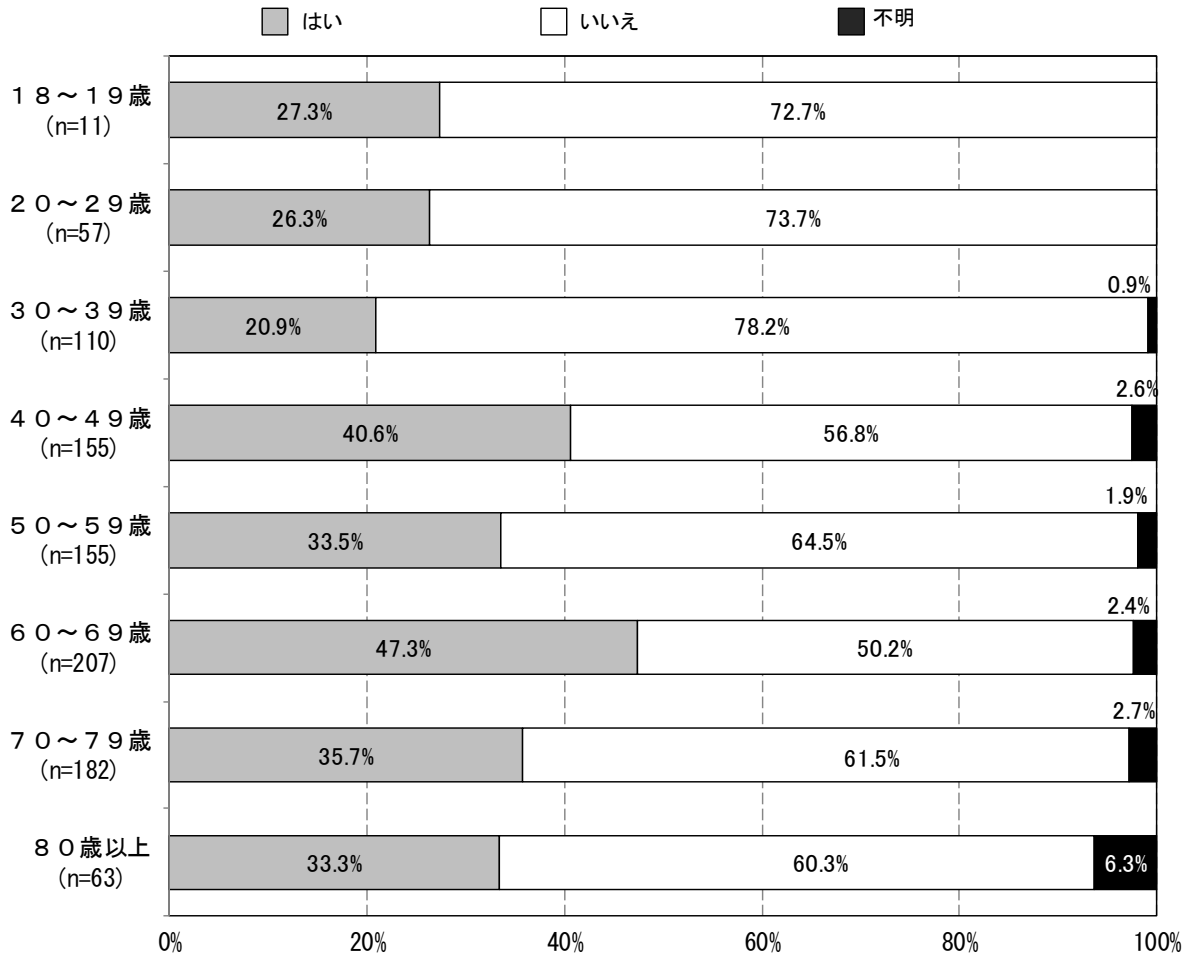
<全体>



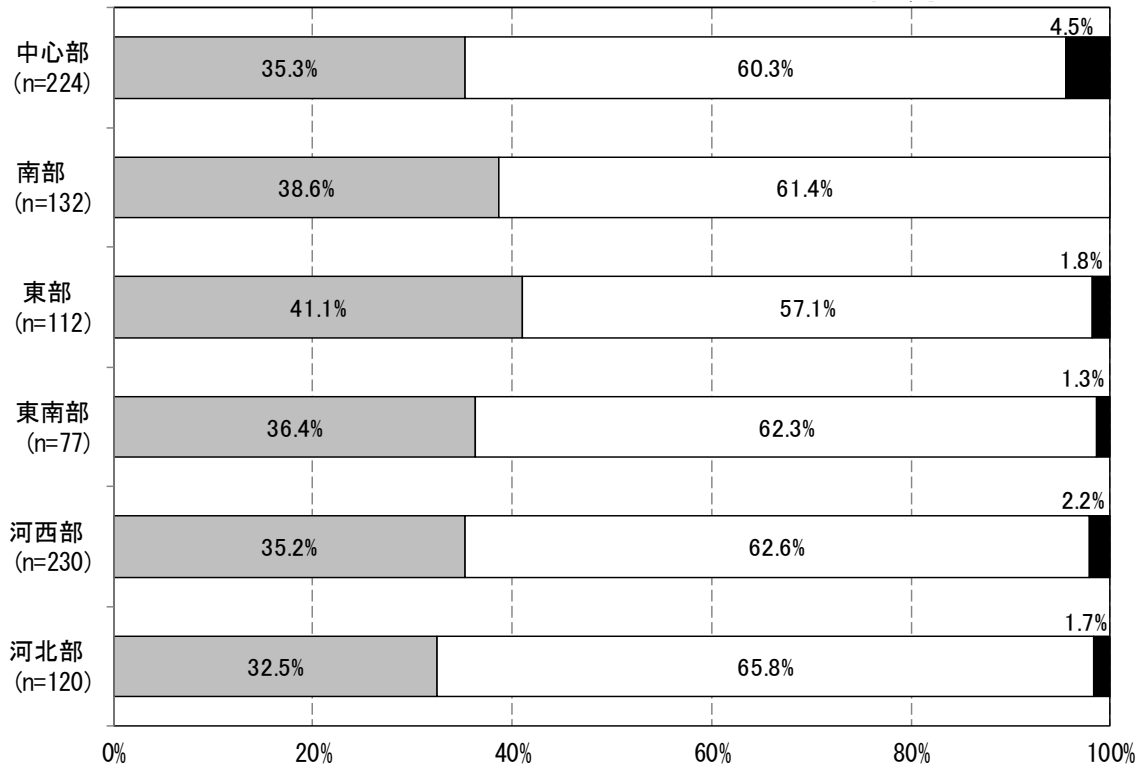
<男女別>



<年代別>



<地域別>



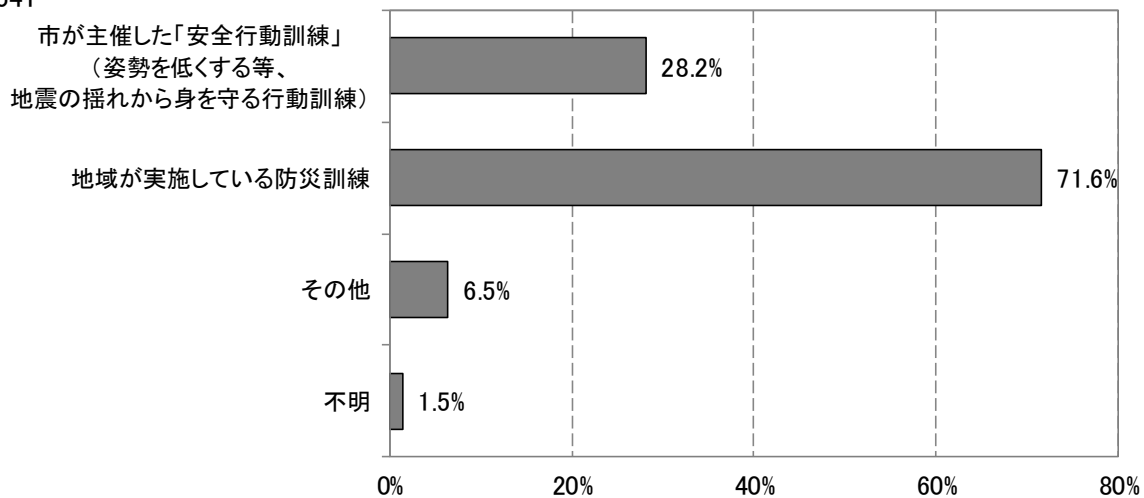
問30-1 訓練の内容

問30-1 問30で「1. はい」と回答された方のみお答えください。どのような訓練に参加されましたか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 市が主催した「安全行動訓練」（姿勢を低くする等、地震の揺れから身を守る行動訓練）
2. 地域が実施している防災訓練
3. その他

訓練の内容として、最も多い回答が「地域が実施している防災訓練」で割合は71.6%となった。次いで、「市が主催した「安全行動訓練」（姿勢を低くする等、地震の揺れから身を守る行動訓練）」(28.2%)と続いた。

n=341



その他：「会社の避難訓練」、「自治会・近所の避難訓練」など

問30-2 防災訓練に参加しなかった理由

問30-2 問30で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。防災訓練に参加されなかった理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 仕事や用事があったから
2. 以前に参加したことがあり内容が分かっているから
3. 防災訓練があったことを知らなかった
4. その他

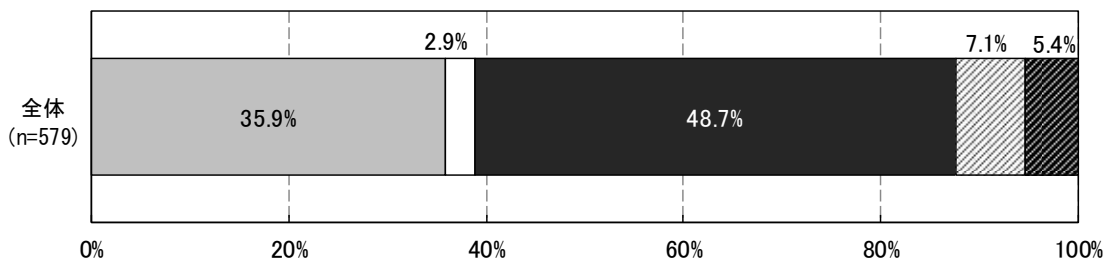
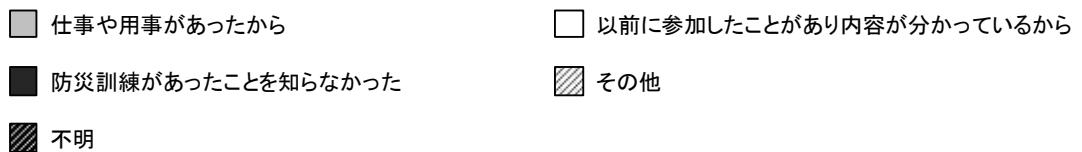
防災訓練に参加しなかった理由として、最も多かった回答が「防災訓練があったことを知らなかった」(48.7%)で、次いで「仕事や用事があったから」(35.9%)となった。

男女別では大きな差異は見られなかった。

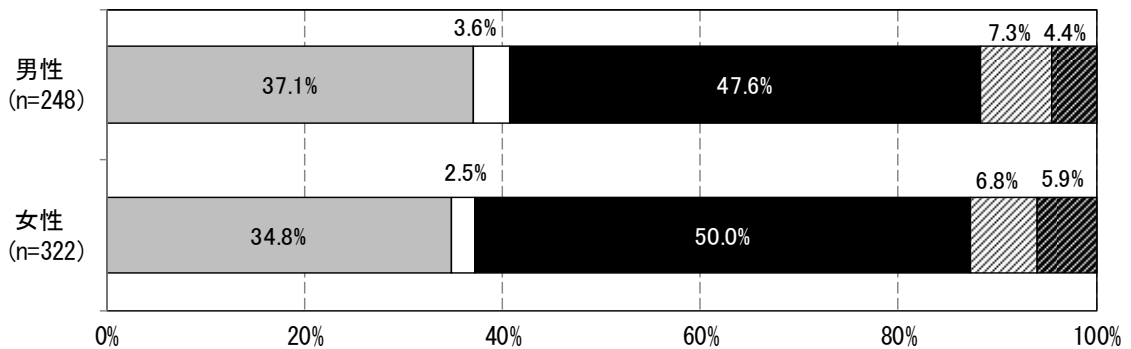
年代別では、「仕事や用事があったから」と回答された割合が最も高かった年代は「40～49歳」(44.3%)であった。次いで、「50～59歳」(44.0%)、「60～69歳」(39.4%)と続いた。

地域別では、「仕事や用事があったから」と回答された割合が最も高かった地域は「東南部」(45.8%)、「防災訓練があったことを知らなかった」と回答された割合が最も高かったのは「東部」(62.5%)となった。

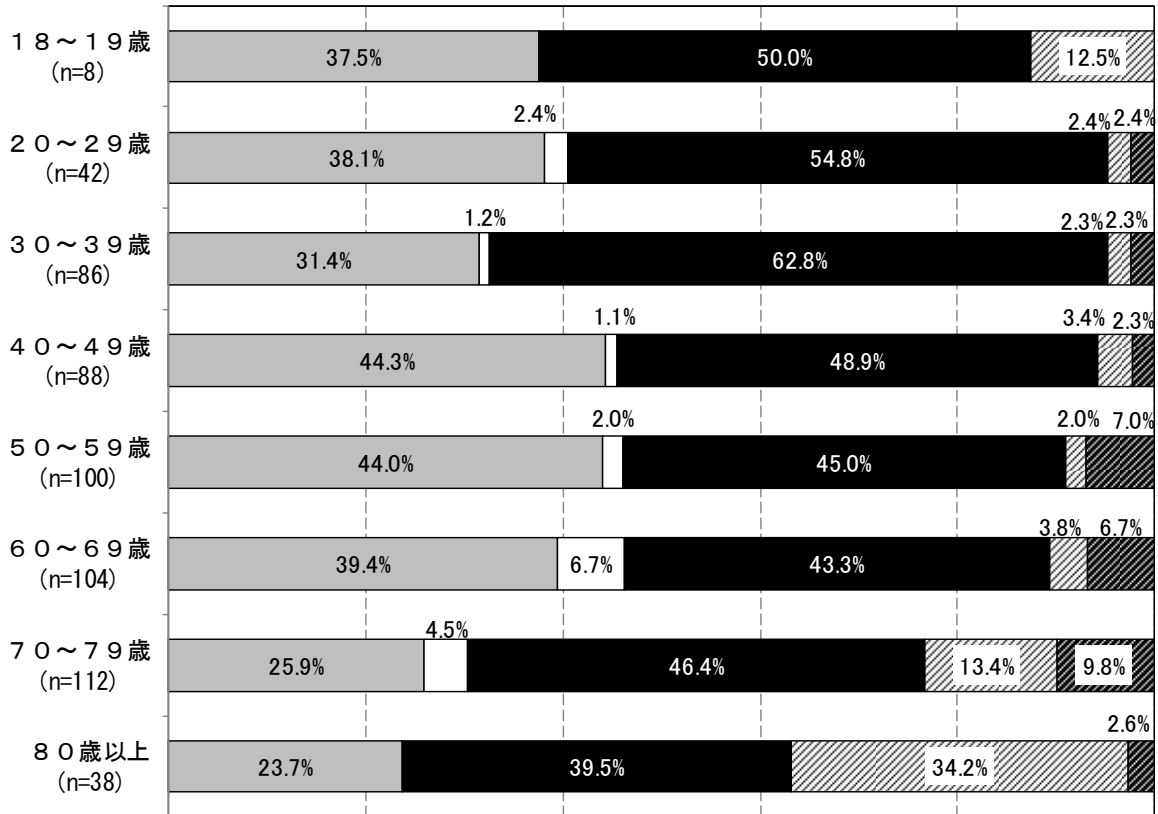
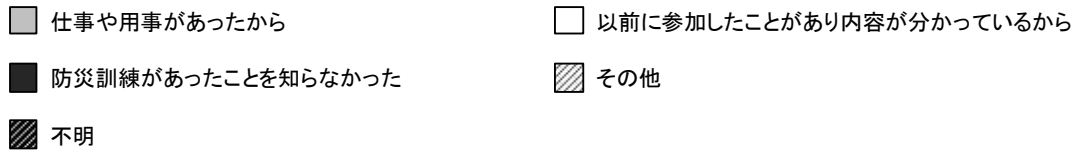
<全体>



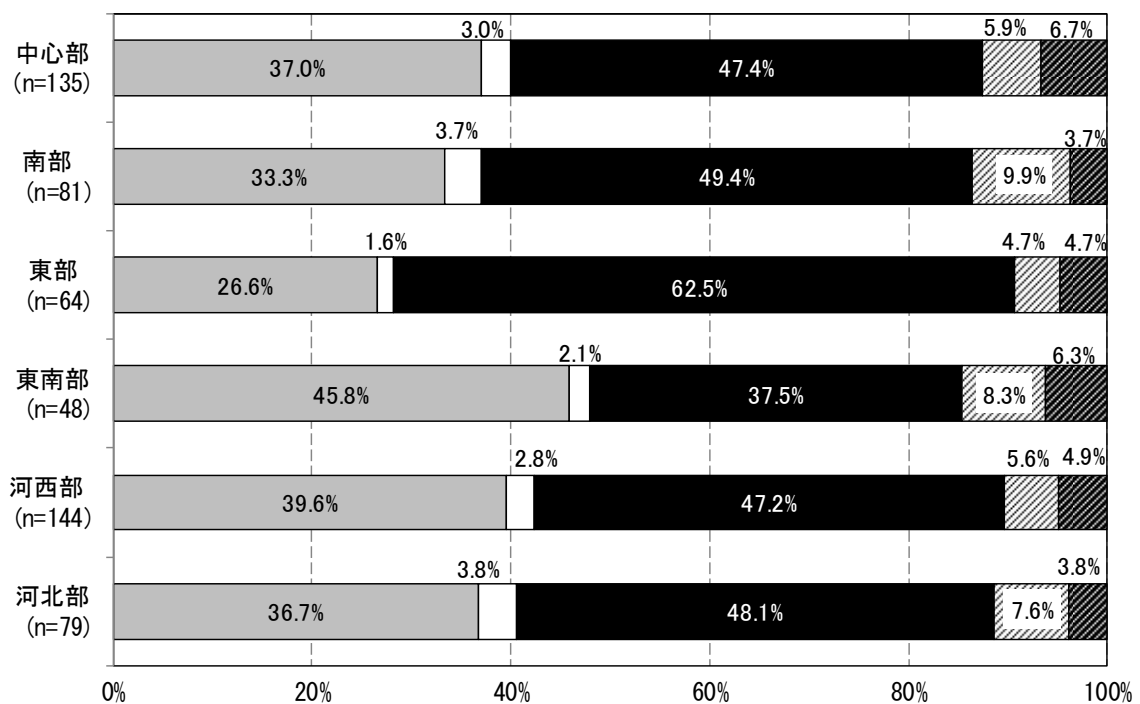
<男女別>



<年代別>



<地域別>



その他：「身体的に困難」、「高齢のため」など

問3 1 防災訓練参加への意向

問3 1 あなたは、市や地域が実施する防災訓練があれば参加しますか？

1. はい

2. いいえ

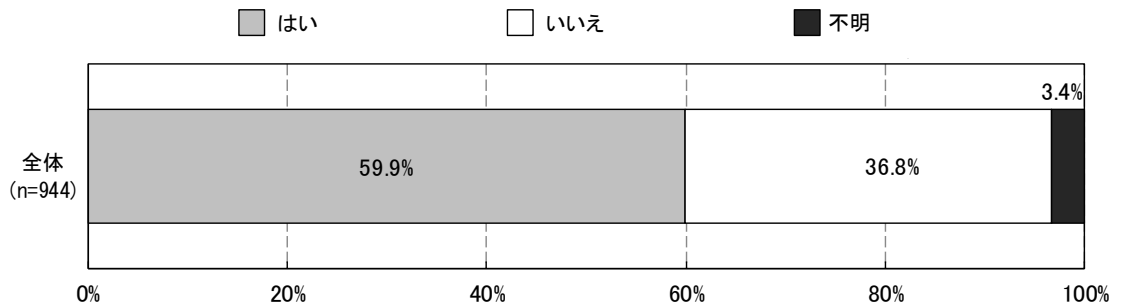
防災訓練参加への意向として、「はい」と回答された方の割合は 59.9%、「いいえ」は 36.8%となった。

男女別では大きな差異は見られなかった。

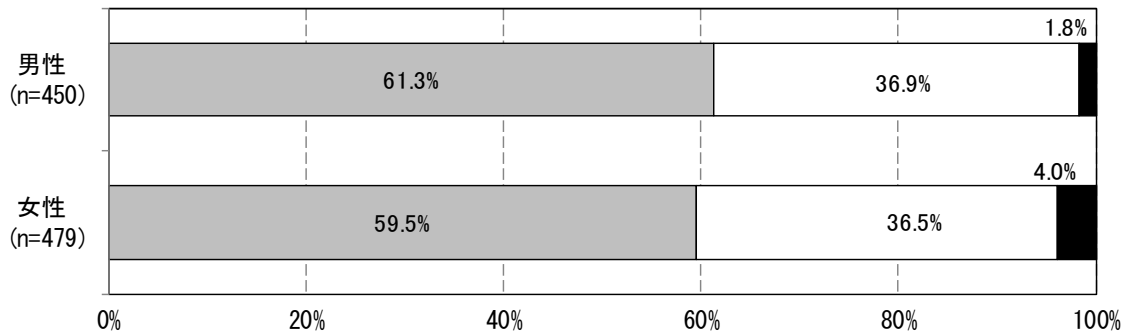
年代別では、「はい」と回答された方の割合が最も高かった年代は「60～69歳」（70.5%）となった。

地域別では、いずれの地域においても「はい」が半数を超えている。

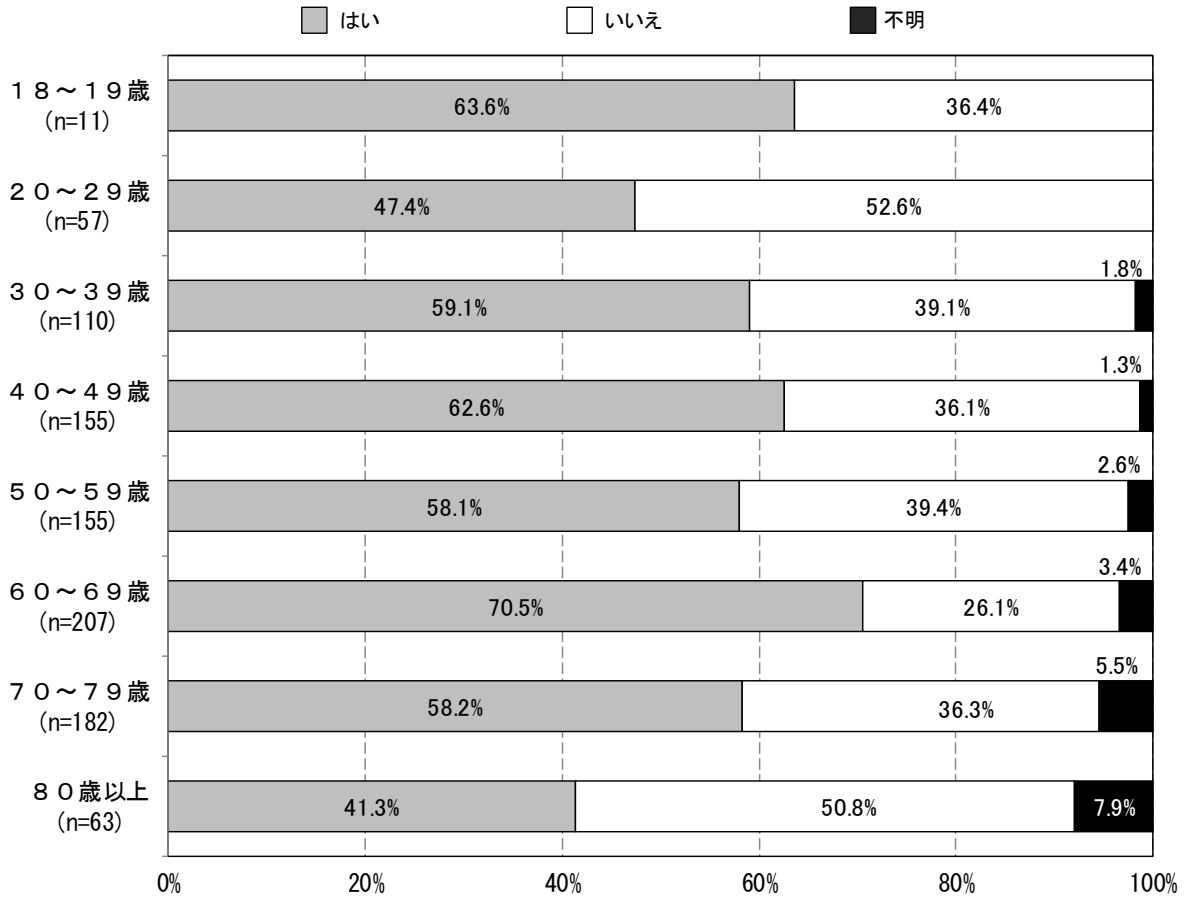
<全体>



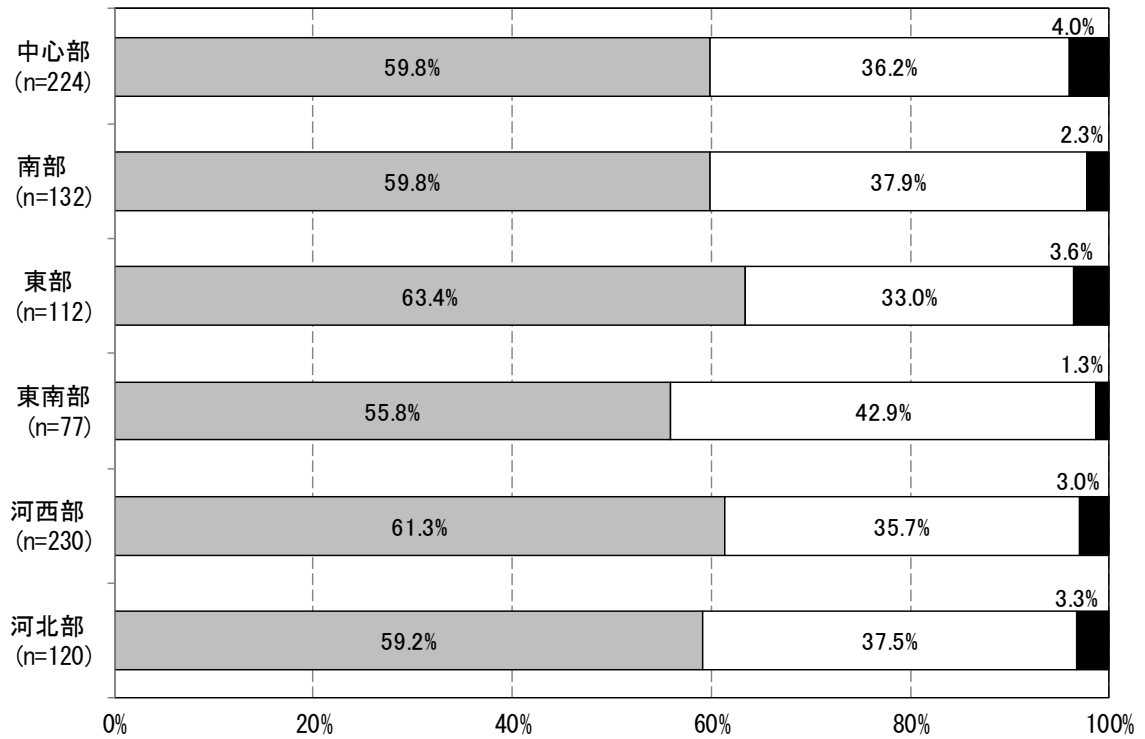
<男女別>



<年代別>



<地域別>



問31-1 防災訓練に参加しない理由

問31-1 問31で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。参加されない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 仕事や用事があり忙しいから
2. 参加しなくても、いざとなれば対応できると思うから
3. 災害時に役に立つと思わないから
4. 参加したいが、体調が悪く参加できない
5. その他

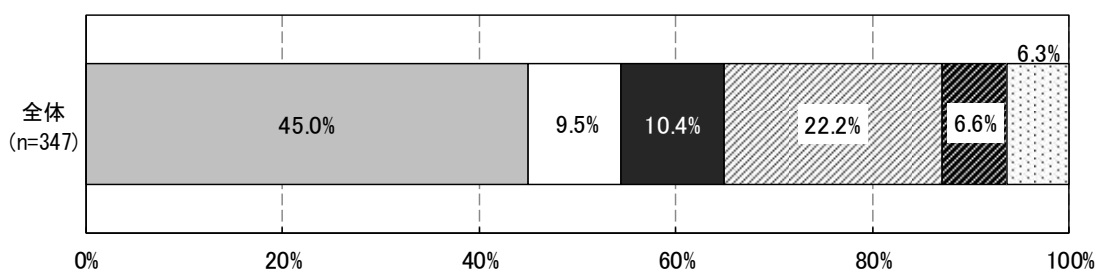
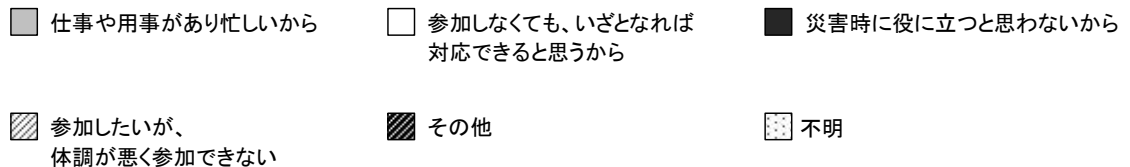
防災訓練に参加しない理由として最も多かったのが「仕事や用事があり忙しいから」(45.0%)であった。次いで、「参加したいが、体調が悪く参加できない」(22.2%)、「災害時に役に立つと思わないから」(10.4%)と続いた。

男女別では、男性で「参加しなくても、いざとなれば対応できると思うから」を回答された方の割合は15.1%、女性は4.6%となった。

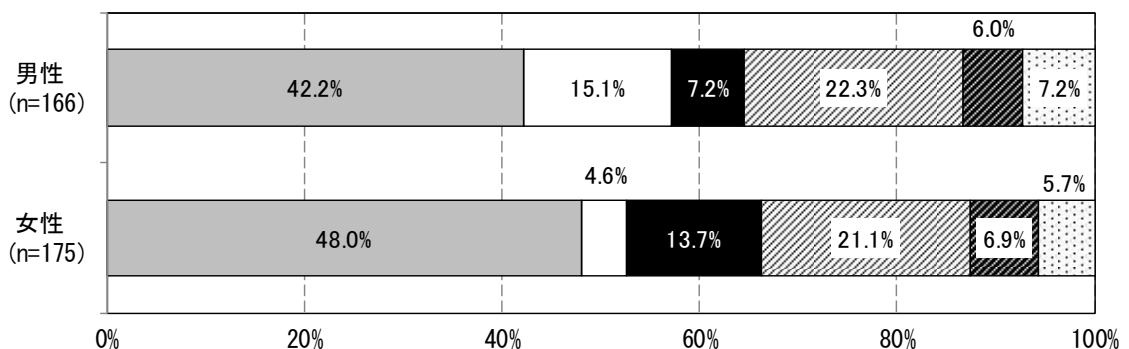
年代別では、「参加したいが、体調が悪く参加できない」と回答された方の割合が最も高かったのは「80歳以上」(81.3%)となった。また、「仕事や用事があり忙しいから」と回答された方の割合が最も高かったのは「40～49歳」(75.0%)であった。

地域別では、「仕事や用事があり忙しいから」と回答された方の割合が最も高かったのは「河北部」(55.6%)であった。また、「参加したいが、体調が悪く参加できない」と回答された方の割合が最も高かったのは「中心部」(29.6%)であった。

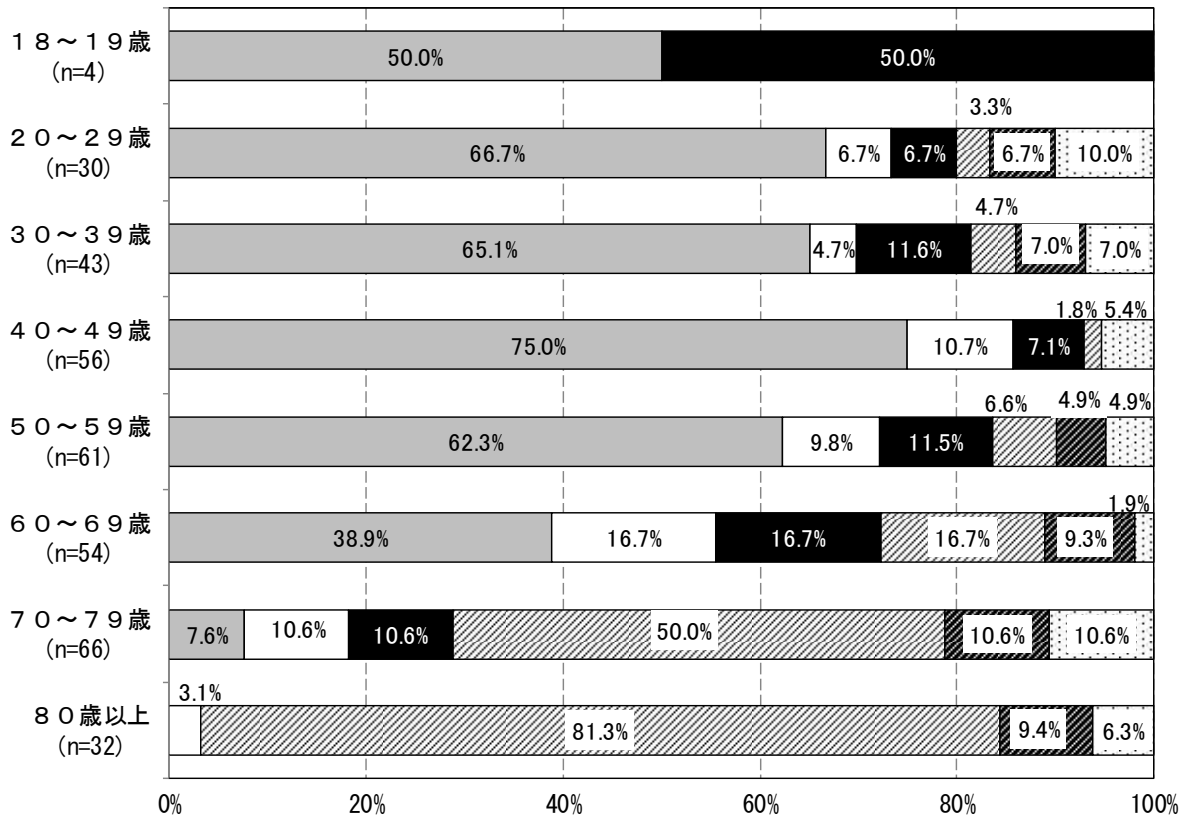
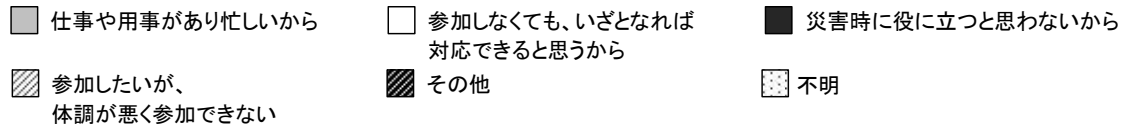
<全体>



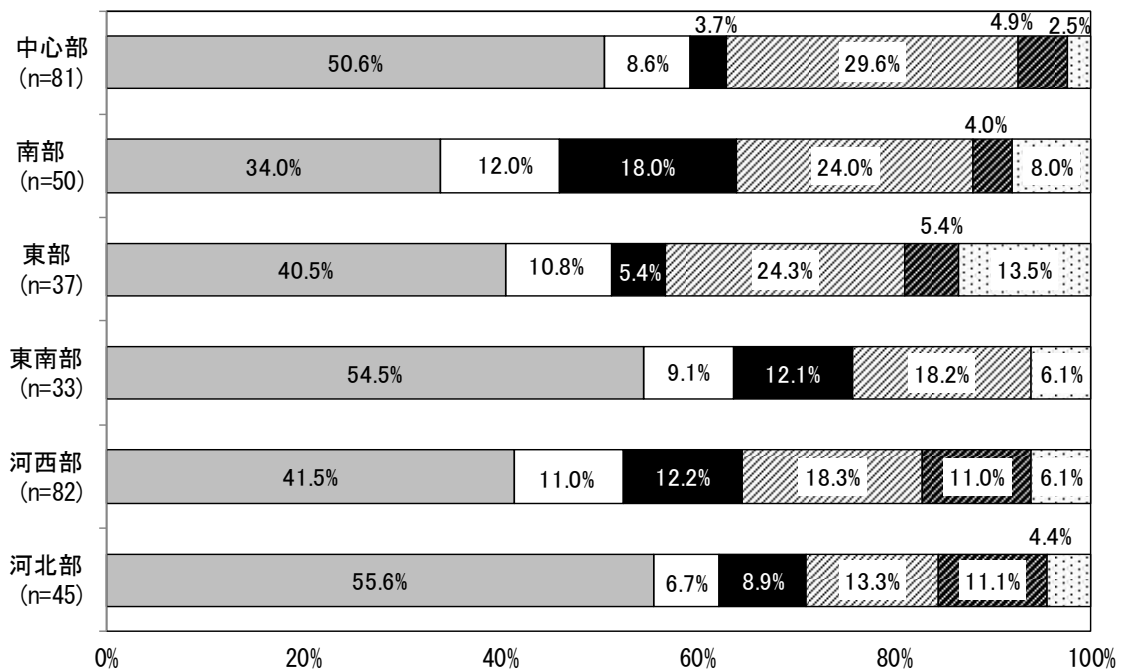
<男女別>



<年代別>



<地域別>



その他：「高齢のため」、「別の避難訓練に参加」など

問3 2 避難場所の認識状況

問3 2 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

1. 知っている

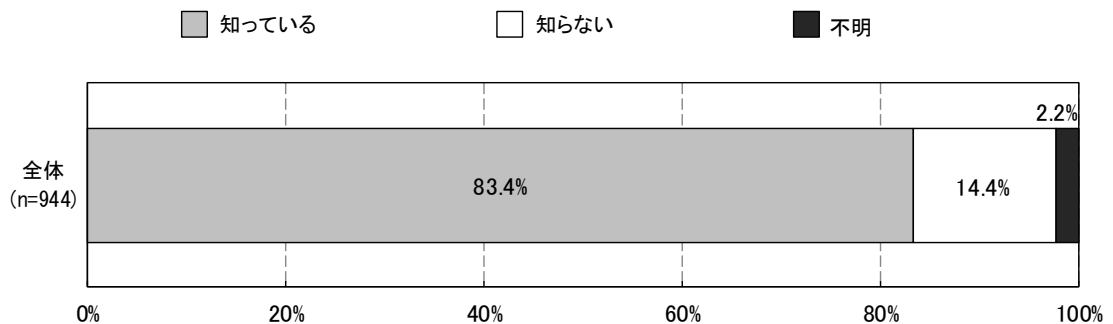
2. 知らない

避難場所を知っているかどうかについて「知っている」と回答された方の割合が83.4%、「知らない」が14.4%となった。

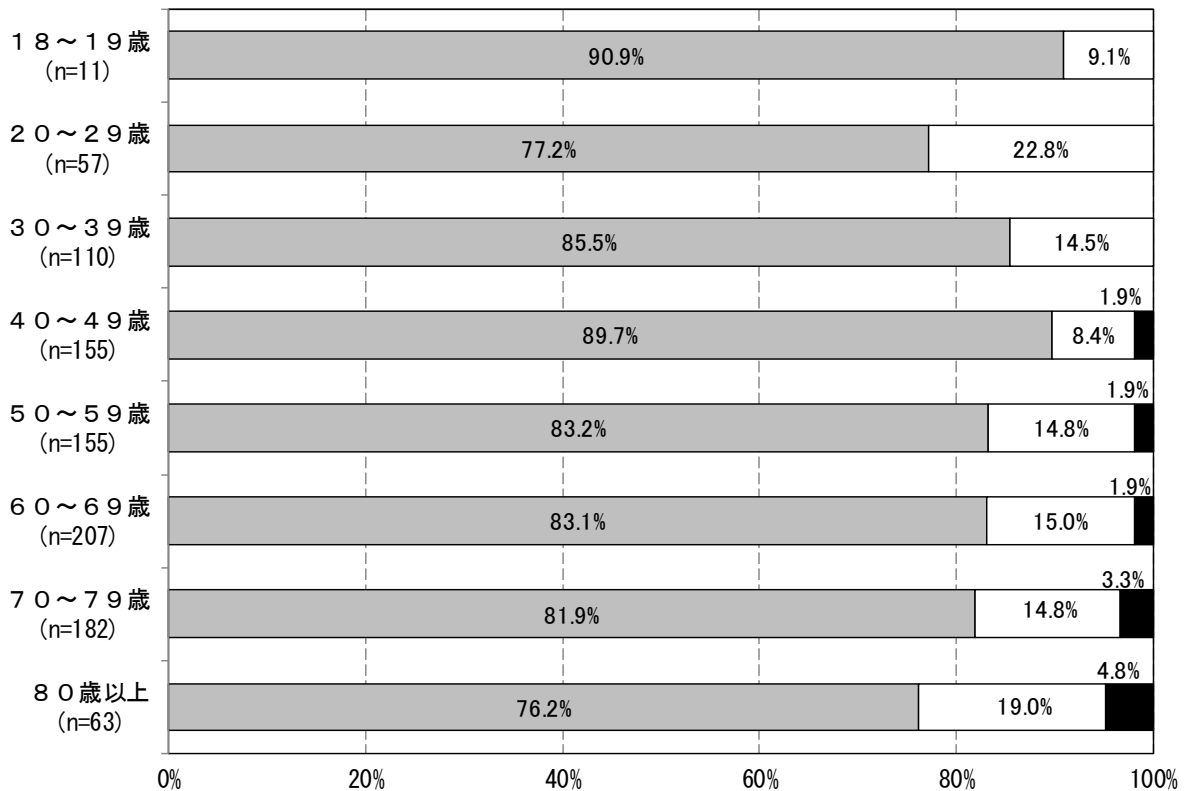
年代別では、「知っている」と回答された方が最も高かった年代は「18～19歳」で90.9%、次いで「40～49歳」（89.7%）、「30～39歳」（85.5%）と続いた。

地域別では、「知っている」と回答された方が最も高かった地域は「東部」（92.9%）で、次いで「東南部」（90.9%）、「南部」（87.9%）と続いた。

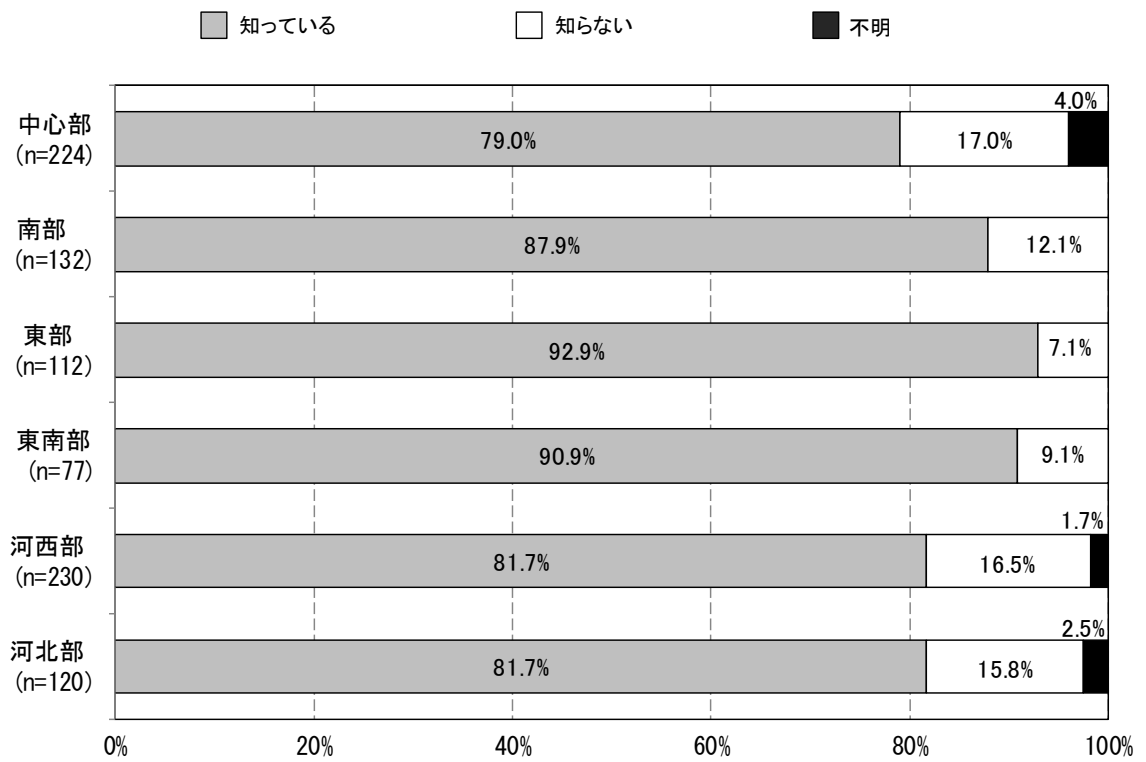
<全体>



<年代別>



<地域別>



問33 災害時の避難場所や避難経路について

問33 あなたは、災害から身を守るために、どの避難場所に逃げるか、どんな経路を通して逃げるか、日頃から調べたり、話し合ったりしていますか？

1. している

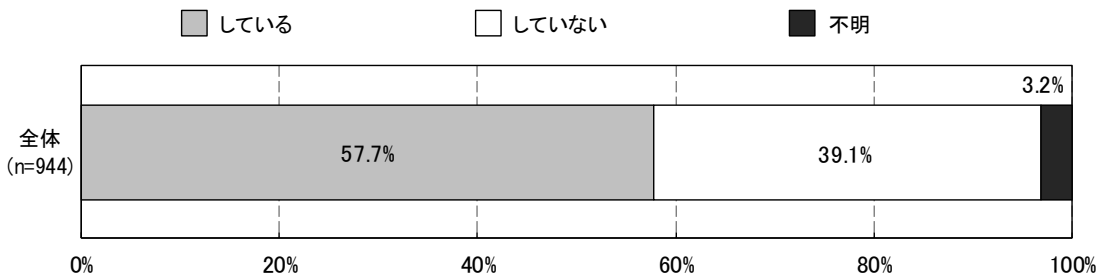
2. していない

避難場所や避難経路を日頃から調べたり、話し合ったりしているかどうかについて、「している」と回答された方の割合が57.7%、「していない」が39.1%となった。

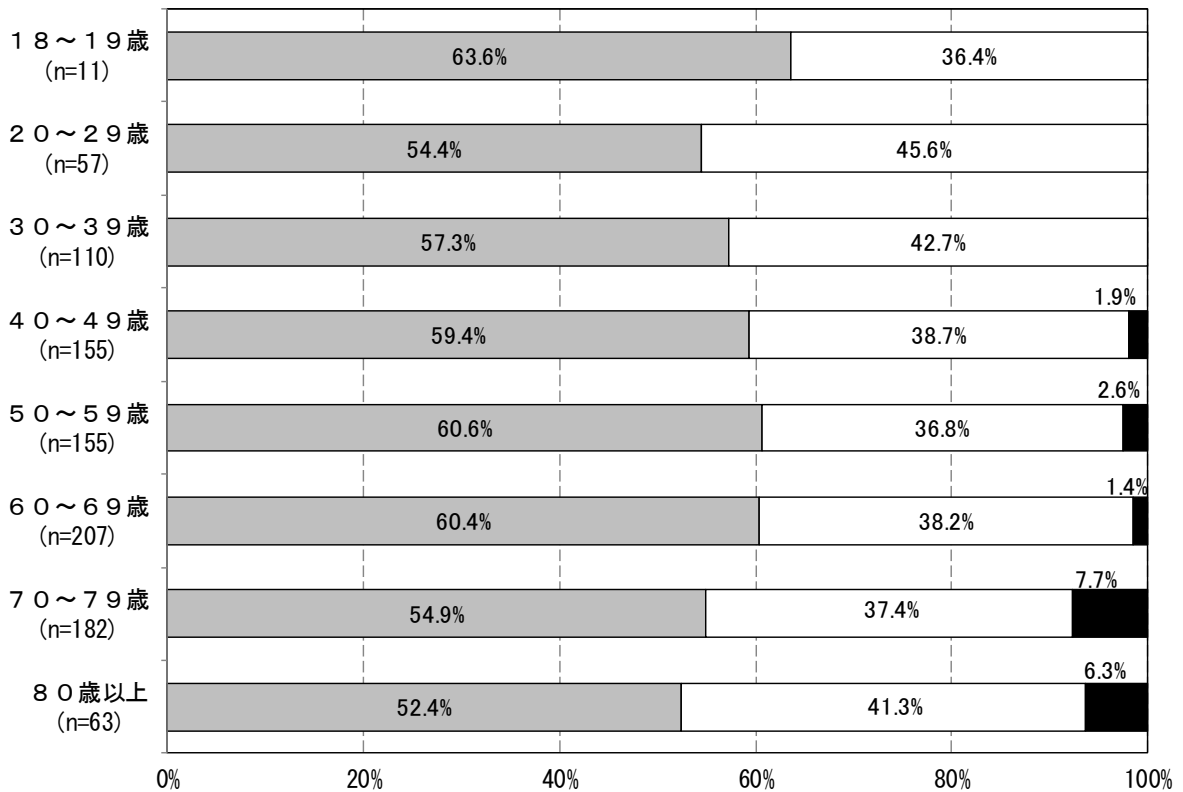
年代別では、「している」と回答された方がどの年代も半数を超えている。

地域別では、「している」と回答された方が最も高かった地域は「南部」(64.4%)で、次いで「東南部」(59.7%)、「中心部」(59.4%)と続いた。

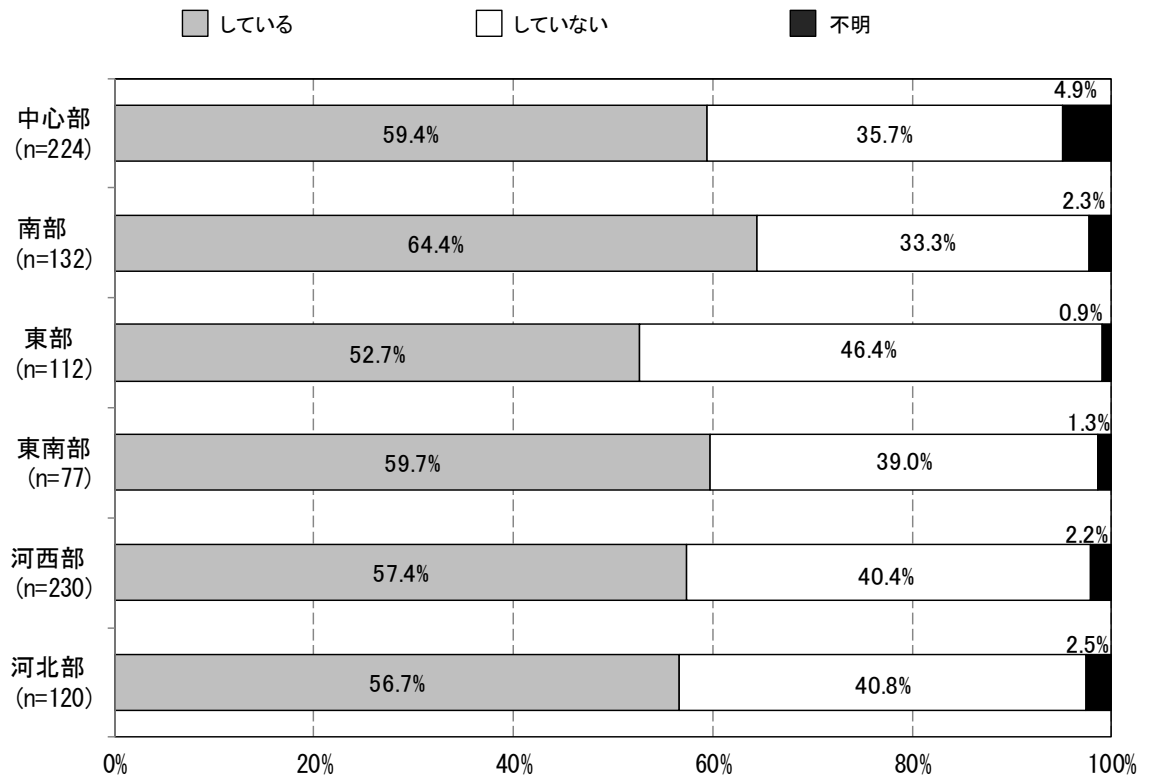
<全体>



<年代別>



<地域別>

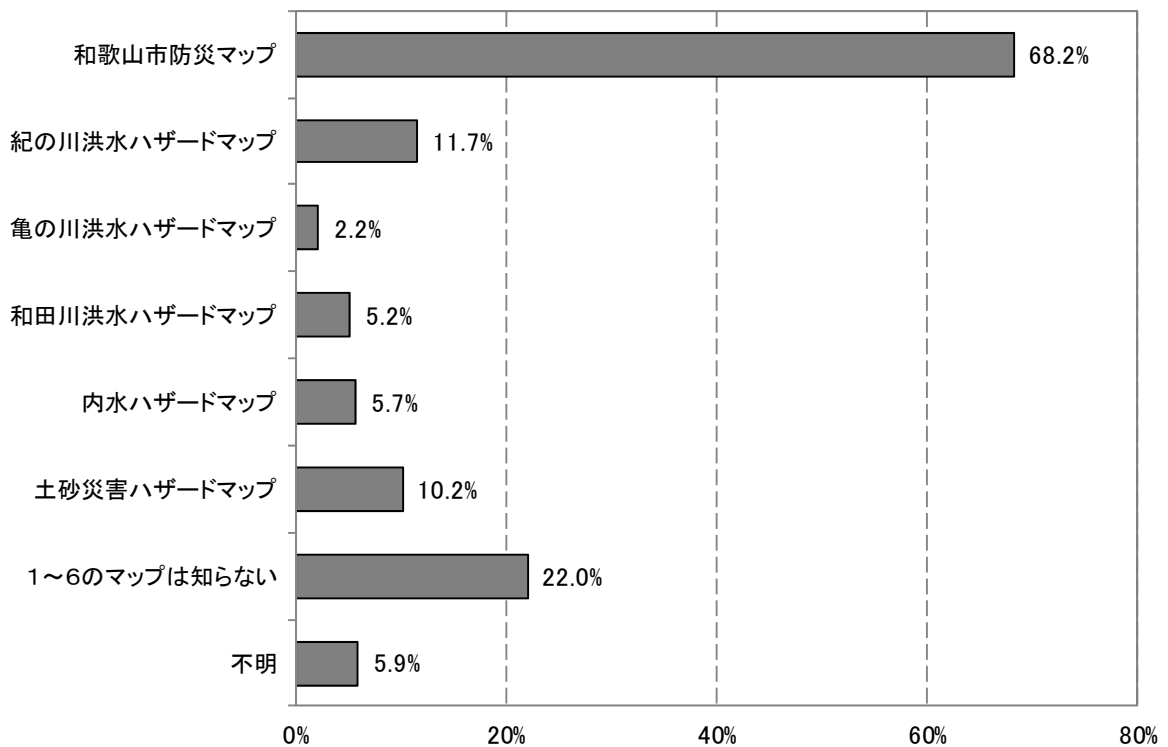


問34 ハザードマップの認知度

問34 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 和歌山市防災マップ
2. 紀の川洪水ハザードマップ
3. 亀の川洪水ハザードマップ
4. 和田川洪水ハザードマップ
5. 内水ハザードマップ
6. 土砂災害ハザードマップ
7. 1～6のマップは知らない

和歌山市が作成しているハザードマップの認知度について、認知度の最も高かったのが「和歌山市防災マップ」(68.2%)となった。また、「1～6のマップは知らない」と回答された方も22.0%いる結果となった。

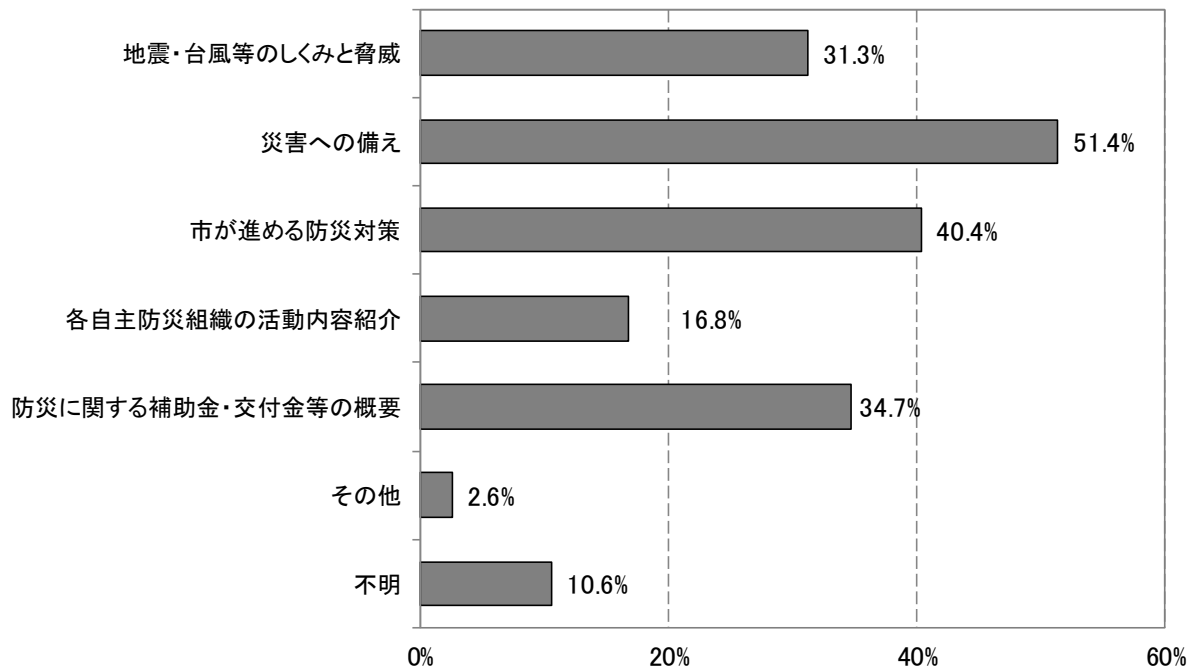


問35 必要な防災情報

問35 あなたは、市報わかやまや防災ホームページ等に、どのような防災情報を掲載してほしいですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 地震・台風等のしくみと脅威
2. 災害への備え
3. 市が進める防災対策
4. 各自主防災組織の活動内容紹介
5. 防災に関する補助金・交付金等の概要
6. その他

市報わかやまや防災ホームページ等に掲載してほしい情報として最も多かったのが、「災害への備え」(51.4%)となった。次いで「市が進める防災対策」(40.4%)、「防災に関する補助金・交付金等の概要」(34.7%)と続いた。



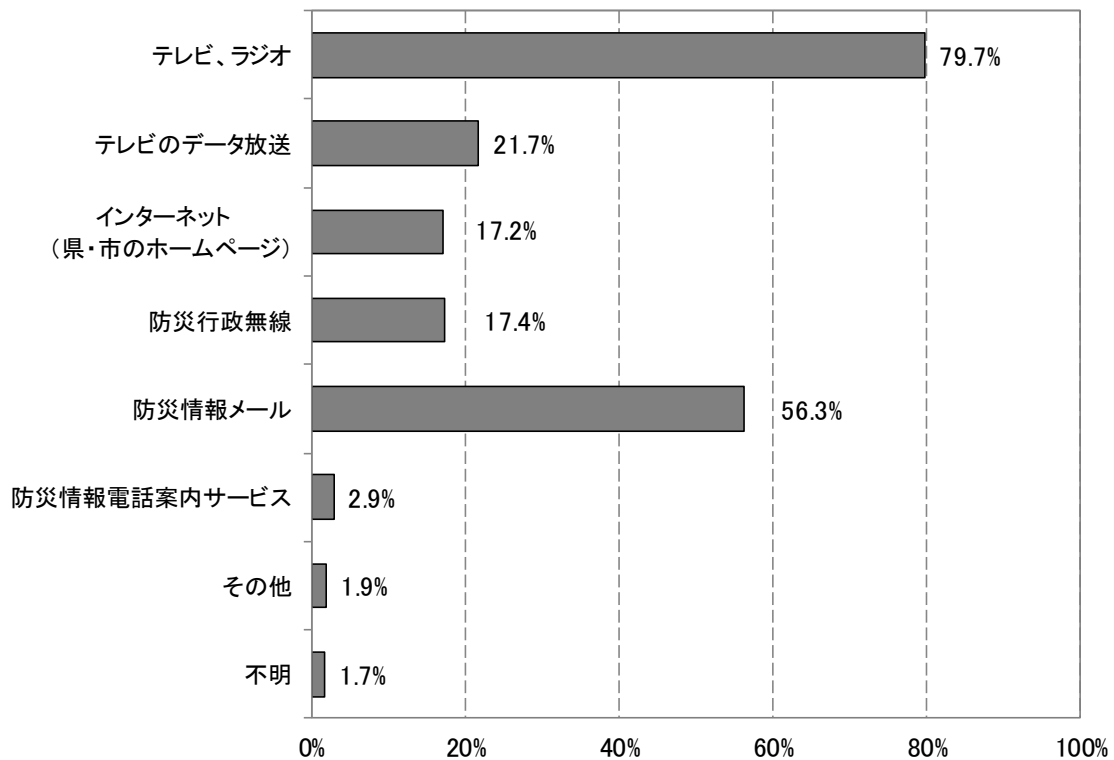
その他：「地域別の避難場所」、「津波の予想到達時間」など

問37 災害に関する情報を得る手段

問37 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか？あてはまるものを全てお選びください。

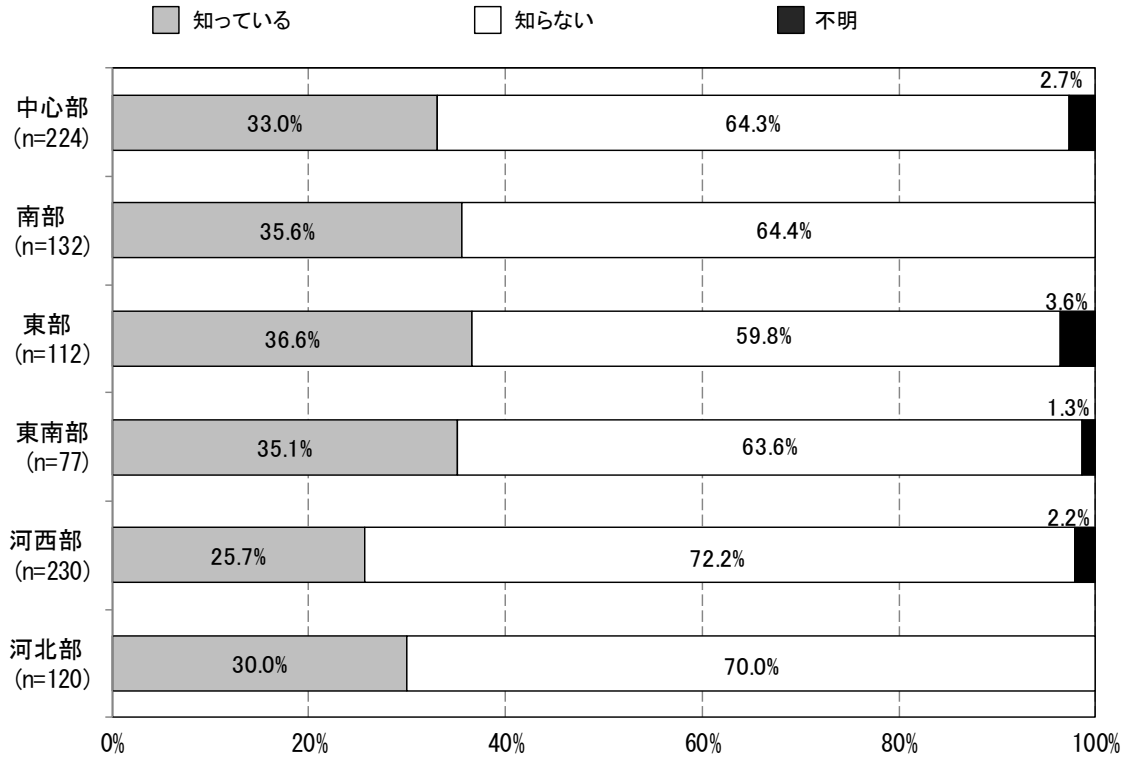
1. テレビ、ラジオ
2. テレビのデータ放送
3. インターネット（県・市のホームページ）
4. 防災行政無線
5. 防災情報メール
6. 防災情報電話案内サービス
7. その他

災害に関する情報を得る手段として最も多かったのが「テレビ、ラジオ」で79.7%となった。次いで、「防災情報メール」（56.3%）となり、この二つが他の手段に比べ大きな割合を示した。



その他：「スマホ・携帯電話」、「SNS」など

<地域別>

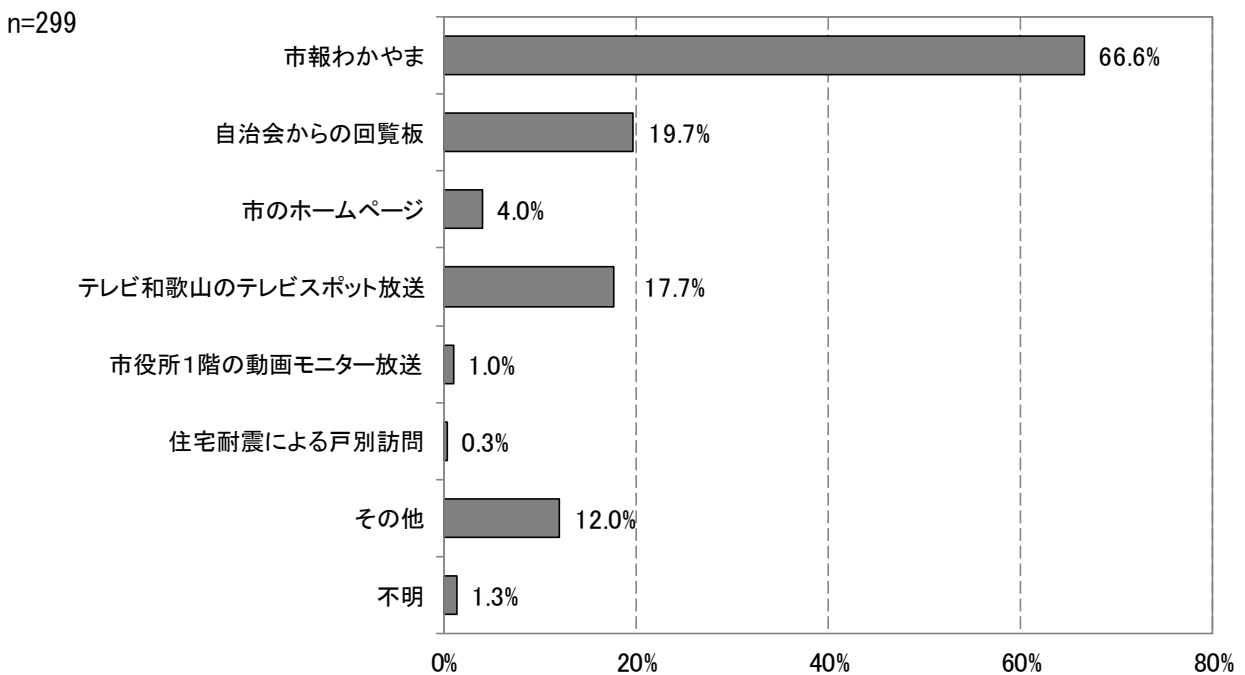


問38-1 危険なブロック塀等の撤去費用の補助制度を知った方法

問38-1 問38で「1. 知っている」と回答された方のみお答えください。この補助制度をどのようにして知りましたか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 市報わかやま
2. 自治会からの回覧板
3. 市のホームページ
4. テレビ和歌山のテレビスポット放送
5. 市役所1階の動画モニター放送
6. 住宅耐震による戸別訪問
7. その他

危険なブロック塀等の撤去費用の補助制度を知った方法として、最も多かったのが「市報わかやま」(66.6%)となった。次いで、「自治会からの回覧板」(19.7%)、「テレビ和歌山のテレビスポット放送」(17.7%)と続いた。



その他：「ラジオ」、「新聞」、「補助制度を利用した人から」など

8. 防犯対策について

問39 治安状況

問39 あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？あてはまるものを1つお選びください。

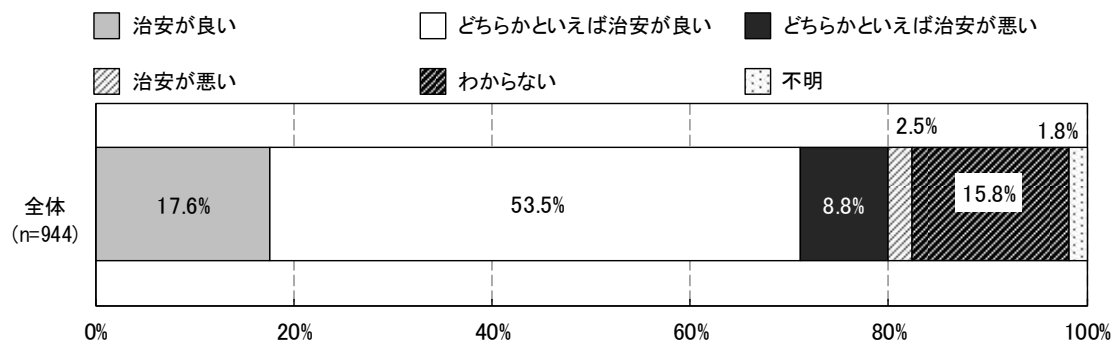
- | | |
|------------------|----------|
| 1. 治安が良い | 4. 治安が悪い |
| 2. どちらかといえば治安が良い | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば治安が悪い | |

和歌山市の治安状況について、「治安が良い」(17.6%)と「どちらかといえば治安が良い」(53.5%)をあわせた71.1%が治安が良いと感じている結果となった。

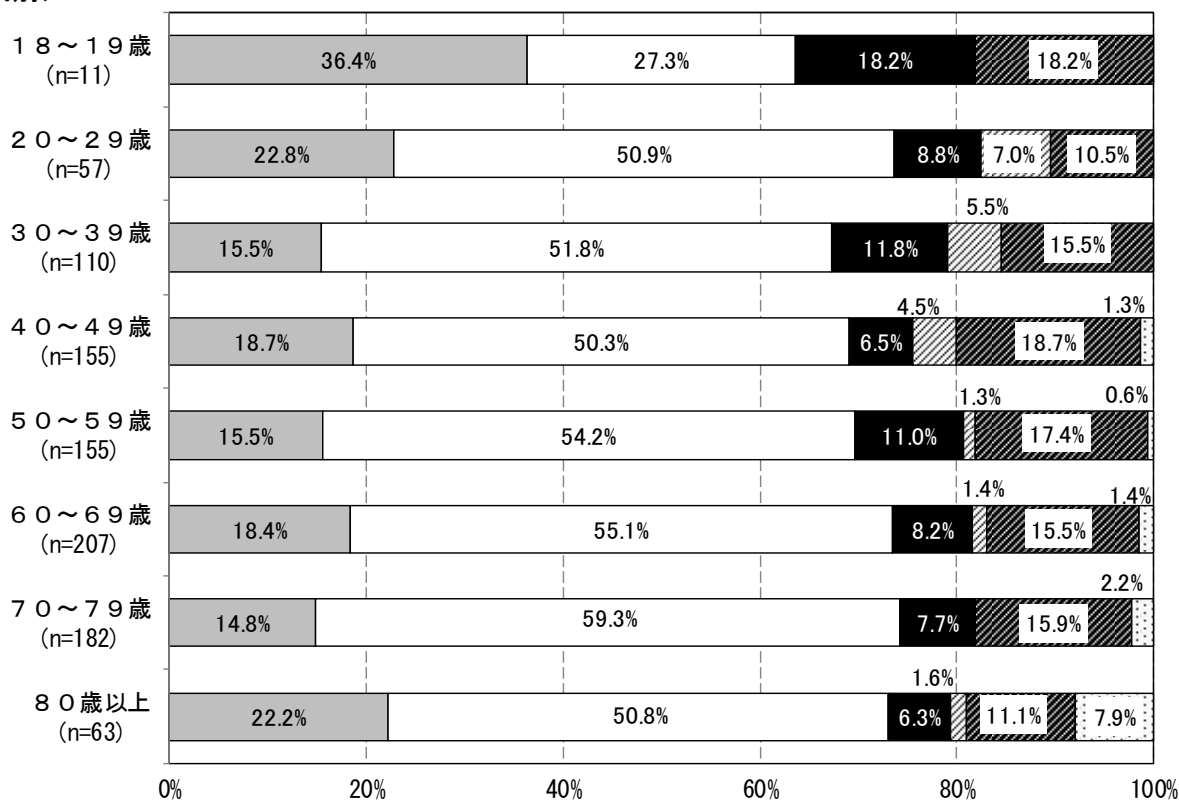
年代別では、治安が良いと感じている割合が最も高かったのが「70～79歳」(74.1%)、最も低かったのが「18～19歳」(63.7%)となり、すべての年代で60%を超える結果となった。

地域別では、治安が良いと感じている割合が最も高かったのが「南部」(81.0%)、最も低かったのは「河北部」(62.5%)となった。

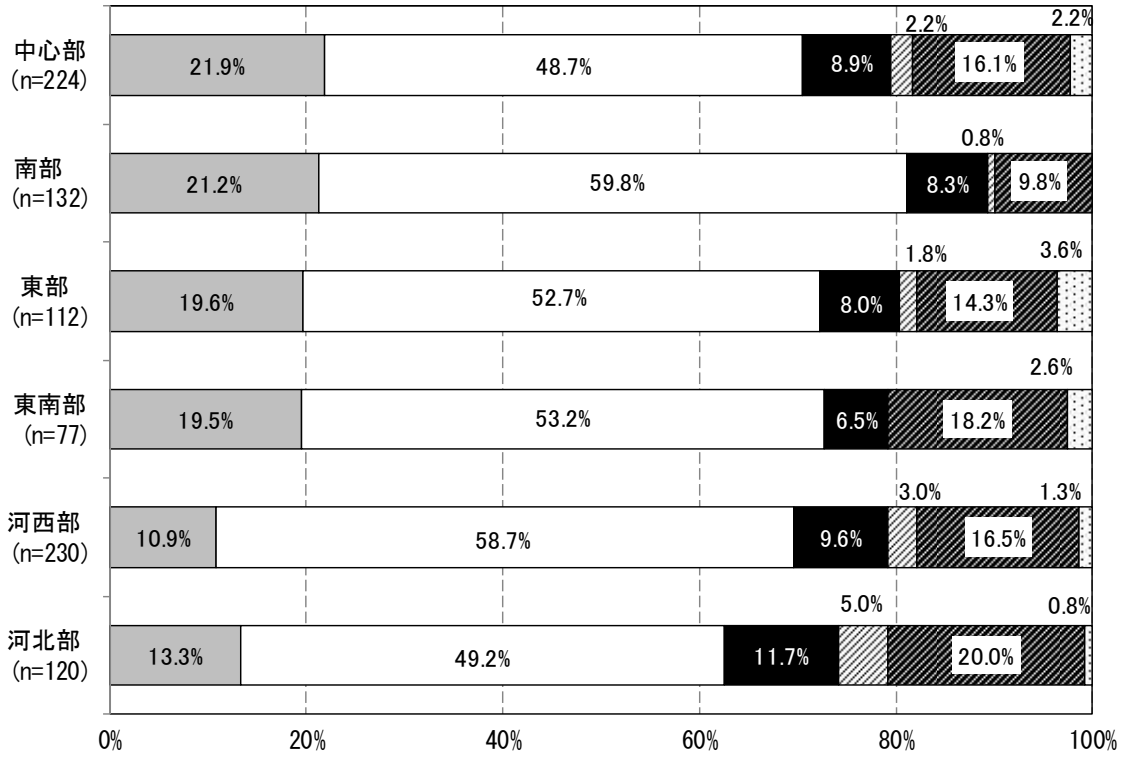
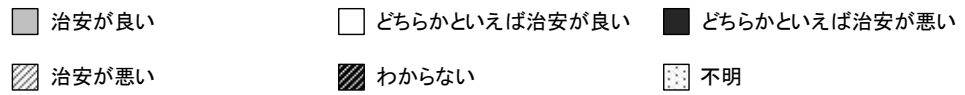
<全体>



<年代別>



<地域別>



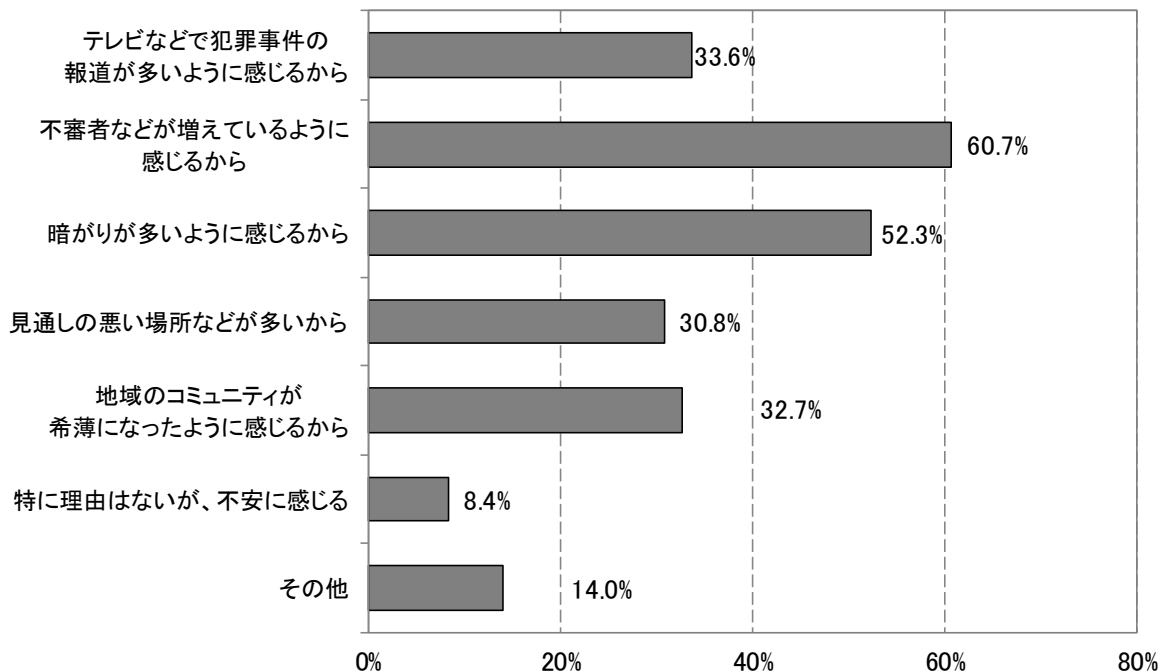
問39-1 治安が悪い理由

問39-1 問39で「3. どちらかといえば治安が悪い」「4. 治安が悪い」と回答された方のお答えください。あなたが、治安が悪いと感じる理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから
2. 不審者などが増えているように感じるから
3. 暗がりが多いように感じるから
4. 見通しの悪い場所などが多いから
5. 地域のコミュニティが希薄になったように感じるから
6. 特に理由はないが、不安を感じる
7. その他

治安が悪いと感じる理由について、「不審者などが増えているように感じるから」と回答された方が最も多く、その割合は60.7%となった。次いで、「暗がりが多いように感じるから」(52.3%)、「テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから」(33.6%)と続いた。

n=107



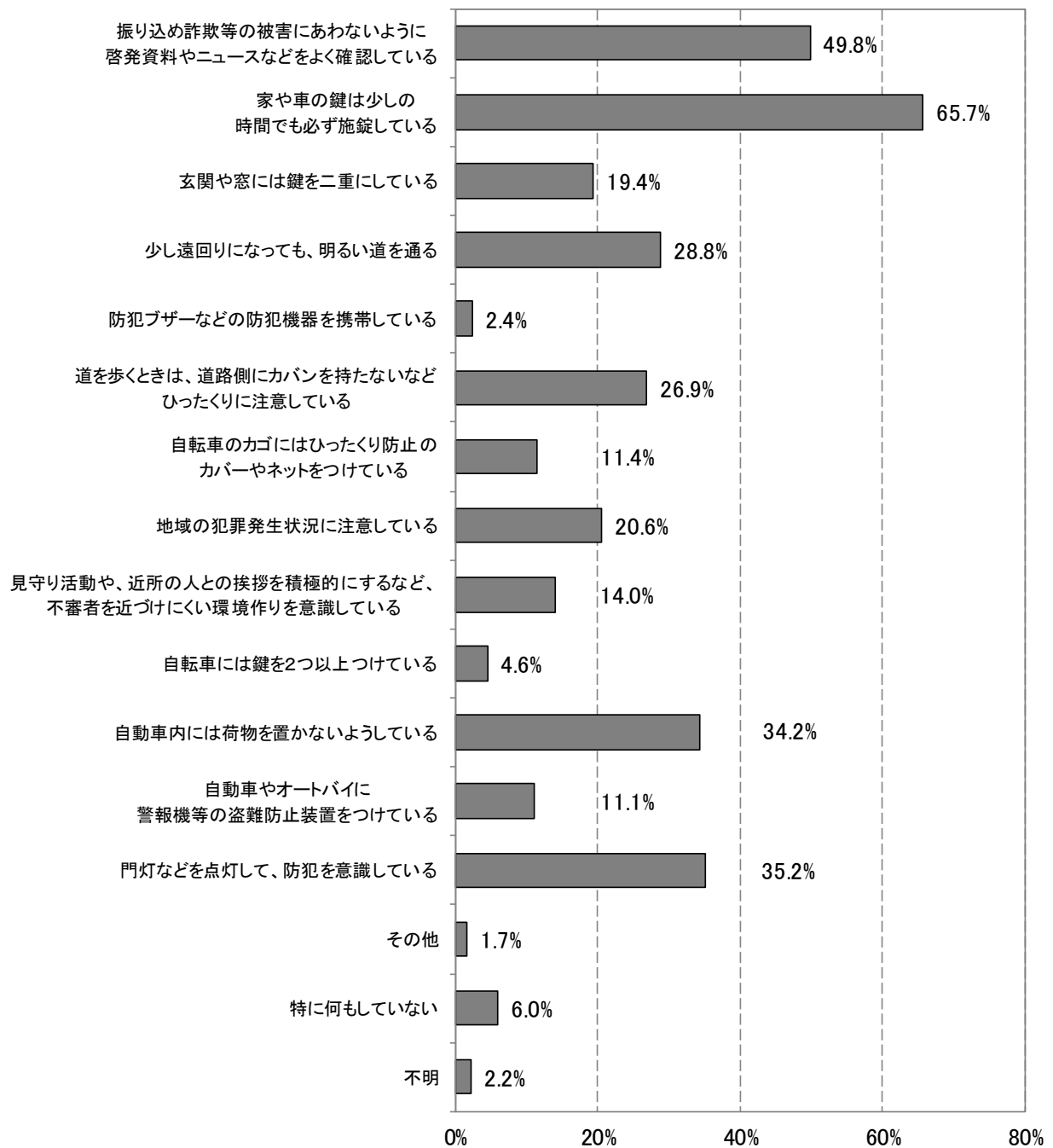
その他：「不審者が多い」、「警察が頼りない」など

問40 犯罪の被害にあわないために心がけていること

問40 犯罪被害を防止するためには、日常生活において市民一人ひとりが防犯について意識することが大切です。あなたが犯罪の被害にあわないために、日常生活で心がけていることは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 少し遠回りになっても、明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどの防犯機器を携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たないなどひったくりに注意している
7. 自転車のカゴにはひったくり防止のカバーやネットをつけている
8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や、近所の人との挨拶を積極的にするなど、不審者を近づけにくい環境作りを意識している
10. 自転車には鍵を2つ以上つけている
11. 自動車内には荷物を置かないようしている
12. 自動車やオートバイに警報機等の盗難防止装置をつけている
13. 門灯などを点灯して、防犯を意識している
14. その他
15. 特に何もしていない

犯罪の被害にあわないために心がけていることについて、「家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している」と回答された方が最も多く、その割合は65.7%となった。次いで、「振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している」(49.8%)、「門灯などを点灯して、防犯を意識している」(35.2%)となった。



その他：「監視カメラの設置」、「犬を飼う」など

9. 健康について

問4 1 健康づくりへの取り組み状況

問4 1 あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？

1. はい

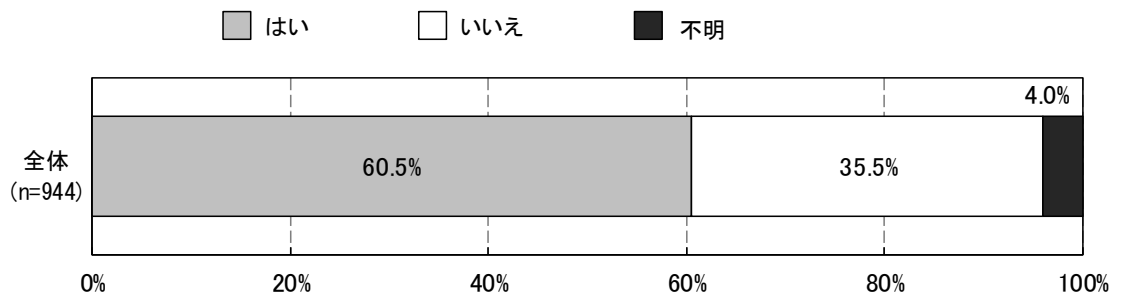
2. いいえ

健康づくりへの取り組み状況について、「はい」と回答された方の割合は60.5%、「いいえ」は35.5%となった。

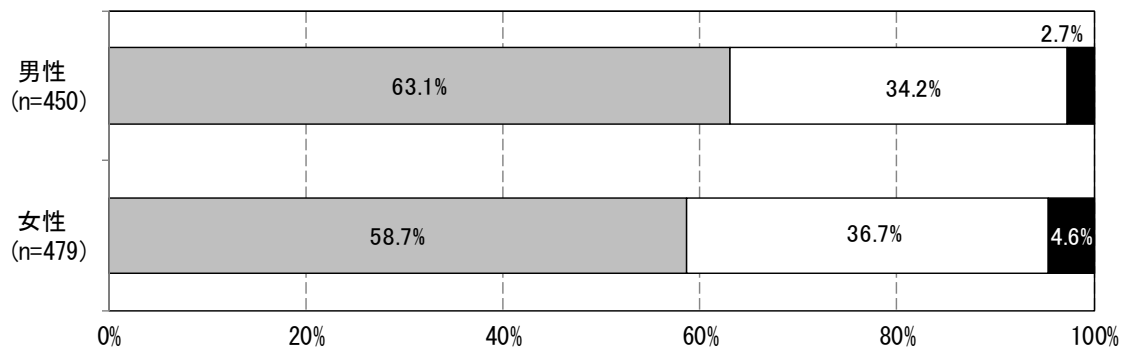
男女別では、男性で「はい」と回答された方の割合は63.1%、女性では58.7%となった。

年代別では、「はい」と回答された割合が最も低かったのは「20～29歳」で47.4%、他の年代ではいずれも半数を超えている。

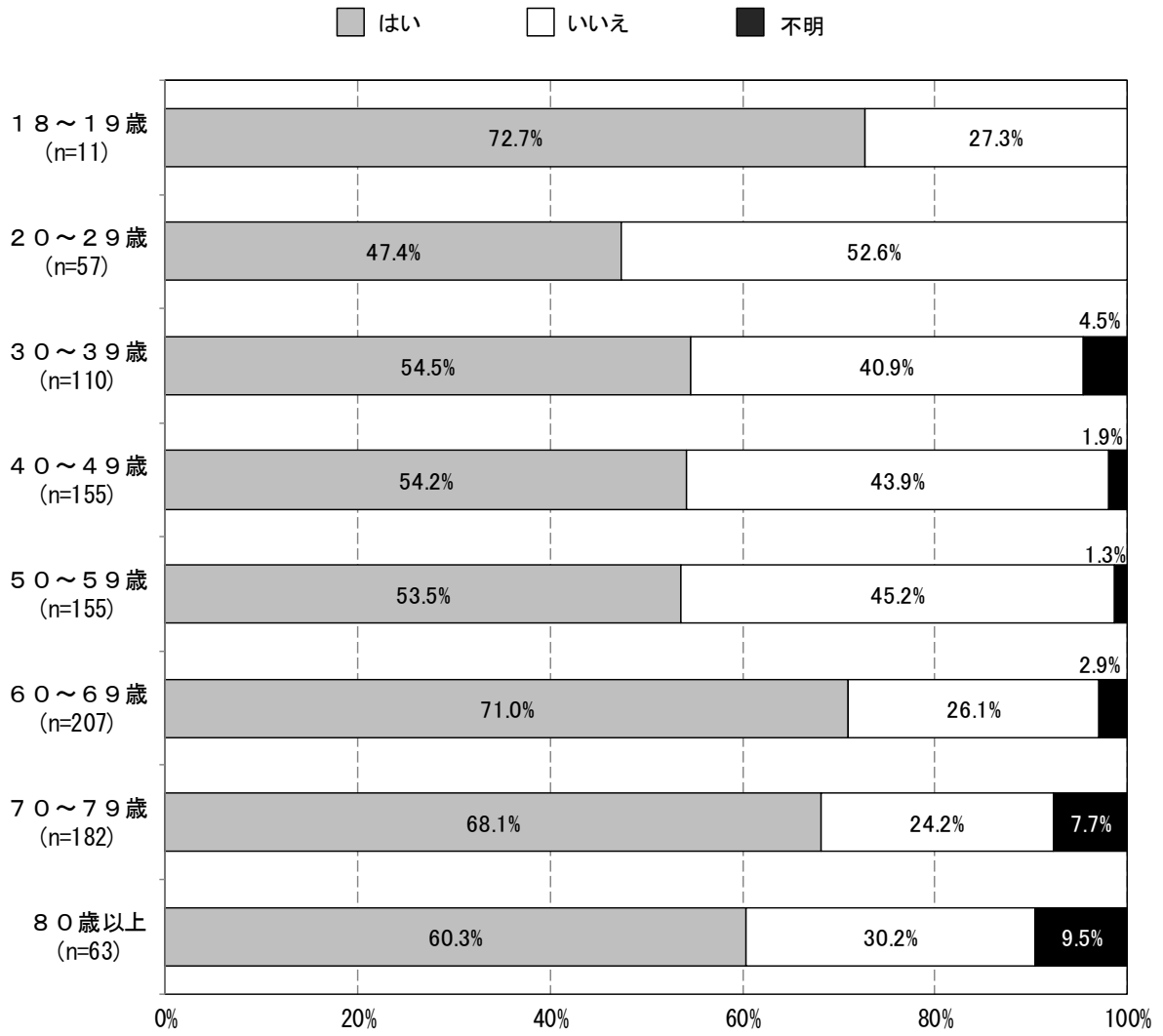
<全体>



<男女別>



<年代別>



問42 喫煙状況

問42 あなたは、タバコを吸っていますか？（20歳以上の方のみお答えください。）

1. 現在吸っている
2. 吸ったことはあるが今は吸っていない
3. 吸ったことがない

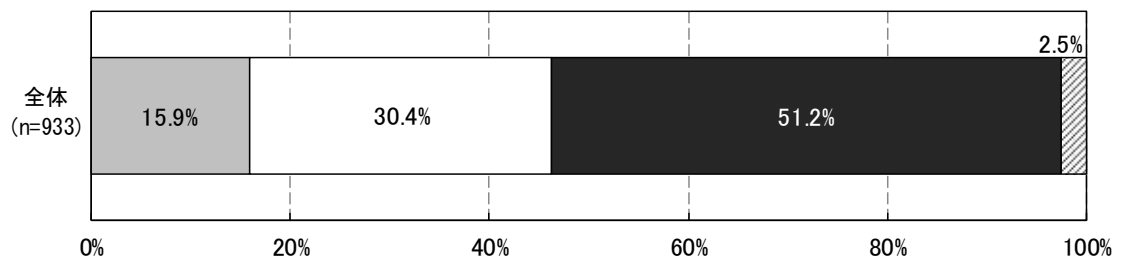
喫煙状況について、「吸ったことがない」の回答が最も多くその割合は51.2%となった。次いで、「吸ったことはあるが今は吸っていない」（30.4%）、「現在吸っている」（15.9%）と続いた。

男女別では、「現在吸っている」と回答された男性は23.2%、女性は9.1%となった。また、「吸ったことはあるが今は吸っていない」と回答された男性は50.5%、女性は11.8%となり、男性の方が喫煙経験者の割合が高いことがわかる。

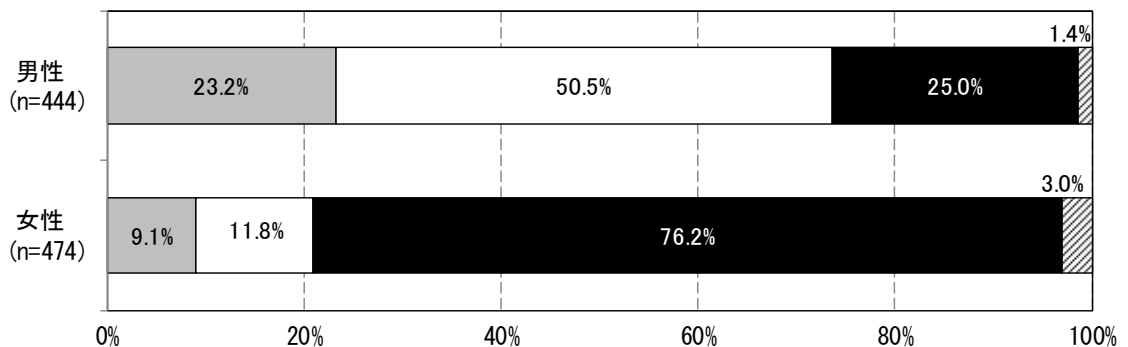
年代別では、「現在吸っている」と回答された方の割合が最も高い年代は「40～49歳」（24.5%）となった。また、そこから年代が上がるに従ってその割合は減少し、「80歳以上」では1.6%となった。

<全体>

■ 現在吸っている □ 吸ったことはあるが今は吸っていない ■ 吸ったことがない ▨ 不明

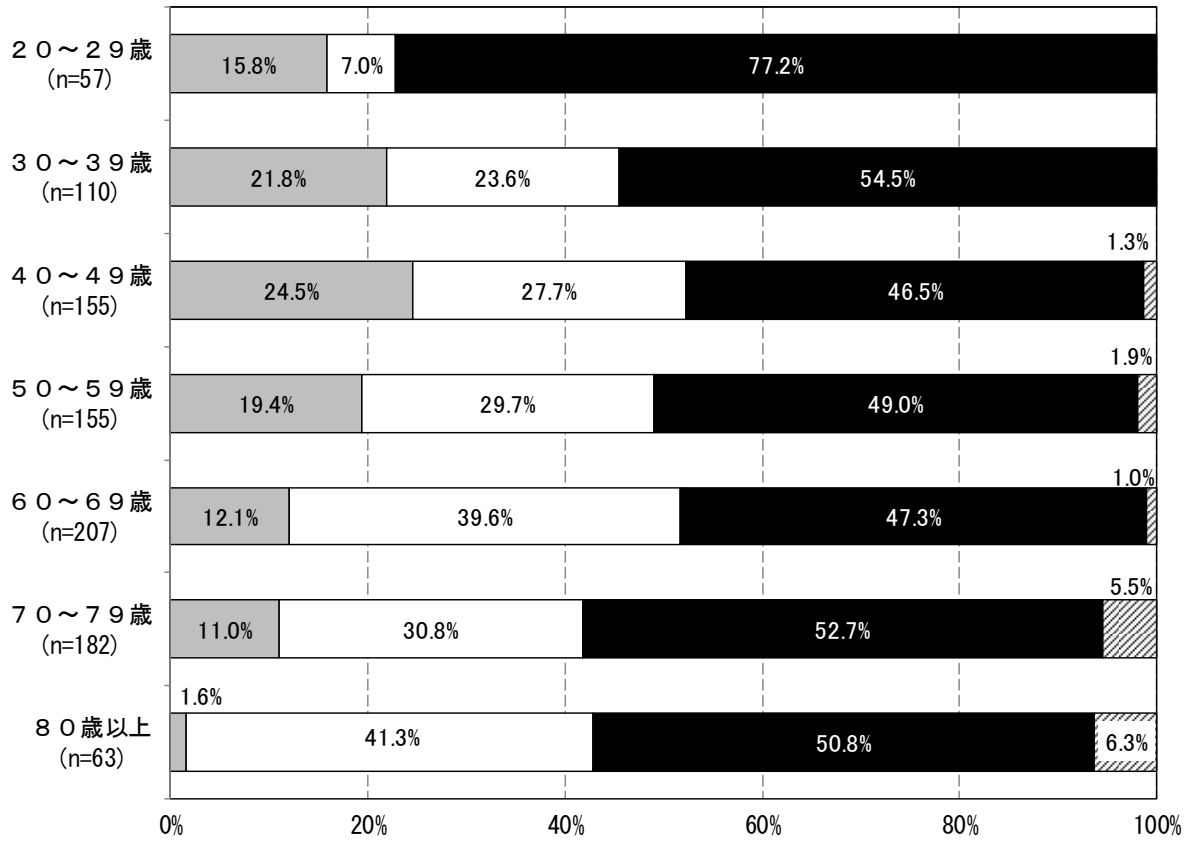


<男女別>



<年代別>

現在吸っている
 吸ったことはあるが今は吸っていない
 吸ったことがない
 不明



問42-1 禁煙に対する考え方

問42-1 問42で「1. 現在吸っている」と回答された方のみお答えください。あなたが、最もあてはまるものを1つお選びください

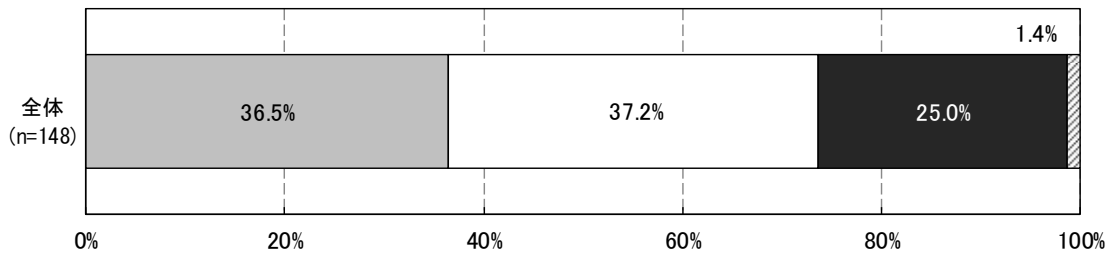
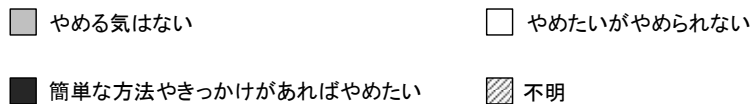
1. やめる気はない
2. やめたいがやめられない
3. 簡単な方法やきっかけがあればやめたい

問42で「現在吸っている」と回答された方の禁煙に対する考え方で、最も多い回答は「やめたいがやめられない」でその割合は37.2%となった。

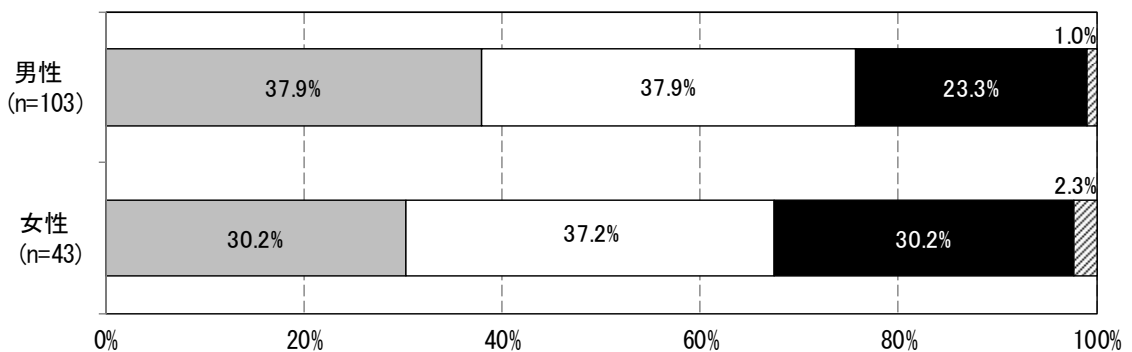
男女別では、男性で「やめる気はない」と回答された方の割合は37.9%、女性で30.2%となり、男性の方の割合がやや高い結果となった。

年代別では、「やめる気はない」と回答された方の割合が最も低かった年代は「60～69歳」で24.0%となった。「60～69歳」の「やめたいがやめられない」と「簡単な方法やきっかけがあればやめたい」の割合を合計すると76.0%と最も高くなり、やめたいと考える人の割合が最も高い年代となった。

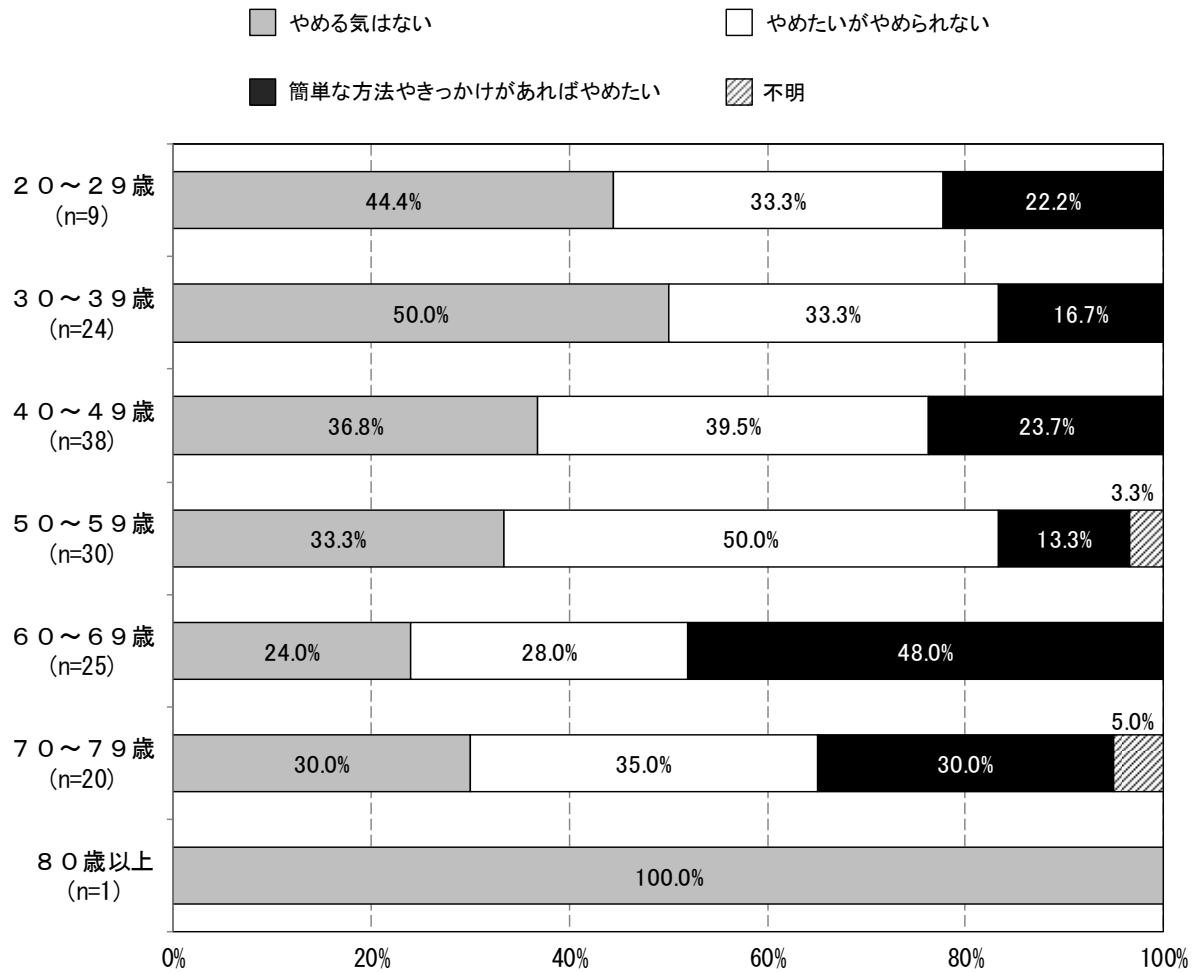
<全体>



<男女別>



<年代別>

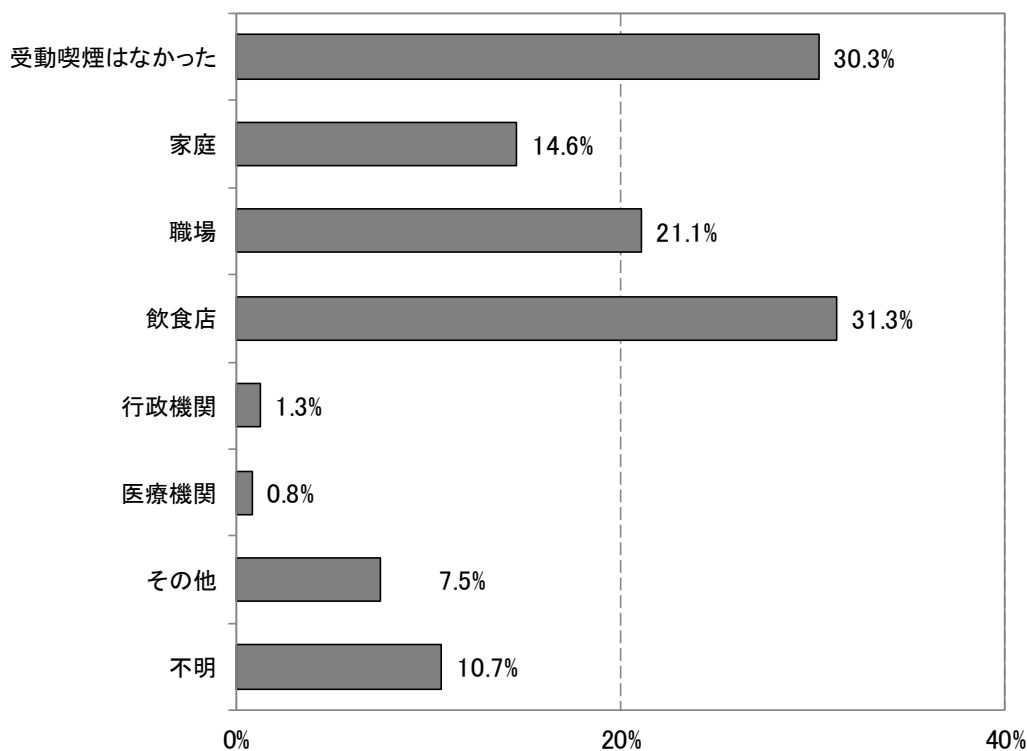


問43 受動喫煙の有無

問43 あなたは、この1か月間に自分以外の方が吸っていたタバコの煙を吸う機会（受動喫煙）がありましたか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 受動喫煙はなかった
2. 家庭
3. 職場
4. 飲食店
5. 行政機関
6. 医療機関
7. その他

この1か月間における受動喫煙の有無について、最も多かった回答は「飲食店」(31.3%)となった。次いで、「受動喫煙はなかった」(30.3%)、「職場」(21.1%)と続いた。



その他：「パチンコ、娯楽施設」、「道路・路上」など

問4 4 がん検診の受診状況

問4 4 あなたは、定期的に、がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん等のいずれか）を受けていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 定期的に受けている
2. 定期的には受けていない
3. 一度も受けたことがない

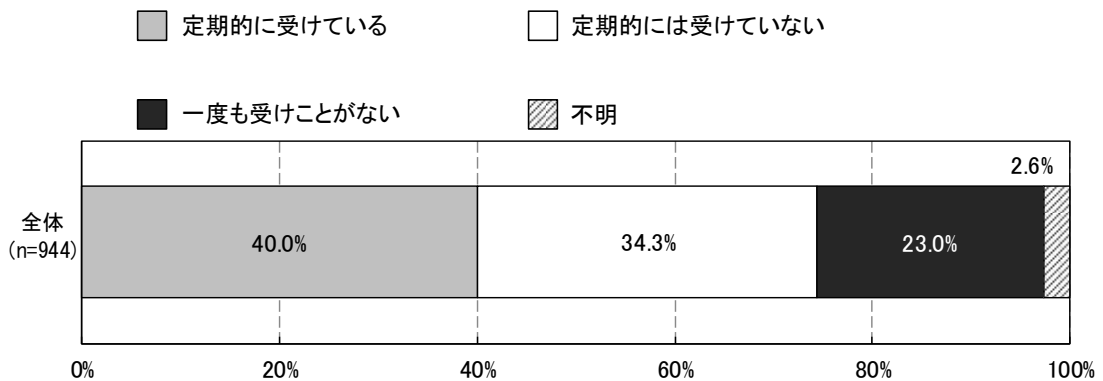
※定期的な検診とは、「肺がん・大腸がん」は1年に1回、「胃がん・子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

がん検診の受診状況について、「定期的に受けている」と回答された方の割合が最も高く40.0%となった。次いで、「定期的には受けていない」（34.3%）、「一度も受けたことがない」（23.0%）と続いた。

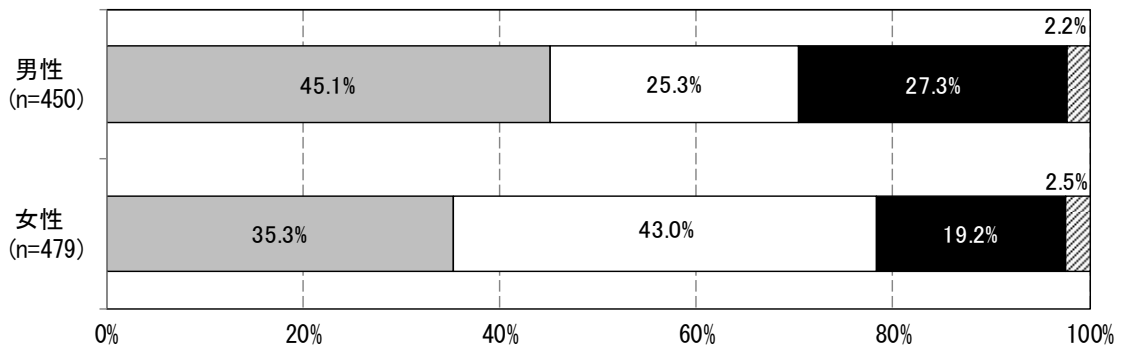
男女別では、男性で最も多かった回答は「定期的に受けている」（45.1%）となった一方、女性で最も多かった回答は「定期的には受けていない」（43.0%）となった。

年代別にみると、「定期的に受けている」と回答された方の割合は、年代が上がるに従って高くなり、「50～59歳」で最も高い47.1%となった。60歳以上の年代については、40%前後の割合となっている。

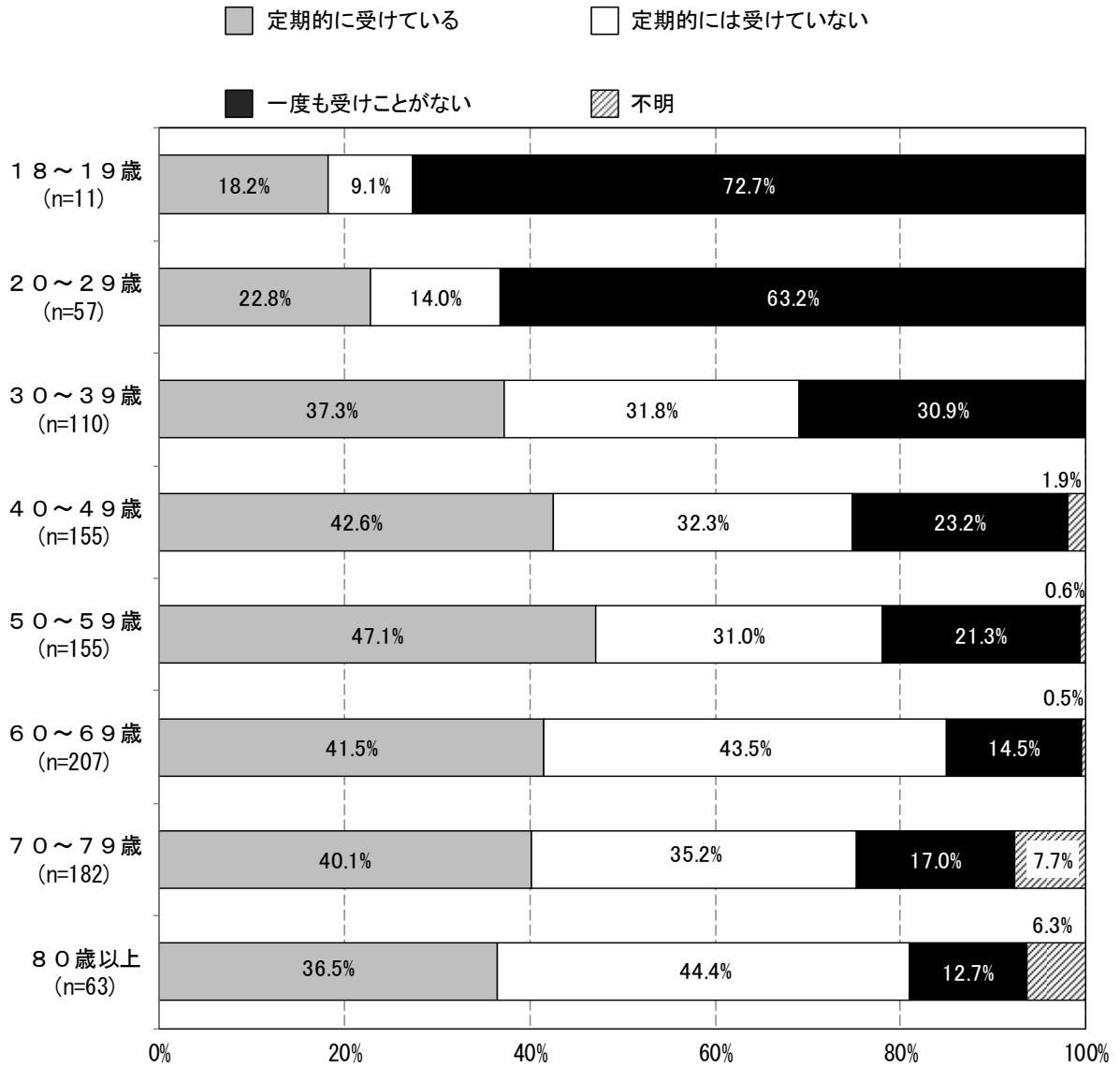
<全体>



<男女別>



<年代別>



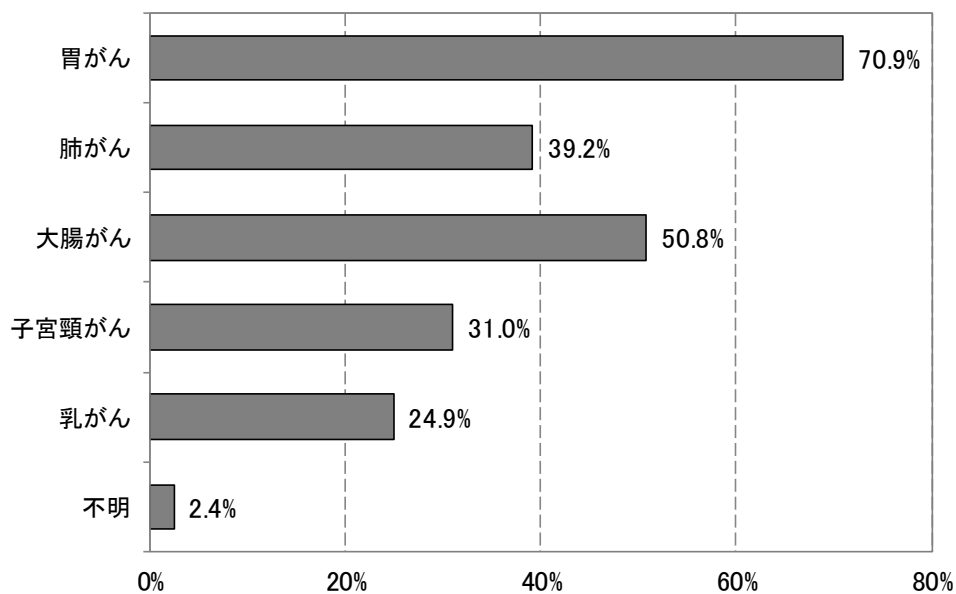
問44-1 受診したがん検診の種類

問44-1 問44で「1. 定期的に受けている」と回答された方のみお答えください。定期的に何の検診を受けていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 胃がん
2. 肺がん
3. 大腸がん
4. 子宮頸がん
5. 乳がん

定期的に受けているがん検診の種類で最も多かったのは「胃がん」(70.9%)となった。次いで、「大腸がん」(50.8%)、「肺がん」(39.2%)と続いた。

n=378



問44-2 がん検診を受診した理由または手段

問44-2 問44で「1. 定期的に受けている」と回答された方のみお答えください。受診したがん検診は、つぎのどれに該当しますか？あてはまるものを1つお選びください。

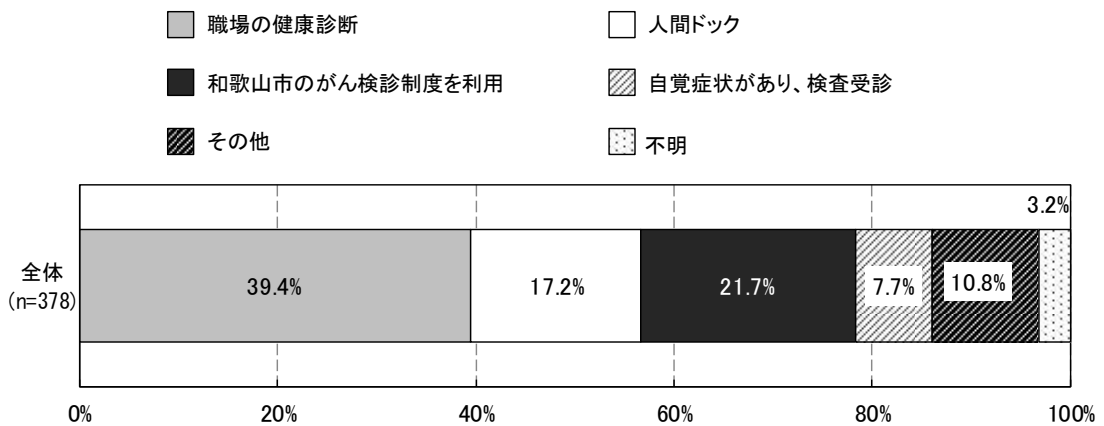
- 1. 職場の健康診断
- 2. 人間ドック
- 3. 和歌山市のがん検診制度を利用
- 4. 自覚症状があり、検査受診
- 5. その他

定期的ながん検診を受診した理由または手段として最も多かったのが「職場の健康診断」(39.4%)となった。次いで、「和歌山市のがん検診制度を利用」(21.7%)、「人間ドック」(17.2%)と続いた。

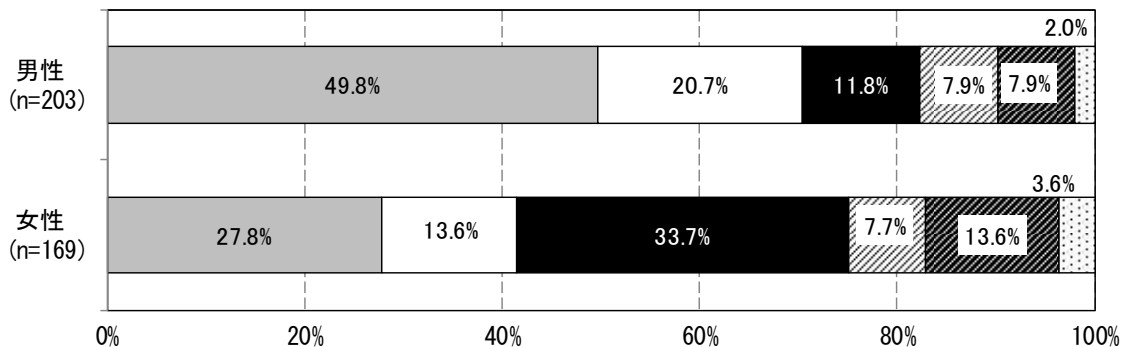
男女別では、男性で最も多かった回答が「職場の健康診断」(49.8%)となった。また、女性で最も多かった回答が「和歌山市のがん検診制度を利用」(33.7%)となり、男女別にて差異が見られた。

年代別では、59歳以下の各年代において「職場の健康診断」を回答された割合が半数以上となった。また、「和歌山市のがん検診制度を利用」を回答された割合が最も高かった年代は「70～79歳」(32.9%)となった。

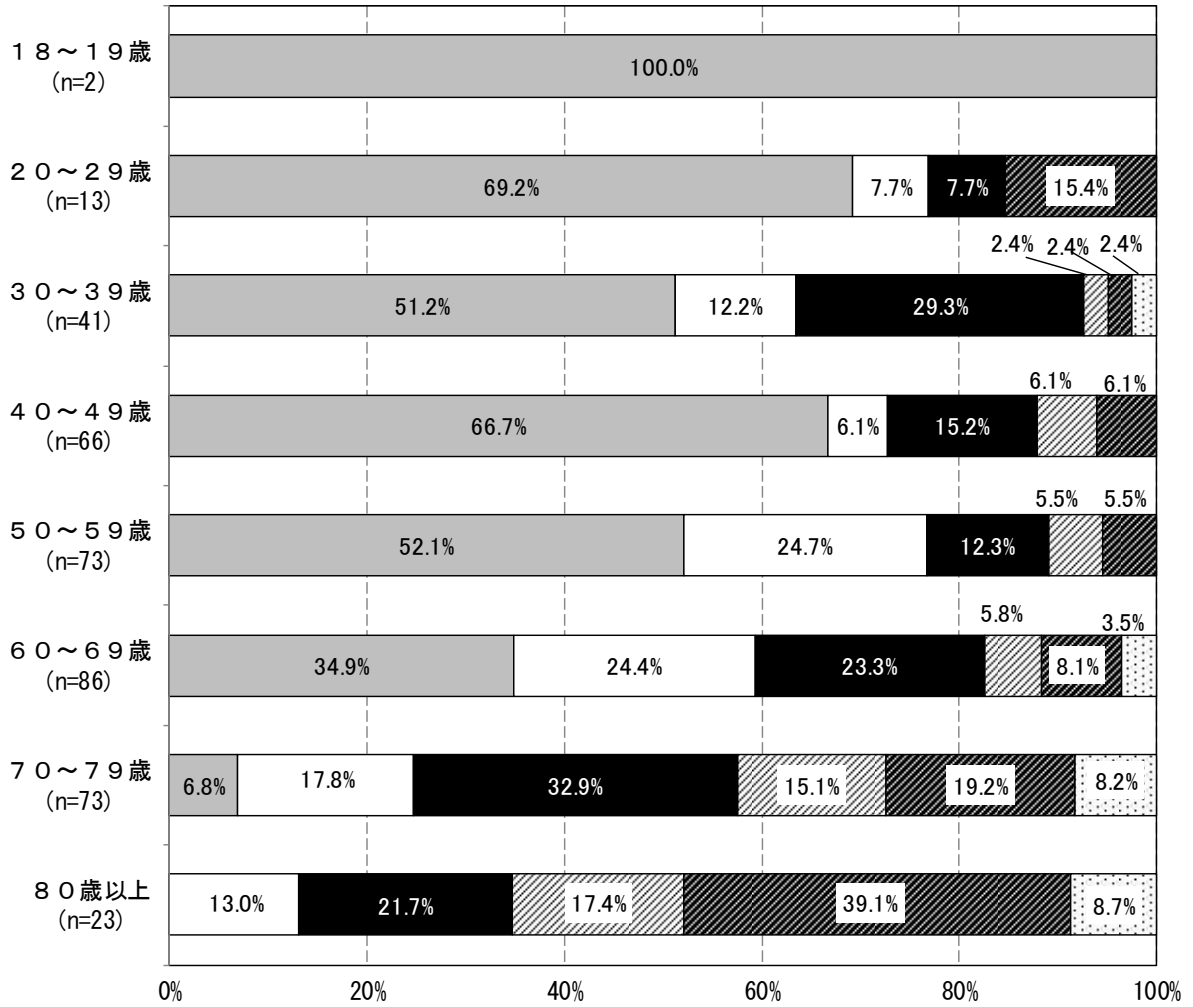
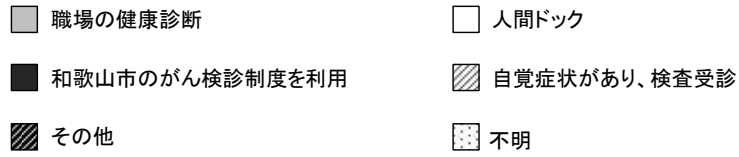
<全体>



<男女別>



<年代別>



その他：「かかりつけ医」、「定期的に受診」、「自主検診」など

問 4 5 「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」の認知状況

問 4 5 あなたは、「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」という言葉を知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

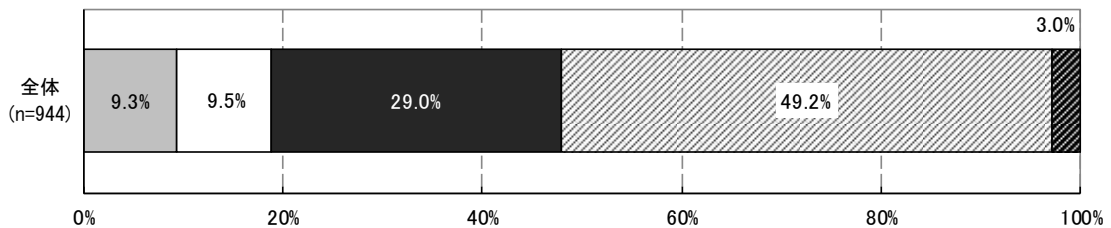
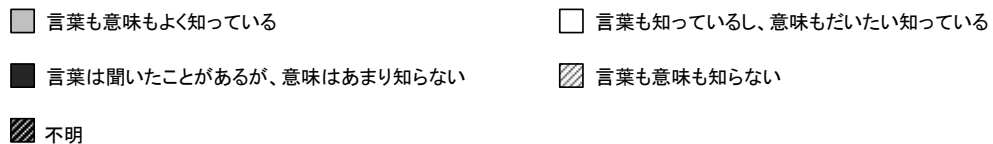
1. 言葉も意味もよく知っている
2. 言葉も知っているし、意味もだいたい知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない
4. 言葉も意味も知らない

※COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは、タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露することで生じた肺の炎症性疾患であり、喫煙習慣を背景に中高年に発症する生活習慣病です。

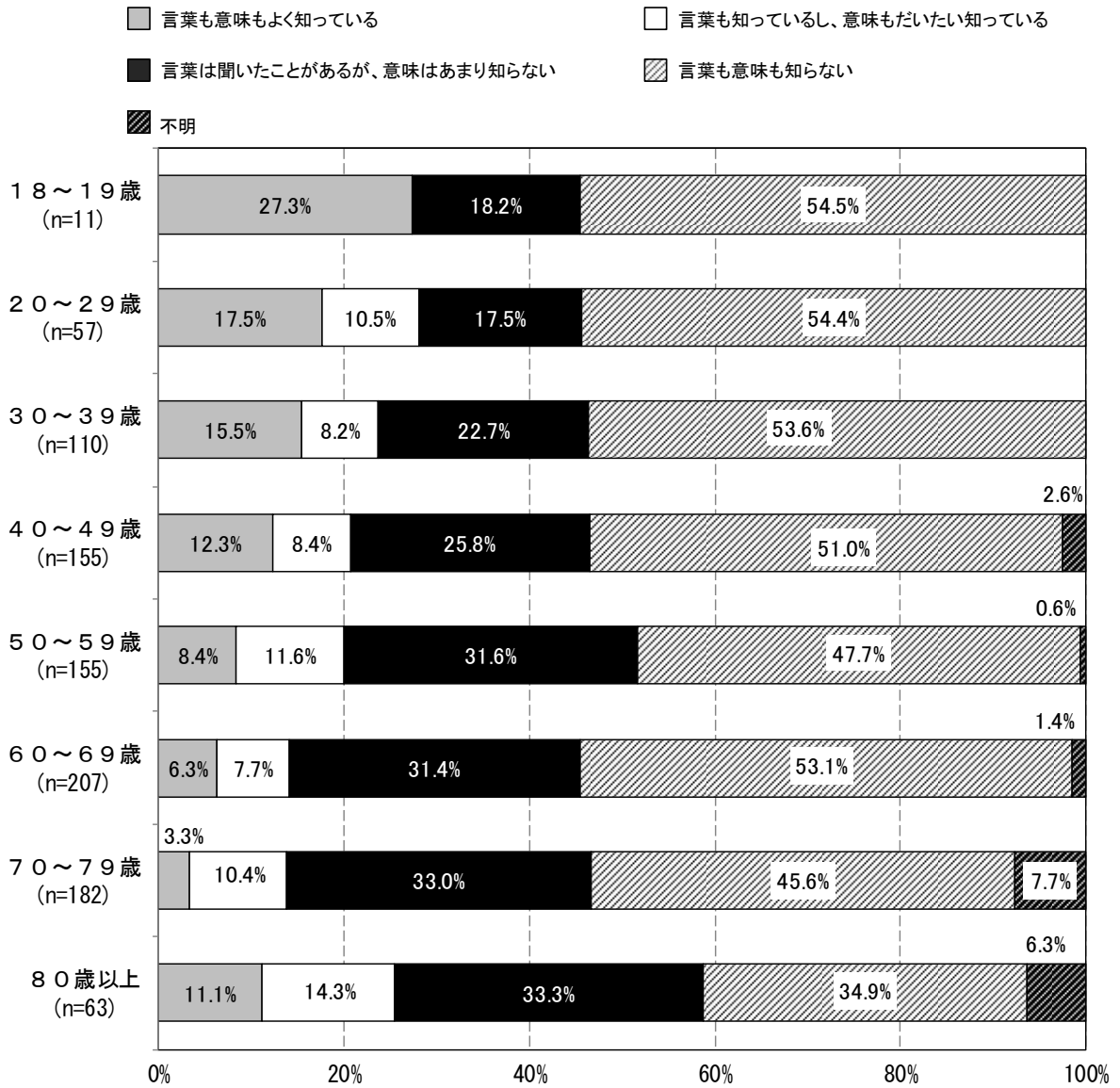
COPD の認知状況について、最も多かった回答は「言葉も意味も知らない」(49.2%) となった。次いで、「言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない」(29.0%)、「言葉も知っているし、意味もだいたい知っている」(9.5%) となった。

年代別では、「言葉も意味もよく知っている」と回答された割合が最も高かった年代は「18～19歳」(27.3%) となった。そこから「70～79歳」まで年代が上がるに従ってその割合が減少した。その一方、「言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない」と回答された方の割合は29歳以下の年代では20%以下となった。しかし、50歳以上の年代で30%を超える結果となった。

<全体>



<年代別>



問46 一日に歩く歩数

問46 あなたは、1日平均してどの程度歩いていると思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 4,000歩未満
- 2. 4,000～6,000歩未満
- 3. 6,000～8,000歩未満
- 4. 8,000～1万歩未満
- 5. 1万歩以上

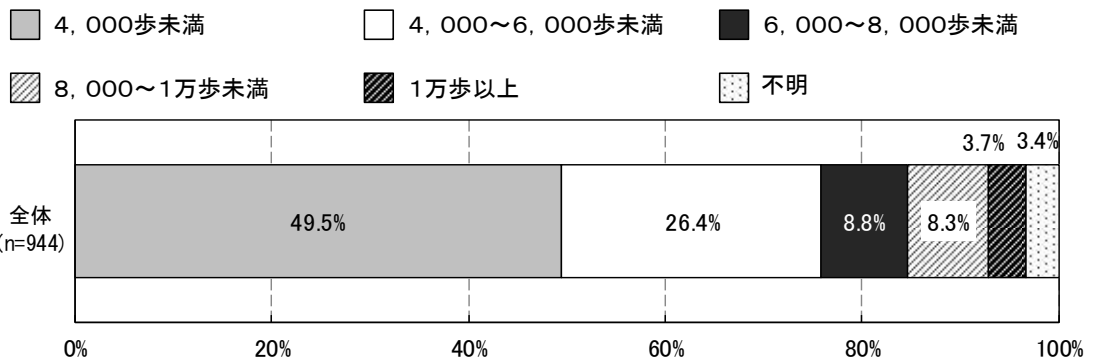
※目安として、10分歩くと1,000歩程度、また外出しない方は3,000歩未満としてお考えください。

1日平均して歩く歩数について、最も多かった回答は「4,000歩未満」(49.5%)となった。次いで「4,000～6,000歩未満」(26.4%)、「6,000～8,000歩未満」(8.8%)となり、歩数が多くなるに従い割合が減少する傾向が見られた。

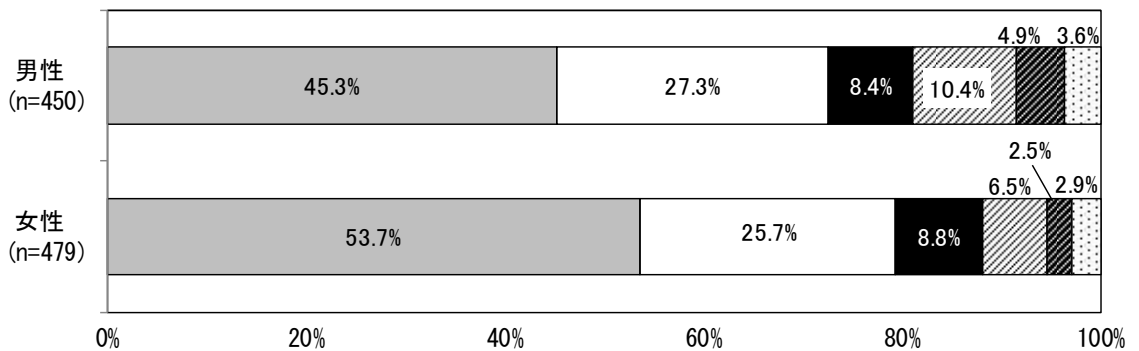
男女別において、男性で「4,000歩未満」と回答された方の割合は45.3%、女性で53.7%となった。

年代別にみても、「4,000歩未満」の割合が高くなっている。

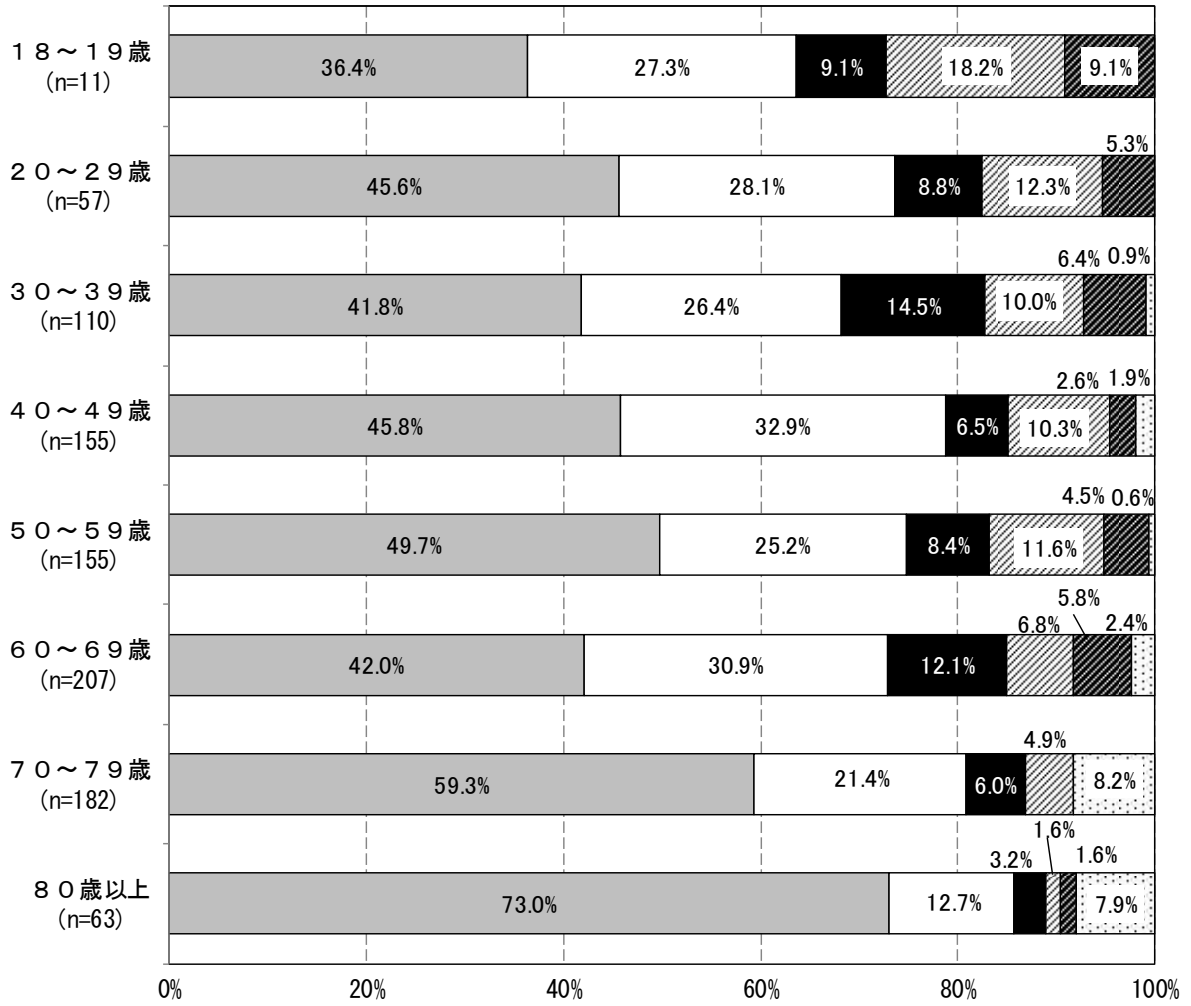
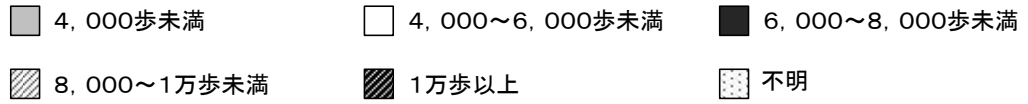
<全体>



<男女別>



<年代別>

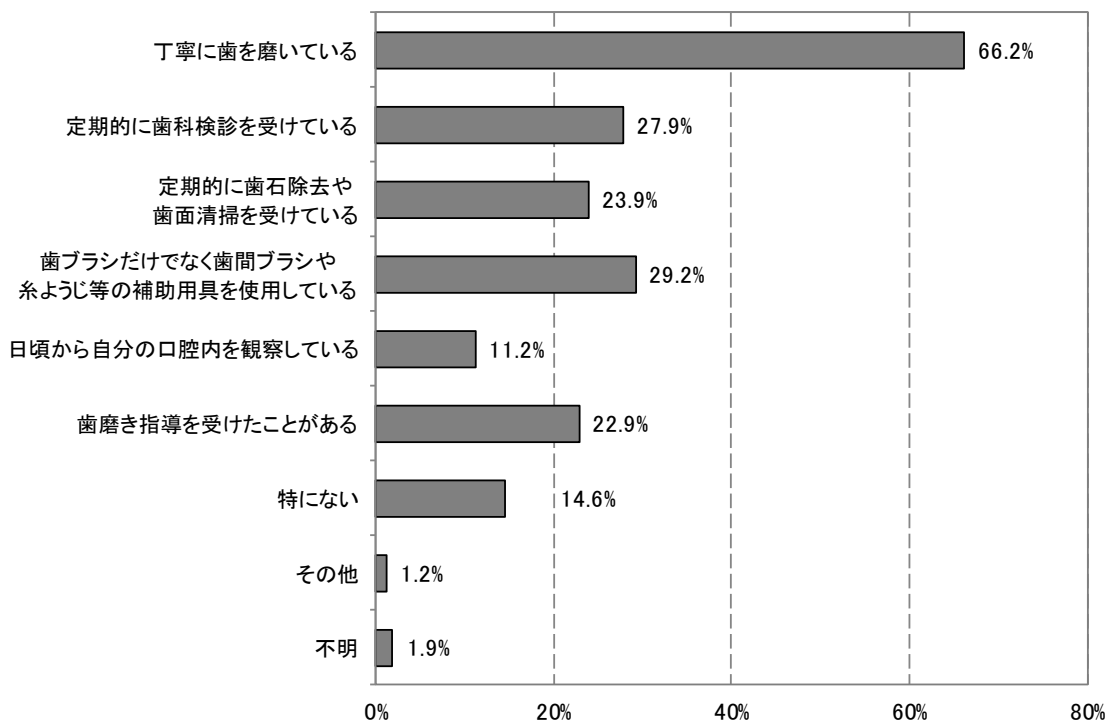


問47 お口の健康について気をつけていること

問47 あなたは、お口の健康について気をつけていることがありますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 丁寧に歯を磨いている
2. 定期的に歯科検診を受けている
3. 定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている
4. 歯ブラシだけでなく歯間ブラシや糸ようじ等の補助用具を使用している
5. 日頃から自分の口腔内を観察している
6. 歯磨き指導を受けたことがある
7. 特にない
8. その他

お口の健康について気をつけていることで最も多かった回答は「丁寧に歯を磨いている」(66.2%)となった。次いで、「歯ブラシだけでなく歯間ブラシや糸ようじ等の補助用具を使用している」(29.2%)、「定期的に歯科検診を受けている」(27.9%)と続いた。



その他：「歯ブラシを工夫（電動歯ブラシ・複数使い分け）」、「歯列矯正」など

問48 1日に食べる野菜の量

問48 あなたは、平均して1日に野菜を小鉢(1杯 70g 程度)で何皿分位食べていますか？あてはまるものを1つお選びください。

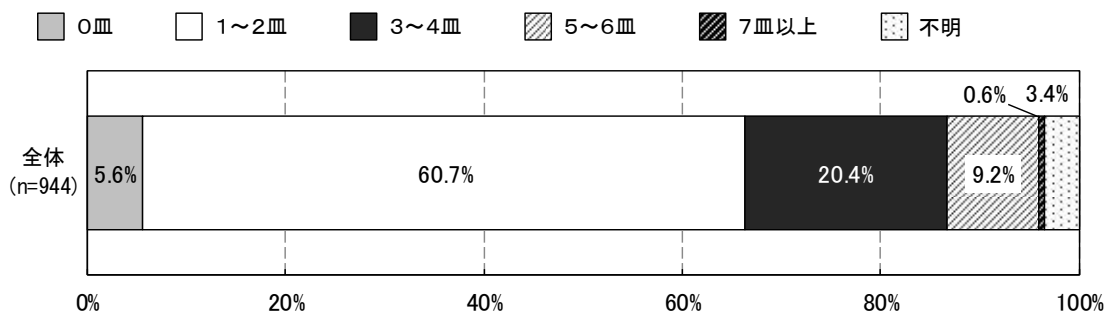
- | | |
|---------|---------|
| 1. 0皿 | 4. 5～6皿 |
| 2. 1～2皿 | 5. 7皿以上 |
| 3. 3～4皿 | |

一日に食べる野菜の量について、小鉢(1杯 70g 程度)で「1～2皿」と回答された方の割合が最も高く60.7%となった。

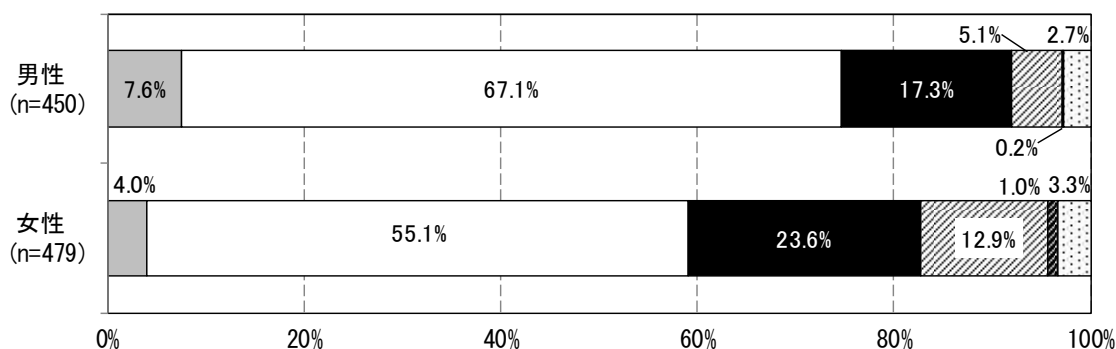
男女別では、「1～2皿」と回答された男性の割合は67.1%、女性で55.1%となり、男性の方が高い割合となった。しかし、「3～4皿」と回答された方の割合は男性で17.3%、女性で23.6%となり、女性の方が高い割合となった。また、「5～6皿」で見ても男性で5.1%、女性で12.9%となり、女性の方が高い割合となり、女性の方が野菜を多く食べている傾向がうかがえる。

年代別にみると、いずれの年代においても2皿までが60%を超えている。

<全体>

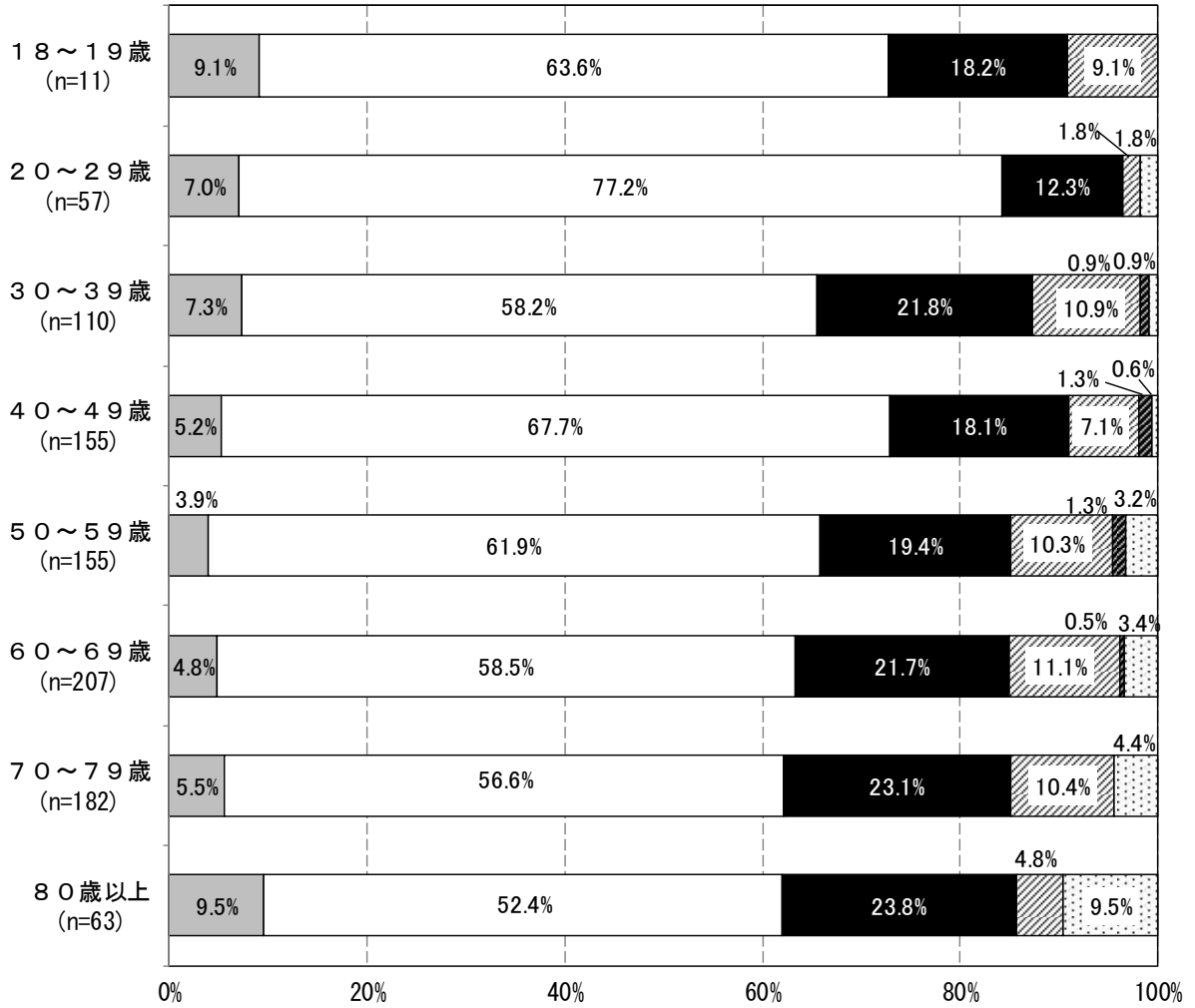


<男女別>



<年代別>

0皿
 1~2皿
 3~4皿
 5~6皿
 7皿以上
 不明



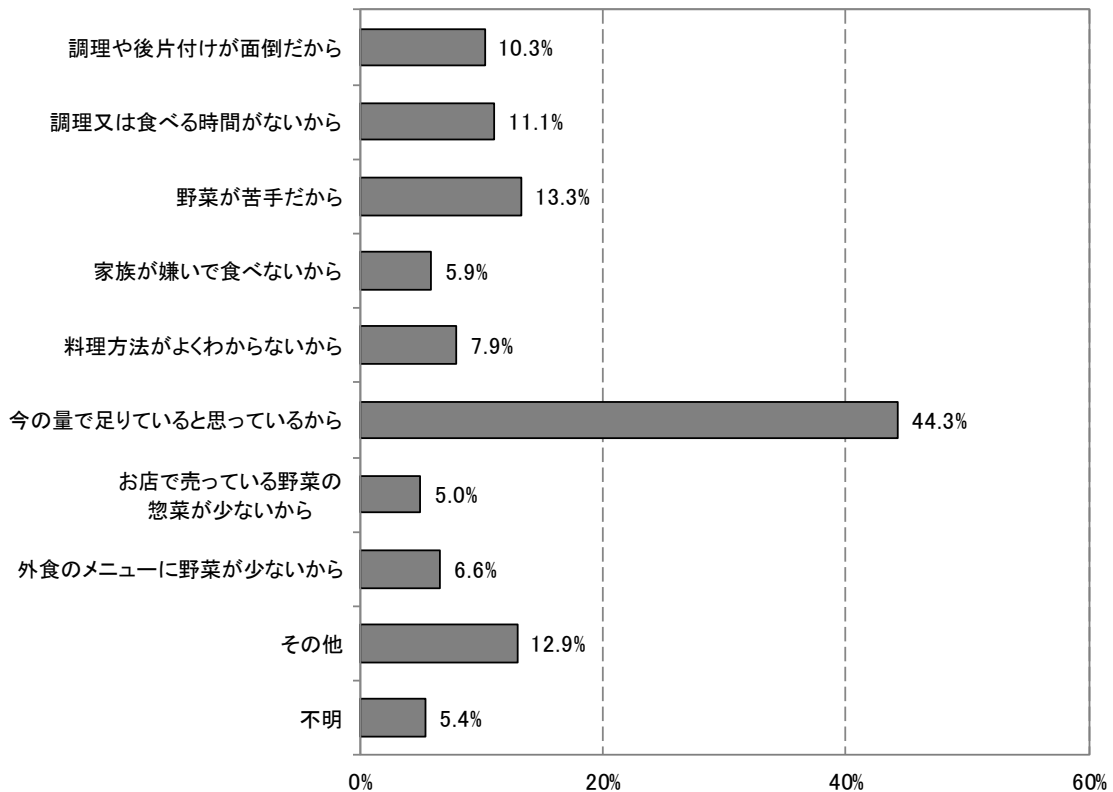
問48-1 野菜を食べる量が少ない理由

問48-1 問48で「1. 0皿」「2. 1~2皿」「3. 3~4皿」と回答された方のみお答えください。あなたが5皿分以上食べていない理由はなんですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 調理や後片付けが面倒だから
2. 調理又は食べる時間がないから
3. 野菜が苦手だから
4. 家族が嫌いで食べないから
5. 料理方法がよくわからないから
6. 今の量で足りていると思っているから
7. お店で売っている野菜の惣菜が少ないから
8. 外食のメニューに野菜が少ないから
9. その他

一日に食べる野菜の量が小鉢4皿以下と回答された方が5皿以上食べない理由として最も多かったのが、「今の量で足りていると思っているから」(44.3%)となった。次いで、「野菜が苦手だから」(13.3%)、「調理又は食べる時間がないから」(11.1%)と続いた。

n=819



その他：「野菜の価格が高い」、「サプリメントや野菜ジュースで補っている」、「少食・食欲がわかない」、「野菜を食べることに意識していない」など

10. スポーツについて

問49 週一回以上の運動やスポーツの実施状況

問49 あなたは、週一回以上運動やスポーツ（通勤時の徒歩や自転車、ウォーキング、その他軽い運動・体操などを含む）をしていますか？

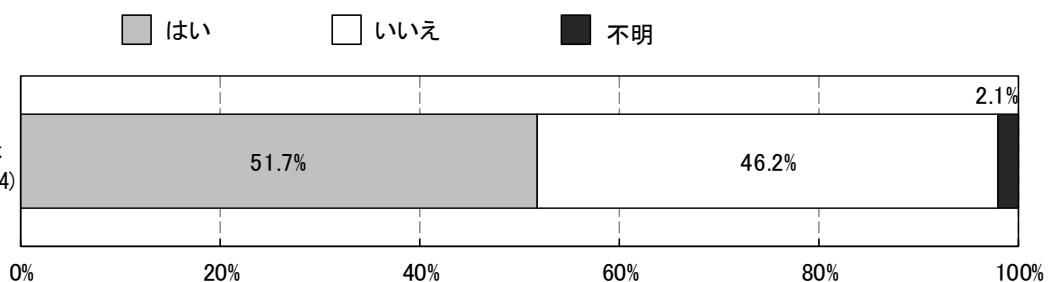
1. はい

2. いいえ

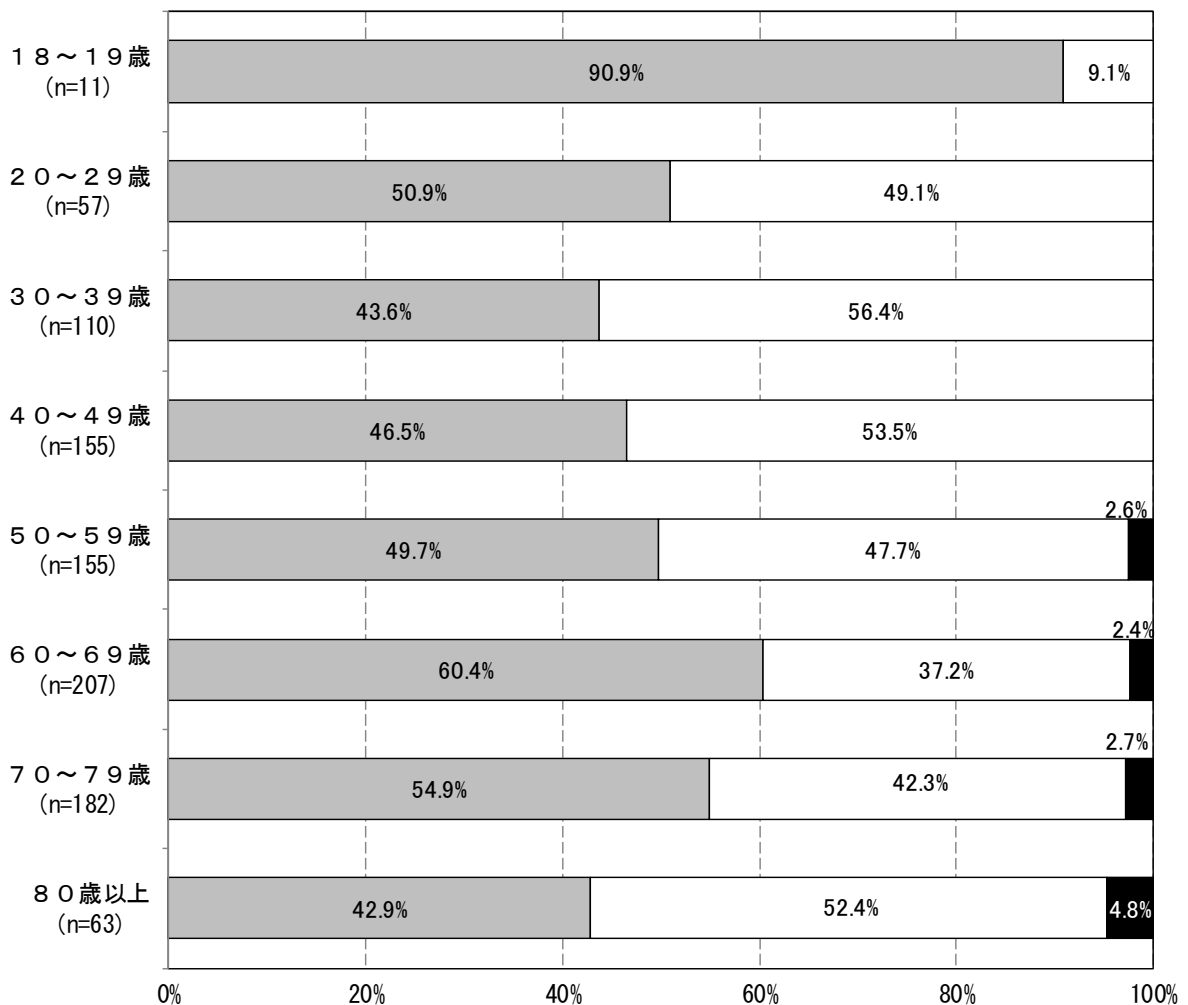
週一回以上の運動やスポーツをしているかどうかについて、「はい」が51.7%、「いいえ」が46.2%となった。

年代別にみると、いずれの年代においても「はい」と回答された方の割合は40%を超えている。

<全体>



<年代別>

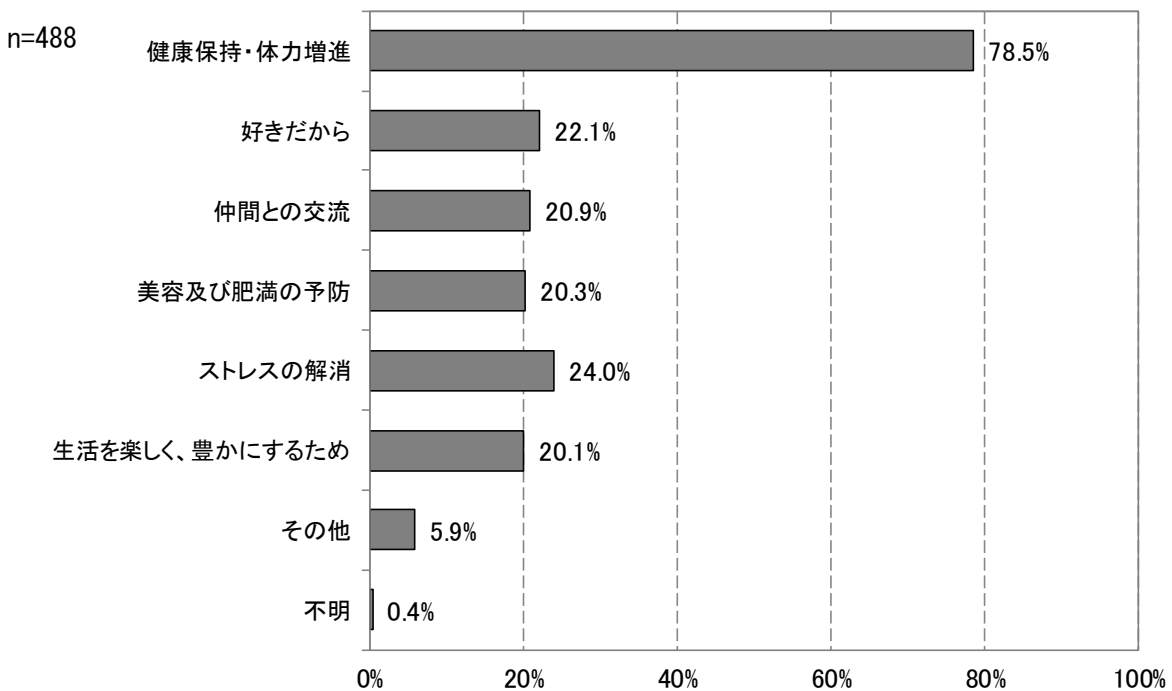


問49-1 運動やスポーツを行っている理由

問49-1 問49で「1. はい」と回答された方のみお答えください。あなたが、運動やスポーツを行っている理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 健康保持・体力増進
2. 好きだから
3. 仲間との交流
4. 美容及び肥満の予防
5. ストレスの解消
6. 生活を楽しく、豊かにするため
7. その他

運動やスポーツを行っている理由として最も多かったのが、「健康保持・体力増進」(78.5%)となった。次いで、「ストレスの解消」(24.0%)、「好きだから」(22.1%)と続いた。



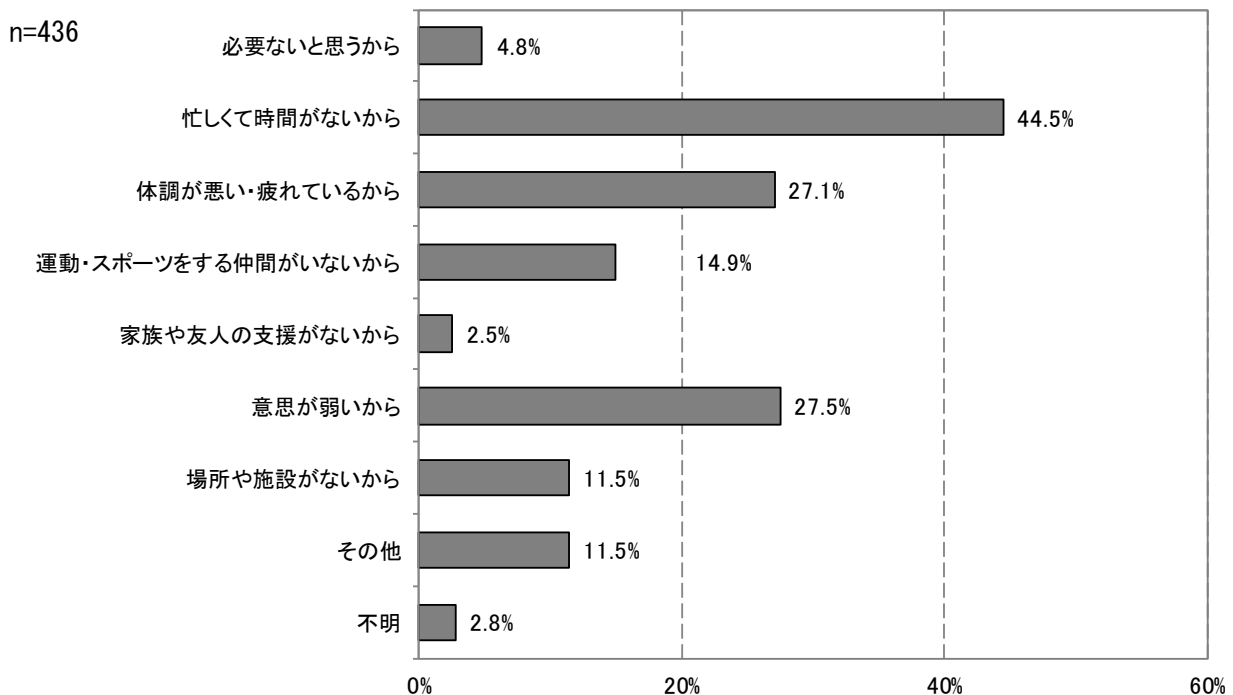
その他：「仕事で体を動かす」、「外出時は徒歩または自転車のみのため」、「体力維持」など

問49-2 運動やスポーツを行っていない理由

問49-2 問49で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。あなたが、運動やスポーツを行っていない理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 必要ないと思うから
2. 忙しくて時間がないから
3. 体調が悪い・疲れているから
4. 運動・スポーツをする仲間がないから
5. 家族や友人の支援がないから
6. 意思が弱いから
7. 場所や施設がないから
8. その他

スポーツや運動をしない理由として最も多かったのが「忙しくて時間がないから」(44.5%)となった。次いで、「意思が弱いから」(27.5%)、「体調が悪い・疲れているから」(27.1%)と続いた。



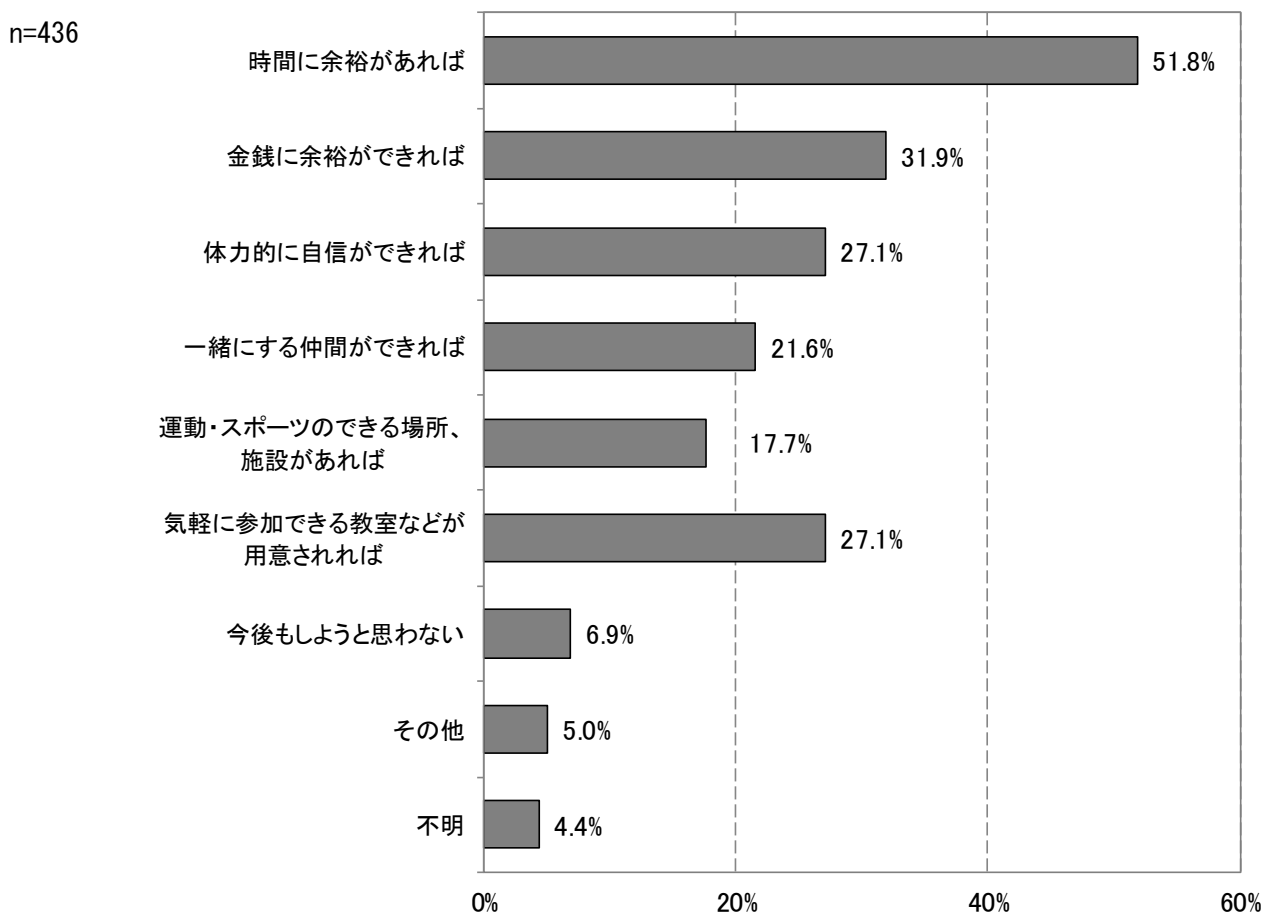
その他：「運動が好きではないから」、「経済的な理由」など

問49-3 今後、運動やスポーツをするためのきっかけ

問49-3 問49で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。今後どのような状況になれば、運動やスポーツをしようと思えますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 時間に余裕があれば
2. 金銭に余裕ができれば
3. 体力的に自信ができれば
4. 一緒にする仲間ができれば
5. 運動・スポーツのできる場所、施設があれば
6. 気軽に参加できる教室などが用意されれば
7. 今後もしようと思わない
8. その他

今後、運動やスポーツをしようと思うための状況として、最も回答が多かったのが「時間に余裕があれば」(51.8%)となった。次いで、「金銭に余裕ができれば」(31.9%)、「体力的に自信ができれば」・「気軽に参加できる教室などが用意されれば」(27.1%)と続いた。



その他：「体調の回復」、「意識・意思・心がけの変化」、「子どもの一時預かりがあれば」など

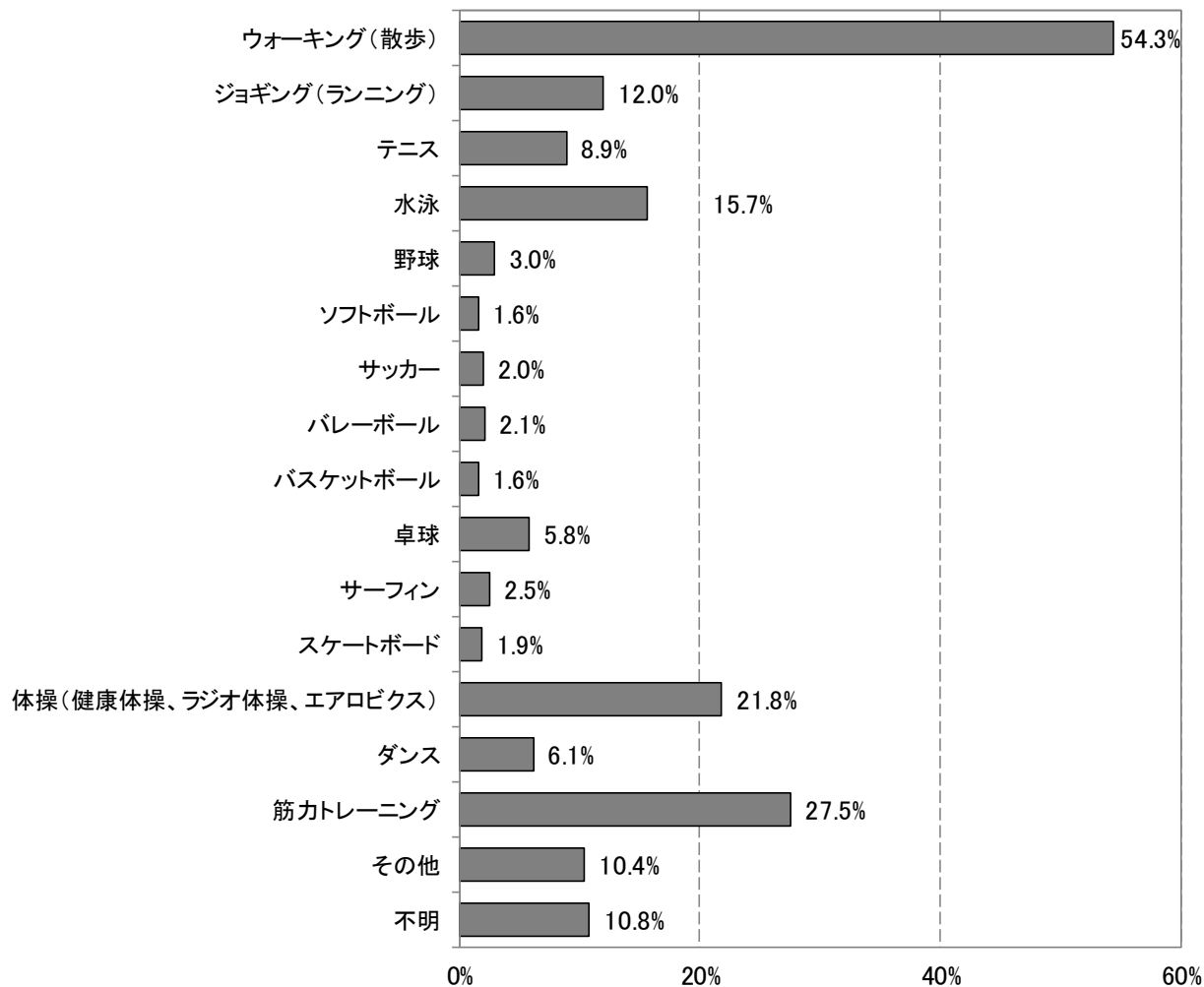
11. スポーツ施設について

問50 これからやってみたい、又はやっている運動・スポーツ

問50 あなたは、これからやってみたい、又はやっている運動・スポーツはありますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1. ウォーキング（散歩） | 9. バスケットボール |
| 2. ジョギング（ランニング） | 10. 卓球 |
| 3. テニス | 11. サーフィン |
| 4. 水泳 | 12. スケートボード |
| 5. 野球 | 13. 体操（健康体操、ラジオ体操、エアロビクス） |
| 6. ソフトボール | 14. ダンス |
| 7. サッカー | 15. 筋力トレーニング |
| 8. バレーボール | 16. その他 |

これからやってみたい、又はやっている運動・スポーツで最も多かった回答が「ウォーキング（散歩）」（54.3%）となった。次いで、「筋力トレーニング」（27.5%）、「体操（健康体操、ラジオ体操、エアロビクス）」（21.8%）と続いた。



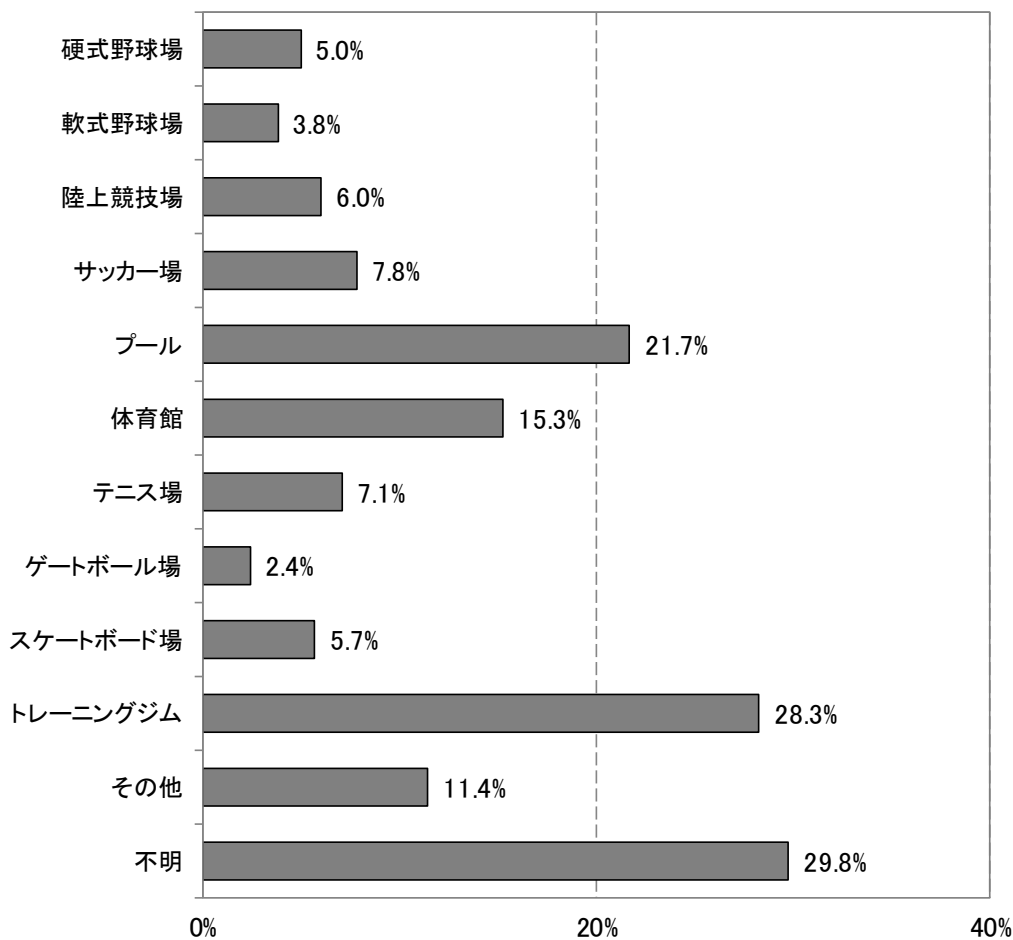
その他：「ヨガ」、「ゴルフ」、「自転車」、「バドミントン」など

問5 1 不足している市内のスポーツ施設

問5 1 あなたは、市内のスポーツ施設について不足していると思われるものは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 硬式野球場
2. 軟式野球場
3. 陸上競技場
4. サッカー場
5. プール
6. 体育館
7. テニス場
8. ゲートボール場
9. スケートボード場
10. トレーニングジム
11. その他

不足している市内のスポーツ施設として最も多かった回答が「トレーニングジム」(28.3%)となった。次いで、「プール」(21.7%)、「体育館」(15.3%)と続いた。



その他：「公園・グラウンド」、「ゴルフ場」、「アイススケート場」など

12. 市報わかやまについて

問52「市報わかやま」の入手方法

問52 あなたのご家庭では、どのような方法で「市報わかやま」を入手していますか？あてはまるものを1つお選びください。

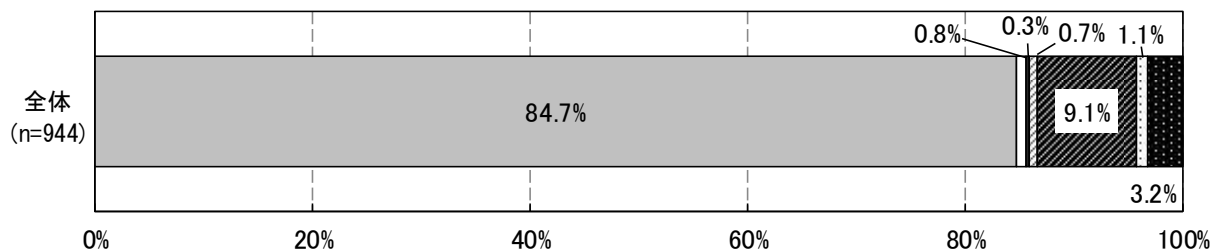
1. 所属している自治会から配達されている
2. サービスセンターや支所・連絡所等へ受け取りに行っている
3. 市役所広報広聴課に申し込んで配達されている
4. 和歌山市のホームページに掲載している「市報わかやま」を閲覧している
5. 入手していない
6. その他

「市報わかやま」の入手方法として最も多かった回答は「所属している自治会から配達されている」(84.7%)となった。

地域別では、「所属している自治会から配達されている」を回答された方の割合が最も高かったのは「東部」(90.2%)、最も低かったのは「河西部」(81.7%)となった。

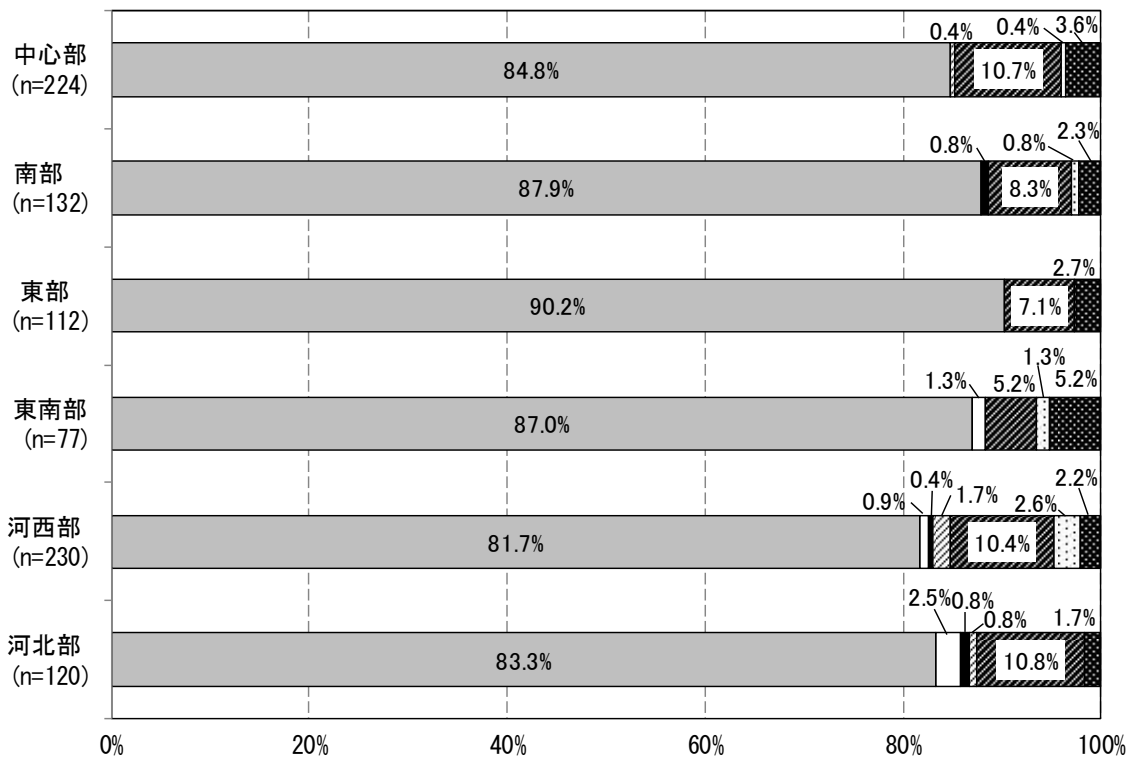
<全体>

- 所属している自治会から配達されている
- サービスセンターや支所・連絡所等へ受け取りに行っている
- 市役所広報広聴課に申し込んで配達されている
- 和歌山市のホームページに掲載している「市報わかやま」を閲覧している
- 入手していない
- その他
- 不明



<地域別>

- 所属している自治会から配達されている
- サービスセンターや支所・連絡所等へ受け取りに行っている
- 市役所広報広聴課に申し込んで配達されている
- ▨ 和歌山市のホームページに掲載している「市報わかやま」を閲覧している
- ▩ 入手していない
- ▨ その他
- 不明



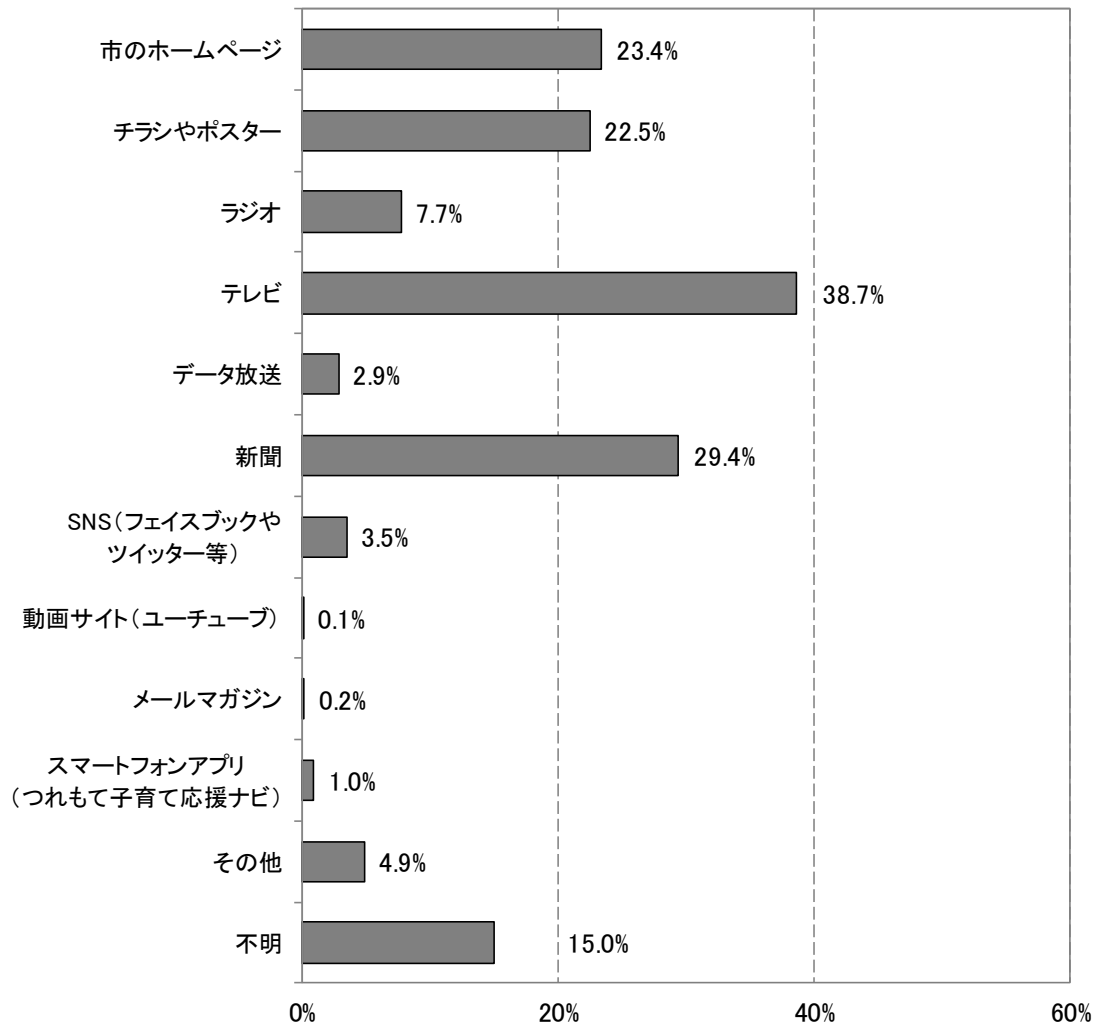
その他：「家族から」、「職場にて」、「配達」など

問53 「市報わかやま」以外からの行政情報の入手方法

問53 あなたは、和歌山市からの行政情報を「市報わかやま」以外では、何から得ていますか？
あてはまるものを全てお選びください。

1. 市のホームページ
2. チラシやポスター
3. ラジオ
4. テレビ
5. データ放送
6. 新聞
7. SNS（フェイスブックやツイッター等）
8. 動画サイト（ユーチューブ）
9. メールマガジン
10. スマートフォンアプリ（つれもて子育て応援ナビ）
11. その他

「市報わかやま」以外からの行政情報の入手方法として最も多かった回答は「テレビ」（38.7%）となった。次いで、「新聞」（29.4%）、「市のホームページ」（23.4%）と続いた。



その他：「回覧板」、「家族から」、「職場の人から」、「友人から」、「防災ナビアプリ」など

問54 「市報わかやま」の見やすさについて

問54 あなたは、現在の「市報わかやま」の見やすさについてどう思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

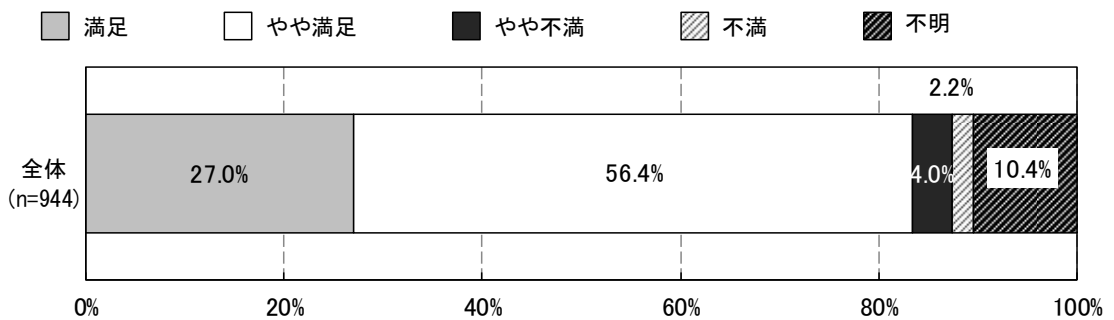
1. 満足
2. やや満足
3. やや不満 【理由： 】
4. 不満 【理由： 】

「市報わかやま」の見やすさについて、「満足」(27.0%)と「やや満足」(56.4%)をあわせた83.4%が満足しており、「不満」(2.2%)と「やや不満」(4.0%)をあわせた6.2%が不満を持っている結果となり、満足している割合が不満を持っている割合を大きく上回った。

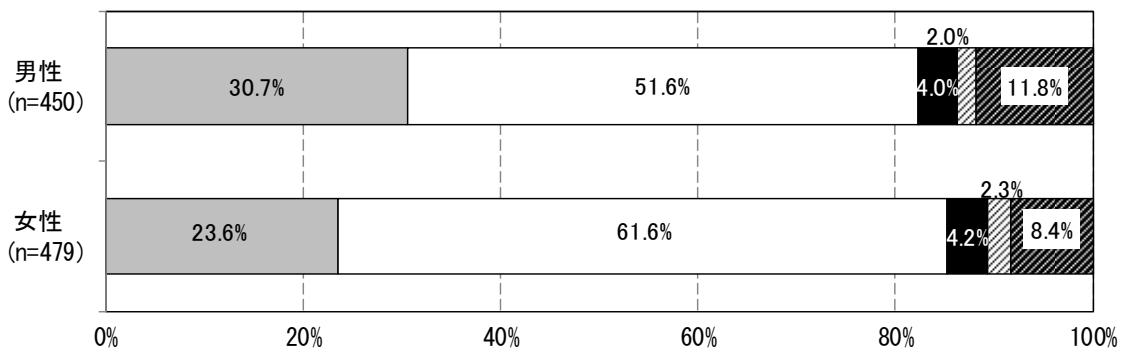
男女別では、満足している割合は、男性が82.3%、女性が85.2%となり大きな差異は見られなかった。

年代別では、満足している割合が最も低かったのは「20～29歳」の68.4%となったが、他の年代ではいずれも80%を超えている。

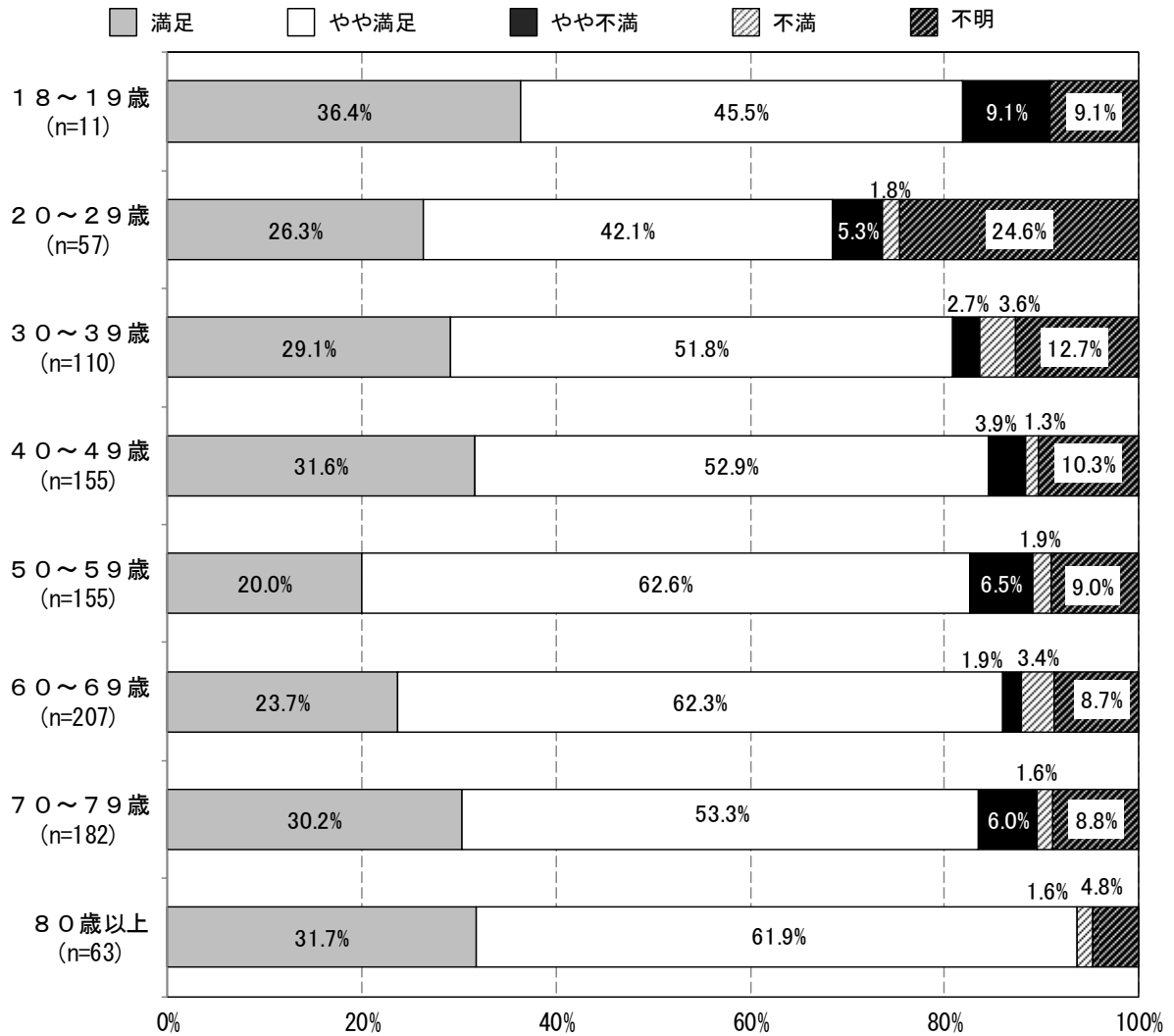
<全体>



<男女別>



<年代別>



「やや不満」の理由：「レイアウト（記事の配置・文字の大きさ）が見にくい」、「専門用語が多い」、「漢字にフリガナがない」など

「不満」の理由：「テーマが絞り込まれていない」、「文字が小さい」、「読み手の立場に立っていない」など

問55 「市報わかやま」の情報量

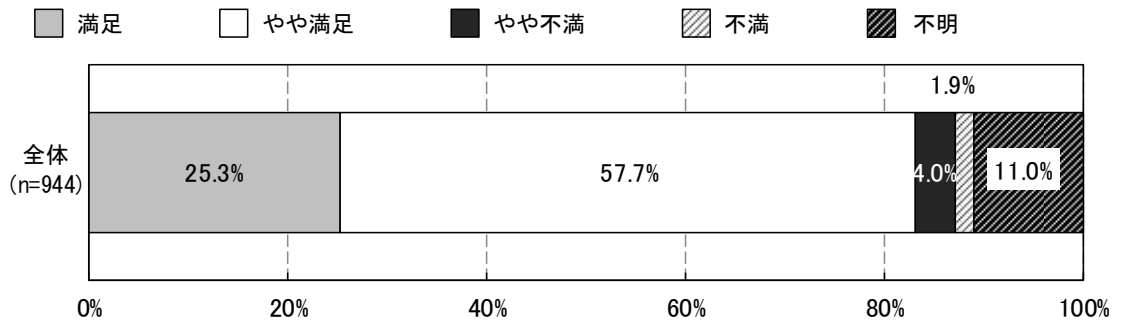
問55 あなたは、現在の「市報わかやま」に掲載されている情報量についてどう思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満 【理由： 】
4. 不満 【理由： 】

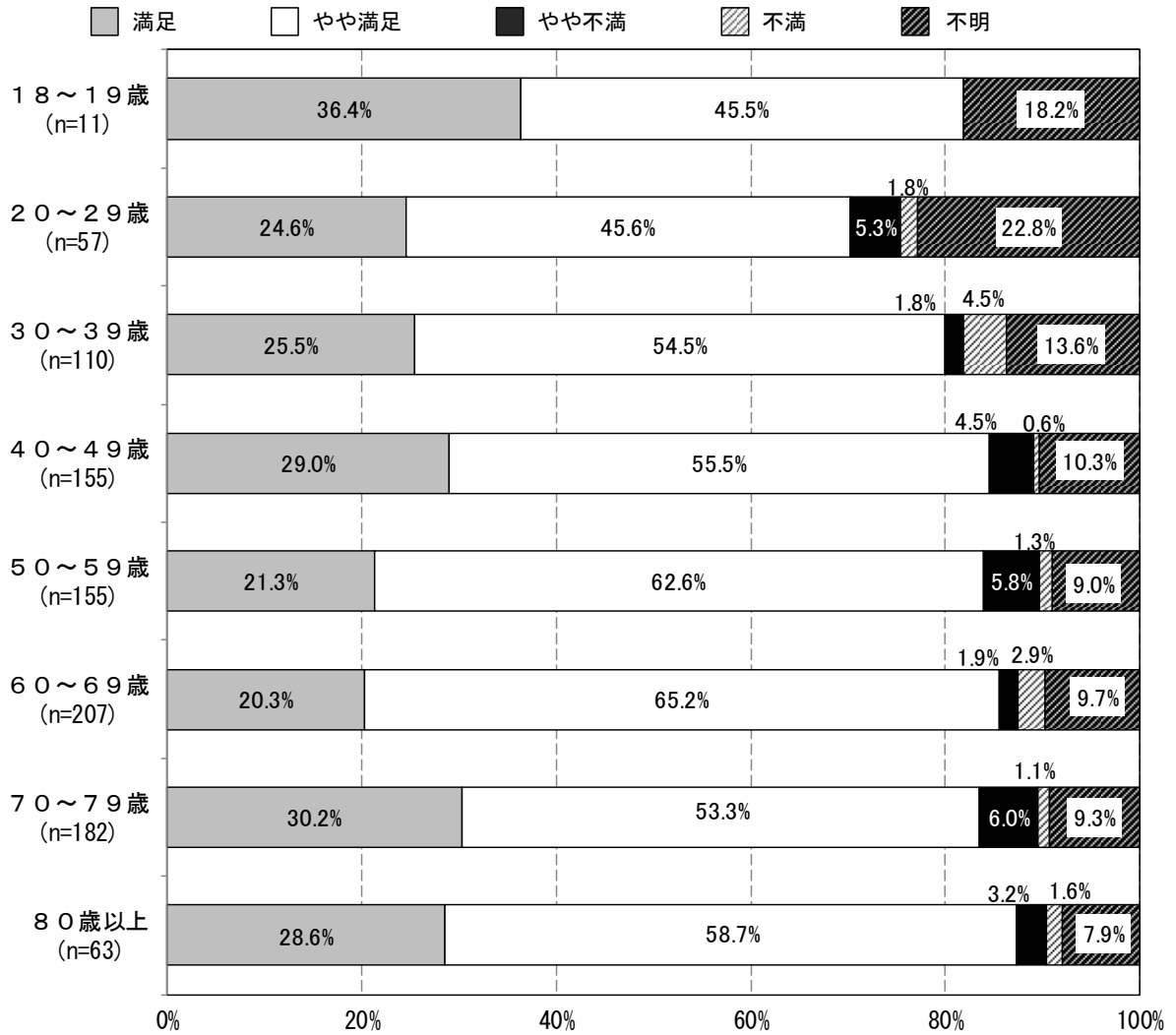
「市報わかやま」の情報量について、「満足」(25.3%)と「やや満足」(57.7%)をあわせた83.0%が満足しており、「不満」(1.9%)と「やや不満」(4.0%)をあわせた5.9%が不満を持っている結果となり、満足している割合が不満を持っている割合を大きく上回った。

年代別では、満足している割合が最も低かったのは「20～29歳」の70.2%となったが、他の年代ではいずれも80%以上となった。

<全体>



<年代別>



「やや不満」の理由：「必要な情報が少ない」、「ポイントがわからない」、「身近な情報がほしい」など

「不満」の理由：「必要な情報が少ない」など

13. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について

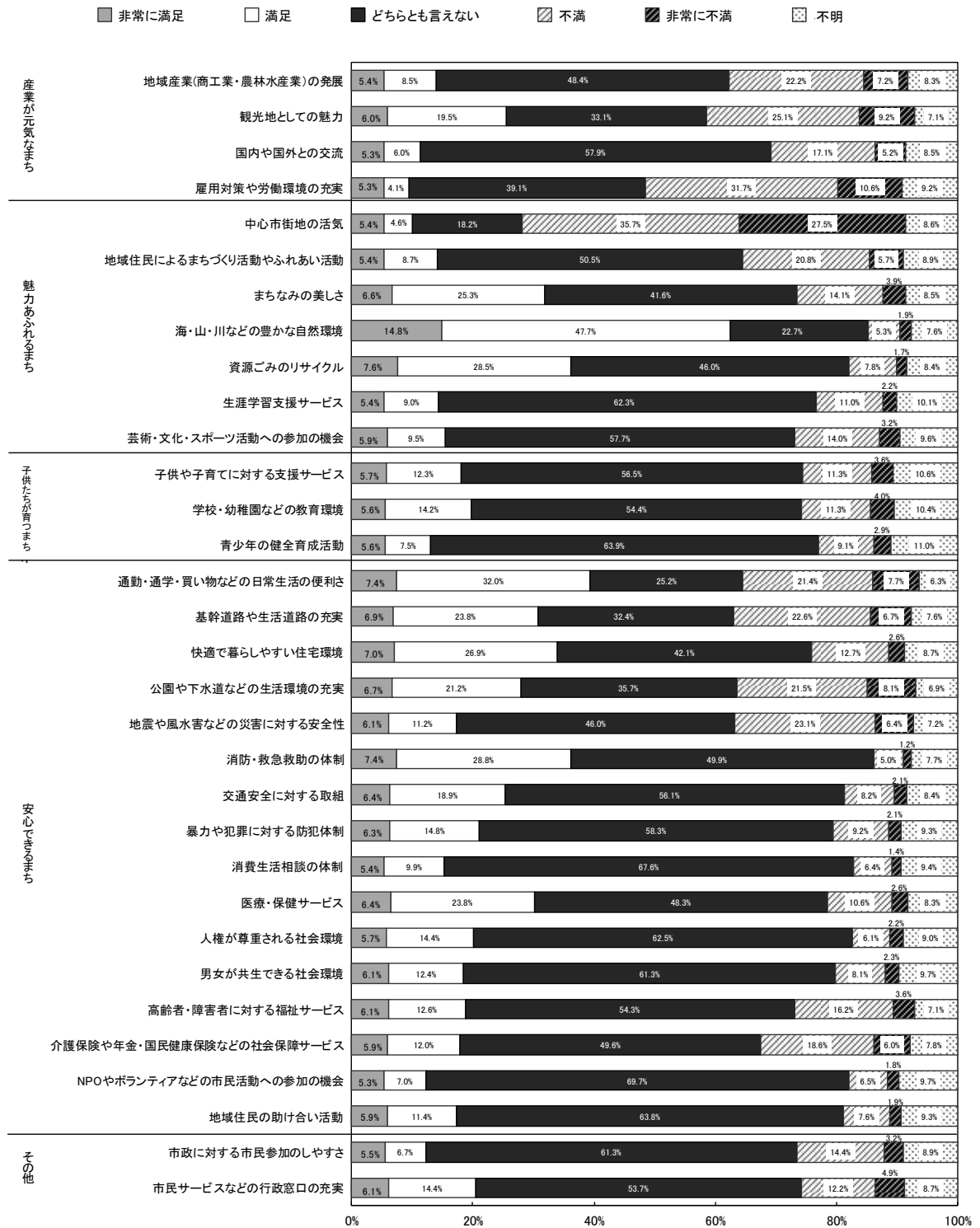
問56 和歌山市の取組に対する満足度と重要度

問56 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？
満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

- 満足度： 1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらとも言えない 4. 不満 5. 非常に不満
 重要度： 1. 非常に重要 2. 重要 3. どちらとも言えない 4. あまり重要ではない
 5. 全く重要ではない

安定した雇用を生み出す産業が元気なまち <small>(以下「産業が元気なまち」という)</small>	地域産業(商工業・農林水産業)の発展
	観光地としての魅力
	国内や国外との交流
	雇用対策や労働環境の充実
住みたいと選ばれる魅力があふれるまち <small>(以下「魅力あふれるまち」という)</small>	中心市街地の活気
	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動
	まちなみの美しさ
	海・山・川などの豊かな自然環境
	資源ごみのリサイクル
	生涯学習支援サービス 芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会
子供たちがいきいきと育つまち <small>(以下「子供たちが育つまち」という)</small>	子供や子育てに対する支援サービス
	学校・幼稚園などの教育環境
	青少年の健全育成活動
誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち <small>(以下「安心できるまち」という)</small>	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
	基幹道路や生活道路の充実
	快適で暮らしやすい住宅環境
	公園や下水道などの生活環境の充実
	地震や風水害などの災害に対する安全性
	消防・救急救助の体制
	交通安全に対する取組
	暴力や犯罪に対する防犯体制
	消費生活相談の体制
	医療・保健サービス
	人権が尊重される社会環境
	男女が共生できる社会環境
	高齢者・障害者に対する福祉サービス
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス
NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	
地域住民の助け合い活動	
その他	市政に対する市民参加のしやすさ
	市民サービスなどの行政窓口の充実

【満足度】



【満足度・不満足度】

<全体>

和歌山市の取組の満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）の高い項目は順に、「海・山・川などの豊かな自然環境」（62.5%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（39.4%）、「消防・救急救助の体制」（36.2%）、「資源ごみのリサイクル」（36.1%）、「快適で暮らしやすい住宅環境」（33.9%）となっている。「魅力あふれるまち」と「安心できるまち」に係わる項目の満足度が高めとなっている。

不満足度（「不満」と「非常に不満」を合わせた計）の高い項目は順に「中心市街地の活気」（63.2%）、「雇用対策や労働環境の充実」（42.3%）、「観光地としての魅力」（34.3%）、「公園や下水道などの生活環境の充実」（29.6%）、「地震や風水害などの災害に対する安全性」（29.5%）となっている。「魅力あふれるまち」と「産業が元気なまち」と「安心できるまち」に係わる項目の不満足度が高めとなっている。

【満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=944)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 62.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 39.4%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 36.2%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 36.1%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 33.9%

【不満足度（「非常に不満」と「不満」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=944)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 63.2%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 42.3%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 34.3%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 29.6%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 29.5%

<男女別>

満足度の上位5位について男女別にみると、いずれも1位と2位が「海・山・川などの豊かな自然環境」、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」の順になっており、「資源ごみのリサイクル」「消防・救急救助の体制」が共通して高めとなっている。

不満足度の上位5位について、上位3位は全体と同様の順位となっている。男性は「地域産業（商工業・農林水産業）の発展」（32.0%）、女性は「地震や風水害などの災害に対する安全性」（31.5%）の順位が高めとなっている。

【満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=450)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 66.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 41.6%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 40.2%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 35.8%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】
女性 (n=479)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 59.1%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 37.4%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 33.6%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 32.4%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】

【不満足度（「非常に不満」と「不満」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=450)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 59.8%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 41.3%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 32.2%	・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 32.0%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 30.7%
女性 (n=479)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 66.8%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 43.0%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 36.3%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 31.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 30.9%

注：同率の項目は並記している。※注は以降のページも同様である。

<年代別満足度>

満足度の上位5位の項目について年代別にみると、「18～19歳」以外で1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。2位は「30～39歳」から「50～59歳」にて「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「60～69歳」、「70～79歳」にて「資源ごみのリサイクル」となっており、他の年代でも高めとなっている。「18～19歳」では「公園や下水道などの生活環境の充実」と「医療・保健サービス」が他の年代よりも上位となっている。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=11)	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 <p>81.8%</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 ・芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会 【魅力あふれるまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 ・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 ・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 ・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心できるまち】 <p>72.7%</p>	
20～29歳 (n=57)	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 <p>68.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 <p>47.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 <p>40.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 <p>38.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 <p>36.8%</p>
30～39歳 (n=110)	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 <p>69.1%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 <p>50.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 <p>45.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 <p>44.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 <p>41.8%</p>
40～49歳 (n=155)	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 <p>74.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 <p>46.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 <p>42.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 <p>41.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 <p>38.7%</p>
50～59歳 (n=155)	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 <p>67.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 <p>35.5%</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 <p>32.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 ・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 <p>30.3%</p>
60～69歳 (n=207)	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 <p>53.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 <p>34.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 <p>33.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 <p>30.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 <p>25.1%</p>
70～79歳 (n=182)	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 <p>54.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 <p>40.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 <p>40.1%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 <p>37.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 <p>29.7%</p>
80歳以上 (n=63)	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 <p>55.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 <p>47.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 <p>36.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 ・市民サービスなどの行政窓口の充実 【その他】 <p>33.3%</p>	

<年代別不満度>

不満度の上位5位の項目について年代別にみると、1位はすべての年代にて「中心市街地の活気」となっており、「20～29歳」及び「80歳以上」の年代以外では「雇用対策や労働環境の充実」が2位となっている。また「観光地としての魅力」も「50～59歳」「80歳以上」以外の年代で上位となっている。

【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=11)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 36.4%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 27.3%		・学校・幼稚園などの教育環境 【子供たちが育つまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 18.2%	
20～29歳 (n=57)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 52.6%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 50.9%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 40.4%	・国内や国外との交流 【産業が元気なまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.1%	
30～39歳 (n=110)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 63.6%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 40.9%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 39.1%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 32.7%	・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 30.0%
40～49歳 (n=155)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 56.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 38.7%	・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 ・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 29.0%		
50～59歳 (n=155)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 72.3%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 51.6%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 37.4%	・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 34.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 32.9%
60～69歳 (n=207)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 72.0%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 50.2%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 39.1%	・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 38.6%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 35.7%
70～79歳 (n=182)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 62.6%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 37.9%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 34.6%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 31.9%	・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 30.2%
80歳以上 (n=63)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 47.6%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 27.0%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 ・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 23.8%		・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 22.2%

<地域別満足度>

満足度の上位5位の項目について地域別にみると、いずれの地域も1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」と共通している。「資源ごみのリサイクル」は「東部」、「東南部」、「河北部」にて2位となっている。「消防・救急救助の体制」も「河北部」以外で上位となっている。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=224)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 65.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 50.9%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 42.0%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 41.1%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 38.8%
南部 (n=132)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 61.4%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 40.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 37.9%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 37.1%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 37.1%
東部 (n=112)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 63.4%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 41.1%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 39.3%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 37.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 36.6%
東南部 (n=77)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 61.0%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 41.6%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 35.1%	・まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 32.5%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 31.2%
河西部 (n=230)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 62.6%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 40.4%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 35.2%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 31.7%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 31.7%
河北部 (n=120)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 59.2%	・資源ごみのリサイクル 【魅力あふれるまち】 33.3%	・まちなみの美しさ 【魅力あふれるまち】 32.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 27.5%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 26.7%

<地域別不満度>

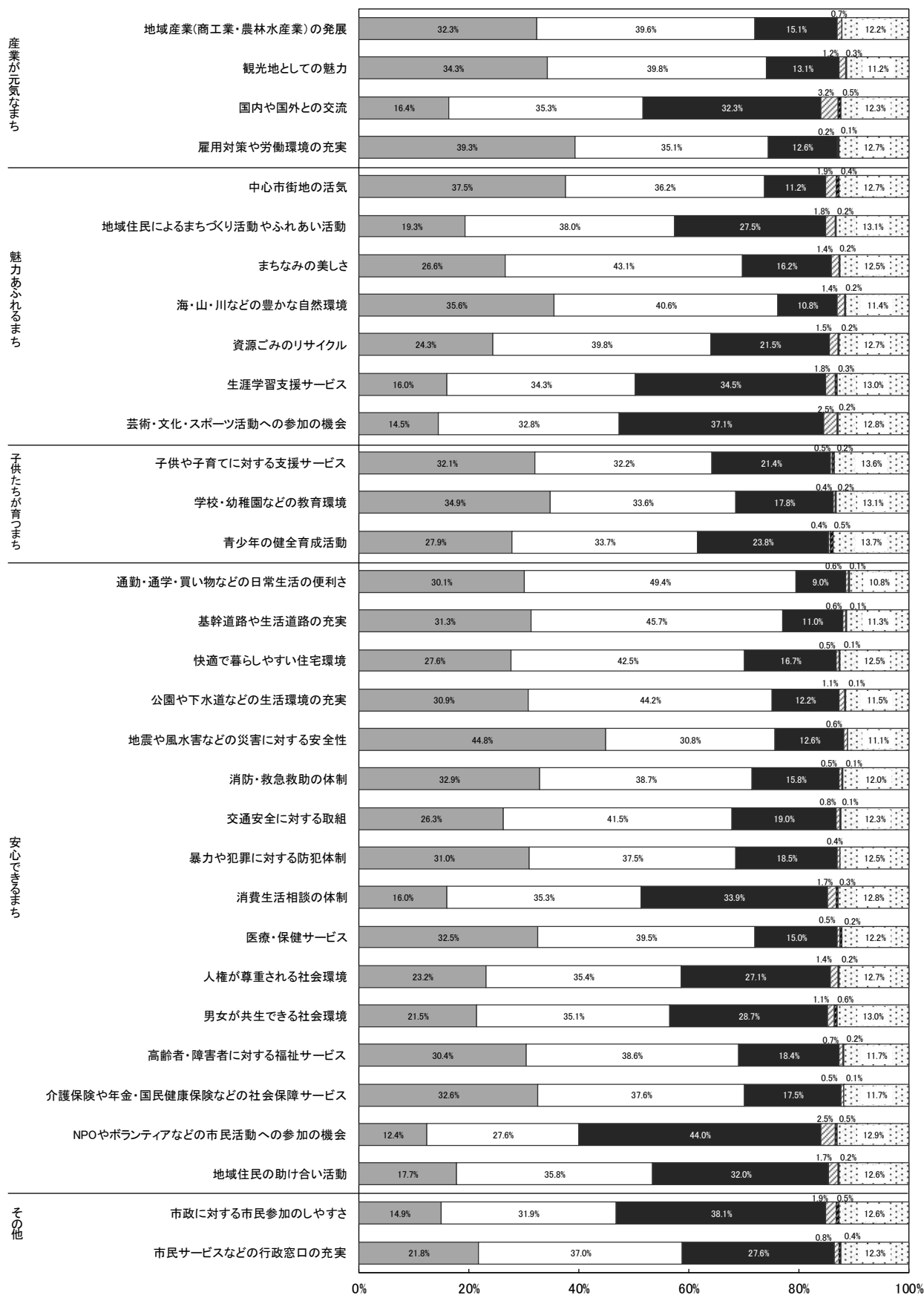
不満度の上位5位の項目について地域別にみると、いずれの地域も1位は「中心市街地の活気」となっている。また、「雇用対策や労働環境の充実」も「東南部」以外の地域にて2位となっている。また、3位は「中心部」、「南部」、「東南部」、「河西部」にて「観光地としての魅力」となっている。

【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=224)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 62.5%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 37.9%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 37.1%	・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 30.8%	・地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動 【魅力あふれるまち】 26.8%
南部 (n=132)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 56.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 44.7%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 32.6%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 31.1%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 28.0%
東部 (n=112)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 65.2%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 42.9%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 39.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 37.5%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 33.9%
東南部 (n=77)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 53.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 42.9%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 39.0%		
河西部 (n=230)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 67.0%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 43.0%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 32.2%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 28.3%	・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 ・地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動 【魅力あふれるまち】 27.8%
河北部 (n=120)	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 70.0%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 49.2%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 40.0%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 40.0%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 37.5%

【重要度】

非常に重要
 重要
 どちらとも言えない
 あまり重要ではない
 全く重要ではない
 不明



【重要度】

<全体>

和歌山市の取組の重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた計）の高い項目は順に、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（79.5%）、「基幹道路や生活道路の充実」（77.0%）、「海・山・川などの豊かな自然環境」（76.2%）、「地震や風水害などの災害に対する安全性」（75.6%）、「公園や下水道などの生活環境の充実」（75.1%）となった。“安心できるまち”に係わる項目の重要度が高めとなっている。

【重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=944)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 79.5%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 77.0%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 76.2%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 75.6%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 75.1%

<男女別>

重要度の上位5位について男女別にみると、1位は全体と同様の項目となっており、男性の2位は「基幹道路や生活道路の充実」、女性の2位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。

【重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=450)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 81.1%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 78.4%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 77.3%	・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 75.8%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 75.8%
女性 (n=479)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 79.1%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 77.7%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 77.2%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 76.4%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 76.4%

<年代別>

重要度の上位5位の項目について年代別にみると、「30～39歳」と「60～69歳」の二つの世代以外で「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が1位となっている。「30～39歳」の1位は、「雇用対策や労働環境の充実」、「60～69歳」の1位は「観光地としての魅力」、「基幹道路や生活道路の充実」、「地震や風水害などの災害に対する安全性」の3項目となっている。

また、2位以下では多くの年代で「基幹道路や生活道路の充実」が上位となっている。

【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=11)	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 ・交通安全に対する取組 【安心できるまち】 ・人権が尊重される社会環境 【安心できるまち】 ・男女が共生できる社会環境 【安心できるまち】 <p>100.0%</p>				
20～29歳 (n=57)	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 <p>82.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 <p>80.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 <p>78.9%</p>		
30～39歳 (n=110)	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 <p>87.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 <p>86.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 <p>84.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 <p>82.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 <p>81.8%</p>
40～49歳 (n=155)	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 <p>85.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 <p>84.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 <p>80.6%</p>		
50～59歳 (n=155)	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 <p>87.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 <p>85.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 <p>83.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 <p>82.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 <p>81.9%</p>
60～69歳 (n=207)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 <p>80.7%</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 <p>80.2%</p>	
70～79歳 (n=182)	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 <p>69.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 <p>67.0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 <p>64.8%</p>		
80歳以上 (n=63)	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 <p>63.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 <p>60.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 ・高齢者・障害者に対する福祉サービス 【安心できるまち】 ・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 <p>57.1%</p>		

<地域別>

重要度の上位5位の項目について地域別にみると、1位は「中心部」、「東部」、「東南部」、「河西部」で「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」となっている。他の地域の1位は「南部」で「公園や下水道などの生活環境の充実」、「地震や風水害などの災害に対する安全性」の2項目、「河北部」で「基幹道路や生活道路の充実」となっている。すべて“安心できるまち”に分類される内容が1位となっている。

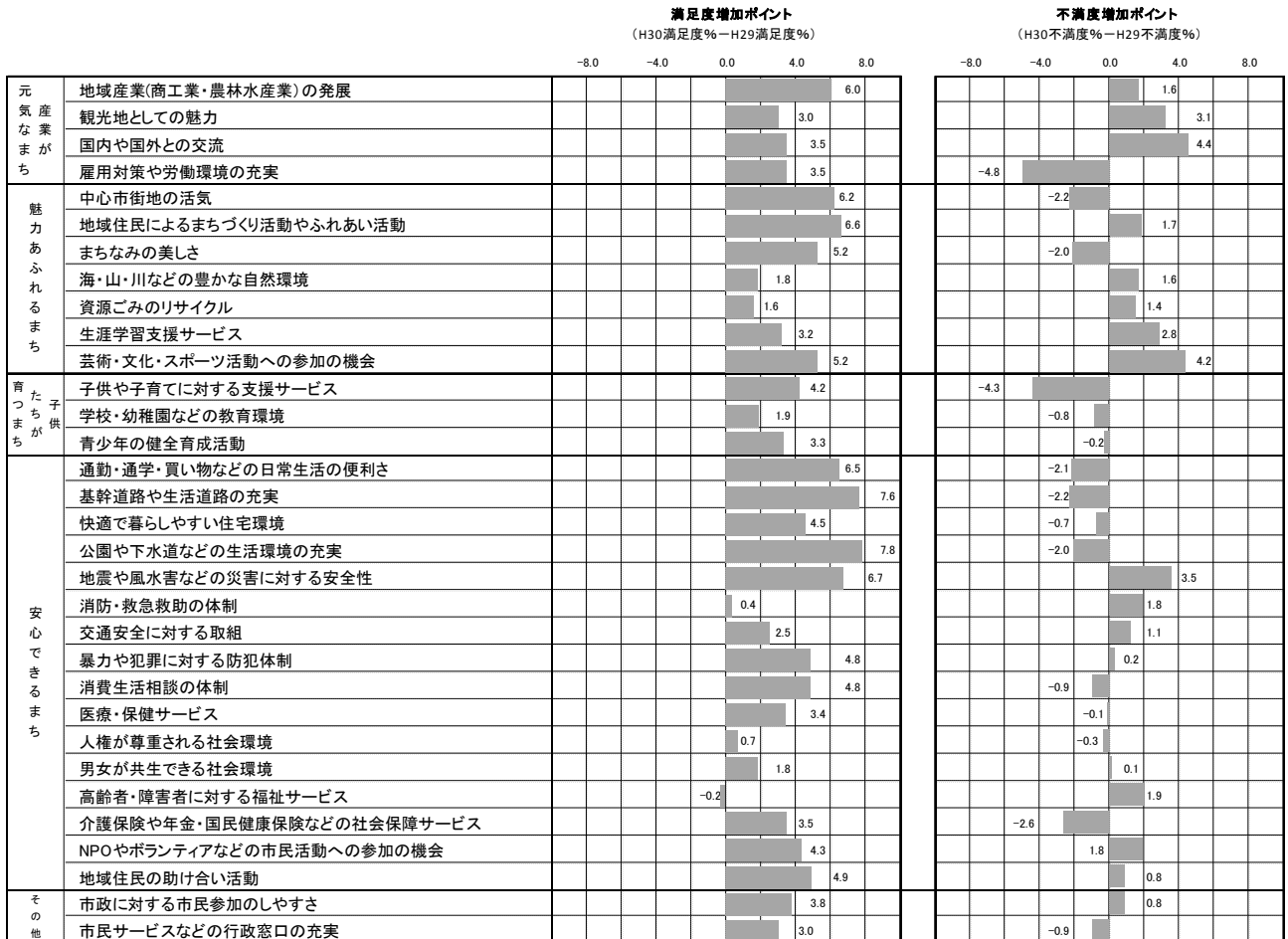
【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=224)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 79.0%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 78.1%	・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 77.7%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 76.8%	
南部 (n=132)	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 76.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 83.0%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 75.8%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 74.2%	
東部 (n=112)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 83.0%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 76.8%	・高齢者・障害者に対する福祉サービス 【安心できるまち】 75.9%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 75.0%	
東南部 (n=77)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 83.1%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 81.8%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 77.9%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 75.3%	
河西部 (n=230)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 79.6%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力あふれるまち】 77.8%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 76.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 73.5%	
河北部 (n=120)	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 84.2%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 82.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 80.8%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 73.0%	
				・中心市街地の活気 【魅力あふれるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 79.2%	

【満足度：前年度の比較】

平成29年度と平成30年度の満足度の変化は、「公園や下水道など生活環境の充実」、「基幹道路や生活道路の充実」が7ポイント以上増加している。また、「高齢者・障害者に対する福祉サービス」以外は満足度が増加している。

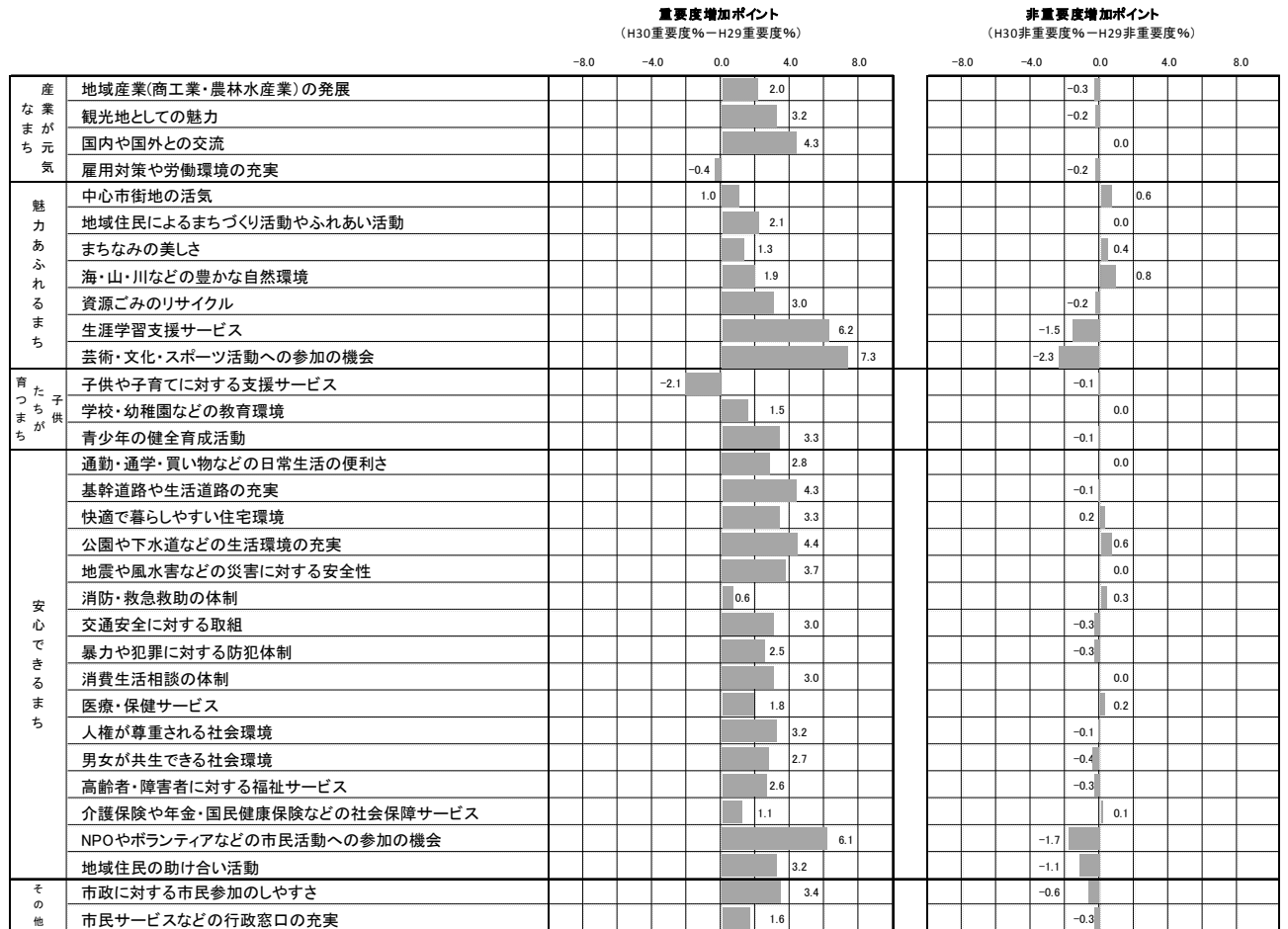
不満度の変化は、「国内や国外との交流」、「芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会」が4ポイント以上増加している。また、「雇用対策や労働環境の充実」、「子供や子育てに対する支援サービス」が4ポイント以上減少している。



【重要度：前年度の比較】

平成29年度と平成30年度の重要度の変化は、「芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会」、「生涯学習支援サービス」、「NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会」が6ポイント以上増加する結果となった。「子供や子育てに対する支援サービス」が2ポイント以上減少している。

非重要度（「あまり重要ではない」と「全く重要ではない」を合わせた計）については、「芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会」が2ポイント以上減少する結果となった。



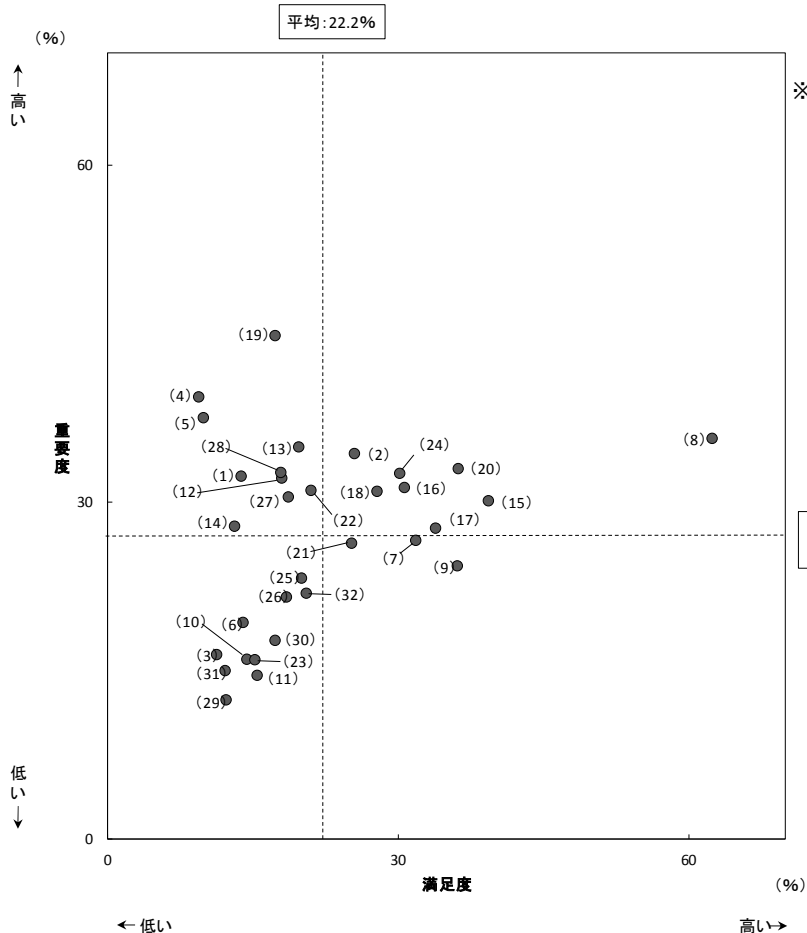
【重要度と満足度ギャップ分析（ポートフォリオ）】

「重要度（「非常に重要」の比率）」と「満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）」との関係を散布図に表した。図の横軸は満足度、縦軸は重要度を表している。

重要度が満足度を10ポイント以上上回る項目は、ギャップの大きい順にみると「(4) 雇用対策や労働環境の充実」、「(5) 中心市街地の活気」、「(19) 地震や風水害などの災害に対する安全性」、「(1) 地域産業(商工業・農林水産業)の発展」、「(13) 学校・幼稚園などの教育環境」、「(14) 青少年の健全育成活動」、「(28) 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、「(12) 子供や子育てに対する支援サービス」、「(27) 高齢者・障害者に対する福祉サービス」の9項目となっており、早急に対策が求められている結果となっている。

満足度が重要度を10ポイント以上上回る項目は「(8) 海・山・川などの豊かな自然環境」、「(9) 資源ごみのリサイクル」の2項目である。

凡例	項目名	満足度計	重要度
(1)	地域産業(商工業・農林水産業)の発展	13.9	32.3
(2)	観光地としての魅力	25.5	34.3
(3)	国内や国外との交流	11.3	16.4
(4)	雇用対策や労働環境の充実	9.4	39.3
(5)	中心市街地の活気	10.0	37.5
(6)	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動	14.1	19.3
(7)	まちなみの美しさ	31.9	26.6
(8)	海・山・川などの豊かな自然環境	62.5	35.6
(9)	資源ごみのリサイクル	36.1	24.3
(10)	生涯学習支援サービス	14.4	16.0
(11)	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	15.4	14.5
(12)	子供や子育てに対する支援サービス	18.0	32.1
(13)	学校・幼稚園などの教育環境	19.8	34.9
(14)	青少年の健全育成活動	13.1	27.9
(15)	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	39.4	30.1
(16)	基幹道路や生活道路の充実	30.7	31.3
(17)	快適で暮らしやすい住宅環境	33.9	27.6
(18)	公園や下水道などの生活環境の充実	27.9	30.9
(19)	地震や風水害などの災害に対する安全性	17.3	44.8
(20)	消防・救急救助の体制	36.2	32.9
(21)	交通安全に対する取組	25.3	26.3
(22)	暴力や犯罪に対する防犯体制	21.1	31.0
(23)	消費生活相談の体制	15.3	16.0
(24)	医療・保健サービス	30.2	32.5
(25)	人権が尊重される社会環境	20.1	23.2
(26)	男女が共生できる社会環境	18.5	21.5
(27)	高齢者・障害者に対する福祉サービス	18.7	30.4
(28)	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	17.9	32.6
(29)	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	12.3	12.4
(30)	地域住民の助け合い活動	17.3	17.7
(31)	市政に対する市民参加のしやすさ	12.2	14.9
(32)	市民サービスなどの行政窓口の充実	20.5	21.8



※重要度と満足度のギャップをみるにあたり、重要度を「非常に重要」と「重要」を合わせた数値で満足度（「非常に満足」と「満足」の計）のギャップをみると項目間の差が判断しにくいいため、重要度に関しては「非常に重要」の数値を採用した。

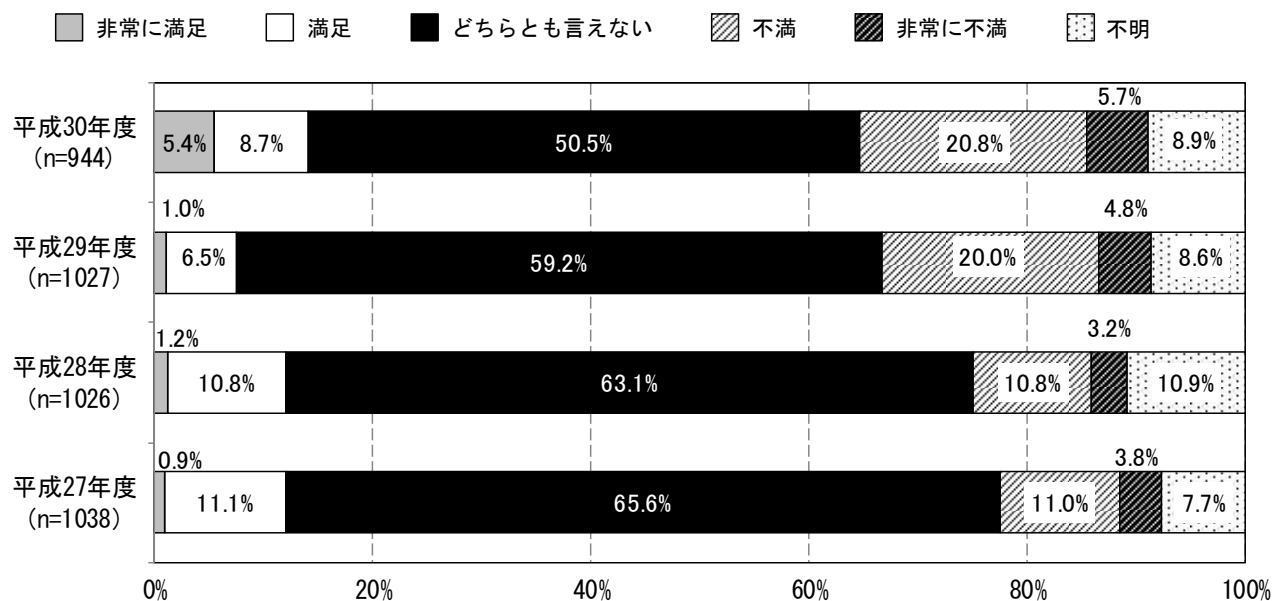
平均：27.2%

【満足度・不満度の指標の推移】

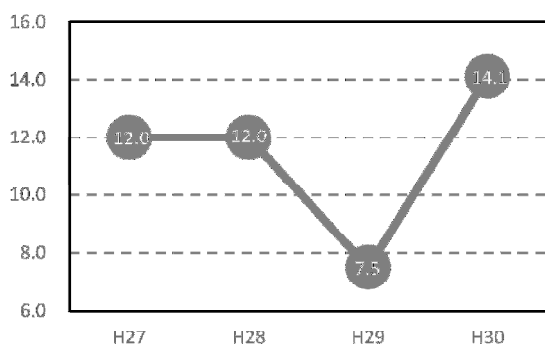
<地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画※」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が大きく増加しているが、不満度も増加している。今後も目標値の達成に向けて、地域住民と連携し、自主的な活動を安定的に実施できるよう支援に努めるとともに、魅力的なまちづくりやその担い手づくりを推進していく必要があると思われる。

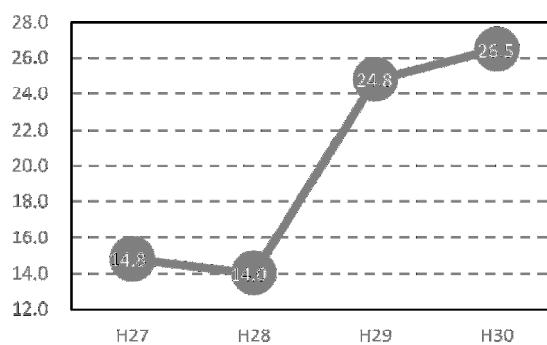
満足度目標値	(H38年度) 20.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

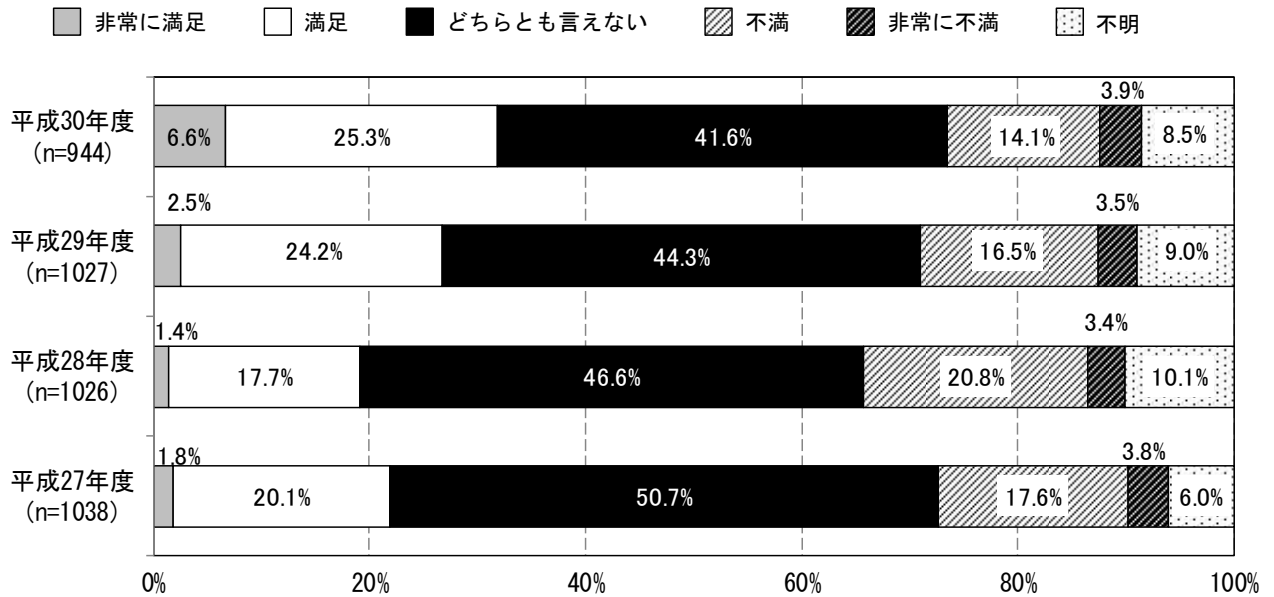


※「第5次和歌山市長期総合計画」とは、平成29年度から平成38年度までのまちづくりの方向性を示すもので、各種個別計画や事業はこの計画に基づいて策定・実施されています。

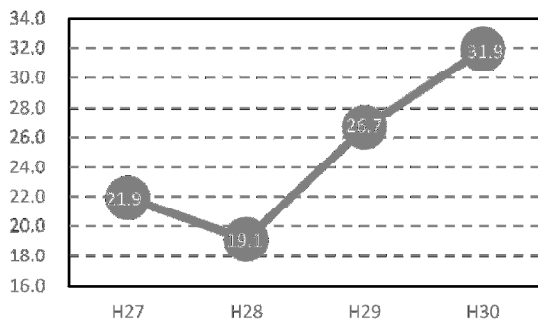
<まちなみの美しさ>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が増加し不満度が減少していることから、新たな景観拠点の創出や、地域の優れた景観を保全、活用する景観まちづくりを支援するとともに、その仕組みづくりに引き続き取り組んでいく必要があると思われる。

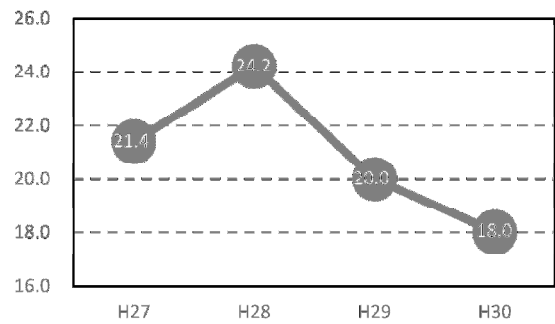
満足度目標値	(H38年度) 33.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



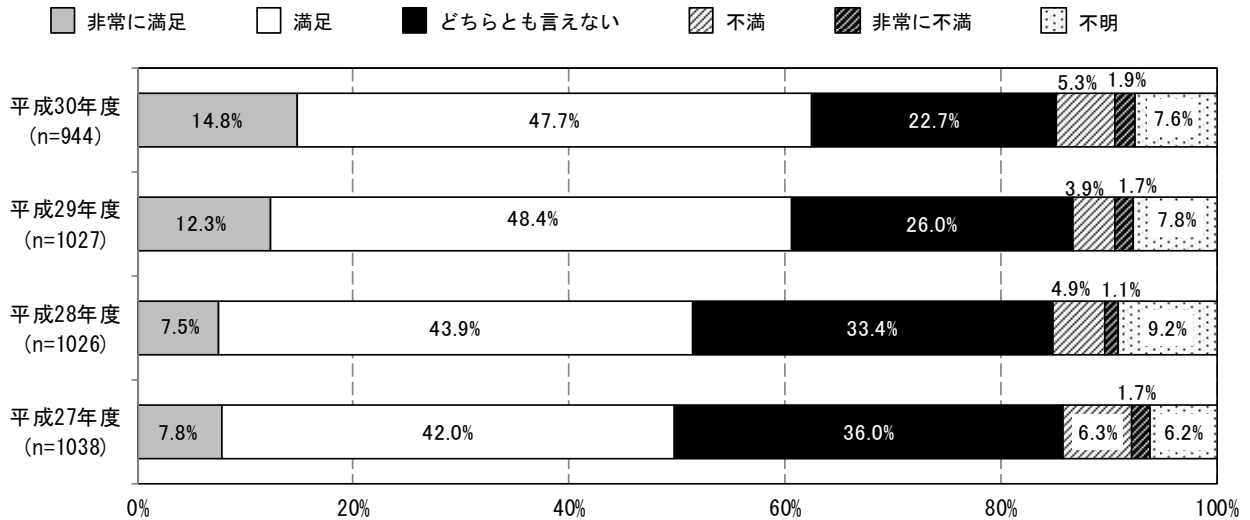
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



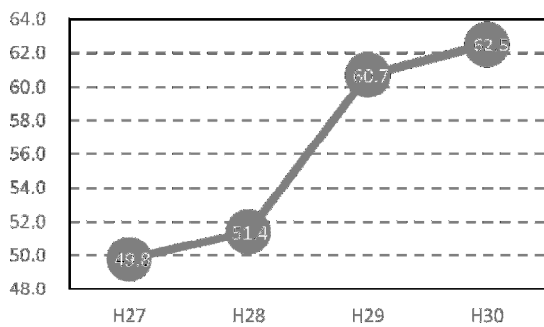
<海・山・川などの豊かな自然環境>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は増加しているが、不満度も増加している結果となった。目標値は達成しているが、不満度が増加していることから、さらに環境保全意識が向上し、環境にやさしい生活や事業が行われるために、啓発活動や情報提供等を通じて、環境づくりに努めていく必要があると思われる。

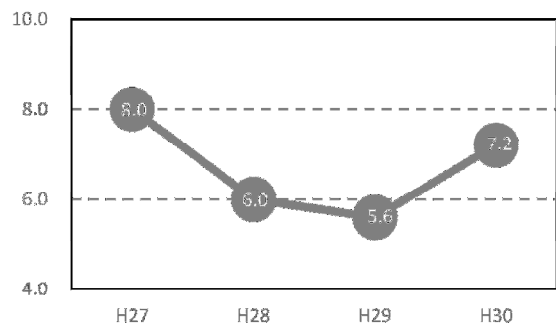
満足度目標値	(H38年度) 60.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

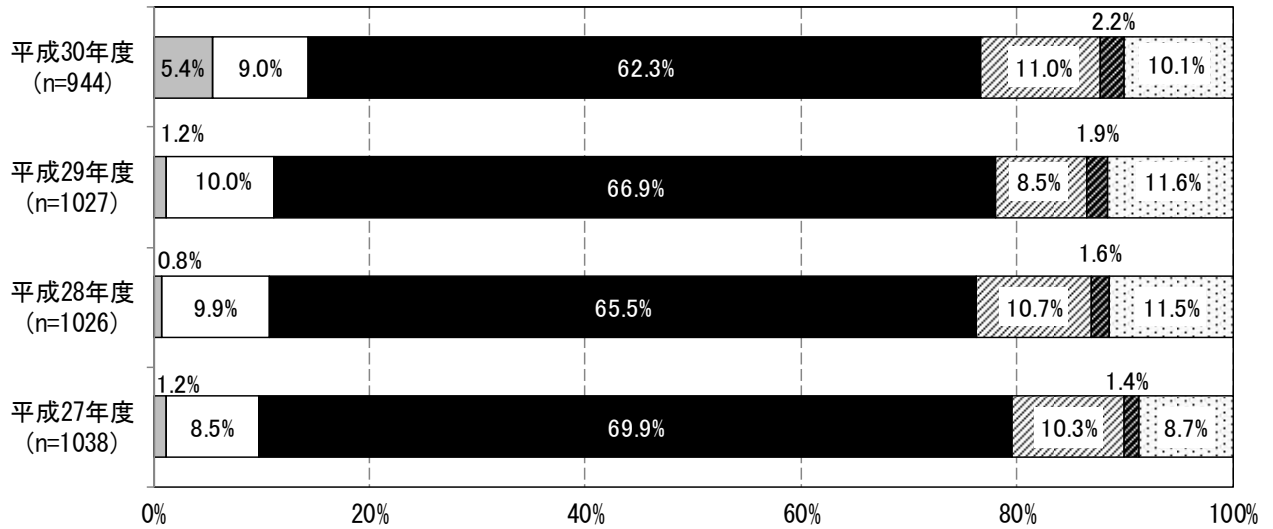


<生涯学習支援サービス>

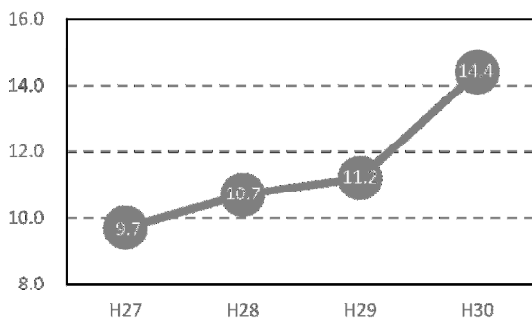
この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度も不満度も増加していることから、引き続き目標値の達成に向けて、幅広い世代に学びの機会を提供し、課題解決の支援の充実を行っていくほか、より質の高いサービスの提供に努める必要があると思われる。

満足度目標値	(H38年度) 17.7%
--------	------------------

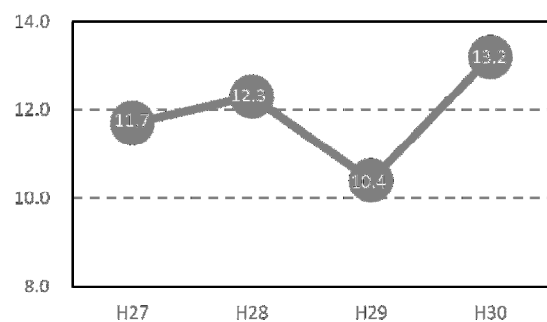
非常に満足
 満足
 どちらとも言えない
 不満
 非常に不満
 不明



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移

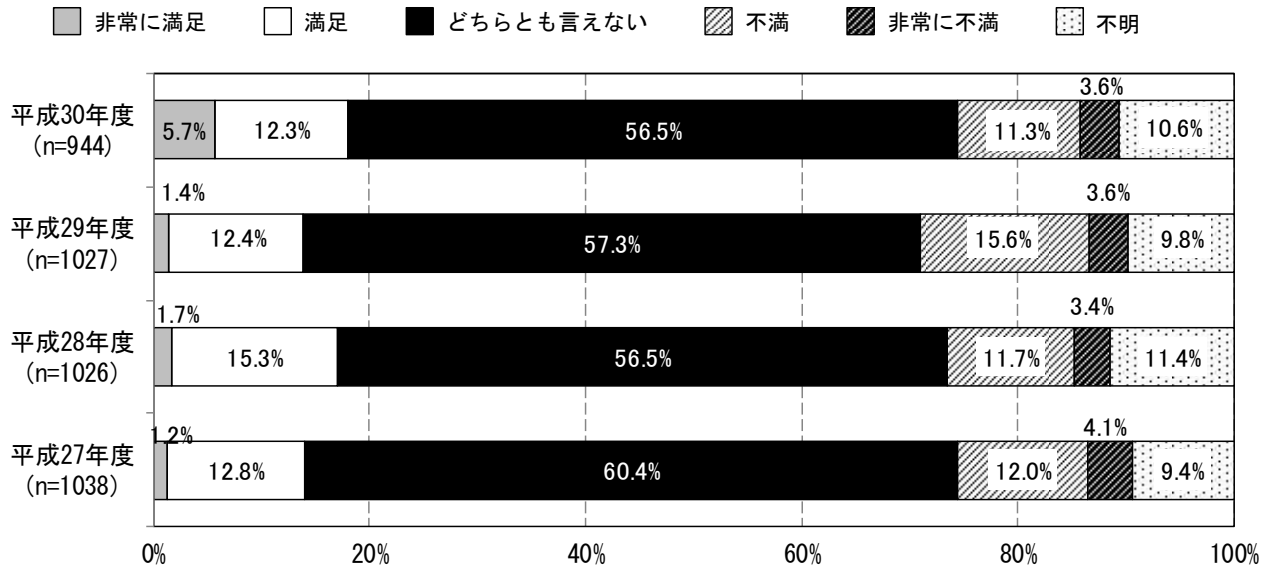


不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

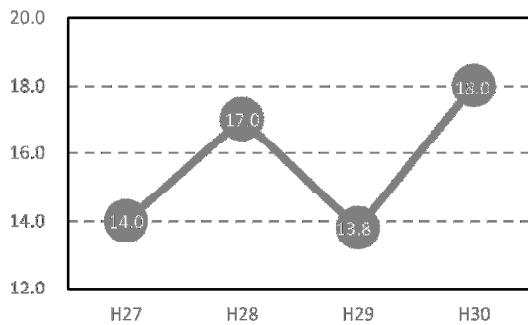


<子供や子育てに対する支援サービス>

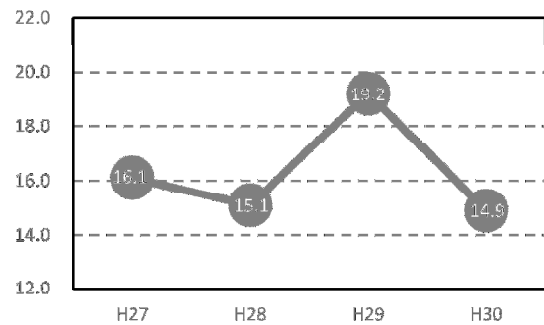
全体の回答では、満足度が増加し、不満度が減少している。0～14歳のお子様がいる方だけの回答では満足度の増加と不満度の減少がより顕著に見られた。子供や子育てに対する支援サービスが効果的に実行されていることが伺える。今後も継続してより安心して子供を生み育てることのできる環境の整備に努めていく必要があると思われる。



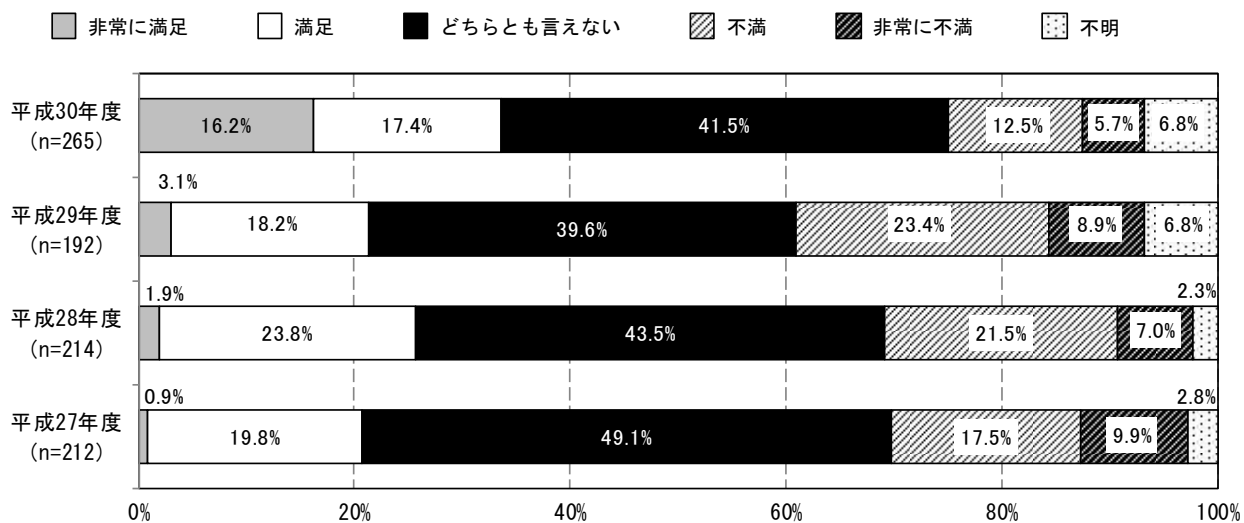
満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



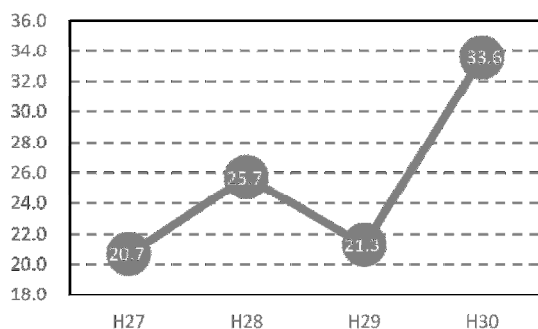
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



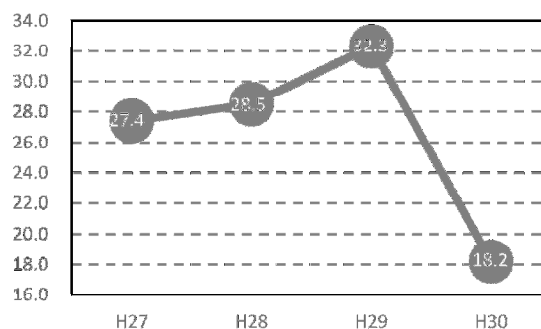
【0～14歳のお子様がいる方だけの回答】



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



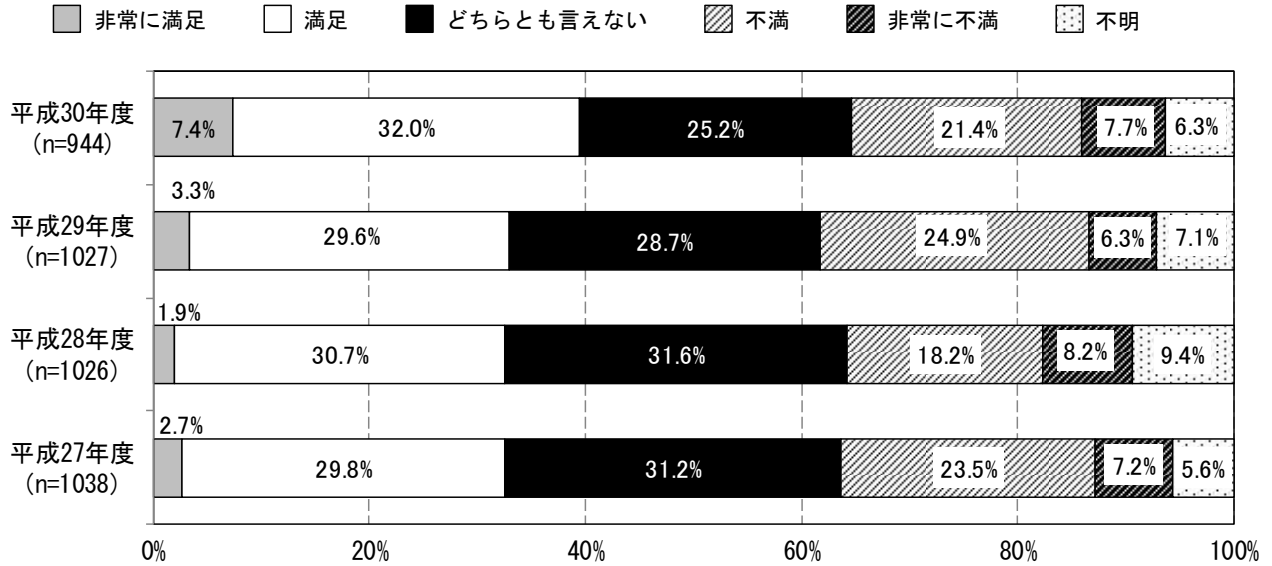
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



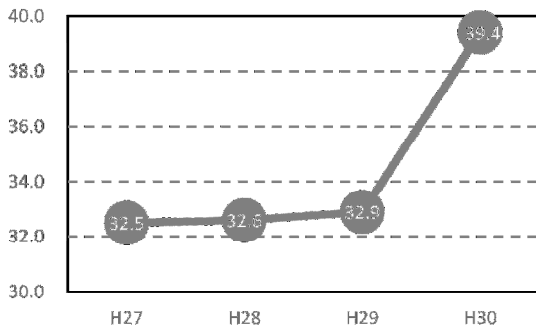
<通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が大幅に増加し、不満度は減少しているが、今後も引き続き、中心市街地の活性化を図るとともに、コンパクトで便利なまちを形成するため、駅や小学校周辺などの生活拠点に住居と日常生活に必要な機能の緩やかな誘導を図る必要があると思われる。

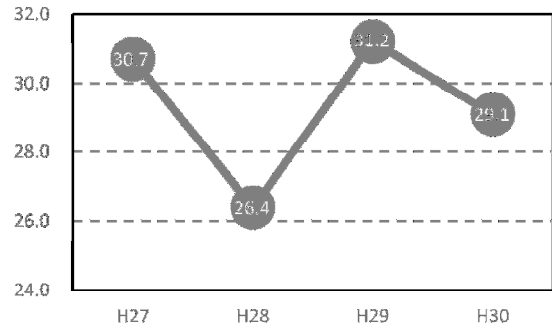
満足度目標値	(H38年度) 35.5%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

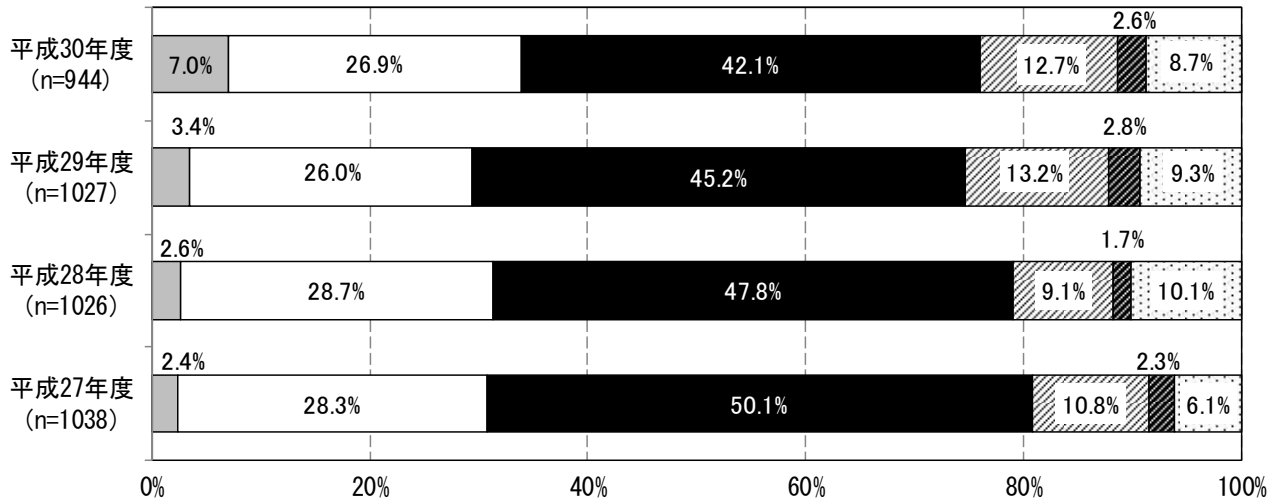


<快適で暮らしやすい住宅環境>

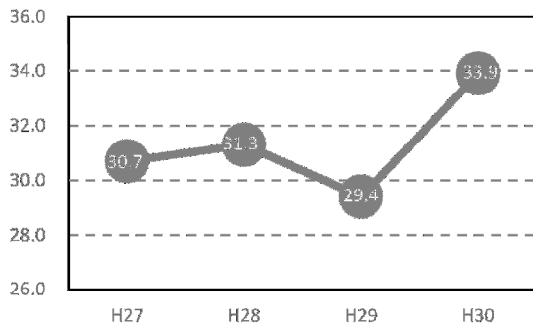
この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は増加しているが、不満度の減少が少ないことから、引き続き、良質な住宅や良好な宅地の確保に向け、空き家の適正管理・除去や利活用を促進するとともに、老朽市営住宅の建替え・景観改善・住環境改善を計画的に進める必要があると思われる。

満足度目標値	(H38年度) 50.0%
--------	------------------

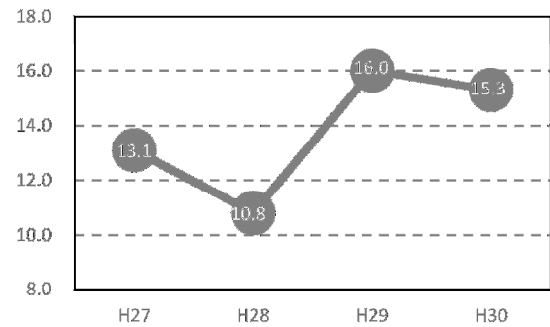
非常に満足
 満足
 どちらとも言えない
 不満
 非常に不満
 不明



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



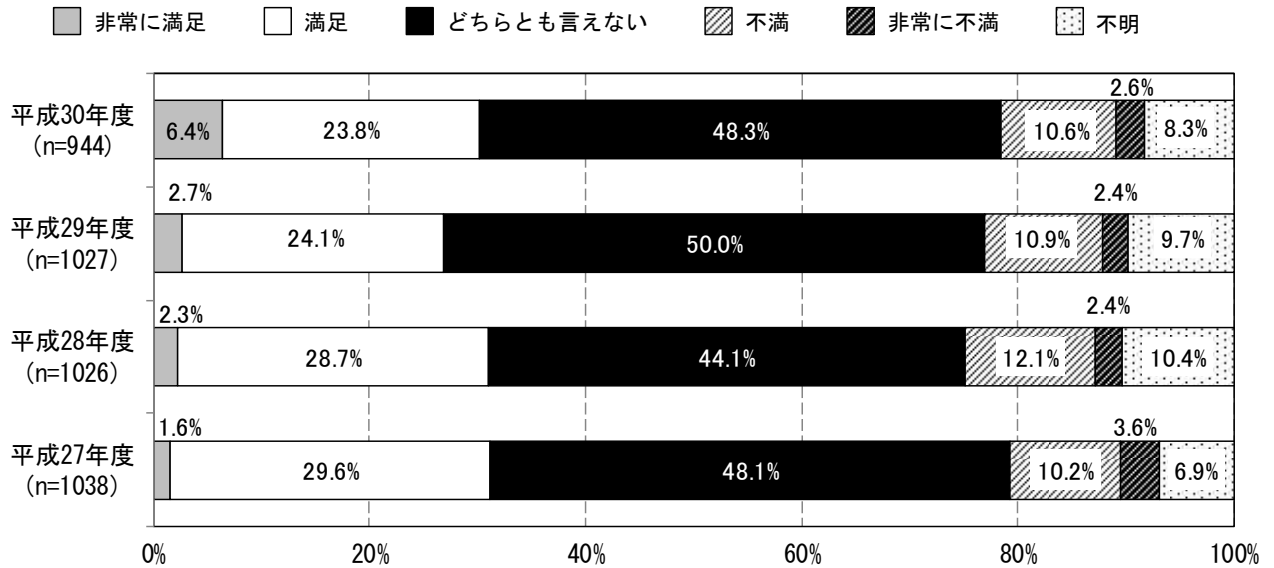
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



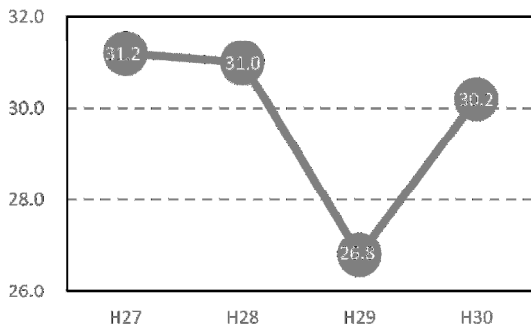
<医療・保健サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が回復し、不満度も僅かだが減少していることから、目標値の達成に向けて、必要な時に適切で良質な医療を利用できるよう地域医療・健康危機管理体制を、今後もより一層充実させる必要があると思われる。

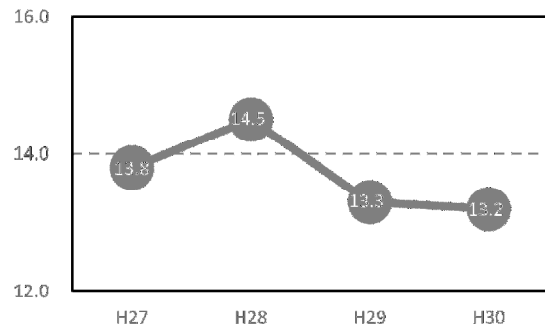
満足度目標値	(H38年度) 57.6%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移

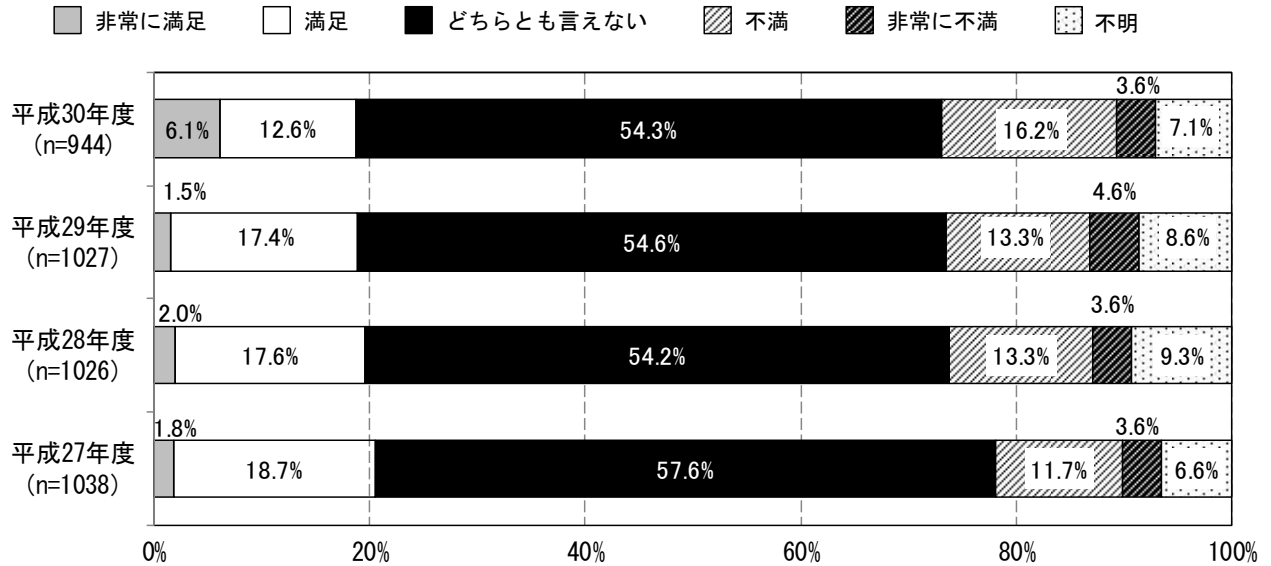


不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

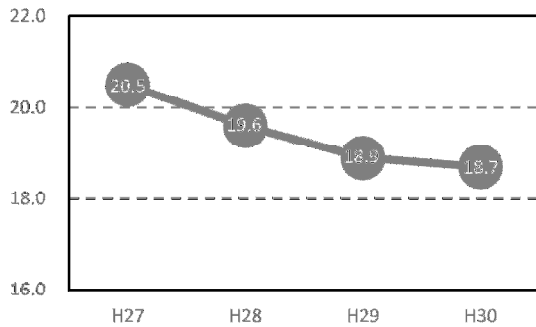


<高齢者・障害者に対する福祉サービス>

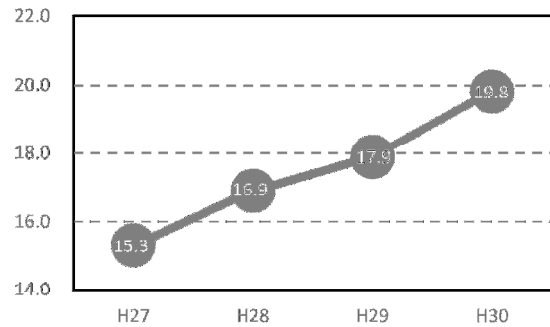
満足度が減少し、不満度が増加していることから、高齢者や障害者が安心して安全に暮らすことのできるまちづくりに向けて、バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進とともに、さらなる支援体制の強化を図る必要があると思われる。



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

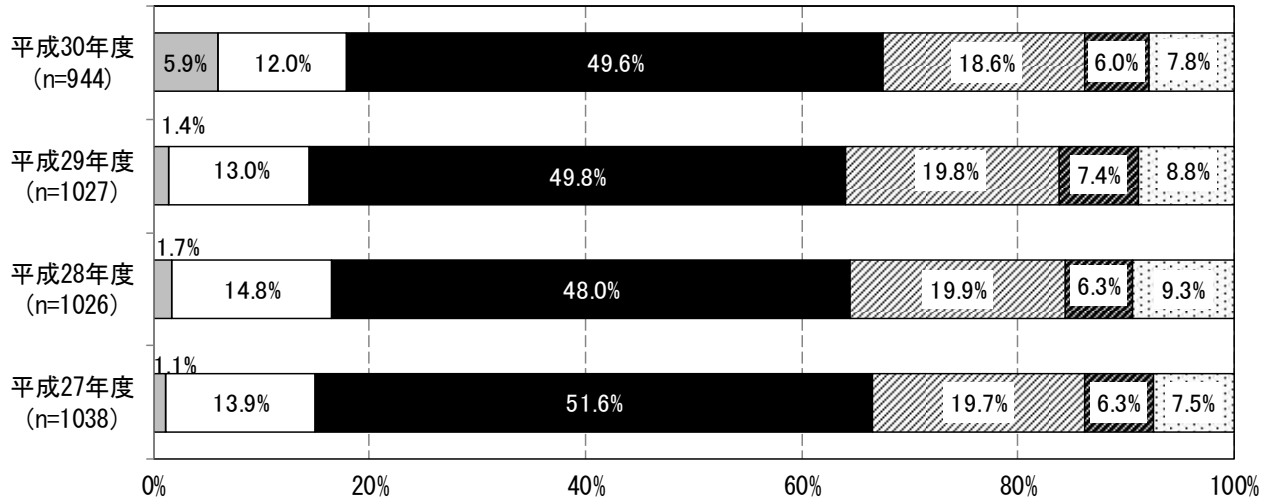


<介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス>

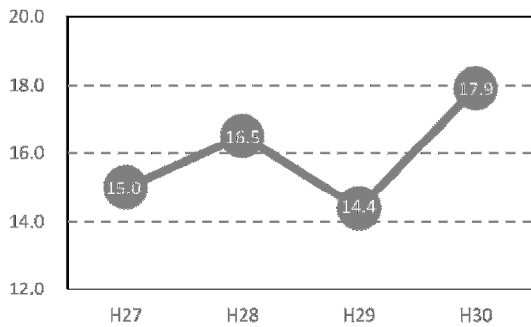
この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が増加し、不満度が減少している結果となった。目標値の達成に向けて、今後も引き続き必要な社会保障・公的扶助のサービスを適正に受けることができる環境を整える必要があると思われる。

満足度目標値	(H38年度) 26.0%
--------	------------------

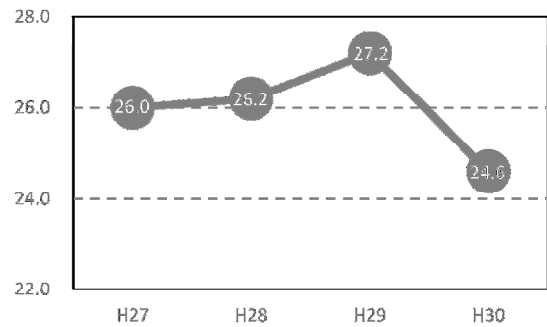
非常に満足
 満足
 どちらとも言えない
 不満
 非常に不満
 不明



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



1 4. 和歌山市の市政について（自由意見）

自由意見は222人の回答者より、261件の意見があった。

その概要については、以下のとおりである。

【ご意見の概要】

大項目	中項目	小項目	件数
1 環境	1 ごみの適正処理とリサイクル		14
		1 ごみの処分	2
	2 都市景観とまちの美化		12
		1 まちの美化	7
		2 自然環境の保全と再生	5
2 健康・福祉	1 子育て支援		15
		1 子育て支援	6
		2 子供の医療費助成制度	3
		3 ひとり親家庭支援制度	1
		4 子供の医療的ケア支援	1
	2 福祉		6
		1 高齢者福祉	6
	3 健康づくりと医療機関		2
		1 健康づくりの推進	1
		2 医療機関の充実	1
4 その他		1	
	1 生活保護	1	
3 教育・文化・スポーツ	1 学校教育・青少年の育成		15
		1 教育環境の充実	12
		2 青少年の健全育成	8
		3 教育関係者の人材育成	2
		4 学校教育の充実	1
	2 スポーツ・レクリエーションの振興・施設		3
1 スポーツ・レクリエーションの振興		1	
	2 スポーツ施設の管理・運用・整備	2	
4 都市基盤・交通	1 道路の整備や公共交通機関		51
		1 駐車場の整備	37
		2 道路（車道、自転車道、歩道）の整備	4
		3 道路の管理	13
		4 交通網や公共交通機関の充実	1
	2 公園の整備や緑化		6
		1 公園の整備	1
		2 公園の管理・運営	1
		3 和歌山城の整備	4
	3 計画・開発・整備（活性化を含む）		8
		1 計画的なまちづくり	5
2 駅周辺		1	
	3 中心市街地	2	

大項目	中項目	小項目	件数
5 産業・経済			40
	1 商店街や中小企業、農業、水産業		2
		1 商店街、商業施設の活性化	1
		2 農業の振興	1
	2 新しい産業や高度な業務機能の集約		12
		1 新たな産業の創造	3
		2 レジャー施設・商業施設の誘致	4
		3 企業の誘致	5
	3 観光・シティプロモーションの推進		13
		1 観光の振興・整備	10
		2 シティーセールスの推進	3
	4 産業人材育成、就労支援や環境整備		13
		1 就労支援の充実	6
		2 就労環境の整備	7
6 安全・生活基盤			26
	1 防災・治水対策		17
		1 防災対策	16
		2 治水対策	1
	2 防犯		1
		1 防犯対策	1
	3 上下水道・住宅・ガス等の整備		8
		1 空き家対策	2
		2 インフラの整備	1
		3 下水道整備	5
7 交流・生活コミュニティ			5
	1 市民活動やコミュニティ活動		5
		1 交流の場の整備	3
		2 活動の場の整備	2
8 その他・総合			95
	1 総合（政策・制度など）		37
		1 公共施設の管理・使用料	3
		2 議会・議員	8
		3 都市経営・運営	18
		a 住みよいまち	5
		b 若年層の転出対策	3
		c 活性化	6
		d 安心・安全なまち	1
		e 行政サービス全体	3
		4 広報・広聴・情報公開	8
	2 総合（職員・組織など）		17
		1 職員の対応・仕事	15
		2 職員数	2
	3 財政		8
		1 税等（保険料・使用料）	4
		2 状況	4
	4 その他		33
		1 市民意識調査	8
		2 お褒め・ねぎらい・応援の言葉	11
		3 市民の協働	1
		4 お礼	1
		5 その他	12
合計			261

調査票

Ⅲ. 調査票

和歌山市政世論調査(平成30年度)アンケート調査票

このアンケートは、9月12日(水)までに返信用封筒に入れて、
切手を貼らずにお出してください。

1 あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1 あなたの居住地区はどこですか？

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

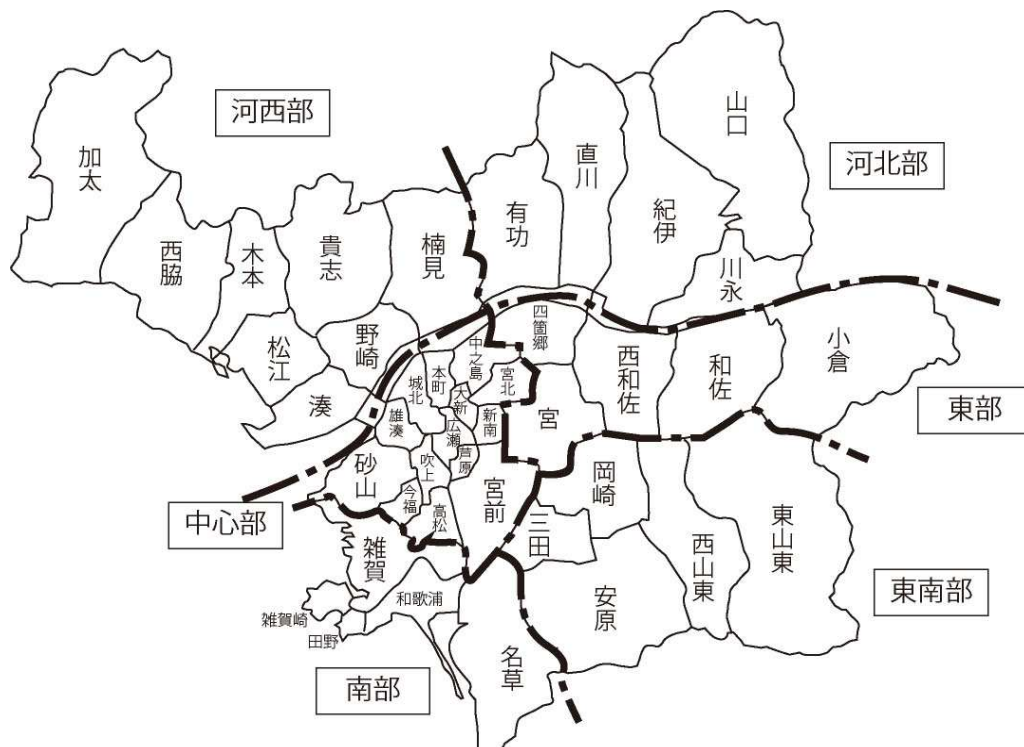
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



問2 あなたの性別は？

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの年齢は？

1. 18～19歳 3. 30～39歳 5. 50～59歳 7. 70～79歳
2. 20～29歳 4. 40～49歳 6. 60～69歳 8. 80歳以上

問4 あなたの職業は？

1. 会社員 6. 専業主婦
2. 自営業 7. 学生
3. 農林水産業 8. 無職
4. 公務員 9. その他
5. パート・アルバイト ()

問5 あなたが和歌山市に住んでいる年数は？

1. 1年未満 5. 10～20年未満
2. 1～3年未満 6. 20～30年未満
3. 3～5年未満 7. 30年以上
4. 5～10年未満

問6 あなたは現在、結婚をしていますか？

1. 結婚している 3. 結婚していない
2. 配偶者と離・死別した

**問6-1 問6で「1. 結婚している」と回答された方のみお答えください。
夫婦ともに働いていますか？**

1. 夫婦共働きである 3. 妻のみ働いている
2. 夫のみ働いている 4. どちらも働いていない

問7 あなたは現在、どなたと一緒に住んでいますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 自分ひとり 7. 自分の親
2. 配偶者 8. 配偶者の親
3. 子ども（未婚） 9. 兄弟姉妹
4. 子ども（既婚） 10. 祖父母
5. 子どもの配偶者 11. その他
6. 孫 ()

2 あなたの身の回りの状況やお考えについてお尋ねします。

問8 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

(1) 和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？

1. はい 2. いいえ

(2) 身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？

1. はい 2. いいえ

(3) あなたは、悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか？

1. はい 2. いいえ

(4) あなたの、かかりつけ医はありますか？

1. はい 2. いいえ

(5) お子様の、かかりつけ医はありますか？ (0～14歳のお子様がいいらっしゃる方のみ)

1. はい 2. いいえ

(6) あなたの、かかりつけ歯科医はありますか？

1. はい 2. いいえ

(7) 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？

1. はい 2. いいえ

(8) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？

1. はい 2. いいえ

(9) 日頃から趣味や関心のあるテーマについて、自主的に学習活動を行っていますか？

1. はい 2. いいえ

(10) 日頃から芸術文化活動を行い、又は鑑賞する機会(映画・音楽・展覧会の鑑賞などを含む)をもっていますか？

1. はい 2. いいえ

(11) 公園清掃や花壇づくりなど地域の活動への参加をしている、又は、したいと思いますか？

1. はい 2. いいえ

(12) 公園を月1回以上利用されますか？

1. はい 2. いいえ

(13) あなたは、日常の買い物に不便を感じていますか？

1. はい 2. いいえ

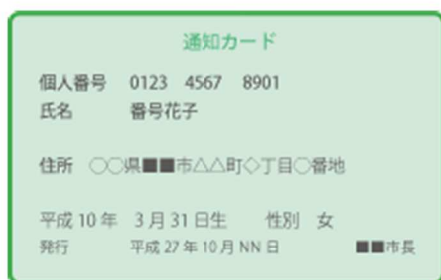
3 マイナンバーカードについてお尋ねします。

マイナンバーカードは、全世帯に郵送されたマイナンバーの「通知カード」ではなく、申請によって取得できる顔写真付きのカードです。

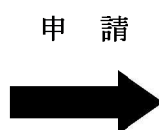
マイナンバーカードには様々な機能があり、マイナンバーを証明する書類としての利用以外にも、コンビニで各種証明書を取得したり、自分の個人情報をマイナポータルで閲覧したり、オンラインで行政手続きを行ったりすることができます。

和歌山市では、マイナンバーカードを申請または受け取りやすくするための取組として、第2・第4日曜日の窓口開設、毎週木曜日の19時までの窓口延長、無料写真撮影などを行っています。

※マイナポータルとは、国が運用するインターネット上のサービスです。



通知カード



マイナンバーカード（個人番号カード）
（顔写真付きのICカード）

問9 あなたはマイナンバーカードを持っていますか？

1. 持っている
2. 申請したが、受け取っていない
3. 申請していない

問9-1

問9で「3. 申請していない」と回答された方のみお答えください。あなたが、マイナンバーカードを申請していない理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 申請方法が分からない
2. 市役所やサービスセンターに行く時間がない
3. 申請の手続きが面倒
4. カードを持つ必要性を感じられない
5. カードを紛失した際に、個人情報の漏えいや悪用が心配
6. その他（)

問 1 0 マイナンバーカードを申請または受け取りやすくするためには、どのような取組が望ましいと思いますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. カード申請方法の周知・広報
2. 土日窓口の開設
3. 平日夜間窓口の開設
4. 申請窓口の地域出張サービス
5. 企業や団体での一括申請
6. 無料写真撮影
7. カード受取時の事前予約制の見直し
8. カード受取場所の指定（受取場所の変更等）
9. 特になし
10. その他（）

問 1 1 マイナンバーカードで利用できる和歌山市のサービスについて、知っていることは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. コンビニで住民票の写しや印鑑登録証明書などを取得できる
2. 運転免許証のように公的な本人確認書類として利用できる
3. クレジットカード等のポイントを「紀州わかやまポイント（自治体ポイント）」に交換して、インターネット通販や和歌山城などの市の施設の支払いに利用できる
4. 図書館で本を借りる際の図書館利用券として利用できる
5. 児童手当の申請や確定申告などの行政手続きを自宅からオンラインで行うことができる
6. 子育て手続きのおしらせをマイナポータルで受け取ることができる
7. 行政が保有している自分の個人情報をマイナポータルで閲覧できる
8. 行政機関の間で自分の個人情報をやりとりした履歴をマイナポータルで確認できる
9. 知っているサービスはない

4 犯罪被害者等についてお尋ねします。

ある日突然、自分自身や家族そして周囲の人が犯罪に巻き込まれる恐れがあります。

犯罪にあった被害者やその家族又は遺族（以下、「犯罪被害者等」という。）は、事件による直接的な心身の被害以外に、事件が解決した後も様々な問題を抱えることになります。

このようなことを踏まえて、皆様のご意見をお伺いします。

問 1 2 現在行われている犯罪被害者等の支援に関係するもので、知っているものはありますか？

あてはまるものを全てお選びください。

1. 犯罪被害者等基本法
2. 犯罪被害給付制度
3. 被害者参加制度
4. 被害者支援センター
5. 日本司法支援センター（法テラス）
6. 知っているものはない

問 1 3 あなたは、自身またはあなたのご家族が犯罪の被害に遭ったとしたら、どのようなことを望みますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 捜査の状況や犯人に関する情報提供
2. 被害補償に関する手続の教示や援助
3. 経済的な支援
4. カウンセリングや実施機関の紹介
5. けがをした場合の病院の手配や付添い
6. 証言や傍聴で裁判所へ行く際の付添い
7. 行政機関での手続きの支援
8. そっとしておいてほしい
9. 特になし
10. その他（)

5 在宅医療についてお尋ねします。

和歌山市は「医療と介護が必要となった時に、住み慣れた地域で必要かつ適切な医療と介護を一体的に提供でき、人生の最終段階において自分のあり方が尊重されるまち」を目指しています。

問 1 4 あなたは、在宅医療に関心がありますか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|----------|----------|
| 1. とてもある | 3. あまりない |
| 2. ある | 4. 全くない |

問 1 5 あなたは、医療や介護が将来必要になったとき、主にどこで過ごしたいですか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 自宅 | 5. 特別養護老人ホームなどの介護施設への入所 |
| 2. 子供や親戚の家 | 6. わからない |
| 3. 病院などの医療機関への入院 | 7. その他 () |
| 4. 有料老人ホームやサービス付高齢者住宅など | |

問 1 6 あなたは、終末期において自宅で最期まで療養できると思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. できると思う | 3. わからない |
| 2. 困難である | |

※終末期とは、老衰、病気等の進行により死に至ることを回避する方法がなく、予想される余命が3～6ヶ月以内のことをいいます。

問 1 6 - 1

問 1 6 で「2. 困難である」と回答された方のみお答えください。困難である理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 家族に負担がかかる
2. 症状が悪くなったときに、すぐに病院に入院できるか不安である
3. 経済的な負担が大きい
4. 介護してくれる家族がいない
5. 往診してくれるかかりつけ医がいない
6. 療養できる部屋やトイレなどの居住環境が整っていない
7. 訪問看護や介護の体制が不十分である
8. その他 ()

問 1 7 あなたは、ご自身やご家族が終末期の状況において、受けたい医療や受けたくない医療について、日頃からご家族と話し合っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 詳しく話し合っている
2. 話し合ったことはある
3. 話し合っていない

問19 あなたは、自殺防止対策として効果的だと思うものは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 地域でのこころの健康相談
2. ポスター・チラシ・リーフレットによる自殺防止啓発（相談窓口紹介も含む）
3. SNS（ツイッター、フェイスブック等）を活用した自殺防止啓発
4. 子育て支援事業
5. 介護者への支援事業
6. 労働問題（過重労働、職場の人間関係の悩み等）の改善
7. 弁護士による無料法律相談（多重債務問題等）
8. 失業者への就労支援
9. 生活困窮者への相談支援事業
10. がん患者、慢性疾患患者等への相談支援事業
11. 学校におけるいじめ対策など教育環境の改善
12. その他（）

7 消防団についてお尋ねします。

消防団は、火災出動のみならず、地震や風水害等の大規模災害が発生した際には、被災者の救出・救助や住民の避難支援にあたるなど、多くの局面において地域の消防防災の中核的存在として活躍していますが、近年消防団員は全国的に減少を続けています。

そこで、消防団に関する認知度、意識等を調査し、消防団活動の効果的な啓発や消防団員の加入促進を図るために調査を実施します。

問20 あなたは、消防団を知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 活動の内容を含めて知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
3. 全く知らない

問21 あなたは、消防団の活動をどのように評価されますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 大きく貢献しているため、必要不可欠である
2. あまり必要のない組織である
3. よく分からない

問22 あなたは、消防団の活動でイメージが強いのはどの活動ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 火災の消火活動
2. 地震や風水害時の防災活動
3. 消防訓練等の指導
4. 心肺蘇生法等の応急手当の普及指導
5. 地域行事での警備活動
6. 年末夜警等の火災予防活動
7. 一人暮らしの高齢者等への個別訪問による防火指導
8. 行方不明者の搜索活動
9. よく分からない
10. その他 ()

問23 あなたが、消防団に望む活動はなんですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 火災の消火活動
2. 地震や風水害時の防災活動
3. 消防訓練等の指導
4. 心肺蘇生法等の応急手当の普及指導
5. 地域行事での警備活動
6. 年末夜警等の火災予防活動
7. 一人暮らしの高齢者等への個別訪問による防火指導
8. 行方不明者の搜索活動
9. よく分からない
10. その他 ()

問24 あなたは、消防団への勧誘があった場合、消防団に入りますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 入団したい
2. 話を聞いて検討したい
3. 入団したくない

問24-1

問24で「1. 入団したい」と回答された方のみお答えください。入団したい理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 地域に貢献でき、地域の人から喜ばれてやりがいがあるから
2. 自らのまちは自らが守ることが必要だから
3. 世代や業種を超えた多くの仲間や知り合いが増えると思うから
4. 地域の人との絆や助け合いが深まると思うから
5. 使命感、達成感、やりがいを感じるから
6. 普通では体験できないことがあるから（現場活動・消防車両の運転など）
7. 消防や防災の知識や技術が身につくと思うから
8. その他 ()



和歌山市消防局
マスコットキャラクター
わ
「和びつとちゃん」

問 2 4 - 2

問 2 4 で「3. 入団したくない」と回答された方のみお答えください。入団したくない理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 消防団活動が役に立っていると思えないから
2. 活動が危険だから
3. 体力的に自信がないから
4. 他にやることがあり忙しいので、活動が十分に行えないから
5. 消防団の必要性を感じないから
6. 上下関係が厳しい等、団員との付き合いが煩わしいから
7. 訓練・行事などに多くの時間を取られ負担になるから
8. 周囲の理解が得られないから
9. その他 ()

問 2 5 現在、消防団員の減少傾向が続いています。あなたは、入団者が増加するような魅力ある消防団にするには、どのようにすれば良いと思いますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 消防団活動の内容や重要性等の P R を積極的に行う
2. 報酬、手当の増額等処遇を改善する
3. 若者や学生、消防団 O B 等、幅広い年齢層に働きかける
4. 女性団員の活動しやすい環境を整備する
5. 事業所に消防団活動への理解を求める等、サラリーマンの団員でも活動に参加しやすくする
6. 消防団員を雇用する事業所を表彰する等、事業者のイメージアップに繋げる
7. 消防団主催のイベントをする
8. 地域住民への消防団活動の理解や認知度を高める
9. その他 ()

8 災害対策についてお尋ねします。

問26 あなたは現在、水や食料を買い置きしておく等、災害に対して何らかの備えを行っていますか？

1. はい 2. いいえ

問26-1

問26で「1. はい」と回答された方のみお答えください。災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 家具が倒れないように固定している
2. 感震ブレーカーを設置している
3. 防災について家族で役割を決めている
4. 風呂にいつも水を入れている
5. 消火器や水を入れたバケツなどを用意している
6. 火気器具の周りを整理している
7. ガラス飛散防止をしている
8. 寝室などに履物（くつ・サンダル等）を用意している
9. 非常持出品や備蓄品を用意している
10. 自主防災組織の活動に参加している
11. ご近所同士でいざというときの助け合いについて話をしている
12. ご近所の方で一人では避難できない人を把握している
13. その他（)

問26-2

問26-1で「9. 非常持出品や備蓄品を用意している」と回答された方のみお答えください。非常持出品や備蓄品としてどのようなものを用意していますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 飲料水 | 8. 毛布 |
| 2. 食料品 | 9. カセットコンロ（ガスボンベ含む） |
| 3. 懐中電灯 | 10. 寝袋 |
| 4. 携帯ラジオ | 11. 現金 |
| 5. ちり紙、タオル、石けん | 12. 電池 |
| 6. 下着類 | 13. ナイフ、ロープ、ひも |
| 7. 医薬品 | 14. その他（) |

問27 あなたは、家具等の固定をしていますか？

1. はい 2. いいえ

問27-1

問27で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。家具等の固定をしていない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 費用がかかるから
2. 固定の方法が分からないから
3. 賃貸住宅のため出来ない
4. 家具や壁に穴を開けたくない
5. その他 ()

問28 あなたは、和歌山市が65歳以上の方だけの世帯やいくつかの条件にあてはまる方を対象に家具の転倒防止用固定金具取付事業を行っていることを知っていますか？

1. はい
2. いいえ

問28-1

あなたは、問28の事業の対象であれば、利用したいと思いますか？

1. 思う
2. 思わない

問29 あなたは、地震が発生し揺れを感知した際に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動で止める「感震ブレーカー」を知っていますか？

1. はい
2. いいえ

問29-1

問29で「1. はい」と回答された方のみお答えください。感震ブレーカーを設置していますか？

1. 設置している
2. 設置していない

問29-2

問29で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。感震ブレーカーを設置してみたいと思いますか？

1. 設置したい
2. 設置したくない

問29-3

問29-1で「2. 設置していない」または、問29-2で「2. 設置したくない」と回答された方のみお答えください。感震ブレーカーを設置していない又は設置したくない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 費用がいくらかわからない
2. 賃貸住宅のために出来ない
3. 設置の必要性を感じない
4. どのような器具を選べばよいかわからない
5. その他 ()

問30 あなたは、市や地域が実施する防災訓練に参加したことがありますか？

1. はい 2. いいえ

問30-1

問30で「1. はい」と回答された方のみお答えください。どのような訓練に参加されましたか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 市が主催した「安全行動訓練」（姿勢を低くする等、地震の揺れから身を守る行動訓練）
2. 地域が実施している防災訓練
3. その他（ ）

問30-2

問30で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。防災訓練に参加されなかった理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 仕事や用事があったから
2. 以前に参加したことがあり内容が分かっているから
3. 防災訓練があったことを知らなかった
4. その他（ ）

問31 あなたは、市や地域が実施する防災訓練があれば参加しますか？

1. はい 2. いいえ

問31-1

問31で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。参加されない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 仕事や用事があり忙しいから
2. 参加しなくても、いざとなれば対応できると思うから
3. 災害時に役に立つと思わないから
4. 参加したいが、体調が悪く参加できない
5. その他（ ）

問32 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

問33 あなたは、災害から身を守るために、どの避難場所に逃げるか、どんな経路を通過して逃げるか、日頃から調べたり、話し合ったりしていますか？

1. している 2. していない

問 3 4 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 和歌山市防災マップ | 5. 内水ハザードマップ |
| 2. 紀の川洪水ハザードマップ | 6. 土砂災害ハザードマップ |
| 3. 亀の川洪水ハザードマップ | 7. 1～6のマップは知らない |
| 4. 和田川洪水ハザードマップ | |

問 3 5 あなたは、市報わかやまや防災ホームページ等に、どのような防災情報を掲載してほしいですか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 地震・台風等のしくみと脅威 | 4. 各自主防災組織の活動内容紹介 |
| 2. 災害への備え | 5. 防災に関する補助金・交付金等の概要 |
| 3. 市が進める防災対策 | 6. その他 () |

問 3 6 災害発生時や災害が発生するおそれがある時、防災行政無線等によって市から情報を発信していますが、その情報はあなたに伝わっていますか？

- | | |
|----------------|---|
| 1. 伝わっている | |
| 2. 伝わっていない【理由： | 】 |

問 3 7 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. テレビ、ラジオ | 5. 防災情報メール |
| 2. テレビのデータ放送 | 6. 防災情報電話案内サービス |
| 3. インターネット（県・市のホームページ） | 7. その他 () |
| 4. 防災行政無線 | |

問 3 8 あなたは、平成28年度より危険なブロック塀や石塀などを撤去等する場合に、費用の一部を補助する制度があることを知っていますか？

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 3 8-1

問 3 8で「1. 知っている」と回答された方のみお答えください。この補助制度をどのようにして知りましたか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|---------------------|--|
| 1. 市報わかやま | |
| 2. 自治会からの回覧板 | |
| 3. 市のホームページ | |
| 4. テレビ和歌山のテレビスポット放送 | |
| 5. 市役所1階の動画モニター放送 | |
| 6. 住宅耐震による戸別訪問 | |
| 7. その他 () | |

9 防犯対策についてお尋ねします。

問39 あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 治安が良い | 4. 治安が悪い |
| 2. どちらかといえば治安が良い | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば治安が悪い | |

問39-1

問39で「3. どちらかといえば治安が悪い」「4. 治安が悪い」と回答された方のみお答えください。あなたが、治安が悪いと感じる理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから
2. 不審者などが増えているように感じるから
3. 暗がりが多いように感じるから
4. 見通しの悪い場所などが多いから
5. 地域のコミュニティが希薄になったように感じるから
6. 特に理由はないが、不安に感じる
7. その他 ()

問40 犯罪被害を防止するためには、日常生活において市民一人ひとりが防犯について意識することが大切です。あなたが犯罪の被害にあわないために、日常生活で心がけていることは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 少し遠回りになっても、明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどの防犯機器を携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たないなどひたたくりに注意している
7. 自転車のカゴにはひたたくり防止のカバーやネットをつけている
8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や、近所の人との挨拶を積極的にするなど、不審者を近づけにくい環境作りを意識している
10. 自転車には鍵を2つ以上つけている
11. 自動車内には荷物を置かないようしている
12. 自動車やオートバイに警報機等の盗難防止装置をつけている
13. 門灯などを点灯して、防犯を意識している
14. その他 ()
15. 特に何もしていない

問 4 4 - 2

問 4 4 で「1. 定期的に受けている」と回答された方のみお答えください。受診したがん検診は、つぎのどれに該当しますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 職場の健康診断
2. 人間ドック
3. 和歌山市のがん検診制度を利用
4. 自覚症状があり、検査受診
5. その他 ()

問 4 5 あなたは、「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」という言葉を知っていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 言葉も意味もよく知っている
2. 言葉も知っているし、意味もだいたい知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、意味はあまり知らない
4. 言葉も意味も知らない

※COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは、タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露することで生じた肺の炎症性疾患であり、喫煙習慣を背景に中高年に発症する生活習慣病です。

問 4 6 あなたは、1日平均してどの程度歩いていると思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 4, 000歩未満
2. 4, 000～6, 000歩未満
3. 6, 000～8, 000歩未満
4. 8, 000～1万歩未満
5. 1万歩以上

※目安として、10分歩くと1, 000歩程度、また外出しない方は3, 000歩未満としてお考えください。

問 4 7 あなたは、お口の健康について気をつけていることがありますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 丁寧に歯を磨いている
2. 定期的に歯科検診を受けている
3. 定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている
4. 歯ブラシだけでなく歯間ブラシや糸ようじ等の補助器具を使用している
5. 日頃から自分の口腔内を観察している
6. 歯磨き指導を受けたことがある
7. 特にない
8. その他 ()

問48 あなたは、平均して1日に野菜を小鉢(1杯 70g 程度)で何皿分位食べていますか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|---------|---------|
| 1. 0皿 | 4. 5～6皿 |
| 2. 1～2皿 | 5. 7皿以上 |
| 3. 3～4皿 | |

問48-1

問48で「1. 0皿」「2. 1～2皿」「3. 3～4皿」と回答された方のみお答えください。あなたが5皿分以上食べていない理由はなんですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 調理や後片付けが面倒だから
2. 調理又は食べる時間がないから
3. 野菜が苦手だから
4. 家族が嫌いで食べないから
5. 料理方法がよくわからないから
6. 今の量で足りていると思っているから
7. お店で売っている野菜の惣菜が少ないから
8. 外食のメニューに野菜が少ないから
9. その他 ()

12 スポーツ施設についてお尋ねします。

問50 あなたは、これからやってみたい、又はやっている運動・スポーツはありますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. ウォーキング（散歩）
2. ジョギング（ランニング）
3. テニス
4. 水泳
5. 野球
6. ソフトボール
7. サッカー
8. バレーボール
9. バスケットボール
10. 卓球
11. サーフィン
12. スケートボード
13. 体操（健康体操、ラジオ体操、エアロビクス）
14. ダンス
15. 筋力トレーニング
16. その他（）

問51 あなたは、市内のスポーツ施設について不足していると思われるものは何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 硬式野球場
2. 軟式野球場
3. 陸上競技場
4. サッカー場
5. プール
6. 体育館
7. テニス場
8. ゲートボール場
9. スケートボード場
10. トレーニングジム
11. その他（）

13 市報わかやまについてお尋ねします。

問52 あなたの家庭では、どのような方法で「市報わかやま」を入手していますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 所属している自治会から配達されている
2. サービスセンターや支所・連絡所等へ受け取りに行っている
3. 市役所広報広聴課に申し込んで配達されている
4. 和歌山市のホームページに掲載している「市報わかやま」を閲覧している
5. 入手していない
6. その他（）

問53 あなたは、和歌山市からの行政情報を「市報わかやま」以外では、何から得ていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 市のホームページ
2. チラシやポスター
3. ラジオ
4. テレビ
5. データ放送
6. 新聞
7. SNS（フェイスブックやツイッター等）
8. 動画サイト（ユーチューブ）
9. メールマガジン
10. スマートフォンアプリ（つれもて子育て応援ナビ）
11. その他（）

問54 あなたは、現在の「市報わかやま」の見やすさについてどう思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満 【理由：】
4. 不満 【理由：】

問55 あなたは、現在の「市報わかやま」に掲載されている情報量についてどう思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満 【理由：】
4. 不満 【理由：】

1 4 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度についてお尋ねします。

問56 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？
 満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

回答方向 ⇒		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われませんか？				
		非常に満足	満足	えない どちらとも言	不満	非常に不満	非常に重要	重要	えない どちらとも言	はない あまり重要で	ない 全く重要では
安定した雇用を生み出す 産業が元気なまち	地域産業（商工業・農林水産業）の発展	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	観光地としての魅力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	国内や国外との交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	雇用対策や労働環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
住みたいと選ばれる魅力があふれるまち	中心市街地の活気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	まちなみの美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	海・山・川などの豊かな自然環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	資源ごみのリサイクル	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	生涯学習支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
子供たちがいきいきと育つまち	子供や子育てに対する支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	学校・幼稚園などの教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	青少年の健全育成活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

回答方向 ➡		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われますか？				
		非常に満足	満足	えない どちらとも言	不満	非常に不満	非常に重要	重要	えない どちらとも言	はない あまり重要で	ない 全く重要では
誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	基幹道路や生活道路の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	快適で暮らしやすい住宅環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	公園や下水道などの生活環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地震や風水害などの災害に対する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消防・救急救助の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	交通安全に対する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	暴力や犯罪に対する防犯体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消費生活相談の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	医療・保健サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	人権が尊重される社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	男女が共生できる社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	高齢者・障害者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
その他	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地域住民の助け合い活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	市政に対する市民参加のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	市民サービスなどの行政窓口の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

和歌山市の市政についてご意見をお聞かせください。

.....

.....

.....

.....

*****ご協力ありがとうございました*****